

TOSHIBA

取扱説明書

REGZA

4K 液晶テレビ

形名 50Z740XS/55Z740XS/65Z740XS

機能操作編



「付属品を確認する」、
「テレビを設置する」、
などの準備は製品に
同梱の取扱説明書を
ご覧ください。

必ず本製品をご利用いただく前に製品同梱の取扱説明書の
「本製品のご利用に関する重要なお知らせ」をご覧ください。
必ず最初に製品同梱の取扱説明書の「安全上のご注意」をご覧ください。

映像や音声が出なくなった、操作ができなくなったなどの場合は、
[「症状に合わせて解決法を調べる」](#)をご覧ください。

このたびは東芝テレビをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

お求めのテレビを安全に正しく使っていただくため、お使いになる前に
この取扱説明書をよくお読みください。

もくじ

》リモコンのボタンと主な機能	12

テレビを見る

》テレビ番組を操作する	15
》リモコンで番組を選ぶ	15
》音量を調節する／音を一時的に消す／字幕を表示させる	18
》本体ボタンによる「機能切換」について	19
》操作ガイドについて	20
》サブメニューについて	21
》番組情報や番組説明を見る	23
》番組情報を見る	23
》番組説明を見る	24
》番組表で番組を探す	25
》番組表を使う	25
》番組を見ながら他の番組を探す(ミニ番組表)	28
》番組表を便利に使う	28
》条件を絞りこんで番組を探す	36
》データ放送やラジオ放送を楽しむ	42
》連動データ放送を楽しむ	43
》独立データ放送やラジオ放送を楽しむ	43
》まるごとチャンネルで見る	45
》二画面で楽しむ	50
》便利な機能を使う	53
》画面サイズを切り換える	53
》降雨対応放送について	54
》他の映像・音声を切り換える	54
》映像を静止させる	56
》映像の詳細情報を表示させる	57
》省エネ設定をする	58
》声を聴き取りやすくする	60

》ヘッドホンで聴く	61
》外部スピーカーで聴く	62
》時計を表示する	62
》自動で電源が入るようにする	63
》自動で電源が切れるようにする	66

録画機器を使う

タイムシフトマシンの準備をする

》タイムシフトマシン録画の設定をする	67
》手動でタイムシフトマシン設定をする	67
》おすすめ履歴を初期化する	75
》タイムシフトマシン録画機能を初期化する	76
》タイムシフトリンクに関連する機能	76

録画機器の接続をする

》録画・予約機能について	77
》録画できる機器と番組	77
》接続・設定と録画前の準備	78
》USBハードディスクの設定をする	80
》USBハードディスクの設定をする	80
》録画の基本的な設定をする	85
》録画に使用する機器を設定する	85
》チャプター分割のしかたを設定する	86
》レグザリンクダビングの接続・設定をする	87
》東芝レコーダーと本機を接続する	87
》東芝レコーダーと本機を設定する	89
》SeeQVault™対応のUSBハードディスクや SDメモリーカードを接続する	93
》USBハードディスクを接続して登録する	94
》SDメモリーカードを接続する	96
》SeeQVault™対応SDメモリーカードを設定する	97
》SDメモリーカードを初期化する	97
》SDメモリーカード名を変更する	98

録画・予約をする

》 見ている番組を録画する	99
》 番組表で予約をする	101
》 メッセージが表示された場合	103
》 マルチ表示の番組表で予約するとき	104
》 連続ドラマを予約する	105
》 日時を指定して予約をする／ 番組を検索して録画・予約をする	107
》 日時を指定して予約をする	107
》 番組を検索して録画・予約をする	109
》 録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき	110
》 予約の確認・変更・取り消しをする	113
》 おまかせ録画	116
》 おまかせ録画に必要な準備	116
》 おまかせ録画について	117
》 予約・録画の優先順位と予約の動作について	119
》 予約・録画の優先順位について	119
》 予約の動作について	121

再生する

》 ざんまいスマートアクセスで楽しむ	122
》 お好みの番組を選ぶ	122
》 機能紹介を見る	124
》 カテゴリーをお好みに変更する	125
》 ざんまいスマートアクセスを便利に使う	132
》 ショートカットアイコンを使う	134
》 タイムシフトマシン録画番組を見る	135
》 基本操作	135
》 タイムシフトマシン再生中にできるリモコン操作	138
》 タイムシフトマシン録画中の番組視聴時に使える便利な機能	140
》 番組情報やタイムバーを表示させる	141
》 タイムシフトマシン録画を一時的に停止させる	142

》連ドラ予約をする	143
》過去番組表を便利に使う	144
》タイムシフトマシン録画番組を保存する	147
》見たいタイムシフトマシン録画番組を探す	150
》「番組検索」で探す	150
》録画した番組を再生する	153
》再生の基本操作とさまざまな再生のしかた	153
》録画番組の再生中にできるリモコン操作	156
》録画番組の情報や番組説明を見る	158
》録画番組を修復する	159
》シーン検索について	160
》見たい録画番組を探して再生する	161
》録画リストのさまざまな機能を使う	164
》繰り返し再生の設定を変える	164
》番組を並べ替える	165
》ほかの機器を選択する	165
》連ドラ予約をする	166
》機器の情報を確認する	167
》SeeQVault™形式の番組を再生する	168
》再生の基本操作	168
》SeeQVault™対応機器を選択する	169

不要な録画番組を消す／誤って消さないように保護する

》不要な録画番組を消す／	
誤って消さないように保護する	170
》一つの録画番組を消す	170
》複数の録画番組を消す	171
》グループ内の録画番組をすべて消す	172
》自動的に消す(自動削除設定)	172
》誤って消さないように保護する	173

編集・ダビングする

》チャプター編集をする	174
》録画済番組の再生中に編集する	174
》グループ名を変更する	176
》他のグループに移動する	178
》録画番組をダビング(ムーブ)する	180
》USBハードディスク間でムーブする	181
》東芝レコーダーにダビングしてディスクに保存する	183
》ネットワーク接続でダビングする	183
》ブルーレイディスクに手間なくダビングする	185
》録画番組をSeeQVault™形式にする	188
》SeeQVault™形式に変換してSDメモリーカードに ダビングする	191
》タイムシフトマシン録画番組をSeeQVault™形式に 直接変換して保存する	192

接続機器を使う

》外部入力 of 画面に切り換える	194
》外部入力 of 機能を設定する	197
》入力切替時に画面に表示される機器名を設定する	198
》使用しない外部入力をスキップする	198
》HDMIモードを変更する	199
》自動で低遅延モードを切り換える設定にする	200
》Dolby Digital Plusの入力を設定する	201
》HDMI入力の画質が自動設定されるようにする	201
》HDMI入力のRGBレンジを設定する	202
》ビデオ入力の音声入力を設定する	202
》本機のリモコンでHDMI連動機器を操作するための設定をする	203
》本機のリモコンで対応機器を操作する	207
》機器を操作する	207
》本機のリモコンでできるおもな操作	212

》レグザサウンドシステムで聴く	214
》レグザサウンドシステムの音声を設定する	216
》オーディオ機器(オーディオシステム)で聴く	217
》オーディオ機器のスピーカーで聴く	217
》ヤマハオーディオ機器の音声を調整する	219
》タイムシフトリンク機能を使う	220
》タイムシフトリンク機能でできること	220
》タイムシフトリンク省エネ設定をする	222
》動画を再生する	223
》動画再生の操作	224
》動画再生時にできるリモコン操作	226
》動画の再生方法を設定する	227
》時間を指定して再生する(タイムサーチ)	227
》動画を並べ替える	228
》機器を選び直す	228
》動画再生リストの操作ガイドについて	228
》写真を再生する	229
》写真再生の操作	230
》マルチ表示画面の表示モードを切り換える	233
》再生を繰り返す	234
》スライドショーの表示間隔の設定をする	235
》マルチ表示画面の写真の並び順を変える	235
》機器を選び直す	235
》スカパー！プレミアムサービスLink(録画)	
の番組を再生する	236
》基本操作	236
》視聴制限について	237

インターネットを楽しむ

インターネットに接続する

》インターネットに接続するための設定をする . . .	239
》かんたんネットワーク設定	240
》接続方法	247
》無線LAN設定	247
》アドレス設定(IPv4)	251
》IPv6接続	253
》アドレス設定(IPv6)	254
》ネットワーク情報	256
》接続テスト	256
》ネットワーク設定の接続テスト結果について	257
》ネットワークサービスを利用するための設定をする .	258
》ネットワークサービスの情報を初期化する	259
》ひかりTVの設定をする	265
》ネットワーク設定	266
》サービスプロバイダー選択	266
》基本登録	267
》チャンネルスキャン	267
》接続テスト	267
》システム情報	267

クラウドサービス・ネットワークサービスを楽しむ

》クラウドサービス・ネットワークサービスを楽しむ	268
》クラウドサービスとネットワークサービスについて .	268
》クラウドサービスの設定をする	269
》クラウドサービスの基本操作	270
》ネットワークサービス機能について	272

調整・設定をする

映像を調整する

》お好みの映像メニューを選ぶ	273
》お好みの映像に調整する	275
》黒レベル	276
》色の濃さ	276
》色あい	277
》精細感・ノイズ調整	277
》コントラスト感調整	282
》色詳細調整	286
》ピュアダイレクト	291
》プロ調整	292
》映像分析情報	296
》その他の映像設定	297
》お好み調整を初期値に戻す／映像調整を初期値に戻す	303
》テレビの電源ランプを消灯する	304

音声を調整する

》お好みの音声メニューを選ぶ	305
》お好みの音声に調整する	307
》サウンドリマスター	307
》重低音	308
》イコライザー	308
》サラウンド	309
》オートボリウム	310
》左右バランス	310
》ドルビー DRC	310
》音声詳細設定	311

その他の設定をする

》アンテナを調整する	315
》電波の強さ(信号強度)を確認する	315

》BS・110度CS 4K放送の受信環境を確認したいとき	317
》アンテナを調整する	317
》地上デジタルアッテネーター設定を変更する	318
》BS・110度CS用アンテナの電源供給の設定を変更する	318
》アンテナ線がショートしたとき	319
》チャンネルを追加したり設定を変更したりするとき	320
》地上デジタルチャンネルを自動で設定する	320
》チャンネルをお好みに手動で設定する	322
》視聴しないチャンネルをスキップする	324
》データ放送の設定をする	326
》地域と郵便番号を設定する	326
》災害発生時に文字情報を表示させる	328
》ルート証明書の番号を確認する	329
》視聴できる番組を制限する	330
》制限するために暗証番号を設定する	330
》番組の視聴を制限する	332
》インターネットの利用を制限する	333
》リモコンの設定を変更する	334
》2台のレグザをそれぞれのリモコンで操作する	334
》使わない放送切換ボタンの操作を無効にする	336
》お買い上げ時の設定に戻すには (設定内容を初期化するには)	337

設定メニュー一覧

》設定メニュー 一覧	339

さまざまな情報

》ソフトウェアを更新する	346
》ソフトウェアの更新機能について	346
》ソフトウェアの自動ダウンロードについて	347
》東芝サーバーから手動でダウンロードする	350
》ソフトウェアのバージョンを確認するには	351

》文字を入力する	352
》アイコン一覧	356
》番組についてのアイコン	356
》お知らせ、予約、その他についてのアイコン	357
》画面サイズについて	358
》対応フォーマット	363
》本機で対応しているHDMI入力信号フォーマット	363
》本機で再生できる動画のフォーマット	365
》本機で再生できる写真(静止画ファイル)のフォーマット	366

困ったときには

》症状に合わせて解決法を調べる	367
》操作	367
》映像	369
》音声	372
》地上デジタル放送	373
》BS・110度CSデジタル放送	374
》番組表	377
》お知らせアイコン  が何度も表示される	377
》録画・再生	378
》HDMI連動機能	384
》クラウドサービスやネットワークサービスが利用できない	386
》エラーメッセージが表示されたとき	392
》全般	392
》USBハードディスクに関するエラー表示	394
》東芝レコーダーに録画・予約をするときのエラー表示	396
》LAN端子を使った通信に関するエラー表示	397
》ホームネットワークに関するエラー表示	398
》BS・110度CSの4K放送に関するエラー表示	400

リモコンのボタンと主な機能

- 本書に記載している操作で使用するリモコンのボタンと、そのおもな機能は以下のとおりです(ボタンによっては、通常の操作時と機能の異なるものがあります)。



電源

電源を入れる/待機にする

入力切替

外部入力機器の画面に切り換える

画面表示

番組名や放送局名、放送時間などを見る

BS/CS 4K

BS・110度CSの4K放送に切り換える

設定

設定メニューを表示する

音声切替

音声を切り換える

地デジ / BS / CS

放送の種類を切り換える

1 ~ 12 (数字ボタン)

チャンネルを選ぶ

チャンネル

チャンネルを順番に選ぶ

消音

音を消す

みるコレ

みるコレ画面を表示する



おすすめ番組

おすすめ番組の画面を表示する

音量 + / -

音量を調節する

始めにジャンプ

再生番組の始めにジャンプする

過去番組表

タイムシフトマシン録画の過去番組表を表示する

ざんまい

ざんまいスマートアクセス画面を表示する

録画リスト

録画リストを表示させる

番組表

番組表で番組を選ぶ

▲・▼・◀・▶ (矢印ボタン)、⤴・⤵・⤶・⤷

番組表などでページを切り換える

メニューから選ぶ、決定する

ワンタッチリプレイ(10秒戻す)

ワンタッチスキップ(30秒飛ばす)

決定

メニューから選ぶ、決定する

戻る

メニュー操作で一つ前の画面に戻る

終了

操作を終了する

青／赤／緑／黄(カラーボタン)

多様な用途があります



d データ

データ放送を見る

🎤 ボイス

ボイス機能を使う

シーン検索

シーン検索画面を表示する

まるとch

まるとチャンネル画面を表示する

二画面

二画面表示に切り換える

サブメニュー

サブメニューを表示する

◀◀、▶▶/⏮️、⏭️、⏮️、■、⏮️、▶▶

再生、早見早聞再生をする

早送り、早戻しをする

チャプタースキップをする

録画や再生を停止させる

再生を一時停止させる

映像を静止させる

ABEMA、NETFLIX、hulu、

U-NEXT、YouTube™、prime video

動画配信サービスに切り換える

テレビ番組を操作する

- 本体の操作ボタンについては、[「本体ボタンによる「機能切換」について」](#)をご覧ください。

リモコンで番組を選ぶ

1 **地デジ**、**BS**、**CS**、**BS/CS 4K**で放送の種類を選ぶ

- 今見ている放送と同じ種類の放送を見る場合は、この操作は不要です。

2 チャンネルを選ぶ(選局する)

- 以下の3とおりの選局方法があります。

ワンタッチ選局ボタンで選局する(ワンタッチ選局)

- ワンタッチ選局ボタン **1** ~ **12** で選局します(次ページの「お知らせ」をご覧ください)。
- BSデジタル放送・110度CSデジタル放送・BS・110度CSの4K放送のワンタッチ選局は、グループを指定して選局することができます。
 - ・ 通常はグループAのワンタッチ選局になります。

■ グループを指定して選局する

- 見ている放送と同じ種類の放送切換ボタンを押すと、選局ガイドが表示されます。

例：BSデジタル放送を見ているときに **BS** を押すと、BSデジタル放送の選局ガイドが表示されます。

- 選局ガイドを表示中に見ている放送と同じ種類の放送切換ボタンを押すと、選局ガイドに表示されるグループが切り換わります。
 - ・ BSデジタル放送は、グループAとグループBがあります。
 - ・ BS・110度CS 4K放送は、グループAとグループBがあります。
 - ・ 110度CSデジタル放送は、グループA ~ グループFがあります。
- **1** ~ **12** ボタンを押すと、選局ガイドに表示されているチャンネルに切り換わります。

チャンネル へ・▼ ボタンで選局する(順次選局)

-  でチャンネルが順次に切り換わります。

チャンネル番号を入力して選局する(ダイレクト選局)

- チャンネル番号は番組表で確認できます。

- 1  を押し、▲・▼と  で「その他の操作」⇒「チャンネル番号入力」の順に進む

- 画面の右上に 地デジ---、BS---、CS---、BS/CS 4K--- のどれかが表示されます。

◀▶で放送を切り換えられます。

- 2  ~  でチャンネル番号を入力する

例 103チャンネルを選ぶ場合⇒ 、 (0)、 の順に押します(「0」は  で入力)。

- 入力した番号を消すには、◀を押します。
-  (※)を使った入力ができます。

例   →300番以降の最小チャンネル

■ 枝番のついた放送一覧が表示されたとき



- ▲・▼で選んで  を押すか、 (0)~  で枝番を指定して選びます。

お知らせ

- 視聴できるデジタル放送のチャンネルやワンタッチ選局ボタンの番号は、[番組表](#)で確認することができます。
- 数字ボタンでワンタッチ選局ができるのは以下のとおりです([「チャンネルをお好みに手動で設定する」](#)で変更できます)。
 - **地デジ**を押したとき→「はじめての設定」で各ボタンに登録されたチャンネル。
 - **BS**、^{BS/CS}**4K**を押したとき→各ボタンにあらかじめ登録されているチャンネル。
 - **CS**を押したとき→110度CSデジタル放送の一部のチャンネル(^あ**1**と^{か ABC}**2**だけ)。
- ◆ 一つの放送局が複数のチャンネルで異なった番組を放送している場合、その放送局のチャンネルボタンを繰り返し押せばチャンネルを順番に選局できます。
- 枝番のついた放送一覧は、地上デジタル放送で隣接地域の同じチャンネル番号の放送を複数受信できたときに表示されます。
- 視聴制限のある番組の視聴には視聴制限設定が必要です。詳しくは[「番組の視聴を制限する」](#)をご覧ください。

音量を調節する／音を一時的に消す／字幕を表示させる

音量を調節する

- ① リモコンの  を押す

音を一時的に消す

- ① リモコンの  を押す

- 画面右下に  が表示されます。もう一度  を押すと音が出ます。

字幕放送番組で字幕の表示/非表示を切り換える

- ①  を押し、▲・▼と  で「字幕」を選ぶ
- ② ▲・▼で「字幕オン」または「字幕オフ」を選び、 を押す

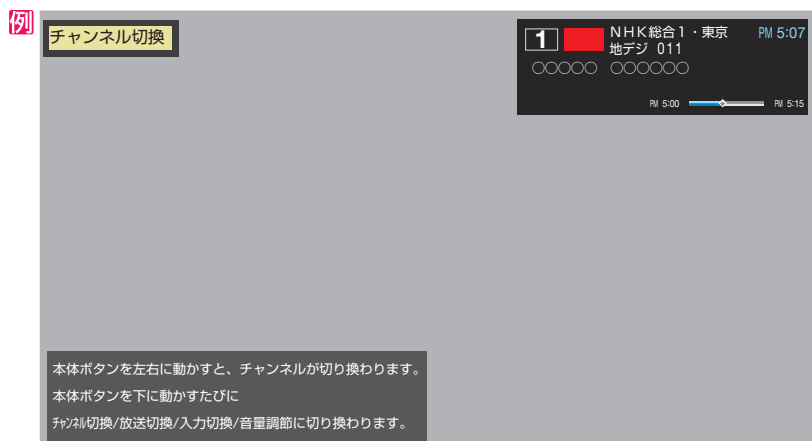
※ 放送によっては、「字幕オン」ではなく「日本語字幕」「英語字幕」などが表示されることがあります。

本体ボタンによる「機能切換」について

- 本体背面にある本体ボタンを左右に動かすと通常「音量調節」を行います、下に動かすたびに機能が切り換わります。

1 本体ボタンを下に動かす

- 本体ボタンを下に動かすと、画面左上に現在選択している機能が表示されます。
希望の機能を選ぶには、機能表示が消える前に手順2の操作をします。



- 本体ボタンを下に動かしたあと8秒間以上操作をしないと、音量調節機能に戻ります。

2 本体ボタンを繰り返し下に動かして機能を選び、左右に動かして切り換えまたは調節をする

- 本体ボタンを下に動かすたびに以下のように機能が切り換わります。

→ チャンネル切換 → 放送切換 → 入力切換 → 表示なし(音量調節)

- チャンネル切換..... チャンネルが順次に切り換わります。
- 放送切換 「地デジ」、「BS」、「CS」、「BS/CS 4K」が順次に切り換わります。
- 入力切換 入力が順次に切り換わります。 [▶「外部入力の画面に切り換える」](#)

操作ガイドについて

- 番組表や操作画面などには、そのときに使用できる(または使用する)リモコンボタンの操作ガイドが表示されます。
- よく使う機能がカラーボタン(青、赤、緑、黄)や **サブメニュー** に割り当てられています。

例 録画リスト



◀ ▶ ⏮ ⏭ の表示
ページやリストの切り換え
ができることを示します。

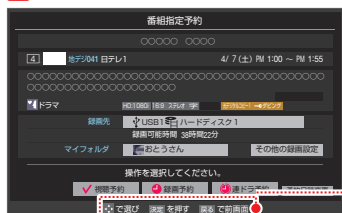
例 番組表



🔊 ボイス の表示
ボイス機能を使える
ことを示します。

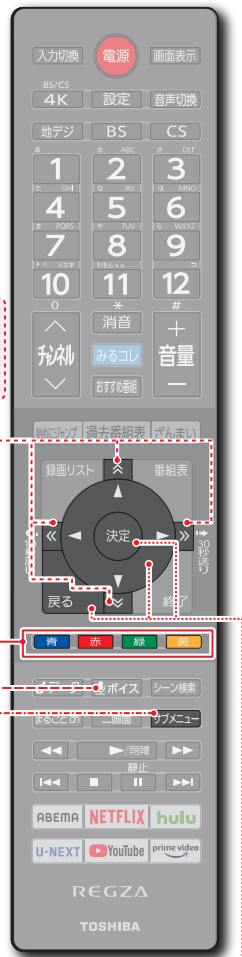
サブメニュー の表示
サブメニューがある
ことを示します。

例 操作画面



青 赤 緑 黄 の表示
カラーボタンでさまざまな
操作ができることを示します。

決定 戻る の表示
選んで決定したり、前の画面に戻ったり
することができることを示します。



サブメニューについて

- **サブメニュー**を押してサブメニューを表示させ、さまざまな便利機能を使うことができます。
- サブメニューの内容は、**サブメニュー**を押すときの場面によって変わります。
- サブメニューで選択できる項目は、放送の種類や外部機器の有無などによって変わります。選択できない項目は、薄くなって表示されます。

例 デジタル放送のテレビ番組を視聴中

サブメニュー	
タイムシフトマシン機器	タイムシフトマシン機器 タイムシフトマシン対応東芝レコーダーの過去番組表を表示します。 ^{※1}
番組説明	番組説明 視聴中の番組の詳しい情報を確認できます。
録画	録画 録画ができます。
連ドラ予約	連ドラ予約 視聴中の連続ドラマが毎回録画されるように予約することができます。
予約リスト	予約リスト 予約リストを表示します。
メディアプレーヤー	メディアプレーヤー 動画、写真を再生するメディアプレーヤーを起動します。
時計	時計 時計表示やオンタイマー／オフタイマーの設定ができます。
字幕	字幕 字幕放送番組で字幕の表示／非表示を切り換えられます。
画面サイズ切換	画面サイズ切換 見ている映像の種類に応じて、画面サイズを切り換えることができます。
スピーカー切換	スピーカー切換 本機のスピーカーで聴くか外部システムのスピーカーで聴くか選べます。
サウンドシステム設定	サウンドシステム設定 音声連携対応のオーディオ機器の音声メニューを設定します。 ^{※2}
チャンネル番号入力	チャンネル番号入力 チャンネル番号を入力して選局します。
その他の操作	その他の操作 「その他の操作」サブメニューを表示します。

サブメニューで「その他の操作」を選択

その他の操作	信号切換
信号切換	「信号切換」サブメニューを表示します。
タイムシフトマシン録画の一時停止	タイムシフトマシン録画の一時停止させたり、再開させたりすることができま ^{※3} す。
アンテナレベル表示	アンテナレベル表示
データ放送終了	映りが悪いときなどに、アンテナレベルを確認できます。
テレビ/ラジオ/データ切換	データ放送終了
親切ヘッドホン音量	データ放送の視聴を終了します。
お知らせ	テレビ /ラジオ/データ切換
本機の情報	視聴する放送メディアを切り換えます。
	親切ヘッドホン音量
	親切モードでのヘッドホンの音量を調節することができます。
	お知らせ
	本機や放送局からのお知らせがあったときに内容を確認します。
	本機の情報
	本機のソフトウェアバージョンを確認します。

サブメニューで「その他の操作」⇒「信号切換」を選択

信号切換	映像信号切換
映像信号切換	一つの番組で複数の映像が送られている場合に切り換えられます。
音声信号切換	音声信号切換
音多切換	一つの番組で複数の音声を送られている場合に切り換えられます。
降雨対応放送切換	音多切換
	二か国語放送など、音声多重放送の場合に聴きたい音声を選びます。
	降雨対応放送切換
	豪雨などの影響で降雨対応放送が行われた場合に切り換えられます。

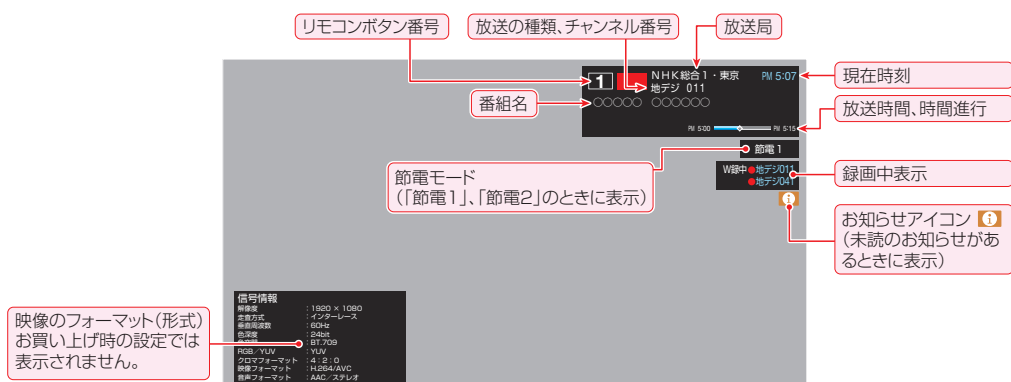
- ※1 サブメニューの「タイムシフトマシン機器」は、本機とタイムシフトマシン対応東芝レコーダーをHDMIケーブルで接続しているときにだけ、表示されます。
タイムシフトマシン対応東芝レコーダーについては、ホームページ(<https://www.toshiba.co.jp/regza/>)をご覧ください。
- ※2 サブメニューの「サウンドシステム設定」は音声連携対応のオーディオ機器を接続している場合だけ、表示されます。
- ※3 タイムシフトマシン録画の停止中は、「タイムシフトマシン録画の再開」になります。

番組情報や番組説明を見る

番組情報を見る

1 画面表示を押す

- 現在視聴しているチャンネルや番組の情報が表示されます（チャンネル以外の表示は数秒後に消えます）。
- 表示を消すには、もう一度 **画面表示** を押します。
- 選局時には一部省略された状態で表示されます。



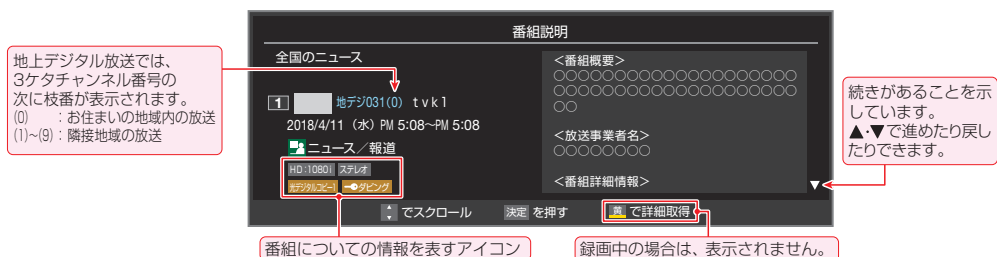
番組説明を見る

1 サブメニュー を押し、▲・▼で「番組説明」を選んで 決定 を押す

2 さらに詳しい説明を見るときは▼を押す

- 「詳細情報を取得していません」が表示されたときは、黄 を押します。
 - 詳細情報が取得できなかった場合には、「詳細情報を取得できませんでした」と表示されます。
 - 詳細情報がなかった場合には、「番組の詳細情報はありません」と表示されます。

3 説明画面を消すには、決定 を押す



お知らせ

- 画面に表示されるアイコン(ステレオ、HD:1080iなどの記号)についての説明は、[「アイコン一覧」](#)をご覧ください。
- 番組情報の表示や詳細情報の取得には時間がかかることがあります。
- 番組情報を取得するタイミングによっては、最新の情報が表示されないことがあります。
- 番組によっては、録画、録音が制限されることがあります。その場合は、番組説明の画面でアイコンが表示されます。

番組表で番組を探す

番組表を使う

- 番組表は、放送電波で送られてくる番組情報を基にして表示されます。
- お買い上げ直後や電源を入れた直後、放送の種類を変えたときなどには、番組内容の表示に時間がかかることがあります。
- 番組表を最新にしておくために、本機の電源を毎日2時間以上「切」または「待機」にすることをおすすめします。
- 視聴年齢制限されている番組は、伏せ字(「****」)で表示されます。

1 番組表を押す

- 通常番組表が表示されます(「週間番組表」については「週間番組表を表示させる」をご覧ください)。

【通常番組表画面：7チャンネル表示の例】

The screenshot shows a 7-channel program guide for April 9th. Red callout boxes with arrows point to specific features:

- 放送の種類**: Broadcast type (e.g., 地デジ, BS, CS).
- リモコンボタン、チャンネル、放送局**: Remote button, channel, and broadcast station.
- 録画予約がある時間帯 (赤色の縦線表示)**: Time slots with recording reservations (red vertical lines).
- 録画予約アイコン**: Recording reservation icon.
- 視聴予約アイコン**: Viewing reservation icon.
- 連ドラ予約アイコン**: Serial drama reservation icon.
- おまかせ録画アイコン**: Auto-record icon.
- 別の番組がある時間帯 (灰色の二重縦線表示)**: Time slots with other programs (grey double vertical lines).
- 予約重複時間帯 (オレンジ)**: Overlap reservation time slot (orange).
- 予約重複アイコン**: Overlap reservation icon.
- 放送メディア (ラジオ/データ)**: Broadcast media (radio/data).
- 番組表の日付**: Program guide date.
- 現在の日時**: Current date and time.
- 選択中の番組**: Selected program.
- 色分け設定をしたチャンネルに該当する番組は、開始時刻と背景が設定した色になります。**: Programs corresponding to color-coded channels will have their start time and background set to the specified color.
- 放送時間の短い番組は、番組名などが表示されます。**: Short broadcast time programs will have their program names, etc., displayed.
- リモコンボタンの操作ガイド**: Remote control button operation guide.

- 放送の種類を変えるときは、**地デジ**、**BS**、**CS**、**4K**を押します。
- 独立データ放送やラジオ放送の番組表に切り換えるときは、サブメニューの「**テレビ/ラジオ/データ切換**」で選びます。
- 番組表を消すときは、**終了**を押します。

2 ▲・▼・◀・▶で番組を選ぶ

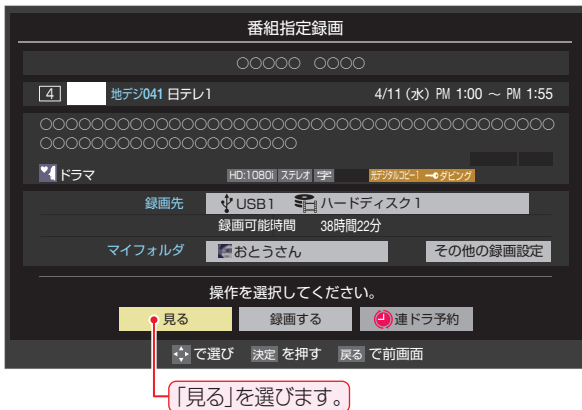
- 選んだ番組の番組説明を見るには、サブメニューから「番組説明」を選びます。
- 番組表に表示しきれていないチャンネルを表示させるには◀▶または◀・▶を押します。

3 決定を押す

- 現在放送中の番組を選んだときは、番組指定録画画面が表示されます。
- これから放送される番組を選んだときは、番組指定予約画面になります。[「番組表で予約をする」](#)の手順3をご覧ください。
- 視聴年齢制限されている番組を選んだときは、メッセージが表示されます。番組を見る場合は、決定を押し、**1** ~ **10**⁽¹⁾で暗証番号を入力します。

4 現在放送中の番組を見るときは、▲・▼・◀・▶で「見る」を選び、決定を押す

- 画面の図は、現在放送中の番組でUSBハードディスクが接続されている場合の例です。



- 番組指定録画画面からは、[録画](#)、[連ドラ予約](#)の操作ができます。
- 番組指定予約画面からは、[視聴予約](#)、[録画予約](#)、[連ドラ予約](#)の設定ができます。

お知らせ

- テレビを視聴している条件などによっては番組表が空欄になることがあります。この場合は、空欄の部分を選んでから、[「番組表を更新する」](#)の操作をしてください。
- 番組表に表示できる番組情報は最大8日分です。
- [「チャンネルスキップ設定」](#)で、スキップ「する」に設定に設定したチャンネルは番組表に表示されません。
- レグザリンク対応の東芝レコーダーに録画する場合は、番組表に予約アイコンは表示されません。
- データ放送の視聴中は番組表に切り換わらないことがあります。その場合は、テレビ放送に切り換えてから操作してください。
- 番組の中止・変更・延長などによって、実際の放送内容が番組表と異なることがあります。番組表や番組情報などで表示される内容および利用した結果について、当社は一切の責任を負いません。
- 「放送メディア」は、サブメニューの[「テレビ/ラジオ/データ切換」](#)で「ラジオ」または「データ」を選んでいるときに表示されます。

視聴制限番組について

- 視聴制限番組について、詳しくは[「番組の視聴を制限する」](#)をご覧ください。
- 番組表で視聴制限を一時解除するときは、[「番組表で視聴制限を一時解除する」](#)をご覧ください。

番組を見ながら他の番組を探す(ミニ番組表)

- 番組を見ながら、画面の下側にミニ番組表を表示させて番組を探することができます。

1 番組表を表示中に を押す

- ミニ番組表が表示されます。
- もう一度押すと、ミニ番組表が消えます。
- 操作方法は、通常番組表の場合と同じです。



番組表を便利に使う

- カラーボタンや番組表のサブメニューで、さまざまな便利機能を使うことができます。
- 番組表またはミニ番組表が表示されているときに以下の操作をします(ミニ番組表では一部の機能を使用できません)

指定した日時の番組表を表示させる

- 日付と時間帯を選んで番組表を表示させることができます。

1 (日時切換)を押す

2 で日時を選び、 を押す

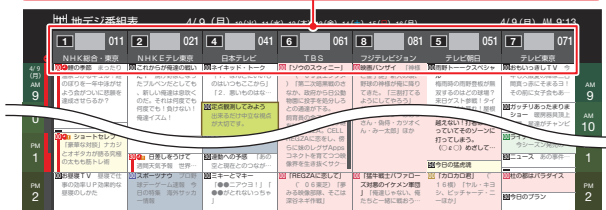


週間番組表を表示させる

- 選んだ放送局の一週間分の番組表を表示させることができます。

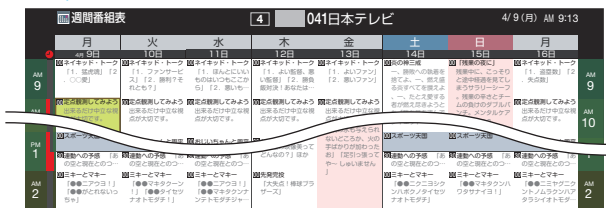
- 1 ◀▶で週間番組表を表示させたいチャンネルを選び、
黄 (週間番組表)を押す

一週間分の番組表を表示させたい放送局の番組を選びます。



黄 を押すたびに切り換わります

【通常番組表】



【週間番組表】

- 操作方法は、通常番組表の場合と同じです。
- 番組表の表示を週間番組表にしているときは、[「マルチ表示」](#)に切り換えることはできません。

番組説明を見る

- 選択中の番組の番組説明を見ることができます。

- 1 サブメニュー を押し、▲▼で「番組説明」を選んで 決定 を押す

番組表を更新する

- 番組表の中が空になっているときや、最新の番組情報に更新するときは、以下の操作をします。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼で「番組情報の取得」を選んで **決定** を押し

番組情報の取得中に表示されます。



- ※ 番組情報の取得中は映像、音声がでないことがあります。
- ※ BS・110度CSの4K放送録画中は、BS・110度CS 4K放送の番組情報の取得ができません。
- ※ 2番組同時録画(W録)中は、番組情報の取得ができません。
- ◆ 番組表で選択している放送局の情報が更新されます(更新の範囲は、放送の運用により、一部例外や将来変更されることがあります)。
 - BSデジタル放送は番組表全体が更新されます。
 - 110度CSデジタル放送は選択した番組が含まれるネットワークの番組表全体が更新されます。
 - 地上デジタル放送は選択した番組が含まれる放送局が更新されます。
 - BS・110度CSの4K放送は選択した番組が含まれるチャンネルが更新されます。
- 番組情報取得中にほかの操作をすると、情報の取得が中止されることがあります。
- 番組情報の取得を中止するときは、番組情報取得中に **サブメニュー** を押し、サブメニューから「番組情報の取得中止」を選択します。

1チャンネル表示とマルチ表示を切り換える

- BSデジタル放送や地上デジタル放送(どちらもテレビ放送だけ)では、放送事業者ごとの代表チャンネル表示(1チャンネル表示)とマルチチャンネル表示(マルチ表示)の切り換えができます。

1 切り換える放送局の番組をどれか選び、**サブメニュー**を押す

2 ▲・▼で「1チャンネル表示」(または「マルチ表示」)を選び、**決定**を押す

- 番組表の表示によって、「マルチ表示」または「1チャンネル表示」が表示されています。
- 「1チャンネル表示」、「マルチ表示」を選ぶと、以下のように切り換わります。

別の番組がある場合、
灰色の二重縦線を表示

放送事業者ごとの
1チャンネル表示

放送事業者ごとの
マルチチャンネル表示

放送事業者ごとの
マルチチャンネル表示

- 「マルチ表示」での番組予約については、[「マルチ表示の番組表で予約するとき」](#)をご覧ください。

文字サイズを大きくする

- 番組表の文字が小さくて見えにくいときなどに、文字の大きさを切り換えることができます。

1 **赤** を押して文字の大きさを切り換える

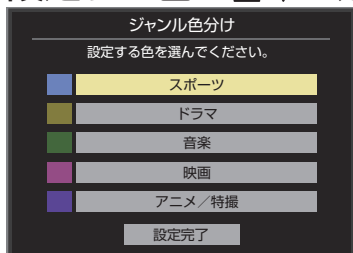
- ボタンを押すたびに、文字の大きさが変わります。
文字の大きさに合わせて、表示する時間帯も変わります。

ジャンル別に色分けする

- 番組のジャンル(分野)別に色分けをすれば、見たい番組を探すのに便利です。
- お買い上げ時に設定されている色分けを、以下の操作で変更することができます。

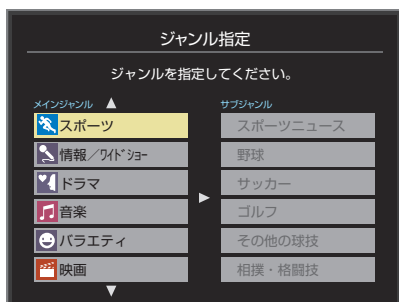
1 **サブメニュー** を押し、**▲・▼**で「ジャンル色分け」を選んで **決定** を押す

2 設定する色を **▲・▼**で選び、 **決定** を押す



3 **▲・▼・◀・▶**でジャンルを選び、 **決定** を押す

- **決定** を押すと手順2の画面に戻ります。ほかの色の設定を変える場合は、操作を繰り返します。
- 「指定しない」を選ぶと、色分け表示がなくなります。



4 ▲・▼で「設定完了」を選び、決定を押す

番組記号の説明を見る

- 新、再、字などの番組記号の意味を調べることができます。

1 サブメニューを押し、▲・▼で「番組記号一覧」を選んで決定を押す

- 番組記号の説明が表示されます。
- 表示されるのは番組記号の一部です。
- 見終わったら、決定を押します。

表示させるチャンネル数を設定する

- 番組表に表示させるチャンネル数を切り換えることができます。

1 サブメニューを押し、▲・▼と決定で「番組表表示設定」⇒「表示チャンネル数」の順に進む

2 ▲・▼で表示させるチャンネル数を選び、決定を押す

チャンネルの並び順を設定する

- 番組表に表示させるチャンネルの並び順を切り換えることができます。

1 サブメニューを押し、▲・▼と決定で「番組表表示設定」⇒「チャンネル並び順」の順に進む

2 ▲・▼で以下のどちらかを選び、決定を押す

- 通常
放送局推奨の並び順になります。
- チャンネルボタン優先
ワンタッチ選局ボタン 1 ～ 12 の番号順に並びます。

番組概要の表示／非表示を設定する

- 番組の概要説明を表示させるかどうかを設定します。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼と **決定** で「番組表表示設定」⇒「番組概要表示」の順に進む

2 ▲・▼で「表示する」、「表示しない」のどちらかを選び、**決定** を押す

地上デジタル放送局の表示位置を設定する

- 地上デジタル放送の番組表で放送局の表示位置を設定します。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼と **決定** で「番組表表示設定」⇒「地デジ表示」の順に進む

2 ▲・▼で以下のどちらかを選び、**決定** を押す

- 視聴チャンネル中央表示 視聴中のチャンネルが番組表の中央に表示されます。
- チャンネル順優先表示 お住まいの地域のチャンネル順に表示されます。

番組表の放送メディアを切り換える

- 番組表に表示させる放送メディア(テレビ、ラジオ、独立データ)を選びます。
- 放送が運用されていない放送メディアに切り換えることはできません。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼で「テレビ/ラジオ/データ切換」を選んで **決定** を押す

2 ▲・▼で「テレビ」、「ラジオ」、「データ」から選んで **決定** を押す

番組表で視聴制限を一時解除する

- 番組表を表示中に視聴制限の一時解除ができます。

1 サブメニュー を押し、▲・▼で「視聴制限一時解除」を選んで 決定 を押す

- 暗証番号入力画面が表示されます。

※ すでに一時解除されている場合や、地上デジタル放送などの場合は、「視聴制限一時解除」は選べません。

2 あ 1 ～ ＊ 〇 小文字 10 (0) で暗証番号を入力する

- 番組表の視聴制限が一時解除されます。

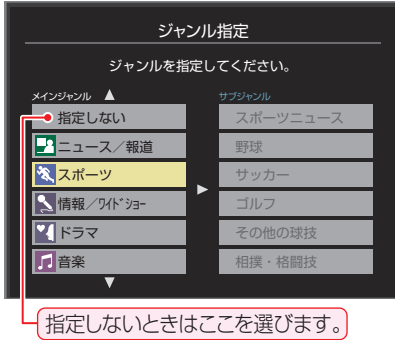
- # お知らせ

4 検索条件を指定する

- 「ジャンル」、「キーワード」、「番組記号」のどれかは必ず指定してください。

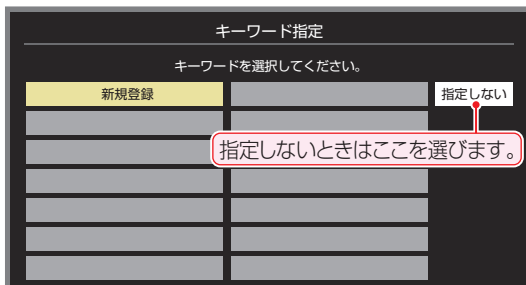
「ジャンル」を指定するとき

- 1 ▲・▼で「ジャンル」を選び、決定を押す
- 2 指定するジャンルを▲・▼・◀・▶で一つ選び、決定を押す



「キーワード」を指定するとき

- 1 ▲・▼で「キーワード」を選び、決定を押す
 - 2 指定するキーワードを▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す
- お買い上げ時は登録されていません。



■ 新しいキーワードを登録する場合

① ▲・▼・◀・▶で「新規登録」を選び、**決定**を押す

● 文字入力画面が表示されます。

② キーワードを入力して確定ボタンを選び、**決定**を押す

● 文字入力の方法は、[「文字を入力する」](#)をご覧ください。

● キーワードは14個まで登録できます。

■ キーワードを編集する場合

① 編集するキーワードを▲・▼・◀・▶で選び、**青**を押す

② キーワードを編集して確定ボタンを選び、**決定**を押す

■ キーワードを削除する場合

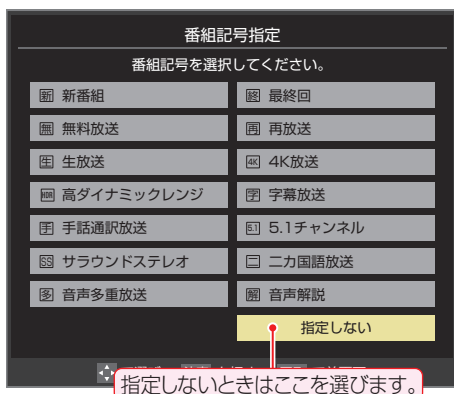
① 削除するキーワードを▲・▼・◀・▶で選び、**赤**を押す

② ◀・▶で「はい」を選び、**決定**を押す

「番組記号」を指定するとき

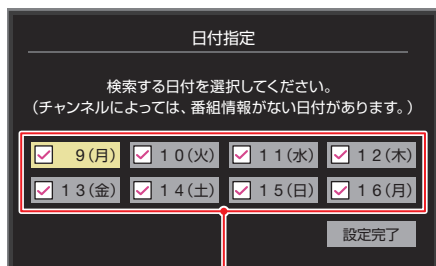
① ▲・▼で「番組記号」を選び、**決定**を押す

② 指定する番組記号を▲・▼・◀・▶で選び、**決定**を押す



「日付」を指定するとき

- 1 ▲・▼で「日付」を選び、決定を押す
- 2 指定する日付を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す
- 決定を押すたびに、☑(指定する)と□(指定しない)が交互に切り換わります。
- 7日先まで指定できます。

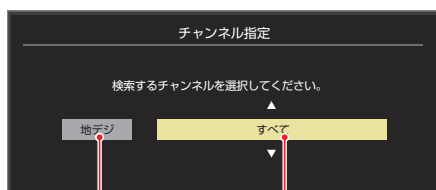


指定する日に「☑」がつくようにします。

- 3 指定が終わったら、▲・▼・◀・▶で「設定完了」を選び、決定を押す

「チャンネル」を指定するとき

- 1 ▲・▼で「チャンネル」を選び、決定を押す
- 2 指定する項目を◀・▶で選び、▲・▼で内容を選ぶ



放送の種類

チャンネル

- 放送の種類 すべて / BS / CS / BS/CS 4K / 地デジ
 - チャンネル 指定した放送の種類やメディアに該当するチャンネル / すべて
- 3 指定が終わったら、決定を押す

「有料番組」を指定するとき

- 有料番組を検索対象に含めるかどうかを指定します。
- ① ▲・▼で「有料番組」を選び、**決定**を押す
- ② ▲・▼で「含む」、「含まない」のどちらかを選び、**決定**を押す

5 ▲・▼で「検索開始」を選び、**決定**を押す

- 選択中のタブの検索グループに、手順3で指定した検索条件が上書きで保存されます。

6 「番組検索結果」画面から、見たい番組を▲・▼で選んで**決定**を押す

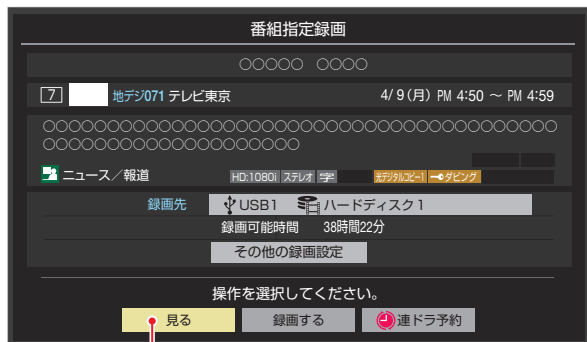
番組検索結果 4/9(月) PM 4:56

検索条件: ニュース/報道

団NEWS	放送中	7	地デジ071	4/9(月) PM 4:50	
首都圏のニュース団	放送中	4	地デジ041	4/9(月) PM 4:50	
Newsチャンネル	放送中	5	地デジ051	4/9(月) PM 4:50	
今日のニュース団	放送中	8	地デジ081	4/9(月) PM 4:50	
夕方のニュース		3	地デジ031	4/9(月) PM 5:00	
ニュース各地から		1	地デジ011	4/9(月) PM 5:05	
✓ 報道1回		6	地デジ061	4/9(月) PM 5:50	
ニュース(鷹の祭典)		1	地デジ011	4/9(月) PM 6:00	
ニュース		4	地デジ041	4/9(月) PM 6:45	

- 現在放送中の番組を選んだときは、「番組指定録画」画面が表示されます。
- これから放送される番組を選んだときは、「番組指定予約」画面が表示されます。[「番組表で予約をする」](#)の手順3をご覧ください。
- すべての放送が表示されているときに、**地デジ**を押すと地デジ放送だけ、**BS**を押すとBS放送だけ、**CS**を押すとCS放送だけ、**BS/CS 4K**を押すとBS・110度CSの4K放送だけの検索結果になります。

7 ▲・▼・◀・▶で「見る」を選び、決定を押す



「見る」を選びます。

- 選んだ番組の放送画面になります。

データ放送やラジオ放送を楽しむ

データ放送について

- デジタル放送では映像や音声によるテレビ放送以外に、データ放送があります。
- データ放送には、テレビ放送チャンネルとは別の独立したチャンネルで行われているデータ放送のほかに、テレビ放送チャンネルで提供されている番組連動データ放送や、番組案内、ニュース、天気予報などのデータ放送があります。

デジタル放送の双方向サービスについて

- インターネットや電話回線を利用して、視聴者と放送局との間で双方向に通信できるサービスです。クイズ番組に参加して回答したり、ショッピング番組で商品を購入したりすることができます(本機は、電話回線を利用した双方向サービスには対応しておりません)。
- 地上デジタル放送の双方向サービスには、放送番組に連動した通信サービスと、放送番組とは無関係な通信サービスがあります。



非リンク型サービス

放送番組とは無関係な通信サービスのときに表示されます。(文字表示は数秒で消えます)

ラジオ放送について

- ラジオ放送が運用されている場合は、本機で放送を聴くことができます。

Hybridcast™ (ハイブリッドキャスト)について

- 本機は、Hybridcast™ (ハイブリッドキャスト)のサービスに対応しています。
Hybridcast™ (ハイブリッドキャスト)は、放送と通信が連動・連携したサービスです。

連動データ放送を楽しむ

- 一部の番組には番組連動データ放送があります。双方向サービスが行われている番組連動データ放送では、番組に参加して楽しむことができます。
- テレビ放送チャンネルで、天気予報やニュース、番組案内などのデータ放送を提供している場合があります。

1 **dデータ**を押す

- 番組によっては押す必要がない場合があります。
- 放送画面に表示される操作メニューや操作説明などに従って操作をします。

2 データ放送を終了するには、**サブメニュー**を押し、▲・▼と**決定**で「その他の操作」⇒「データ放送終了」の順に進む

独立データ放送やラジオ放送を楽しむ

- BSデジタル放送などで運用される独立データ放送チャンネルやラジオ放送チャンネルを選ぶときの操作です。

1 放送の種類を選ぶ

- BSデジタルの独立データ放送やラジオ放送を視聴する場合は、**BS**を押します。

2 **サブメニュー**を押し、▲・▼と**決定**で「その他の操作」⇒「テレビ/ラジオ/データ切替」の順に進む

3 ▲・▼で「データ」または「ラジオ」を選び、**決定**を押す

- で他のチャンネルに切り換えられます。
チャンネル番号を入力して選ぶこともできます。
- データ放送やラジオ放送を終了するには、上記の操作で「テレビ」を選びます。

お知らせ

- 放送データの取得中は一部の操作ができないことがあります。
- 本機の放送切換ボタンとチャンネルボタンでは、データ放送とラジオ放送の選択やチャンネル切換はできません。
- 放送画面の操作説明などで、**dデータ**は「データボタン」、「データ放送ボタン」などと表示されることがあります。
- データ放送、Hybridcast™は録画できません。

■ 双方向サービスについて

- 双方向サービスを利用する場合は、あらかじめインターネットを利用するための接続(製品同梱の取扱説明書**19**)と[インターネットを利用するための設定](#)》をしてください。また、双方向サービスの利用には登録の申し込みなどが必要な場合があります。
- 双方向サービスでは、お客様の個人情報の入力を要求されることがありますが、接続先のサイトによってはSSLなどによる通信時のセキュリティ対策が行われていない場合があります。
- 双方向サービスの利用時は、通信に時間がかかり、次の操作がすぐにできないことがあります。
- 本機が動作中に電源プラグを抜かないでください。本機が記憶している双方向サービスでのお客様のポイント情報などが更新されないことがあります。
- 無線LANをご使用の場合、暗号設定が「暗号なし」のときは、利用できません。

■ Hybridcast™サービスについて

- Hybridcast™サービスを利用する場合は、あらかじめインターネットを利用するための接続(製品同梱の取扱説明書**19**)と[インターネットを利用するための設定](#)》をしてください。また、Hybridcast™サービスの利用には登録の申し込みなどが必要な場合があります。

まるとチャンネルで見る

まるとチャンネルを使う

- 主画面で放送や録画番組を楽しみながら、副画面では放送中の最大6チャンネル分の地上デジタル放送番組を、同時に表示することができます。
- ※ 副画面は約2コマ／秒の画像更新となります。
- 副画面で放送中の番組を選ぶと、そのチャンネルが選局され、主画面で楽しむことができます。

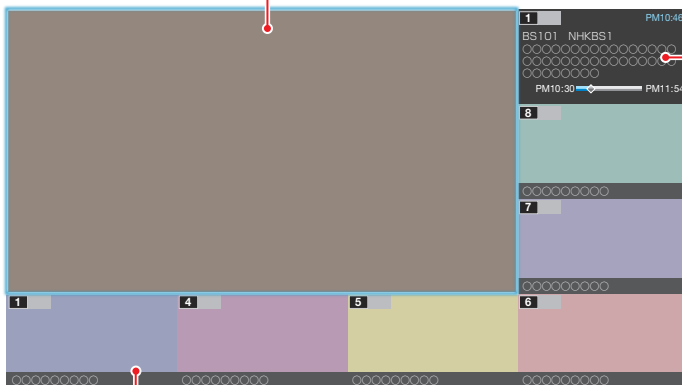
1 まるとchを押す

- まるとチャンネル画面が表示されます。

主画面

地上デジタル／BS／CS／BS/CS 4K／外部入力／通常録画番組／タイムシフトマシン録画番組／USB機器やネットワークメディアサーバー・SDカードの動画が表示されます。

例



情報表示エリア

主画面の情報が表示されます。

副画面

設定された地上デジタル放送の番組が最大6番組まで表示されます。放送中の番組画像が約2コマ／秒で更新されます。

2 ▲▼◀▶で副画面から番組を選ぶ

3 決定 または 始めにジャンプ を押す(※ 始めにジャンプ はタイムシフトマシン録画中の場合のみ有効)

- 決定 を押した場合
 - ・ 副画面で選択した番組が主画面に表示されます。
 - ・ 手順2で主画面を選択したときは、主画面の映像が全画面表示に切り換わります。
- 始めにジャンプ を押した場合
 - ・ 副画面で選択した番組がタイムシフトマシン録画中の場合、主画面にて頭出し再生されます。
 - ・ 手順2で主画面を選択したときは、主画面がタイムシフトマシン録画中または再生中の場合、頭出し再生されます。

4 まるごと ch を押す

- 主画面の番組が全画面に切り換わります。

お知らせ

- 録画番組のダビング中やタイムシフトマシン録画番組の保存中は、まるごとチャンネルは表示できません。
- 一部のケーブルテレビの自主放送などコンテンツ権利保護専用方式(RMP方式)を採用していない番組は、副画面に表示することができません。
- 公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどで、まるごとチャンネル画面表示をすると、著作権法で保護されている権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

まるごとチャンネルの表示を設定する

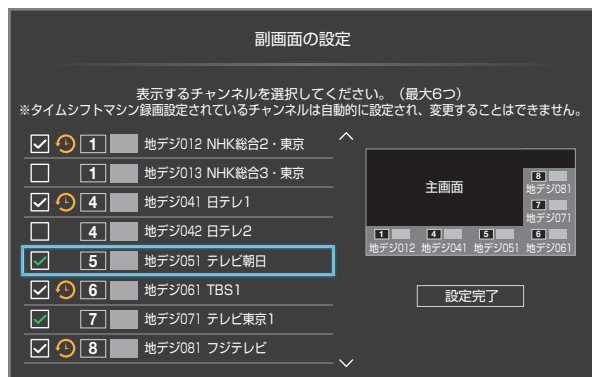
- まるごとチャンネルに表示するチャンネルを変更したいときに設定します。
- 最大6つの地上デジタル放送のチャンネルを表示できます。
- タイムシフトマシン録画に設定しているチャンネルは、自動的にまるごとチャンネルに表示されます。
タイムシフトマシン録画に6チャンネルを設定している場合は、まるごとチャンネルのチャンネルは変更できません。
- あらかじめタイムシフトマシン録画のチャンネルを設定しておくことをおすすめします。

1 まるごとチャンネル画面の表示中に「サブメニュー」を押し、▲・▼で「副画面の設定」を選び、決定を押す

- チャンネル設定画面が表示されます。

2 表示するチャンネルを▲・▼で選び、決定を押す

- 決定を押すたびに、☒ (指定する) と ☐ (指定しない) が交互に切り換わります。



- タイムシフトマシン録画に設定されているチャンネルは🕒が表示され自動で設定されます。タイムシフトマシン録画の設定については「[タイムシフトマシン録画の設定をする](#)」をご覧ください。

3 ▲・▼・◀・▶で「設定完了」を選び、決定を押す

まるとチャンネルで番組説明を見る

- 主画面または副画面で、選択中の番組の番組説明を見ることができます。

1 まるとチャンネル画面の表示中に を押し、▲・▼で「番組説明」を選び、 を押す

- 番組説明が表示されます。

まるとチャンネル中にできるリモコン操作

放送の種類やチャンネルを変える

- 主画面の放送の種類やチャンネルを変えることができます。詳しくは「[リモコンで番組を選ぶ](#)」をご覧ください。

主画面または副画面がタイムシフトマシン録画中のとき

- 番組の冒頭から見たり([▶「始めにジャンプ」](#))、少し戻って見たり([▶「ちょっとバック」](#))することができます。
- 副画面で選択した番組を、主画面にて頭出し再生、またはちょっとバック再生ができます。

主画面がタイムシフトマシン再生中の番組のとき

- リモコン操作については、[「タイムシフトマシン再生中にできるリモコン操作」](#)をご覧ください。
-  を押して、番組の冒頭に戻することもできます。

主画面が通常録画用USBハードディスクに録画した番組を再生中のとき

- リモコン操作については、[「録画番組の再生中にできるリモコン操作」](#) をご覧ください。
-  を押して、番組の冒頭に戻することもできます。
- まるごとチャンネル画面の表示中に  を押すと、まるごとチャンネル画面は終了して、録画リストが表示されます。

主画面が動画を再生中のとき

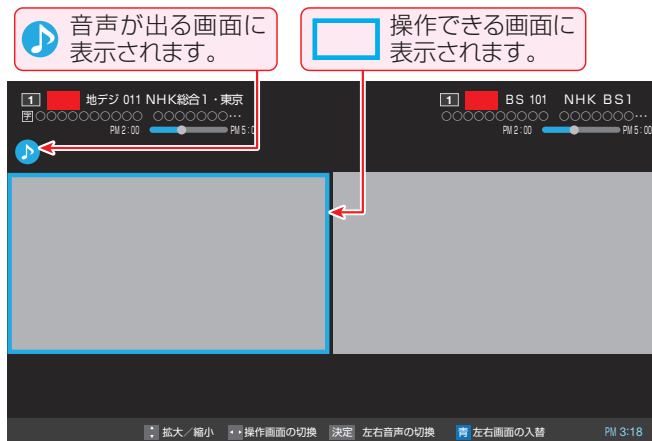
- リモコン操作については、[「動画再生時にできるリモコン操作」](#) をご覧ください。

二画面で楽しむ

- テレビ画面に二つの映像を映して楽しむことができます。

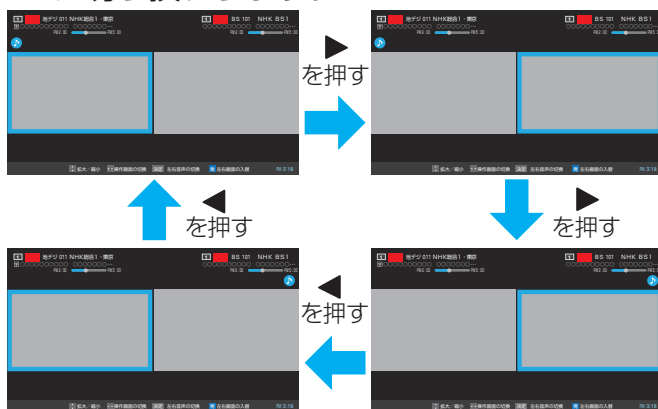
1 二画面を押す

- 二画面表示になります。



2 操作したい画面と音声を◀▶で選ぶ

- ◀▶を押すと、操作できる画面や音声が出る画面が以下のように切り換わります。



- 決定を押すと、左右画面の音声が交互に切り換わります。
- 青を押すと、左右の画面の映像が入れ替わります。

3 チャンネルや入力を選ぶ

- 左画面と右画面に映せる画面の組み合わせは下表のとおりです。

左画面	右画面
放送	放送
放送	外部入力
外部入力	放送

放送：地上デジタル／BS／110度CS／BS/CS 4K

外部入力：HDMI 1～4、ビデオ

- ※ 右の画面にBS・110度CSの4K放送を表示することはできません。

放送画面のチャンネルを切り換えるとき

- 「リモコンで番組を選ぶ」の操作をします。

HDMI入力やビデオ入力に切り換えるとき

- 「外部入力の画面に切り換える」の操作をします。

ただし、「HDMI連動機器を操作する」の操作はできません（HDMI連動対応オーディオ機器の音量操作などはできます）。

番組情報などを見る

- **画面表示** で番組情報の表示/非表示の切り換えができます。
- **サブメニュー** を押し、▲・▼と**決定** で「番組説明(左画面)」を選ぶと左画面の番組説明が、「番組説明(右画面)」を選ぶと右画面の番組説明が表示されます。

画面の大きさを変える

- 左画面を拡大することができます。
 - ・ ▲・▼を押すと、画面の大きさが段階的に変わります。
 - ・ ⏮・⏭を押すと、画面の大きさが大と小の2段階で変わります。
 - ・ 左画面の拡大につれて右画面は縮小されます。

字幕を表示する

- **サブメニュー** を押し、▲・▼と **決定** で「字幕」を選んで字幕の表示/非表示の切り換えができます。
 - ・ 字幕は音声が出る画面に表示されます。

視聴制限があるとき

- 視聴制限がある場合は画面中央にメッセージが表示され、番組名は伏せ字で表示されます。
- 視聴制限のある番組の視聴には、視聴制限設定が必要です。詳しくは[「視聴できる番組を制限する」](#)をご覧ください。

二画面を終了する

- 二画面を終了するときには、**二画面**、**戻る**、**終了** のいずれかを押します。
二画面が終了し、音声が出ている画面の一画面表示に戻ります。

お知らせ

- 二画面表示のときのHDMI連動機器からのワンタッチプレイは、外部入力を表示中は外部入力の画面が、表示していない場合は左画面が切り換わります。
- 二画面表示のときに視聴予約の番組が始まると、一画面表示に戻ります。
- 二画面表示のときはオートメディアプレーヤーは起動しません。
- HDR映像を右画面に表示した場合、正しく表示されません。

便利な機能を使う

画面サイズを切り換える

- 視聴している映像の種類に応じて、画面サイズを切り換えることができます。

1 サブメニュー を押し、▲・▼と 決定 で「画面サイズ切換」の順に進む

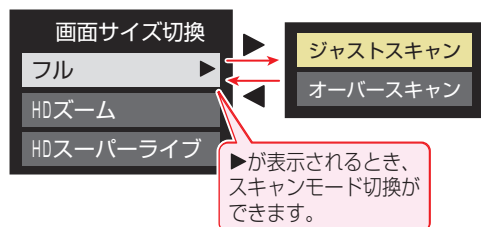
2 お好みの画面サイズを▲・▼で選び、決定 を押す

- 画面の見えかたについては、[「画面サイズについて」](#) » をご覧ください。

▶が表示されるとき

- 決定 を押す前に、必要に応じて以下の操作をします。

1 ▶を押し、お好みのモードを▲・▼で選ぶ



- ジャストスキャン……… 16:9の映像が画面内に収まるように表示させます。
- オーバースキャン……… 16:9の映像を少し大きめに表示させます。

降雨対応放送について

- BSデジタル放送や110度CSデジタル放送およびBS・110度CSの4K放送を視聴中に、雨や雪などで衛星からの電波が弱まった場合、放送局が運用していれば、降雨対応放送に切り換えて見ることができます。
- ※ 図のメッセージが表示された場合は、以下の手順で降雨対応放送に切り換えられます。
- ※ 降雨対応放送は、通常の放送よりも画質が低下します。

電波の受信状態が良くありません。
[サブメニュー] から「降雨対応放送」に切り換えられます。

コード：E201

- 1 **サブメニュー** を押し、▲・▼と **決定** で「その他の操作」⇒「信号切換」⇒「降雨対応放送切換」の順に進む

2 ▲・▼で「降雨対応放送」を選ぶ

- 降雨対応放送をやめるには、「通常の放送」を選びます。
- 電波が強くなると、自動的に通常の放送に戻ります。

他の映像・音声を切り換える

音声多重番組で聴きたい音声を選ぶ

- 音声多重放送番組の場合、主音声、副音声、主：副を切り換えることができます。
- 番組説明画面に **二重音声** のアイコンが表示されます。

1 **音声切換** を押す

- **音声切換** を押すたびに以下のように切り換わります。



- サブメニューの「音多切換」でも音声の切り換えができます。

音声を切り換える

- 複数の音声で放送されている番組の場合、音声1、音声2などの音声信号を切り換えることができます。
- 番組説明画面に「信号切換」のアイコンが表示されます。

1 「音声切換」を押す

- 「音声切換」を押すたびに以下のように切り換わります。



- サブメニューの「音声信号切換」(次の説明)でも音声の切り換えができます。

映像、音声を切り換える

- デジタル放送では、一つの番組に複数の映像がある場合があります、お好みで選択することができます。
- 番組説明画面に「信号切換」のアイコンが表示されます。

1 「サブメニュー」を押し、▲・▼と「決定」で「その他の操作」⇒「信号切換」の順に進む

2 切り換える信号を▲・▼で選び、「決定」を押す

- 視聴中の番組で切り換えのできない信号は、薄くなって表示されます。



3 視聴したい映像、音声を▲・▼で選び、を押す

- 「信号切換」のサブメニューに表示される「音声信号切換」、「音多切換」は、で選択する機能と同じです。

お知らせ

■ 信号切換について

- 選局操作をすると、信号切換で選択した状態は取り消されます(基本の信号を選択した状態になります)。
ただし音多切換と字幕切換では、選局しても状態は取り消されません。

映像を静止させる

- 映像の動きを止めることができます。料理番組のレシピや、視聴者プレゼントの応募先などをメモするときに便利です。

1 を押す

- 解除するときは、もう一度 を押します。
- 映像の静止中でも音声は流れ続けます。

お知らせ

- ラジオ、データ放送視聴中は静止画にできません。また、映像の静止中にデータ放送の操作はできません。
- 字幕放送の場合、映像の静止中に字幕は表示されません。
- 選局操作をすると静止画が解除されます。
- テレビを公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどで「静止画」を使用すると、著作権法で保護されている権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
- 映像を静止中に、入力されている信号が切り換わると、静止が解除されることがあります。

映像の詳細情報を表示させる

- **画面表示** を押したときに、視聴している映像の詳細な信号フォーマット情報が表示されるように設定することができます。

例

信号情報

解像度	: 1920 × 1080
走査方式	: インターレース
垂直周波数	: 60Hz
色深度	: 24bit
RGB/YUV	: YUV
クロマフォーマット	: 4 : 2 : 0
映像フォーマット	: H.264/AVC
音声フォーマット	: AAC/ステレオ

- お買い上げ時は表示されないように設定されています。表示させたい場合は、「オン」に設定してください。

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「その他の設定」⇒「詳細機能設定」⇒「信号フォーマット詳細表示設定」の順に進む

- 2 ▲・▼で「オン」または「オフ」を選び、**決定** を押す

- ・ **オン**… **画面表示** を押したときに信号フォーマットの詳細な情報が表示されます。
- ・ **オフ**… 信号フォーマットの詳細な情報は表示されません。

省エネ設定をする

- 省エネに関するさまざまな設定をすることができます。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「その他の設定」⇒「詳細機能設定」⇒「省エネ設定」の順に進む

- 「省エネ設定」の画面が表示されます。

2 設定する項目を▲・▼で選び、**決定** を押す

節電モード	標準
番組情報取得設定	取得する
無操作自動電源オフ	動作しない
オンエアー無信号オフ	待機にする
外部入力無信号オフ	待機にする

3 お好みの設定を▲・▼で選び、**決定** を押す

- 以降の説明を参照し、設定してください。

節電モード

- 液晶画面のバックライトの明るさをおさえることで本機の節電ができます。
- 「節電1」、「節電2」に切り換えた場合、画面の明るさをおさえて、その明るさに適した画質に自動調整されます。
- **標準**… 標準の明るさです。
- **節電1**・画面の明るさを「標準」よりもおさえて、節電します。
- **節電2**・画面の明るさを「節電1」よりもおさえて、さらに節電します。

番組情報取得設定

- 番組表機能や予約機能を正しく働かせるために、「取得する」で使用することをおすすめします。
- **取得する**
電源が「待機」や「切」のときに、デジタル放送の番組情報を取得します。取得時に電力を消費します。
- **取得しない**
番組情報を取得しません。そのため、番組表の内容が表示されなかったり、予約できなかったり、番組検索ができなかったりすることがあります。

無操作自動電源オフ

- **待機にする**
本機の無操作状態が約3時間続くと、電源が「待機」になります。
- **動作しない**
テレビの無操作状態が続いても電源は「入」のままです。

オンエアー無信号オフ

- **待機にする**
放送受信時に、無信号状態が約15分間続くと、電源が「待機」になります。
 - **動作しない**
無信号状態が続いても電源は「入」のままです。
- ※ 外部入力を選んでいるときは機能しません。

外部入力無信号オフ

- **待機にする**
外部入力選択時に、無信号状態が約15分間続くと、電源が「待機」になります。
- **動作しない**
無信号状態が続いても電源は「入」のままです。

声を聴き取りやすくする

- 人の声を強調して背景の音を抑え、声を聴きやすくします。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「音声設定」⇒「音声メニュー」の順に進む

2 ◀▶で「クリア音声」を選び

- 「クリア音声」にすると、人の声が強調されます。

お知らせ

- テレビを公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどで「クリア音声」を使用すると、著作権法で保護されている権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

ヘッドホンで聴く

- ヘッドホンで聴くときの音の出かたを設定します。
- ヘッドホン出力設定には「通常モード」と「親切モード」があります。お買い上げ時は「通常モード」に設定されています。
- ※ ヘッドホン出力設定の設定のしかたについては、「ヘッドホン／音声出力設定」をご覧ください。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「音声設定」⇒「音声出力詳細設定」⇒「ヘッドホン／音声出力設定」⇒「ヘッドホン出力設定」の順に進む

● 通常モード

ヘッドホンだけで音声を聞くモードです。ヘッドホンのプラグを差し込むと、スピーカーから音声が出なくなります。

● 親切モード

ヘッドホンとスピーカーの両方で音声を聞くモードです。家族で視聴する場合など、スピーカーの音声聞き取りにくい人がヘッドホンまたはイヤホンで聴くというような使いかたができます。

- 親切モードのとき、スピーカーの音量は  で調節します。

ヘッドホンの音量調節のしかた

- 「通常モード」に設定しているときは、 で調節します。
- 「親切モード」に設定して、ヘッドホンを接続しているときは、以下の手順で調節します。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼と **決定** で「その他の操作」⇒「親切ヘッドホン音量」の順に進む

- ヘッドホンを接続していないときは、選択できません。

2 ◀▶で音量を調節する

-  でも調節できます。

ご注意

- ヘッドホンで聴くときは、必ず「ヘッドホン／音声出力設定」の「出力設定」を「ヘッドホン」にしてください。

外部スピーカーで聴く

- ヘッドホン／音声出力端子に音声出力機器を接続して聴くときの音の出かたを設定します。

1  を押し、▲・▼で「スピーカー切換」を選び、 を押す

2 ▲・▼で「音声出力」を選び、 を押す

- 本機のスピーカーからは音は出ません。
- 「音声出力設定」が「固定」の場合は、接続した外部音声出力機器で音量を調節します。
「可変」の場合は、本機のリモコンで音量を調節できます。
- ※ 「音声出力設定」の設定のしかたについては、[「ヘッドホン／音声出力設定」](#)をご覧ください。

時計を表示する

- 画面に時計を表示させます。

1  を押し、▲・▼と  で「時計」⇒「時計表示」の順に進む

2 ▲・▼を押して、「大きいサイズ」、「小さいサイズ」または「オフ」を選び、 を押す

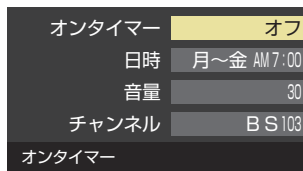
- 「オフ」を選ぶと時計表示を消します。

自動で電源が入るようにする

- 設定した時刻に本機の電源が「入」になります。
- 目覚まし時計として使うこともできます。

1 サブメニューを押し、▲・▼と決定で「時計」⇒「オンタイマー」の順に進む

2 以下の手順で設定する

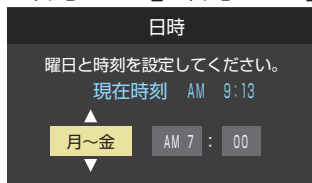


オンタイマー

- オンタイマーを使用する、使用しないを設定します。
 - 1 ▲・▼で「オンタイマー」を選び、決定を押す
 - 2 ▲・▼で「オン」を選び、決定を押す
- オンタイマーを設定したあとにオンタイマーを解除する場合は、上記の操作で「オフ」を選びます。

日時

- オンタイマーで本機の電源を「入」にする日時を設定します。
 - 1 ▲・▼で「日時」を選び、決定を押す
 - 2 設定する項目を◀▶で選び、▲・▼で日時を選ぶ
- 曜日は「1回」、「毎日」、「毎週(日)」～「毎週(土)」、「月～木」、「月～金」、「月～土」の中から選びます。



3 設定が終わったら、決定を押す

音量

- オンタイマーで電源が「入」になったときの音量を設定できます。
- ① ▲・▼で「音量」を選び、を押す
- ② ▲・▼でお好みの音量を選び、を押す
- を押すと、選んだ音量を聴くことができます。もう一度押すと、元の音量に戻ります。
- ③ 設定が終わったら、を押す
- ※ サウンドシステムスピーカーから音声が出力されている場合は、設定は出力に反映されません。この場合、を押しても、選んだ音量を聴くことができません。

チャンネル

- オンタイマーで電源が「入」になったときに、画面に映すチャンネルを設定します。
- ① ▲・▼で「チャンネル」を選び、を押す
- ② 設定する項目を◀▶で選び、▲・▼で内容を選ぶ
 - 放送の種類
ラストチャンネル／地デジ／BS／CS／BS/CS 4K
 - チャンネル
設定した放送の種類に該当するチャンネル
- ※ ラストチャンネルは、電源を切る前に見ていたチャンネルになります。(番組予約により選局できない場合は、番組予約したチャンネルになります)
- ③ 設定が終わったら、を押す

お知らせ

■「オンタイマー」について

- 本体の電源ボタンで電源を切ると「オンタイマー」が働きません。リモコンの電源ボタンで電源を切ってください。
- オンタイマーで電源がはいつてから約1時間操作をしなかった場合には、電源が自動的に「待機」になります。
- オンタイマーと番組予約が重なっていた場合には、ラストチャンネルで電源がはいることがあります。音量は、オンタイマーで設定した大きさになります。
- オンタイマーを「1回」に設定し、指定した時刻に電源がはいつていた場合、オンタイマーは次の日に延期されます。

自動で電源が切れるようにする

- オフタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて、「待機」の状態になります。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼と **決定** で「時計」⇒「オフタイマー」の順に進む

2 電源が切れるまでの時間を▲・▼で選び、**決定** を押す



- 電源が切れる1分前になると、画面にメッセージが表示されます。
- オフタイマーが設定されているときに **サブメニュー** を押し「時計」を選択して **決定** を押すと、「オフタイマー」の項目に電源が切れるまでの残り時間が表示されます。
- オフタイマーを設定したあとにオフタイマーを解除する場合は、上記の操作で「使用しない」を選びます。

お知らせ

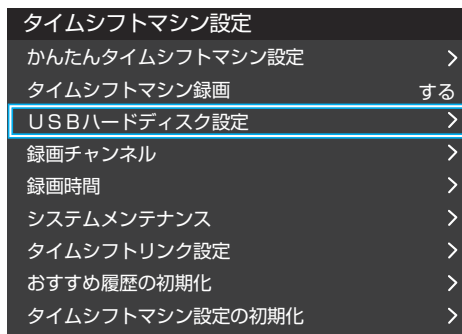
■ 「オフタイマー」について

- 設定後に電源を切ったり「待機」にしたりすると、設定が取り消されます。

タイムシフトマシン録画の設定をする

手動でタイムシフトマシン設定をする

- タイムシフトマシン録画で使用する機器や録画するチャンネル、録画する時間帯などを手動で設定できます。

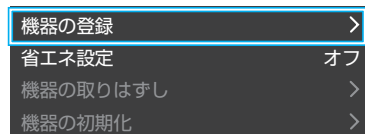


USBハードディスクの設定をする

- USBハードディスクを使用する場合は、必要に応じて以下の設定をします。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「タイムシフトマシン設定」⇒「USBハードディスク設定」の順に進む

2 設定する項目を▲・▼で選んで **決定** を押し、以降の手順で設定する



タイムシフト録画用機器の登録

- 製品同梱取扱説明書の「かんたんタイムシフトマシン設定をする」の手順1で「いいえ」を選んだときなど、タイムシフト録画用A、B増設用端子に接続したUSBハードディスクをあとから登録するときは以下の手順で操作します。
- 登録した機器を解除することもできます。

登録するとき

※登録するときには、USBハードディスクに保存されている内容はすべて消去されます。

- 1 タイムシフトマシン録画用機器の登録画面で、を押す
- 2 登録の確認画面で、◀▶で「はい」を選んでを押す
- 3 初期化の確認画面で、◀▶で「はい」を選んでを押す
 - ・ 初期化と登録の処理が始まります。
- 4 終わったら、登録結果の内容を確認し、を押す

登録を解除するとき

- 一度解除したUSBハードディスクを再度登録するときは、初期化され、保存されている録画番組はすべて消去されます。
- 1 タイムシフトマシン録画用機器の登録画面で、を押す
 - 2 ◀▶で「はい」を選び、を押す

機器の取りはずし

- USBハードディスクの取りはずしの操作をする前に、「タイムシフトマシン設定」⇒「タイムシフトマシン録画」の設定を「しない」にしておきます。
- USBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりするときには、その前にこの操作をします。
 - ① 取りはずす機器を▲▼で選び、を押す
 - ② 確認画面で、◀▶で「はい」を選んでを押す
 - ・ 停止の処理が始まり、終了すると「USBハードディスクを取りはずしできます。」のメッセージが表示されます。
 - ③ USBハードディスクを取りはずし、を押す

機器の初期化

- USBハードディスクの初期化をする前に、「タイムシフトマシン設定」⇒「タイムシフトマシン録画」の設定を「しない」にしておきます。
- 正常に使用できなくなったUSBハードディスクは、初期化をすれば使用できるようになる場合があります。

※ 初期化をすると、選んだUSBハードディスクに保存されている録画番組はすべて消去されます（「タイムシフトマシン録画設定」の設定内容は消去されません）。

- ① ◀▶で「はい」を選び、を押す
- ② 確認画面で、◀▶で「はい」を選んでを押す
- ③ 初期化終了の画面でを押す

タイムシフト録画用機器を省エネに設定する

1 **設定** を押し、▲・▼と**決定** で「タイムシフトマシン設定」⇒「USBハードディスク設定」⇒「省エネ設定」の順に進む

2 ▲・▼で以下から選び、**決定** を押す

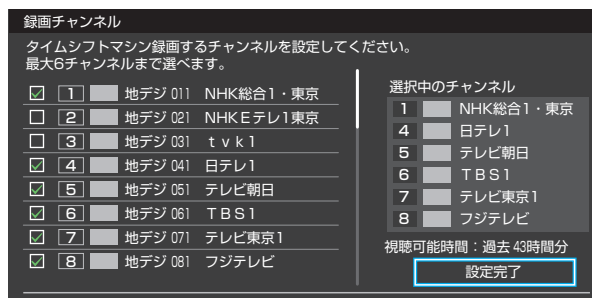
- ・ オン…タイムシフトマシンの機能が使われない状態が続くと、ハードディスクの電源が「待機」になります。[過去番組表](#)が表示されるまでに時間がかかるようになります。
- ・ オフ…本機の電源が「入」のとき、ハードディスクの電源は常に「入」になります。

録画するチャンネルを設定する

1 **設定** を押し、▲・▼と**決定** で「タイムシフトマシン設定」⇒「録画チャンネル」の順に進む

2 ▲・▼でチャンネルを選び、**決定** を押す

- **決定** を押すたびに☒と☐が交互に切り換わります。録画するチャンネルに☒をつけます。



3 チャンネルの指定が終わったら、▶で「設定完了」を選び、**決定** を押す

4 メッセージが表示された場合は以下の操作をする

- ◆これ以上指定できません。
- 録画チャンネル数を6以内にします。
- ◆チャンネルが指定されていません。
- チャンネルを一つ以上指定します。
- ◆チャンネル数を変更した場合はすべてのタイムシフトマシン録画番組が削除されます。
- 削除されてもよい場合は、「はい」を選びます。
- 「いいえ」を選ぶと手順2に戻ります。設定を中止する場合は  を押します。
- ◆タイムシフトマシン録画を一時停止します。設定変更後にタイムシフトマシン録画は自動的に再開します。
- 一時停止してもよい場合は、「はい」を選びます。
- 「いいえ」を選ぶと手順2に戻ります。設定を中止する場合は  を押します。

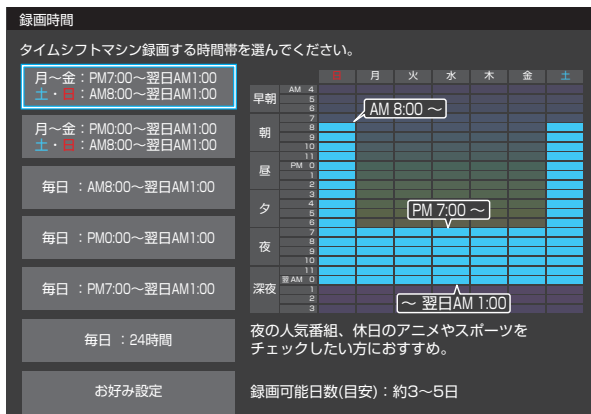
5 「設定を変更しました」が表示されたら、 を押す

録画する時間を設定する

- タイムシフトマシン録画をする曜日と時間帯を設定することができます(チャンネルごとの設定はできません)。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「タイムシフトマシン設定」⇒「録画時間」の順に進む

2 ▲・▼で録画する時間帯を選び、**決定** を押す



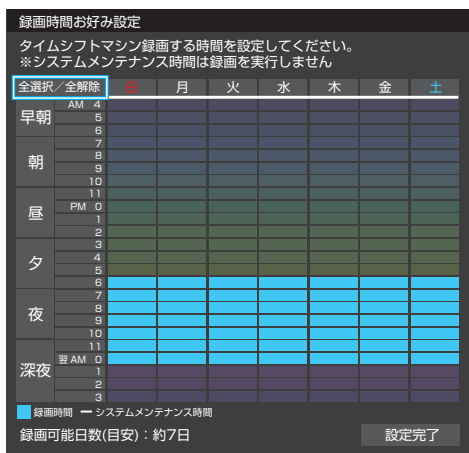
- ご希望の時間帯がないときは、「お好み設定」を選ぶとお好み設定画面が表示されます。以下の操作で設定します。

お好み設定

- お好み設定画面で以下の設定をします。

1 ▲・▼・◀・▶で録画時間を選び、決定を押す

- 決定を押すたびに設定と解除が交互に切り換わります。
- 「全選択」を選ぶと、全時間の設定ができます(全時間が設定されている場合は、「全解除」ができます)。
- 曜日や時間帯のボタンを選ぶと、その列や行すべての時間を設定/解除できます。



2 設定が終わったら、「設定完了」を選び、決定を押す

- 黄を押しても同様の操作ができます。

3 メッセージが表示された場合は以下の操作をする

- 録画時間が設定されていません。
 - 録画時間帯を一つ以上設定します。

タイムシフトマシン録画をする

1 **設定** を押し、▲・▼と**決定** で「タイムシフトマシン設定」⇒「タイムシフトマシン録画」の順に進む

2 ▲・▼で「する」を選び、**決定** を押す

- タイムシフトマシン録画を開始します。

システムをメンテナンスする

- システムメンテナンスをすることで、システム内のデータが整理され、効率的に動作するようになります。

毎日自動的に実行する

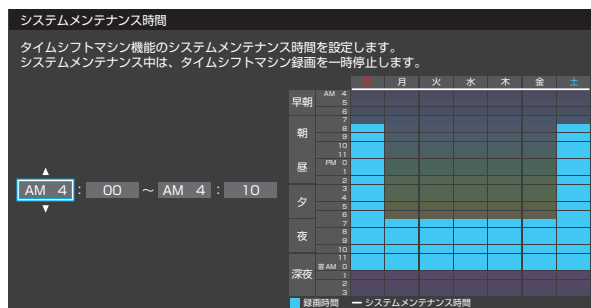
- 設定した時刻に毎日自動的にシステムメンテナンスが実行されます。
- システムメンテナンスの実行中はタイムシフトマシン録画が実行されません。

1 **設定** を押し、▲・▼と**決定** で「タイムシフトマシン設定」⇒「システムメンテナンス」⇒「システムメンテナンス時間」の順に進む

システムメンテナンス時間 AM 4:00～AM 4:10
システムメンテナンスの実行 >

2 ◀▶で「時」、「分」の欄を選び、▲・▼で開始時刻を設定する

- 開始時刻は10分単位で設定できます。システムメンテナンスの所要時間は約10分間です。



3 設定が終わったら、を押す

手動で今すぐ実行する

※ 実行中の通常録画用USBハードディスクへの録画、ダビング、タイムシフトマシン録画、保存などは中止されます。

1  を押し、▲・▼と  で「タイムシフトマシン設定」⇒「システムメンテナンス」⇒「システムメンテナンスの実行」の順に進む

2 ◀▶で「はい」を選び、 を押す

- 本機の電源がいったん切れてから「入」になり、システムメンテナンスが開始されます。
- システムメンテナンスが終了するまでの約10分間は操作できません。

おすすめ履歴を初期化する

● おすすめ履歴をお買い上げ時の状態に戻します。

1  を押し、▲・▼と  で「タイムシフトマシン設定」⇒「おすすめ履歴の初期化」の順に進む

2 初期化の確認画面で、◀▶で「はい」を選んで  を押す

3 初期化が終了したら、 を押す

タイムシフトマシン録画機能を初期化する

- タイムシフトマシン機能にエラーが発生するようなときに、初期化をすると改善される場合があります。
- 「タイムシフトマシン設定の初期化」は、タイムシフトマシン録画番組がすべて消去されます。また、「タイムシフトマシン録画設定」の設定内容も消去されますので、設定し直してください。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「タイムシフトマシン設定」⇒「タイムシフトマシン設定の初期化」の順に進む

- [「タイムシフトマシン録画」](#)の設定を「しない」にしておきます。

2 初期化の確認画面で、◀▶で「はい」を選んで **決定** を押す

3 初期化が終了したら、**決定** を押す

タイムシフトリンクに関連する機能

タイムシフトリンク設定	>
おすすめ履歴の初期化	>

- 「タイムシフトリンク機能」は、同一ネットワーク上に接続した、ホームサーバ機能が搭載されている他のタイムシフトマシン対応の東芝レコーダーや東芝レグザのタイムシフトマシン録画の番組を、本機の過去番組表やざんまいスマートアクセスに表示して、再生、操作ができる機能です。

詳しくは、[「タイムシフトリンク機能を使う」](#) をご覧ください。

- 「タイムシフトリンク省エネ設定」は、タイムシフトリンク使用時の省エネの設定をします。

詳しくは、[「タイムシフトリンク省エネ設定をする」](#) をご覧ください。

録画・予約機能について

録画できる機器と番組

- 本機背面のUSB (通常録画) 端子に接続した**USBハードディスク**および**レグザリンク対応の東芝レコーダーにデジタル放送番組**を録画できます(データ放送、ラジオ放送番組、外部入力(HDMI1～4、ビデオ入力)、クラウドサービスやネットワークサービスで視聴している動画配信サービスからの映像・音声は録画できません)。
- 接続については、製品同梱の取扱説明書の「録画機器を接続する」**[29]**をご覧ください。

* レグザリンク対応の東芝レコーダーの場合

- レグザリンク(HDMI連動)機能を使って本機の操作で録画・予約をします。
- 録画・予約の操作を終了した時点で本機の関与が終了します。予約内容の確認や取り消し、録画の中止などの操作は本機側ではできません(本機の番組表に予約アイコンが表示されないほか、予約リスト、録画リストなどにも内容は表示されません)。
- 録画されるのはレコーダー自身が受信したデジタル放送番組です。字幕放送番組の字幕などの録画については、機種や録画設定などによって異なりますので、レコーダーの取扱説明書でご確認ください。

接続・設定と録画前の準備

録画する機器	録画前の準備
USBハードディスク (注)	• USBハードディスクの電源を入れておきます。 • USBハードディスクの残量を確認します。>>「機器の情報を確認する」 • 「すべて」のタブの録画リストで「録画番組数」を確認します。>>「録画した番組を再生する」 ※残量不足や番組数超過(3000を超過)になりそうな場合は、不要な番組を削除します。>>「一つの録画番組を消す」
レグザリンク対応の 東芝レコーダー	• ハードディスクの残量などを確認し、不要な番組を削除しておきます。 ※録画先はハードディスクだけです。記録メディアに直接録画することはできません。

(注) USBハードディスクは、本機に登録しないと録画できません。

- 録画や録画予約の操作をしたときに接続した機器が選択できないときは、「[機器の登録](#)」>>を参照し、登録してください。
- USBハードディスクは専用のACアダプターを接続してご使用ください。ACアダプターを使用しない場合は動作保証できません。本機で接続確認済のUSBハードディスクについては、ホームページ(<https://www.regza.com/regza/>)をご覧ください。

※USBハードディスクの最大予約件数は128です。最大録画番組数は3000です。

USBハードディスクの自動削除機能について

- USBハードディスクの容量が足りない場合に、保護されていない日付の古い録画済番組から自動的に削除する機能で、お買い上げ時は「[自動削除設定](#)」>>が「削除する」に設定されています。

ご注意

● USBハードディスクについて

USBハードディスクは精密機器であり、使用環境などによっては数年で故障する可能性があります。

本機に接続したUSBハードディスクを録画した内容の長期保存として使用しないでください。一時的な保存・再生機能としてご使用ください。

お知らせ

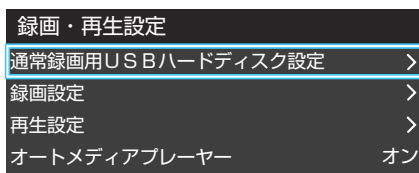
- USBハードディスクでの録画中に停電したり、電源プラグを抜いたりすると、途中まで録画した番組は正しく保存されません(「[録画番組を修復する](#)」の操作をすれば、録画された内容を再生できるようになることがあります)。
- 予約録画の開始時に、自動削除機能によって削除される番組が多い場合は、番組の冒頭部分が録画されないことがあります。
- 録画番組の再生中に予約録画の開始時刻になると、再生が自動的に停止することがあります。
- 万一、本機の故障や受信障害などによって正常に録画・録音できなかった場合の補償は一切できませんので、あらかじめご了承ください。

USBハードディスクの設定をする

USBハードディスクの設定をする

- USBハードディスクを使用する場合は、必要に応じて以下の設定をします。

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「録画・再生設定」⇒「通常録画用USBハードディスク設定」の順に進む



- 2 設定する項目を▲・▼で選んで **決定** を押し、以降の手順で設定する

機器の登録

- リストに「未登録」と表示されているUSBハードディスクを登録したり、機器の登録名を変更したり、登録を解除したりすることができます。
- ※ 登録できるのは8台までです。
- ※ USBハードディスクによっては、機器の登録画面でモデル名が正しく表示されないことがあります。

機器を登録するとき

※ はじめて登録するときには、USBハードディスクに保存されている内容はすべて消去されます。

- ① 登録する機器を▲・▼で選び、を押す
- ② 登録の確認画面で、◀▶で「はい」を選んでを押す
- ③ 初期化の確認画面で、◀▶で「はい」を選んでを押す
 - ・ 初期化と登録の処理が始まります。
- ④ 終わったら、登録結果の内容を確認し、を押す

登録名を変更するとき

- ① 登録名を変更する機器を▲・▼で選び、を押す
- ② ◀▶で「はい」を選び、を押す
- ③ 文字入力画面で登録名を入力する
 - ・ 文字入力の方法は、[「文字を入力する」](#) » をご覧ください。

登録を解除するとき

- ① 登録を解除する機器を▲・▼で選び、を押す
- ② ◀▶で「はい」を選び、を押す
- 録画予約が設定されているUSBハードディスクの登録を解除するときは、以下の画面が表示されます。
 - ・ 他の登録済USBハードディスクが接続されているとき
録画先の変更を促すメッセージ付の登録解除画面が表示されます。
 - ・ 他の登録済USBハードディスクが接続されていないとき
再登録を促すメッセージ付の登録解除確認画面が表示されます。

省エネ設定

- 複数のUSBハードディスクに対して個別に設定を変えることはできません。
- ※ 「省エネモード」に設定した場合、USBハードディスクが動作するまでに時間がかかることがあります。「ハードディスクがありません。」や、録画可能時間が「--時間--分」と表示されるような場合は、少し待ってから操作してください。
- ※ USBハードディスクによっては、機器の表示ランプが「待機」と「入」の状態を正しく示さないことがあります。
- ※ USBハードディスクによっては、「オフ」に設定していても、USBハードディスク側の省エネ機能によって、待機状態になることがあります。
- ※ 本機の電源が「切」または「待機」のときでも、「自動スキャン」や「番組情報の取得」が内部で動作している場合には、USBハードディスクの電源が「入」になることがあります。
- ※ USBハブを使用している場合、本機の電源が「切」または「待機」のときでも、USBハブからの電源供給によって、USBハードディスクの電源が「入」になることがあります。

① ▲▼で以下から選び、決定を押す

- **オン** … USBハードディスクの電源は、使用しない状態がしばらく続くと待機状態になり、使う操作をすると自動的に「入」になります。
- **オフ** … 本機の電源が「入」のとき、USBハードディスクの電源は常時「入」の状態です。

機器の取りはずし

- USBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりするときには、その前にこの操作をします。
- ① 取りはずす機器を▲▼で選び、**決定**を押す
- ② 確認画面で、◀▶で「はい」を選んで**決定**を押す
 - ・ 停止の処理が始まり、終了すると「USBハードディスクを取りはずしできます。」のメッセージが表示されます。
- ③ USBハードディスクを取りはずし、**決定**を押す

動作テスト

- USBハードディスクで以下の動作ができるかテストします。
- ① テストする機器を▲▼で選び、**決定**を押す
- テストが始まります。終了までに数分間かかります。
- テストが終わると結果が表示されます。テスト結果が「OK」となった動作ができます。
 - ・ 録画
 - ハイビジョン画質で録画ができるか
 - ・ 録画中の再生
 - ハイビジョン画質で録画しながら番組再生ができるか
 - ・ 録画中の早見早聞
 - 録画中にハイビジョン番組の**早見早聞**ができるか、録画中に4K番組の再生ができるか
- ※ テスト結果は目安です。結果どおりの動作にならないことがあります。

機器の初期化

- 正常に使用できなくなったUSBハードディスクは、初期化をすれば使用できるようになることがあります。

※ 初期化をすると、USBハードディスクに保存されている内容はすべて消去されます。

- ① 初期化する機器を▲▼で選び、を押す
- ② 初期化の確認画面で、◀▶で「はい」を選んでを押す
- ③ 初期化終了の画面でを押す

録画の基本的な設定をする

- USBハードディスクでの録画・再生に関する基本的な設定をすることができます。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「録画・再生設定」⇒「録画設定」の順に進む

2 以降の手順で設定する

録画先機器の設定	USB 1
マジックチャプター設定	本編

録画に使用する機器を設定する

- 複数のUSBハードディスクを本機に登録している場合に、録画に使用する機器を設定します。

1 ▲・▼で「録画先機器の設定」を選び、**決定** を押す

録画先機器の設定	USB 1
マジックチャプター設定	本編

2 録画に使用する機器を▲・▼で選び、**決定** を押す

録画先機器の設定		
USB 1		ハードディスク 1
USB 2		ハードディスク 2
USB 3		ハードディスク 3

CHAPTER 分割のしかたを設定する

- シーンの変わり目でCHAPTER分割(章分け)されるように設定できます(CHAPTER分割をすると、再生時にCHAPTERスキップができるようになります)。

1 ▲・▼で「マジックCHAPTER設定」を選び、**決定**を押す

2 CHAPTER分割の場面を▲・▼で選び、**決定**を押す



- **本編** …………… 本編とCMの間でCHAPTER分割されます。
 - **音楽** …………… 楽曲の前後でCHAPTER分割されます。
 - **本編と音楽** …… 上記の両条件でCHAPTER分割されます。
 - **オフ** …………… CHAPTER分割をしません。
- ※ 音楽の検出は番組のメインジャンルが「音楽」または、メインジャンルが「バラエティ」でサブジャンルが「音楽バラエティ」のときにだけ行われます。

レグザリンクダビングの 接続・設定をする

- 本機でUSBハードディスクに録画した番組をレグザリンクダビング対応のDTCP-IP対応サーバーや、東芝レコーダーにダビングすることができます。
- ダビングの操作については「[録画番組をダビング\(ムーブ\)する](#)」※、「[東芝レコーダーにダビングしてディスクに保存する](#)」※をご覧ください。
- レグザリンクダビング対応のDTCP-IP対応サーバーと本機を接続する場合は、製品同梱の取扱説明書の「機器を接続する」と同じです。

東芝レコーダーと本機を接続する

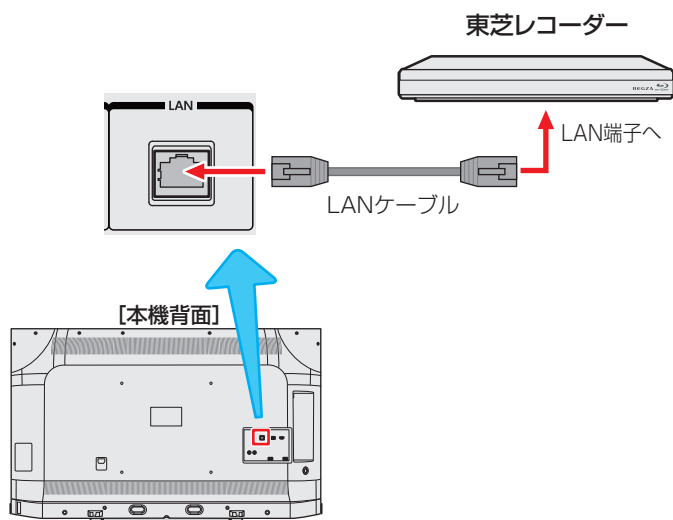
- 接続にはLANケーブルを使用します(ストレートタイプ、クロスタイプのどちらも使用可能)。カテゴリ5 (CAT5)と表示された規格以上のものをご使用ください。

ルーターを経由して接続する場合

- ホームネットワークの接続やインターネットへの接続をしている場合は、製品同梱の取扱説明書の「ホームネットワークについて」と同じです。本機と東芝レコーダーのLAN端子をブロードバンドルーターのLAN端子に接続します。
- ※ 無線LANで接続した場合は、通信が不安定になり、正常にダビングできないことがあります。

本機と東芝レコーダーを直接接続する場合

- ホームネットワークやインターネットへの接続をしない場合や、他のネットワーク機器の通信による影響を受けないようにしたい場合は、本機と東芝レコーダーのLAN端子を直接接続します。



東芝レコーダーと本機を設定する

ルーターを経由して接続した場合

東芝レコーダーの設定をする

- 東芝レコーダーの取扱説明書の「ネットワーク機能の設定をする」を参照して、以下のように設定・登録します。

項 目	設 定
イーサネット利用設定	利用する
本体名、本体ユーザー名、本体パスワード、グループ名、グループパスワード	任意
ダビング要求	受け付ける
ネットdeレック/サーバー設定 またはレグザリンク連携機器設定	使う(フィルタ制限なし)
DHCP(自動取得)	使う
DNS(自動取得)	使う

- 「接続テスト」をして「OK」が表示されることを確認します(インターネットに接続されている場合だけ)。

本機の設定をする

- お買い上げ時の設定(IPアドレス設定、DNSアドレス(IP v 4)ともに自動取得)にします。

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「ネットワーク・サービス設定」
⇒「ネットワーク接続設定」⇒「ネットワーク情報」の順に進む

- 表示される画面で「IPアドレス」と「DNSアドレス」が「自動取得」になっていることを確認します。

かんたんネットワーク設定	>
詳細設定	>
接続テスト	>
ネットワーク情報	>

「手動設定」になっている場合

- 以下の操作で「自動取得」に設定します。
- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「ネットワーク・サービス設定」⇒「ネットワーク接続設定」⇒「詳細設定」⇒「アドレス設定（IPv4）」の順に進む
- 2 ▲・▼で「IPアドレス」を選び、**決定** を押す
- 3 ▲・▼で「自動取得」を選び、**決定** を押す

アドレス設定（IPv4）

IPアドレス

自動取得

アドレス

サブネットマスク

デフォルトゲートウェイ

DNSアドレス

自動取得

プライマリアドレス

セカンダリアドレス

プロキシサーバー

使用する

サーバー名

ポート番号

設定完了

- 4 設定内容を確認し、▲・▼で「設定完了」を選んで **決定** を押す
 - 「IPアドレス」、「DNSアドレス」とともに「自動取得」になります。
- 2 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「ネットワーク・サービス設定」⇒「ネットワーク接続設定」⇒「接続テスト」を選び、**決定** を押す
- インターネットに接続していない場合は、本操作は必要ありません。
 - インターネットに接続している場合は、「インターネットに接続できました。」が表示されることを確認します。

本機と東芝レコーダーを直接接続した場合

東芝レコーダーの設定をする

- 東芝レコーダーの取扱説明書の「ネットワーク機能の設定をする」を参照して、以下のように設定・登録します。

項 目	設 定
イーサネット利用設定	利用する
本体名、本体ユーザー名、本体パスワード、 グループ名、グループパスワード	任意
ダビング要求	受け付ける
ネットdeレック/サーバー設定 またはレグザリンク連携機器設定	使う(フィルタ制限なし)
DHCP(自動取得)	使わない
IPアドレス	192.168.1.15
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1
DNS(自動取得)	使わない
DNSサーバー	192.168.1.1

本機の設定をする

- 1 **設定** を押し、▲▼と**決定** で「ネットワーク・サービス設定」⇒「ネットワーク接続設定」⇒「詳細設定」⇒「アドレス設定 (IPv4)」の順に進む
- 2 ▲▼で「IPアドレス」を選び、**決定** を押す
- 3 ▲▼で「手動取得」を選び、**決定** を押す

アドレス設定 (IPv4)

IPアドレス	手動取得
アドレス	
サブネットマスク	
デフォルトゲートウェイ	
DNSアドレス	手動取得
プライマリアドレス	
セカンダリアドレス	
プロキシサーバー	使用する
サーバー名	
ポート番号	
設定完了	

- 4 ▼で「アドレス」の入力欄に移動し、**1** ～ **10** で「192」、**1** で「168」、**1** で「1」、**2** で「20」と入力する
 - ・ 入力欄を移動するには、◀▶を押します。
 - ・ 入力した数字を消すには、**赤** を押します。
- 5 ▼で「サブネットマスク」の入力欄に移動し、**1** ～ **10** で「255」、**1** で「255」、**1** で「255」、**0** で「0」と入力する
- 6 ▼で「デフォルトゲートウェイ」の入力欄に移動し、**1** ～ **10** で「192」、**1** で「168」、**1** で「1」、**1** で「1」と入力する
- 7 ▲▼で「プライマリアドレス」の入力欄に移動し、**1** ～ **10** で「192」、**1** で「168」、**1** で「1」、**1** で「1」と入力する
- 8 設定内容を確認し、▲▼で「設定完了」を選んで**決定** を押す

SeeQVault™対応のUSBハードディスクやSDメモリーカードを接続する

- 本機で録画した番組をSeeQVault™対応のUSBハードディスクなどにSeeQVault™形式で保存すると、他の東芝のSeeQVault™対応のレグザやレコーダーやPCで再生することができます。また、東芝のSeeQVault™対応のレグザやレコーダーで録画した番組を、SeeQVault™対応のUSBハードディスクなどにSeeQVault™形式で保存すると、本機で再生することができます。
- 本機では、次の機器を接続して使用することができます。
当社指定のSeeQVault™対応USBハードディスク／過去に販売された当社指定のSeeQVault™対応SDカードリーダー。
当社指定のSeeQVault™対応機器については下記URLをご覧ください。

<https://www.toshiba.co.jp/regza/detail/seeqvault/>

ご注意

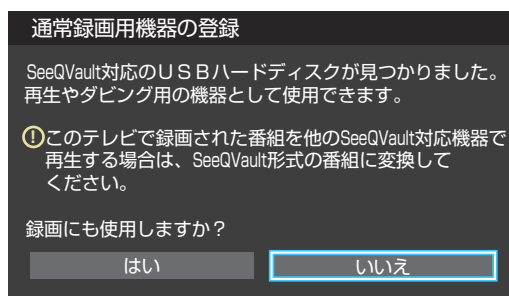
- 本機で番組を保存したSeeQVault™対応のUSBハードディスクなどは、他社のSeeQVault™対応機器で使用した場合、動作の保証はできません。
- 他社製品で番組を保存したSeeQVault™対応のUSBハードディスクなどは、本機で使用した場合、動作の保証はできません。

USBハードディスクを接続して登録する

- USB (通常録画) 端子に接続します。
- 本機が未登録のUSBハードディスクを検出すると、「機器の登録」の画面が表示されます。以下の手順で本機に登録します。
- 本機とUSBハードディスクの接続のしかたは、「USBハードディスクの接続をする」(製品同梱の取扱説明書 **29**) と同じです。

1 ◀▶ で「はい」を選んで **決定** を押す

- 録画しないときは「いいえ」を選びます。



- ※ 「いいえ」を選んだ場合、そのUSBハードディスクは「機器の登録」の画面で「未登録」となり、再生はできますが、録画はできません。「未登録」のUSBハードディスクに登録する場合は、[「USBハードディスクの設定をする」](#) » をご覧になり、「機器の登録」の操作をしてください。

2 初期化の確認画面で、◀▶ で「はい」を選んで **決定** を押す

- 登録の処理が始まり、終わると次の手順の画面が表示されます。
- 初期化によって、他の東芝のSeeQVault™対応のレグザやレコーダーから保存されているSeeQVault™形式の番組が削除されることはありません。ただし、保存されているSeeQVault™形式以外の番組はすべて削除されます。

3 登録名を変更する場合は、◀▶で「はい」を選んで を押す

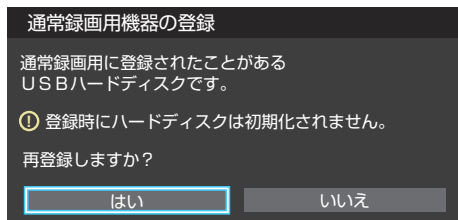
- 表示された登録名のままでよければ「いいえ」を選びます。
- 「はい」を選んだ場合は、文字入力画面が表示されます。登録名を入力して、 を押します。
- 文字入力の方法は、[「文字を入力する」](#) をご覧ください。
- ー(スペース)だけの名称は登録できません。

4 登録したUSBハードディスクを録画機器にする場合は、◀▶で「はい」を選んで を押す

- 録画や予約などでの録画機器の初期候補が、登録したUSBハードディスクになります。
- ※ 録画機器は、録画や予約の際に変更することもできます。
-  を押したあと、説明画面が表示された場合は、画面の説明を読んでから  を押します。

使用履歴のあるUSBハードディスクを接続したとき

- 以前に登録して使用し、登録を解除したUSBハードディスクを接続した場合、初期化の確認画面の代わりに以下の確認画面が表示されます。



- 「はい」を選んで  を押すと登録の処理が始まり、終わると登録名変更の画面が表示されます。

※ 再登録の場合、ハードディスクは初期化されません。

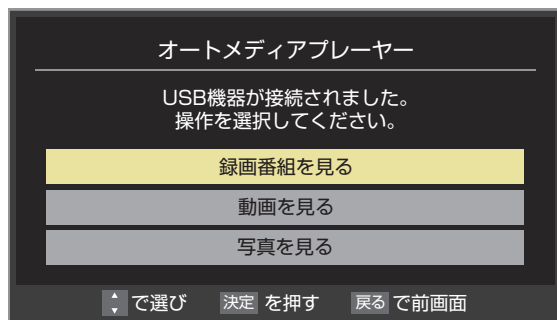
USBハードディスクの取りはずし

- 取りはずしかたは、[「USBハードディスクの設定をする」](#) をご覧になり、「機器の取りはずし」の操作をしてください。

SDメモリーカードを接続する

- SeeQVault™対応のSDカードリーダーは、本機側面のUSB端子に接続してください。
- 「オートメディアプレーヤー」を「オン」に設定しておく、放送・外部入力の見るときにSDメモリーカードを挿入したときに、操作の選択メニューが表示されます（お買い上げ時は「オン」に設定されています）。

SeeQVault™形式の番組を再生するには「録画番組を見る」を選択してください。

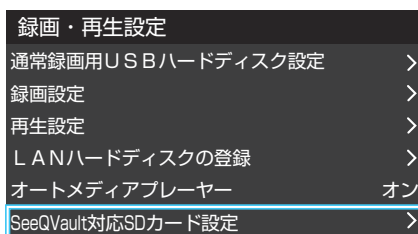


- ※ SDメモリーカードを挿入した状態で本機の電源を入れた場合や、放送・外部入力の視聴以外の操作をしているときにSDメモリーカードを挿入した場合には、オートメディアプレーヤーの画面は表示されません。

SeeQVault™対応SDメモリーカードを設定する

- SeeQVault™対応SDカードリーダーが接続されているとき、SDメモリーカードを初期化したり、SDメモリーカード名を変更したりすることができます。
- SDメモリーカードがライトプロテクトされているときは、下記の設定は行えません。プロテクトを解除してください。

- 1 **設定** を押し、▲▼と **決定** で「録画・再生設定」⇒「SeeQVault対応SDカード設定」の順に進む



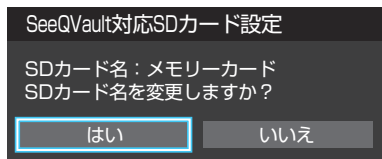
- 2 ▲▼で、設定するSDメモリーカードを選び、以降の手順で設定する

SDメモリーカードを初期化する

- 1 **開始** を押す
- 2 ◀▶で「はい」を選び、**決定** を押す
- 3 内容を確認して「はい」を選び、**決定** を押す
- SDメモリーカードが初期化されます。
- 4 SDメモリーカード名の設定をするには、◀▶で「はい」を選び、**決定** を押す
- 5 文字入力画面で、SDカード名を入力して、**決定** を押す
- 文字入力の方法は、[「文字を入力する」](#) をご覧ください。

SDメモリーカード名を変更する

- 1 を押す
- 2 ◀▶で「はい」を選び、を押す



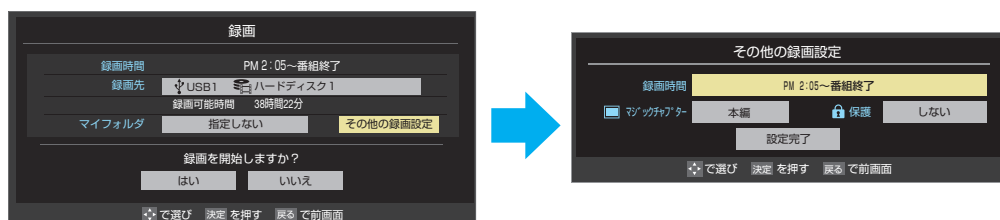
- 3 文字入力画面で、SDカード名を入力して、を押す
- 文字入力の方法は、[「文字を入力する」](#)をご覧ください。

見ている番組を録画する

- 今見ているテレビ放送番組を簡単に録画することができます。テレビ番組視聴の途中で外出するような場合に便利です。
- ※ USBハードディスクに2番組同時録画中(W録中)はこの操作はできません。

- 1 テレビ放送を見ているときに **サブメニュー** を押し、▲・▼で「録画」を選び、**決定** を押す
 - 録画できない番組の場合は、サブメニューの「録画」は選べません。

- 2 録画設定を変更する場合は、▲・▼・◀▶で「その他の録画設定」を選んで **決定** を押す



その他の録画設定でできる設定

● 録画時間の変更

お買い上げ時の設定では視聴中の番組が終了するまで録画されます。終了時刻を指定するには以下の操作をします。

- 1 「録画時間」で **決定** を押し、「時間指定」で録画終了時刻を設定して **決定** を押す
- 2 「設定完了」を選び、**決定** を押す

録画予約や連ドラ予約の設定を変更する場合

- 「[録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき](#)」[》](#)をご覧ください。

3 ▲・▼・◀・▶で「はい」を選び、を押す

- 録画が開始されます。
- 外出する場合は、本機(テレビ)の電源を「待機」または「切」にします(録画は継続されます)。
- ※ 2番組の同時予約録画が始まるときは、この操作での録画は中止されます。

録画を中止するとき

- 録画を途中でやめるときは、以下の操作をします。録画予約での録画中の場合も同様です。
- USBハードディスクの残量がなくなった場合は録画が自動的に停止します。
- ※ レグザリンク対応の東芝レコーダーの録画は本機の操作では止まりません。機器側で録画停止の操作をしてください。

1 録画中に または を押す

- 2番組同時録画(W録)をしている場合は、中止する録画番組を選択する画面が表示されます。録画を中止したい番組を▲・▼で選んで、を押します。

2 「録画中止」の画面で、◀・▶で「はい」を選んで を押す

2番組同時録画(W録)について

- 本機は、デジタル放送の二つの番組を同時に録画することができます。
- BS・110度CSの4K放送の二つの番組を同時に録画することはできません。
- 一つの有料番組でW録はできません。
 - 一つの有料番組に複数の予約が重複した場合、録画されるのは一つだけです。
 - 録画中の有料番組を視聴中に録画の操作をしても録画(W録)は開始されません。

番組表で予約をする

- 番組表で録画したい番組を選んで予約します。

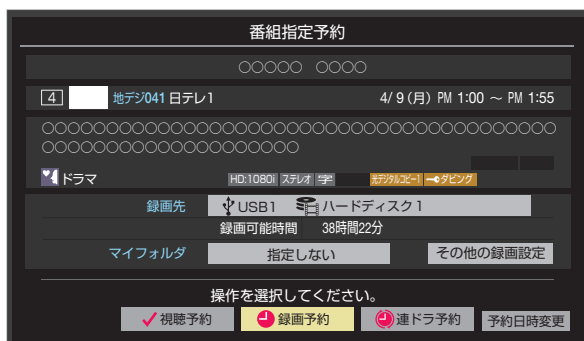
1 を押して、番組表を表示させる

2 予約する番組を▲▼◀▶で選び、 を押す

- 番組指定予約画面が表示されます。

3 以下の操作で予約をする

- 録画機器や設定を変更する場合は、[「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」](#)の操作をします。



1 ▲▼◀▶で「視聴予約」、「録画予約」、「連ドラ予約」のどれかを選び、 を押す

- 視聴予約：指定した番組の視聴を予約します。
- 録画予約：指定した番組の録画を予約します。
- 連ドラ予約：同じ番組を毎回録画します。 [»「連続ドラマを予約する」](#)

※ レグザリンク対応の東芝レコーダーの場合は、「**毎予約**」が表示されます。

2 「予約を設定しました。」が表示されたら、 を押す

予約する日時を変更する場合

- 1話から3話まで連続して放送される場合など、1話目を番組表で予約し、以下の操作で終了時間を3話目の終了時間に変更すると、1話から3話まで一つの録画予約にすることが出来ます。
- ① ▲・▼・◀・▶で「予約日時変更」を選び、を押す
- ② メッセージが表示されたら、◀・▶で「はい」を選び、を押す
- ③ [「日時を指定して予約をする」](#)の手順3以降の操作をする

視聴予約について

- 視聴予約の時刻に電源が「待機」の場合、電源が「入」になります。

視聴制限番組について

- 視聴制限番組について、詳しくは[「番組の視聴を制限する」](#)をご覧ください。
- 番組表で視聴制限を一時解除するときは、[「番組表で視聴制限を一時解除する」](#)をご覧ください。

メッセージが表示された場合

「設定した時間帯はこれ以上予約できません。」が表示された場合

- 1 ◀▶で「はい」を選び、を押す
 - 新規予約をやめる場合は、「いいえ」を選びます。
- 2 予約を取り消す番組を▲▼で選び、を押す
 - を押すたびに☒と☐が交互に切り換わります。
 - をつけた番組の予約が取り消されます。
- 3 を押して、取り消しを実行する

「予約数がいっぱいです。」が表示された場合

- 1 を押す
- 2 「[予約の確認・変更・取り消しをする](#)」の操作で予約を一つ以上取り消してから、再度予約をする

マルチ表示の番組表で予約するとき

- 一つの放送局で複数の番組を放送している場合、その番組を予約するには番組表を「[マルチ表示](#)」に切り換えます。
- マルチ表示の番組表で同じ番組が並んでいる場合は、どちらを選択しても予約できます。

地デジ番組表 4/9(月) 10(火)

1	011	1	012	2
NHK総合・東京		NHK Eテレ		
00 激知りアワー カラオケキングとうとう1千万円で豪華な賞品獲得 今日の朝刊早読みチェック	00 今日の散歩 今日の目標はゆっくり5 km	00 うらデータ 55		
30 花壇のお手入れ 肥料をやりましょう	00 日本の経済 原油価格高騰に苦しむあの家...			
10 00 プライスクラッシュ 欲しかったあの話題...	10 00 プライスクラッシュ 欲しかったあの話題...			
00 正しい健康家族	00 正しい健康家族			

マルチチャンネル放送時の別番組は、「マルチ表示」にすれば予約できます

同じ番組の場合は、どちらを選択しても予約できます

選択したほうにつきます

こちらにはミニアイコンがつきます

お知らせ

- 放送局の変更があった場合、予約どおりに動作しないことがあります。
- 複数の番組が連続して予約されている場合、番組の最後の部分が録画されません。
- 予約をした時間帯は番組表に赤色の帯で表示されます。 [「番組表を使う」](#)
(東芝レコーダーへの予約は表示されません)
- 予約の確認や取り消しについては「[予約の確認・変更・取り消しをする](#)」を、予約の優先順位については「[予約・録画の優先順位と予約の動作について](#)」をご覧ください。
- 本機で「毎予約」で予約しても、機器によっては録画できないことがあります。

連続ドラマを予約する

- 連続ドラマや連日放送されている同じ番組などを、毎回自動的に録画されるように予約することができます。
- ※ 録画機器がUSBハードディスクの場合に連ドラ予約ができません。

ご注意

- 本機では、PPV(ペイ・パー・ビュー)番組の連ドラ予約を禁止しています。PPV(ペイ・パー・ビュー)番組を連ドラ予約した場合、録画は実行されません。

1 を押して、番組表を表示させる

2 連ドラ予約をする番組を▲▼◀▶で選び、 を押す

- 現在放送中の番組を選んだ場合は「番組指定録画」画面が、これから放送される番組を選んだ場合は、「番組指定予約」画面が表示されます。

3 番組の録画先をUSBハードディスクに設定する

- [「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」](#)の操作で、「録画先」を設定します。

4 ▲▼◀▶で「連ドラ予約」を選び、 を押す

- 画面の図は、「番組指定予約」画面の場合の例です。



ここを選びます。

5 「連ドラ予約」画面で内容を確認する

- 番組名(連ドラ)や追跡基準の曜日などが正しく表示されているか確認してください。

「連ドラ予約」がより正しく実行されるために

- [「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」](#)の操作で「連ドラ設定」の画面を表示させ、「追跡キーワード」の確認・編集をすることをおすすめします。

6 ▲・▼・◀・▶で「はい」を選び、決定を押す

7 「予約を設定しました。」が表示されたら、決定を押す

視聴中の番組を連ドラ予約する場合

- 1 サブメニューを押し、▲・▼で「連ドラ予約」を選んで決定を押す
- 2 手順5～7の操作をする

連ドラ予約の動作について

- 連ドラ予約は、追跡基準（指定した番組の放送曜日と開始時刻）と、追跡キーワード（番組名など）を基に、次の番組を検索して自動的に録画予約をする機能です。
- ※ 追跡基準（開始時刻）の前後約2時間が検索されます。
- 追跡キーワードには連ドラ予約をした番組の番組名、追跡基準には番組の放送時間が自動で設定されます。

お知らせ

- 電源を「入」にしてからしばらくの間は連ドラ予約ができません。
- 連ドラ予約後に、番組情報が取得できなくなった場合や、追跡キーワードに該当する番組が検出できなかった場合は録画されません。
- 予約の確認や取り消しについては[「予約の確認・変更・取り消しをする」](#)を、予約の優先順位については[「予約・録画の優先順位と予約の動作について」](#)をご覧ください。

日時を指定して予約をする／ 番組を検索して録画・予約をする

日時を指定して予約をする

1 サブメニュー を押し、▲・▼で「予約リスト」を選んで 決定 を押す

2 青 を押す

- 日時指定予約画面が表示されます。
- 視聴制限番組は表示されません。
表示させるときは、緑 を押して、視聴制限一時解除してください。

3 録画予約の日時を設定する

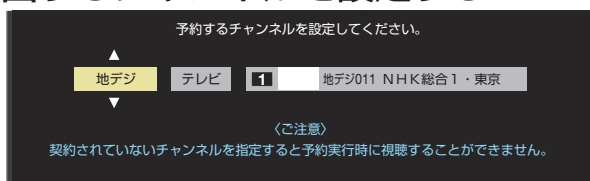


① 設定する項目を◀▶で選び、▲・▼で日時を設定する

- 6週間先まで指定できます。
- 特定の日のほかに、「毎日」、「毎週(日)」～「毎週(土)」、「月～木」、「月～金」、「月～土」などの繰り返し録画も選べます。
- 設定できる時間は最大23時間59分です。

② 設定が終わったら、決定 を押す

4 録画するチャンネルを設定する



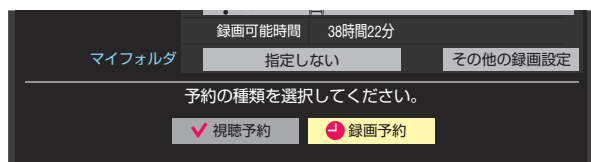
① 設定する項目を◀▶で選び、▲▼で内容を選ぶ

- ・放送の種類……地デジ／BS／CS／BS/CS 4K
- ・放送メディア…テレビ／ラジオ(BS、110度CSだけ)／データ
- ・チャンネル……指定された放送の種類やメディアに該当するチャンネル

② 設定が終わったら、決定を押す

5 録画設定を変更する場合は「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」≫の手順で操作をする

6 ▲▼◀▶で「視聴予約」または「録画予約」を選び、決定を押す



7 「予約を設定しました。」が表示されたら、決定を押す

メッセージなどが表示された場合

- 「設定した時間帯はこれ以上予約ができません。」「予約数がいっぱいです。」のメッセージ表示された場合の操作については、「[メッセージが表示された場合](#)」≫をご覧ください。

お知らせ

- 日時指定予約では放送時間連動の設定はできません。
- 予約の確認や取り消しについては「[予約の確認・変更・取り消しをする](#)」≫を、予約の優先順位については「[予約・録画の優先順位と予約の動作について](#)」≫をご覧ください。

番組を検索して録画・予約をする

1 番組表を押して、番組表を表示させる

2 緑 (番組検索) を押す

- 番組検索画面が表示されます。

3 「条件を絞りこんで番組を探す」≫の手順3～5の操作をして、録画・予約したい番組を検索する

4 「番組検索結果」画面から録画したい番組を▲▼で選び、決定を押す

番組名	放送中	番組記号	放送日時	録画
団NEWS	放送中	7	地デジ071 4/9(月) PM 4:50	録画
首都圏のニュース団	放送中	4	地デジ041 4/9(月) PM 4:50	録画
Newsチャンネル	放送中	5	地デジ051 4/9(月) PM 4:50	録画
今日のニュース団	放送中	8	地デジ081 4/9(月) PM 4:50	録画
夕方のニュース	放送中	3	地デジ031 4/9(月) PM 5:00	録画
ニュース各地から	放送中	11	地デジ011 4/9(月) PM 5:05	録画
報道！団	放送中	6	地デジ061 4/9(月) PM 5:50	録画
ニュース[鷹の祭典]	放送中	1	地デジ011 4/9(月) PM 6:00	録画
ニュース	放送中	4	地デジ041 4/9(月) PM 6:45	録画

5 録画・予約をする

- 操作方法は、「番組表で予約をする」≫の手順3と同じです。
- 放送予定の番組を選んで予約をした場合には、「番組検索結果」の画面に戻ります。ほかの番組の予約を続けることができます。

録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき

- 1 録画・録画予約・連ドラ予約画面などで、「その他の録画設定」を▲・▼・◀・▶で選び、を押す

- 録画・録画予約の「録画先」、「マイフォルダ」の設定は、画面上の「録画先」、「マイフォルダ」を選んで変更します。

「録画先」を変更するとき

- 1 録画・録画予約画面で、「録画先」を▲・▼・◀・▶で選び、を押す
- 2 ▲・▼で設定したい録画先を選び、を押す

「マイフォルダ」を変更するとき

- 1 録画・録画予約画面で、「マイフォルダ」を▲・▼・◀・▶で選び、を押す
- 2 ▲・▼で設定したいフォルダグループを選び、を押す

- 2 設定する項目を▲・▼・◀・▶で選び、を押す

- ※ そのときの状況によって、設定や変更ができない項目があります。

- 3 ▲・▼で内容を選び、を押す

- 4 ▲・▼・◀・▶で「設定完了」を選び、を押す

項 目

録画先*

- 録画をする機器を選びます。

マイフォルダ (レグザリンク対応の東芝レコーダーではこの設定はありません)

- 番組の再生時に探しやすくするために、録画時にフォルダ分けします。再生のときに録画リストを「マイフォルダ別」の表示にすれば、保存した「マイフォルダ」の中から番組を探すことができます。「マイフォルダ」の名称は変更することができます。

マジックチャプター (レグザリンク対応の東芝レコーダーではこの設定はありません)

- 「本編」に設定すると、本編とCMの間でチャプター(章)が分割されます。
- 「音楽」に設定すると、楽曲の前後でチャプターが分割されます(メインジャンルが「音楽」またはメインジャンルが「バラエティ」でサブジャンル「音楽バラエティ」のときだけ)。
- 「本編と音楽」に設定すると、「本編」と「音楽」の両方の条件でチャプターが分割されます。
- マジックチャプターの機能を使わないときは、「オフ」に設定します。
- 録画済の番組でチャプター編集をすることもできます。

※番組内容などによってはチャプター分割ができなかったり、分割位置がずれたりすることがあります。

※チャプター数の上限(99個)に達すると、それを超えるチャプターの作成はできなくなります。

保護 (レグザリンク対応の東芝レコーダーではこの設定はありません)

- 録画する番組を保護する(消さないようにする)かどうかを設定します。録画後に設定することもできます。 [▶「誤って消さないように保護する」](#)

連ドラ (レグザリンク対応の東芝レコーダーではこの設定はありません)

- 文字入力画面が表示され、必要に応じて連ドラの名称を編集することができます(再生の際に「連ドラ別」の録画リストから番組を探しやすい名称などに編集します)。
- 文字入力の方法は、[「文字を入力する」](#)をご覧ください。
- 連ドラの名称(連ドラグループ名)はあとで変更することもできます。

追跡キーワード (レグザリンク対応の東芝レコーダーではこの設定はありません)

- 文字入力画面が表示され、必要に応じて連ドラ予約の追跡キーワードを編集することができます(1回の放送に限られるようなキーワードは削除しておきます)。

追跡基準 (レグザリンク対応の東芝レコーダーではこの設定はありません)

- 必要に応じて、連ドラ予約をする番組の録画曜日と時間を設定することができます。

項 目

上書き録画

(レグザリンク対応の東芝レコーダーではこの設定はありません)

- 連ドラ予約の場合に上書き録画の設定をします。
上書き録画にすると前回の録画番組が削除されます。

放送時間

- 放送局から番組遅延の情報が送信されると、最大3時間までの遅れに連動して録画をする機能です(放送時間の繰り上げには対応できません)。
- ほかの予約と時間帯の一部が重なったときの優先順位については[「予約・録画の優先順位と予約の動作について」](#)をご覧ください。

録画品質

(USBハードディスクの場合はこの設定はありません)

- 「録画品質」を選択すると、設定メニューが表示されます。
- 「ハイビジョン画質(DR)」
デジタル放送をそのままの画質で録画します。
- 「録画先の設定画質」
録画機器側で設定されている録画モードから選択します。

※ レグザリンク対応の東芝レコーダーに録画予約した番組は本機では確認や設定の変更などはできません。レコーダー側で確認や取り消しなどの操作をしてください。

予約の確認・変更・取り消しをする

- 予約の確認や取り消し、録画設定や連ドラ設定の変更をすることができます。
- ※ レグザリンク対応の東芝レコーダーに録画予約した番組は本機では確認や設定の変更などはできません。レコーダー側で確認や取り消しなどの操作をしてください。

1 サブメニュー を押し、▲・▼で「予約リスト」を選んで 決定 を押す

- 視聴制限番組は表示されません。
表示させるときは、緑 を押して、視聴制限一時解除してください。

2 予約の確認や変更、取り消しをする番組を▲・▼で選び、決定 を押す

予約リスト				4/9(月) AM 9:40
予約番組				録画先
1	地デジ011 NHK総合東京	4/9(月) AM 9:45~AM 9:58	USB 1	
6	地デジ061 TBS	4/9(月) AM10:00~AM10:55	USB 1	
8	地デジ041 フジテレビジョン	4/9(月) PM 1:30~PM 1:55	USB 1	
1	地デジ011 NHK総合東京	4/9(月) PM 7:00~PM 8:45	USB 1	
5	地デジ051 テレビ朝日	4/9(月) PM 7:15~PM 8:55	USB 1	
2	地デジ021 NHK Eテレ東京	4/9(月) PM 7:30~PM 7:54	---	
4	地デジ041 日本テレビ	4/9(月) PM 7:55~PM 8:55	---	
5	地デジ051 テレビ朝日	4/9(月) PM 9:00~PM 9:55	---	

録画や予約状況、上書き保存などのアイコンが表示されます。

🔔🔔🔔 は予約時間が重複する番組が3番組以上あると、重複アイコンが表示されます。

🔔🔔🔔 は放送時間変更などで同一の有料番組に予約が重複したときに表示されます。この場合、録画されるのは一つです。(一つの有料番組でW録はできません)

- たとえば、3番組以上の重複があるような場合などは、その中からどれか予約を取り消す番組を選択します。

3 以下の操作をする

予約を取り消すとき

1 ◀▶ で「はい」を選び、決定を押す

※BS・110度CSの4K放送PPV(ペイ・パー・ビュー)番組の予約を取り消しても、購入手続きは取り消されません(予約を取り消しても購入情報が残ります)。

録画設定を変更するとき

- 「[録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき](#)」の操作をします。

連ドラ予約を取り消すとき

1 ◀▶ で「はい」を選び、決定を押す

- 予約時間が3番組以上重なっているときは、**!**が表示されます。
- 同一の有料番組が重なっている場合は、**¥!**が表示されます。
- ※連ドラ予約を取り消すと、直近の録画予約番組(録画中を含む)から予約が取り消されます。

予約内容を変更する場合

- ① ▲・▼・◀・▶で「詳細設定」を選び、決定を押す
- ② ▲・▼で設定を変更する項目を選び、決定を押す
- 設定画面に表示されている項目の内容については、[「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」](#)の表を参照してください。
- ③ ▲・▼・◀・▶で「設定完了」を選び、決定を押す

おまかせ録画

- おまかせ録画はクラウドサービスを利用して、興味のあるキーワード(人物も含む)に関する番組を自動録画する機能です。
おまかせ録画は、「みるコレ パック」を使い、USB(通常録画)端子に接続したUSBハードディスクに番組が録画されます。おまかせ録画の詳細や設定、「みるコレ パック」について詳しくは、ホームページ(<https://timeon.jp/>)をご覧ください。
- ※ おまかせ録画は、録画を保証するものではありません。確実に録画したい番組は、番組表などから録画予約をしてください。

おまかせ録画に必要な準備

- おまかせ録画を利用するには、以下の接続と設定が必要です。

必要な接続・設定

- インターネットを利用するための接続をする。
製品同梱の取扱説明書の「インターネットを利用するための接続をする」**19**をご覧ください。
- [インターネットを利用するための設定](#)をする。
- 「[ネットワークサービス利用設定](#)」を「利用する」に設定する。
- 「みるコレ パック」を使うための設定をする。▶[「クラウドサービスの設定をする」](#)
- 興味のあるキーワードや人物の「みるコレ パック」を登録する。

- ※ 「みるコレ パック」については、クラウドサービスのホームページ(<https://timeon.jp/>)をご覧ください。

おまかせ録画について

おまかせ録画の設定について

- **みるコレ** または **おすすめ番組** を押して、クラウドサービスの画面を表示させ、クラウドサービスの画面から設定します。
 - おまかせ録画の設定については、クラウドサービスのホームページ(<https://timeon.jp/>)をご覧ください。

録画について

- **地上デジタル放送／BSデジタル放送／110度CSデジタル放送／新4K8K衛星放送のテレビ放送を録画します。**
 - 字幕放送・映像／音声ESは録画されます。
 - 視聴年齢制限番組、非契約番組は録画されません。
- **おまかせ録画と番組表などから予約した通常録画予約が重なる場合は、通常録画予約が優先されます。**
 - 通常録画予約とおまかせ録画の予約が同時時間帯に3件以上になったときは、通常録画予約が優先されおまかせ録画は予約されません。おまかせ録画予約が先に行われている場合は、番組表などから通常録画予約の操作をすると、予約が重なっていることをお知らせする画面が表示されます。
- **おまかせ録画の最大予約件数は32件です。**
 - おまかせ録画予約の設定をすると、おまかせ録画予約用に予約件数を32件確保されます。このとき、通常録画予約の最大予約件数は96件になります。

USBハードディスクの録画領域について

- **おまかせ録画は、通常録画とは別にUSBハードディスクに録画領域を用意します。**
 - おまかせ録画領域は、クラウドサービスの画面から行います。
 - 通常録画領域とおまかせ録画領域を合わせて、USBハードディスクの総容量となりますので、ご注意ください。
- **録画番組は、通常録画とおまかせ録画を合わせて3000件まで録画できます。**

おまかせ録画を設定しているときの録画予約と録画番組について

- おまかせ録画の設定をすると、対象番組におまかせ録画アイコン(録画された番組にはおまかせ録画番組アイコン)がつかます。

また、録画リストの分類タブに「おまかせ」が追加されます。

おまかせ録画の自動削除について

- おまかせ録画番組は、おまかせ録画領域の容量が足りなくなると、古い番組から順に自動削除されます。
 - ・ おまかせ録画の自動削除は解除できません。

おまかせ録画から通常録画への変更について

- おまかせ録画予約またはおまかせ録画番組は、以下の操作で通常録画予約または通常録画番組に変更することができます。
 - ・ おまかせ録画予約は、予約内容確認画面で **青** を押すと通常録画予約に変更できます。
 - ・ おまかせ録画番組は、録画リストで **サブメニュー** を押し、「通常番組に変更」を選ぶと、通常番組に変更できます。
 - ・ おまかせ録画番組は、ダビングすると自動的に通常番組に変更されます。

おまかせ録画でのご注意

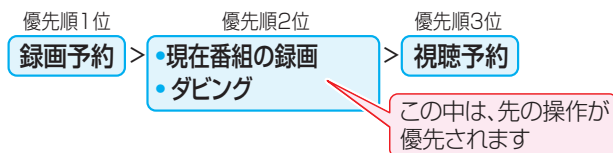
- 画面に表示される録画可能時間は、USBハードディスクの通常録画領域の容量を基に表示されます。
- おまかせ録画の設定を解除したり、おまかせ録画の録画先のUSBハードディスクを変更したりすると、おまかせ録画予約は、すべて削除されます。
 - ・ おまかせ録画番組は削除されません。
- 「[ネットワークサービス利用設定](#)」を「利用しない」に変更すると、おまかせ録画の設定は解除されます。
- 新しいUSBハードディスクを接続した場合など、おまかせ録画の録画先を変更したいときは、「みるコレ」サービスの「アプリ／クラウド設定」⇒「おまかせ録画設定」より、録画先ハードディスクを選んでください。

予約・録画の優先順位と予約の動作について

予約・録画の優先順位について

「録画予約」が最優先されます

- 録画予約と他の録画や視聴予約などが重なった場合、録画予約が優先され、他の録画や視聴予約は中止または取り消しになります。



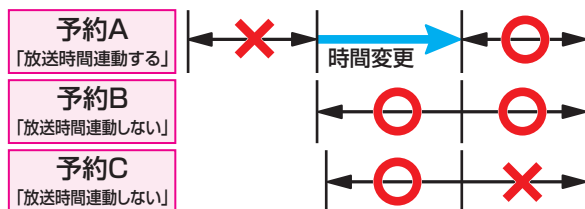
放送時間が変更されたとき

- 予約した番組の放送時間が変更されて、他の予約番組と重なったときは、以下の優先順位で録画されます。

「放送時間」を「連動する」に設定した予約番組と「連動しない」に設定した番組が重なった場合

- 「放送時間」を「連動する」に設定した番組が優先されます。

例 「放送時間」を「連動する」に設定していた予約Aが時間変更に対応したため、予約Aと重なった部分の予約Cは録画されません。予約Bと予約Cの録画開始時刻が同じ場合は、先に予約を登録したほうが優先されます。

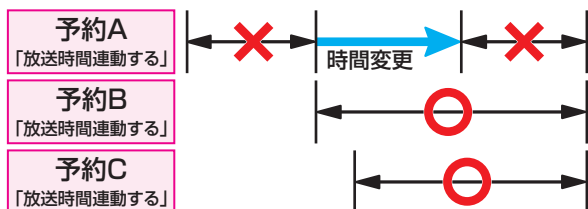


「放送時間」を「連動する」に設定した複数の予約番組が重なった場合

1 開始時刻が変更された場合

- 開始時刻の早い予約が優先されます。

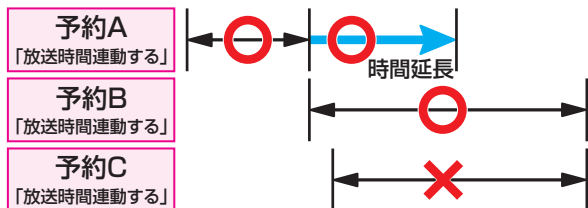
例 予約Aの変更後の開始時刻よりも、予約Bと予約Cの開始時刻が早くなるので、予約Aは取り消されます。



2 放送時間が延長された場合

- 先に録画を開始した番組の時間延長が優先されます。

例 先に録画を開始し、放送時間延長に対応した予約Aが優先されます。開始時刻の遅い予約Cは取り消されます。



3 複数の予約番組の開始時刻が同じになった場合

- 予約を登録した順に2番組まで録画されます。

予約の動作について

- 予約設定後、本機の動作は以下のようになります。
- ※レグザリンク対応の東芝レコーダーに予約した場合は、予約終了の時点で本機の関与は終了し、以下の動作はしません。

予約した番組放送が始まる時

- 予約を中止する場合は、 または  を押します。
- 録画予約の場合は、予約した番組のチャンネルに切り換わることがあります。
- 予約した視聴制限のある番組が始まるときは、メッセージが表示されます。 を押し、[暗証番号](#)を入力してください。

予約した番組の放送中

- 録画予約した番組の録画中に操作できないボタンを押すと、録画中を知らせるメッセージが表示されます。
- 録画予約した番組の録画が始まると、左記の優先順に従って他の録画は中止されます。

予約した番組の終了後

- 本機を通常どおり使用できます。

ざんまいスマートアクセスで楽しむ

- タイムシフトマシン録画番組や現在放送中の番組の中から好みの番組を簡単に見つけ出し、番組を楽しむことができます。
- ※ タイムシフトマシン録画をしていない場合は、放送中の裏番組を簡単に見つけることができます。
- **タイムシフトリンク機能**を使用している場合は、タイムシフトリンク機器の録画番組もざんまいスマートアクセスの対象番組になります。

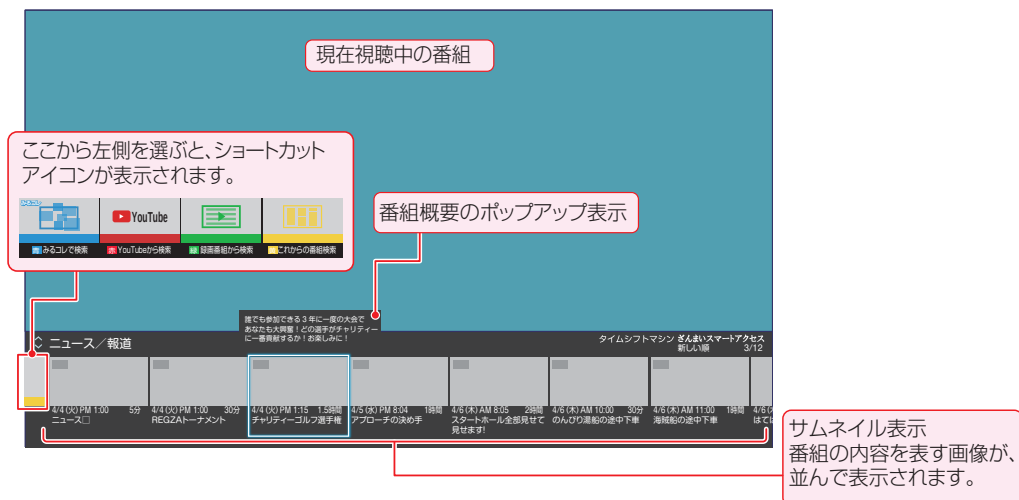
ざんまいスマートアクセスを使うための準備について

- 番組やシーン、ネット動画を探せるクラウドサービスの機能を楽しむには、インターネットの接続と設定が必要です。

お好みの番組を選ぶ

1 ざんまいを押す

- ざんまいスマートアクセスの画面が表示されます。

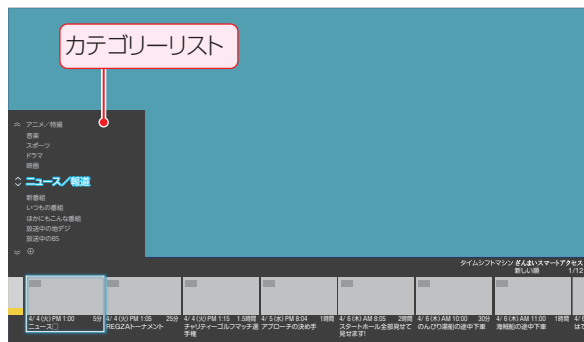


※サムネイルの種類について

- 本機のタイムシフトマシン録画で録画された番組は、番組の一場面が表示されます。
- タイムシフトリンク番組と放送中の番組は、番組のジャンルを表すアイコンが表示されます。
- 番組の状態によっては、ジャンルアイコンや「」(録画番組)、「」(地デジ番組)、「」(BS / CS / BS/CS 4K番組)が表示されます。

2 ▲▼を押して、カテゴリーリストからお好みのカテゴリーを選ぶ

- サムネイルが表示されます。



3 ◀▶を押して見たい番組をサムネイルから選び、決定を押す

- ◀▶で番組を選ぶと、番組概要とその他の情報(「まもなく削除」または「保存済」の情報)がポップアップ表示されます。
- タイムシフトマシン録画番組を選んで決定を押した場合は、再生(タイムシフトマシン再生)が始まります。前回途中まで見た番組は続きから再生されます。
- タイムシフトマシン再生の操作については、[「タイムシフトマシン再生中にできるリモコン操作」](#)をご覧ください。
- 放送中の番組を選んで決定を押した場合は、選んだ番組が選局されます。
- 視聴制限番組の場合は、ポップアップの番組概要や番組タイトルが伏せ字(「****」)で表示されます。

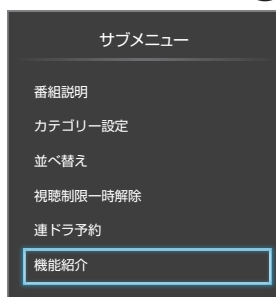
カテゴリーリストについて

- カテゴリーリストには、カテゴリー設定画面で☑がついている項目が表示されます。カテゴリー設定画面は、[「カテゴリーリストの項目を変更する」](#)の操作で確認することができます。
- カテゴリーは、あとからお好みに変更することができます。
[»「カテゴリーをお好みに変更する」](#)

機能紹介を見る

- ざんまいスマートアクセスの楽しみかたを紹介する、機能紹介を表示します。

- 1 ざんまいスマートアクセスの画面を表示中に、サブメニューを押し、▲▼で「機能紹介」を選び、決定を押す



- 機能紹介の画面が表示されます。
- 機能紹介の画面では、決定を押すと次の画面に進み、戻るを押すと前の画面に戻ります。

最後の画面で決定を押すと、機能紹介が終了し、ざんまいスマートアクセスの画面に戻ります。

- ◀▶を押しても画面を進める(または戻る)ことができます。

- ※ 機能紹介の画面は、タイムシフトマシン録画用USBハードディスクを接続していないときでも表示させることができます。

タイムシフトマシン録画用USBハードディスクを接続する前または、登録する前にざんまいを押し、画面に表示される「機能紹介を見る」を選んで決定を押すと、機能紹介の画面が表示されます。

カテゴリーをお好みに変更する

- カテゴリーリストを、お好みの内容に変更することができます。

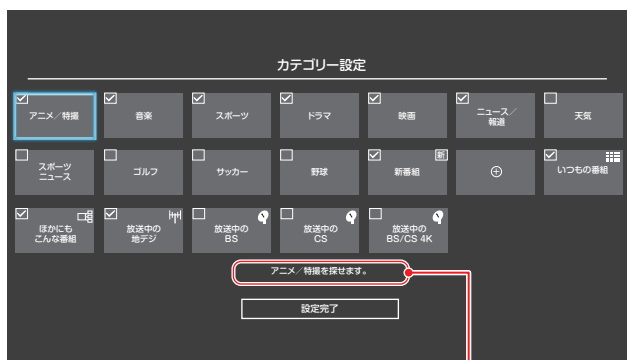
カテゴリーリストの項目を変更する

- カテゴリーリストに表示する項目を変更します。

1 サブメニューを押し、▲・▼で「カテゴリー設定」を選び、**決定**を押す

- カテゴリー設定画面が表示されます。

※ 下のカテゴリー設定画面イラストは、イメージです。実際の画面とは若干異なります。



選ばれているカテゴリーの説明が表示されます。

- カテゴリーリストの⊕を選んで、カテゴリー設定画面が表示されます。
- カテゴリーリストに表示されている項目には、☒がついています。

2 ▲・▼・◀・▶でカテゴリーを選び、を押す

- を押すたびに、☒ (表示する) と ☐ (表示しない) が交互に切り換わります。
- 手順2の操作を繰り返して、カテゴリーリストに表示する項目、または表示しない項目を設定します。
- 「+」が表示されているカテゴリーを選んで を押すと、カテゴリー編集画面が表示されます。[「カテゴリーを追加・編集する」](#)の操作をして、お好みのカテゴリーを追加することができます。

3 変更が終了したら、▲・▼・◀・▶で「設定完了」を選び、を押す

カテゴリーを追加・編集する

- 好みのカテゴリーを追加したり、選んだカテゴリーを編集したりできます。

1 カテゴリーを追加するとき： カテゴリー設定画面で、「+」が表示されているカテゴリーを選び、を押す

- カテゴリー編集画面が表示されます。

カテゴリーを編集するとき： カテゴリー設定画面で、編集するカテゴリーを選び、 を押す

- 「いつもの番組」、「あなたにおすすめ番組」、「ほかにもこんな番組」、「放送中(／地デジ／BS／CS／BS/CS 4K)」以外のカテゴリーを選びます。
- カテゴリー編集画面が表示されます。

2 カテゴリー編集画面で、以降の操作をする

カテゴリー編集

お好みのカテゴリーを設定してください。

ジャンル	指定なし
キーワード	指定なし
除外キーワード	指定なし
番組記号	指定なし
チャンネル	すべて

設定完了

「ジャンル」を指定するとき

- 1 ▲・▼で「ジャンル」を選び、決定を押す
- 2 指定するジャンルを▲・▼・◀・▶で一つ選び、決定を押す
- 3 サブジャンルから指定することもできます。

ジャンル指定

ジャンルを指定してください。

メインジャンル

指定しない

ニュース／報道

スポーツ

情報／ワイドショー

ドラマ

音楽

サブジャンル

定時・総合

天気

特集・ドキュメント

政治・国会

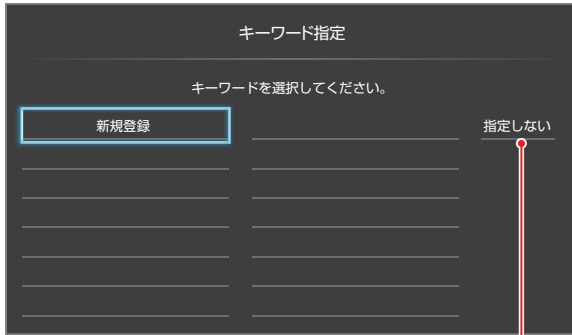
経済・市況

海外・国際

指定しないときはここを選びます。

「キーワード」を指定するとき

- 指定したキーワードを含んだ番組を表示させます。
- ① ▲・▼で「キーワード」を選び、●決定を押す
- ② 指定するキーワードを▲・▼・◀・▶で一つ選び、●決定を押す
- キーワード指定画面が表示されます。
- お買い上げ時は登録されていません。以下の操作で「キーワード」を登録します。



指定しないときはここを選びます。

■ 新しいキーワードを登録する場合

- ① ▲・▼・◀・▶で「新規登録」を選び、●決定を押す
- 文字入力画面が表示されます。
- ② キーワードを入力して、●決定を押す
- 文字入力のしかたは、[「文字を入力する」](#)》をご覧ください。
- キーワードは14個まで登録できます。

■ キーワードを編集する場合

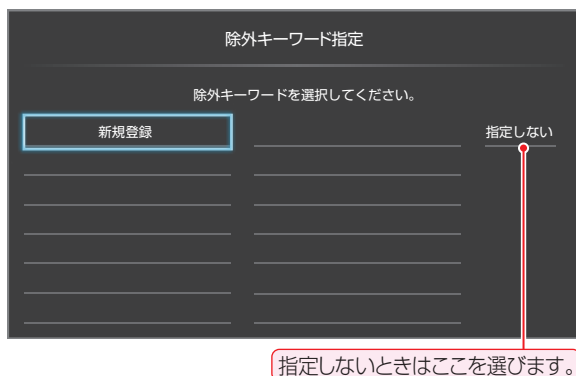
- ① 編集するキーワードを▲・▼・◀・▶で選び、■青を押す
- ② キーワードを編集し、●決定を押す
- 編集したキーワードが、キーワード指定画面に表示されます。

■ キーワードを削除する場合

- ① 削除するキーワードを▲・▼・◀・▶で選び、■赤を押す
- ② ◀・▶で「はい」を選び、●決定を押す

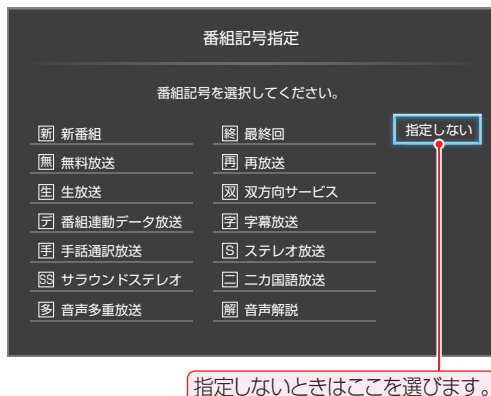
「除外キーワード」を指定するとき

- 指定したキーワードを含んだ番組を、表示させないようにします。
- ① ▲・▼で「除外キーワード」を選び、決定を押す
- ② 指定するキーワードを▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す
- お買い上げ時は登録されていません。
- キーワードの登録方法は、[「キーワード」を指定するとき](#)をご覧ください。



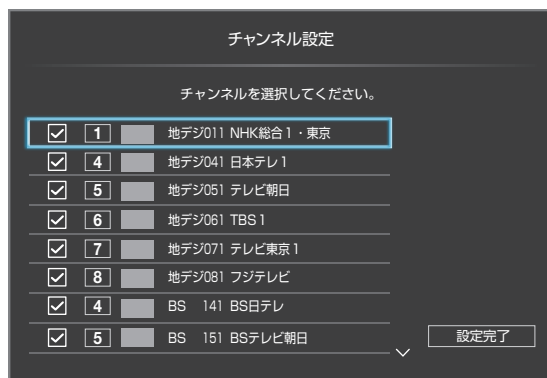
「番組記号」を指定するとき

- ① ▲・▼で「番組記号」を選び、決定を押す
- ② 指定する番組記号を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す



「チャンネル」を指定するとき

- [「録画するチャンネルを設定する」](#) » で設定したチャンネルと、タイムシフトリンク機器で設定されているチャンネルから指定します。
- ① ▲・▼で「チャンネル」を選び、**決定**を押す
- ② 指定するチャンネルを▲・▼選び、**決定**を押す
- **決定**を押すたびに、☒ (指定する)と☐ (指定しない)が交互に切り換わります。



- ③ 指定が終わったら▶で「設定完了」を選び、**決定**を押す

- 3 ▲・▼で「設定完了」を選び、**決定**を押す

カテゴリーを削除する

- カテゴリーを削除します

1 カテゴリー設定画面で、削除するカテゴリーを選び、 を押す

- ※ 削除できないカテゴリーの場合は、「このカテゴリーは削除できません。」が表示されます。
- ※ カテゴリーが一つしかない場合は、「これ以上カテゴリーを削除できません。」が表示されます。

2 確認画面で、◀▶を押して「はい」を選び、を押す

カテゴリーをお買い上げ時の状態に戻すには

- 「設定の初期化」をすると、カテゴリー設定画面の内容が、お買い上げ時の状態に戻ります。

ざんまいスマートアクセスを便利に使う

- ざんまいスマートアクセスのサブメニューで、さまざまな便利機能を使うことができます。
- ざんまいスマートアクセスのサブメニューは、一定の時間いずれの操作もしないと、ざんまいスマートアクセスの画面を表示する前に戻ります。

番組説明を見る

- 選んだ番組の番組説明を見ることができます。

1 番組説明を見たい番組を選ぶ

- 2 **サブメニュー** を押し、▲・▼で「番組説明」を選んで、**決定** を押す

番組を並べ替える

- リストに表示される番組の並び順を変えることができます。
- ※ 放送中の番組、「ほかにもこんな番組」の並べ替えはできません。

- 1 **サブメニュー** を押し、▲・▼で「並べ替え」を選んで、**決定** を押す

- 2 ▲・▼で項目を選び、**決定** を押す

- 新しい順…… 日付の新しい順に表示されます。
 - 古い順……… 日付の古い順に表示されます。
 - おすすめ順… 本機がおすすめする順に表示されます。
- おすすめ順は「いつもの番組」、「あなたにおすすめ番組」のときに選べます。

連ドラ予約をする

- 表示されている番組を選んで、「連ドラ予約」をすることができます。

1 連ドラ予約する番組を▲・▼で選び、サブメニューを押す

2 ▲・▼で「連ドラ予約」を選び、決定を押す

3 「連ドラ予約」画面で内容を確認し、◀▶で「はい」を選んで決定を押す

- 番組名や追跡基準の曜日などが正しく表示されているか確認します。
- 設定を変更する場合は、「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」の操作をします。

選んだ番組を保存する

- ざんまいスマートアクセスで選んだタイムシフトマシン録画番組をUSBハードディスクに保存することができます。

1 サブメニューを押し、▲・▼で「保存」を選び、決定を押す

- 以降の操作方法は「タイムシフトマシン録画番組を保存する」の手順2と同じです。

ショートカットアイコンを使う

- ショートカットアイコンを選ぶと、ざんまいスマートアクセスで選ばれているカテゴリーの条件で、以下の検索を行います。
- ※ ショートカットアイコンと同じ色のリモコンのカラーボタンを押しても操作できます。
- **みるコレで検索**……番組やシーン、ネット動画などをまとめて検索した画面にジャンプします。
- **YouTubeから検索**……クラウドサービスのYouTubeの検索結果ページにジャンプします。
- **録画番組から検索**……録画リストの番組検索画面にジャンプします。
- **これからの番組検索**……通常番組表の番組検索画面にジャンプします。
- ※ 「みるコレで検索」と「YouTubeから検索」は、インターネットへの接続が必要です。接続されていない場合は、接続を確認する画面が表示されます。
- ※ お買い上げの時期によっては、「YouTubeから検索」のご利用にはソフトウェアのバージョンアップが必要な場合があります。
- ※ 「YouTubeから検索」を利用する場合、「リモート電源オン設定」の「外部機器から電源オン」は自動的に「電源オン」に設定されます。

タイムシフトマシン録画番組を見る

- タイムシフトマシン録画機能で録画されたデジタルテレビ放送の番組を、過去番組表から選んで視聴することができます。
- ※ ざんまいスマートアクセスでも選んで視聴することができます。

タイムシフトマシンを使うための準備について

- ① 「タイムシフトマシン録画の接続・設定をする」(製品同梱の取扱説明書 **27**) で接続と設定をします。
- ※ 登録済のタイムシフトマシン録画用USBハードディスクがすべて接続されていないと、この機能は働きません。

基本操作

1 過去番組表を押す

- タイムシフトマシン録画で録画された番組が、過去番組表で表示されます。

〔過去番組表の例〕

「タイムシフトマシン録画設定」で設定したチャンネルだけが表示されます。

タイムシフトマシン録画で録画された時間帯だけが表示されます。

自動削除によって再生できない時間帯

録画時間外はグレーの帯で表示されます。

保存済アイコン 選択されている番組

- タイムシフトリンクで録画された番組で、視聴年齢制限されている場合は、伏せ字(「****」)で表示されます。
- ※ 番組によっては、伏せ字で表示されない場合があります。
- 「週間過去番組表」については「[週間番組表を表示させる](#)」をご覧ください。

2 見たい番組を▲・▼・◀・▶で選ぶ

- 過去番組表に表示しきれていない日時のページを表示させるには ・を押します。
- を押すと、選ばれているチャンネルの最新番組へ移動します。
- を押すと日時指定ジャンプ画面が表示されます。日付と時間帯を選んで番組表を表示させることができます。[「指定した日時の番組表を表示させる」](#)の[手順2](#)をご覧ください。
- 選んだ番組を番組冒頭(録画開始部分)から見たいときは、サブメニューから「頭出し再生」を選びます。[»「頭出し再生をする」](#)
- 選んだ番組の番組説明を見るには、サブメニューから「番組説明」を選びます。[»「番組説明を見る」](#)
- 視聴年齢制限されている番組を選んだときは、メッセージが表示されます。番組を見る場合は、を押し、**1** ~ **10**[※]₍₀₎で暗証番号を入力します。

3 を押す

- 選択した番組の再生(タイムシフトマシン再生)が始まります。
- 前回途中まで見た番組は続きから再生されます。

4 タイムシフトマシン再生を終了するには、またはを押す

- ほかの操作によってもタイムシフトマシン再生が終了する場合があります。

- タイムシフトマシン再生を開始すると、再生を開始した番組から同じチャンネルの最新の録画番組まで順に連続再生が行われます。
- 録画が完了した最新番組の再生が終わるとタイムシフトマシン再生が終了します。
- 番組を選び直すには、手順1から操作します。

お知らせ

- タイムシフトマシン再生で視聴できる過去の番組は、タイムシフトマシン録画機能で録画した番組に限られます。ただし、録画した番組は、タイムシフトマシン録画用ハードディスクの容量が足りなくなると古い番組から自動的に削除されます。
- 過去番組表や再生画面、タイムバーの番組情報および時刻情報などは、放送波で送信されてくる番組情報を基に表示されます。

タイムシフトマシン再生中にできるリモコン操作

● リモコンで以下の再生操作ができます。



ボタン	動作
	一時停止、早送り/早戻し再生から通常の再生に戻します。 - 再生中に繰り返し押すと、1.5倍の速さの音声付早送り再生「早見早聞」と通常の再生が交互に切り換わります。 - 放送番組の視聴中に押すと、通常録画用USBハードディスク、またはタイムシフトマシン用USBハードディスクのどちらか最後に視聴した録画番組を選んで再生します。
	再生中に押すと一時停止になります。 一時停止中にもう一度押すと、再生が再開されます。
	タイムシフトマシン再生を停止し、放送画面などに戻ります。
	早送り再生をします(押すたびに速さが変わります)。 - 一時停止中に押すとコマ送りができます。 - 一時停止中に1秒ほど押し続けるとスロー再生になります。スロー再生中にを押すたびにスロー再生の速さが変わります(3段階)。
	早戻し再生をします(押すたびに速さが変わります)。 - 一時停止中に押すと1秒ほど戻って一時停止になります。 - 一時停止中に1秒ほど押し続けると連続コマ戻し再生になります。
	再生中または可変再生中に押すと、30秒ほど先に進んで再生します(ワンタッチスキップ)。
	再生中または可変再生中に押すと、10秒ほど戻って再生します(ワンタッチリプレイ)。



◀▶	再生中に押すと、20ポイントに分割された番組の前後のポイントへスキップします。 - 録画時間が短い番組では動作しないことがあります。 - シーン検索やまるごとチャンネルのように、◀▶を別に使う機能では、この機能は使えません。
▶▶	次の番組を再生します。 ざんまいスマートアクセスからタイムシフト再生したときは働きません。
◀◀	再生中の番組の先頭にスキップして再生します。再生してから約4秒以内に押した場合は、一つ前の番組の先頭にスキップします(前の番組が途中まで再生されていたときは、その続きにスキップします)。 ざんまいスマートアクセスで選んだ番組を再生しているときは、再生中の番組の先頭にスキップして再生します。
始めにジャンプ	再生中の番組の先頭にスキップして再生します。 ※ 動画や機器によっては、正しく動作しないことがあります。

- ワンタッチスキップとワンタッチリプレイの時間は、「録画・再生設定」で変更することができます。》[「ワンタッチスキップ／ワンタッチリプレイの時間を変更する」](#)
-  で一時停止をしている間に時間が経過して、自動削除機能によって視聴中のタイムシフトマシン録画番組が削除されそうになった場合は、一時停止が自動的に解除されます。
- ※ 録画番組によっては、「[早見早聞](#)」が正しく動作しないことがあります。

タイムシフトマシン録画中の番組視聴時に使える便利な機能

始めにジャンプ

- 視聴中の番組を始めから見ることができます。
 - ① を押す
- 視聴中の番組の冒頭(録画開始部分)からタイムシフトマシン再生が始まります。

ちょっとバック

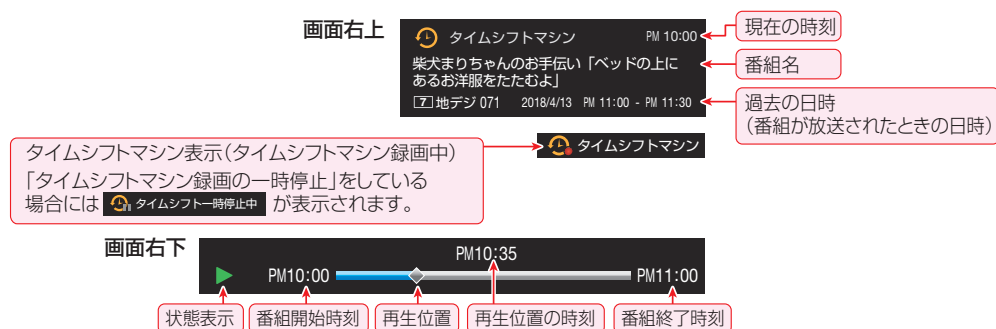
- 今見たシーンをもう一回見たいときに便利です。
 - ① を押す
- 視聴している場面の30秒前に戻ってタイムシフトマシン再生が始まります(30秒以上録画されている場合にできます)。

ちょっとタイム

- 電話に出るなどで一時的にテレビの前から離れるときに便利です。
 - ① テレビの前から離れるときに を押す
- 視聴中の映像が静止します。
- ② テレビの前に戻ったら、を押す
- 静止した場面からタイムシフトマシン再生が始まります。
- 「始めにジャンプ」、「ちょっとバック」、「ちょっとタイム」のいずれの場合にも…
 - ・ タイムシフトマシン再生中は上記のリモコン操作ができます。
 - ・ 放送画面に戻るには、または を押します。

番組情報やタイムバーを表示させる

- タイムシフトマシン再生中に **画面表示** を押すと、画面右上に番組情報、画面右下にタイムバーが表示されます。
- 停電や「タイムシフトマシン録画の一時停止」などで録画されなかった部分があっても、その様子はタイムバーに表示されません。その部分は再生時にスキップされます。
- タイムシフトマシンで録画中の番組を視聴している場合は、タイムバーに現在時刻位置(現在の録画ポイント)が表示されます。



タイムシフトマシン録画を一時的に停止させる

- タイムシフトマシン録画を一時的に停止させることができます。

1 を押し、▲・▼と で「その他の操作」⇨「タイムシフトマシン録画の一時停止」の順に進み、 を押す

- タイムシフトマシン録画が一時停止になり、 を押したときに画面に  タイムシフト一時停止中 が表示されます(上の図を参照)。
 - タイムシフトマシン録画が一時停止状態になっているときは、サブメニューに「タイムシフトマシン録画の再開」が表示され、タイムシフトマシン録画を再開することができます。
- ※ タイムシフトマシン録画の一時停止状態は、ソフトウェアの手動更新をした場合や、電源を「待機」または「切」にした場合に解除されます。
- ※ 電源プラグを抜く場合は、タイムシフトマシン録画の一時停止ではなく、[「タイムシフトマシン録画をする」](#) 》の手順2で「しない」を選び、タイムシフトマシン録画を停止させてください。

連ドラ予約をする

- お好みのタイムシフトマシン録画番組を選んで連ドラ予約をすることができます。

1 連ドラ予約をする番組を過去番組表から▲・▼・◀・▶で選び、サブメニューを押す

2 ▲・▼で「連ドラ予約」を選び、決定を押す

3 「連ドラ予約」画面で内容を確認する

- 番組名(連ドラ)や追跡基準の曜日などが正しく表示されているか確認してください。
- 「録画先」を設定したい場合は、「録画先」を選び、変更します。

4 ▲・▼・◀・▶で「はい」を選び、決定を押す

5 「予約を設定しました。」が表示されたら、決定を押す

過去番組表を便利に使う

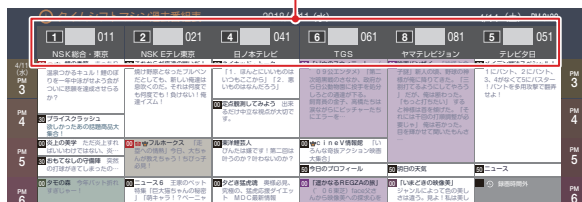
- 過去番組表が表示されているときに以下の操作をします。

週間過去番組表を表示させる

- 選んだ放送局の一週間分の番組表を表示させることができます。

- 1 ◀▶ で一週間分の番組表を表示させたいチャンネルを選び、**黄** (週間過去番組表)を押す

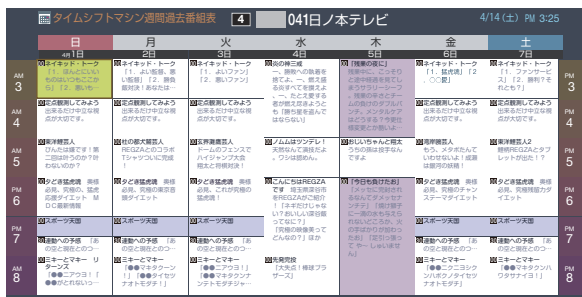
一週間分の過去番組表を表示させたい放送局の番組を選びます。



【通常過去番組表】



黄 を押すたびに切り換わります。



【週間過去番組表】

- ◀▶ で他のチャンネルの週間過去番組表に切り換えることができます。

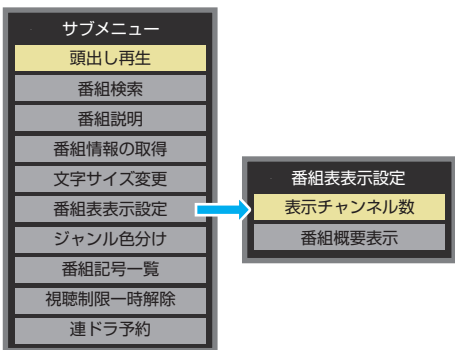
サブメニューを使って操作する

- 過去番組表が表示されているときに **サブメニュー** を押して、過去番組表のさまざまな設定をすることができます。

1 **サブメニュー** を押す

- 過去番組表のサブメニューが表示されます。

2 設定する項目を▲・▼で選んで **決定** を押し、以降を参照して操作する



- 以下の項目は通常番組表と同じ操作になります。
該当タイトルの説明をご覧ください。

項目	該当タイトル
番組説明	「番組説明を見る」 》
ジャンル色分け	「ジャンル別に色分けする」 》
番組記号一覧	「番組記号の説明を見る」 》
番組概要表示	「番組概要の表示／非表示を設定する」 》

頭出し再生

- 過去番組表で選んだ番組を番組冒頭(録画開始部分)から見る
ことができます。

1 ▲・▼で「頭出し再生」を選び、 **決定** を押す

文字サイズ変更

- 番組表の文字が小さくて見えにくいときなどに、文字の大きさを切り換えることができます。

① ▲・▼でお好みの文字の大きさを選び、を押す

表示チャンネル数設定

- 録画チャンネル数が表示チャンネル数よりも少ないときは、番組表の空き部分が灰色になります。

① ▲・▼で「表示チャンネル数」を選び、を押す

- 9チャンネル表示を選ぶこともできます。

※ オートでは、録画チャンネル数にかかわらず9チャンネル表示はされません。

② ▲・▼で表示させるチャンネル数を選び、を押す

連ドラ予約

- 過去番組表に表示されている番組を選んで、「連ドラ予約」をすることができます。

① ▲・▼で「連ドラ予約」を選び、を押す

② 「連ドラ予約」画面で内容を確認し、◀▶で「はい」を選んでを押す

- 番組名や追跡基準の曜日などが正しく表示されているか確認します。

- 設定を変更する場合は、[「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」](#)の操作をします。

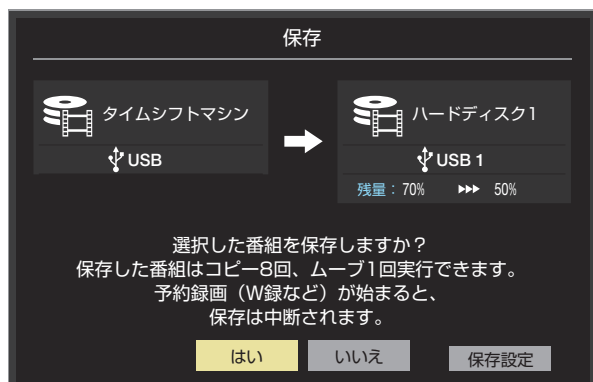
タイムシフトマシン録画番組を保存する

- タイムシフトマシン録画番組を通常録画用のUSBハードディスクに保存することができます。
- 保存した番組は、[録画リスト](#)から視聴やダビングができるようになります。
- ※ 保存できるのはコピーフリー番組とダビング10番組です。
保存したダビング10番組はコピー8回+ムーブ1回可能となります。
- ※ 録画中の番組、自動削除中の番組、一度保存した番組は保存できません(過去番組表で、保存済の番組にはアイコンがつきます)。

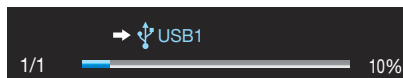
1 過去番組表で、保存する番組を▲・▼・◀・▶で選び、を押す

- 保存の確認画面が表示されます。

2 ◀▶で「はい」を選び、を押す



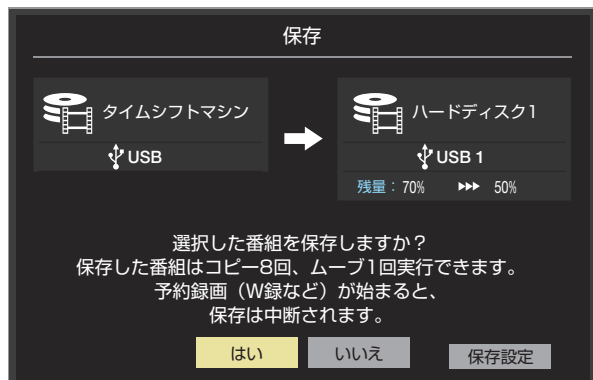
- 保存が始まってしばらくすると、画面の右下に進行状況が表示されます。



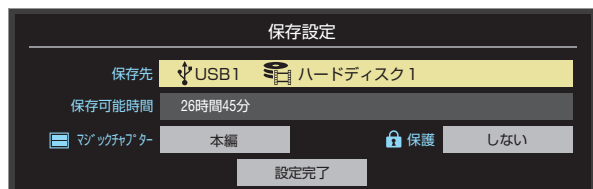
保存設定をする場合

- 以下の手順で保存設定をします。

1 ▲・▼・◀・▶で「保存設定」を選び、決定を押す



2 保存設定をする



保存先を変更するとき

1 ▲・▼・◀・▶で「保存先」を選び、決定を押す

- 保存先機器の選択画面が表示されます。

2 保存先にする機器を▲・▼で選び、決定を押す

- SeeQVault™対応USBハードディスクを保存先を選べば、SeeQVault™形式に直接変換して保存することができますが、ダビング10非対応の番組になってしまいます。SeeQVault™形式に直接変換して保存したい場合は[「タイムシフトマシン録画番組をSeeQVault™形式に直接変換して保存する」](#)をご覧ください。

マジックチャプターの設定を変更するとき

- マジックチャプターは、シーンの変わり目で自動的にチャプター(章)に分割する機能です。
- 1 ▲・▼・◀・▶で「マジックチャプター」を選び、決定を押す
- 設定画面が表示されます。
- 2 ▲・▼で以下から選び、決定を押す
 - **本編** …… 本編とCMの間でチャプター分割されます。
 - **音楽** …… 楽曲の前後でチャプター分割されます。
 - ※ 音楽の検出は、番組のメインジャンルが「音楽」、またはメインジャンルが「バラエティ」でサブジャンルが「音楽バラエティ」のときにのみ行われます。
 - **本編と音楽** …… 上記の両条件でチャプター分割されます。
 - **オフ** …………… チャプター分割をしません。

保護の設定を変更するとき

- 保存した番組を保護するかどうか設定します。
 - 1 ▲・▼・◀・▶で「保護」を選び、決定を押す
 - 設定画面が表示されます。
 - 2 ▲・▼で「する」または「しない」を選び、決定を押す
-
- 3 ▲・▼・◀・▶で「設定完了」を選び、決定を押す
 - 保存確認画面で「はい」を選んだときと同様に、保存が開始されます。

お知らせ

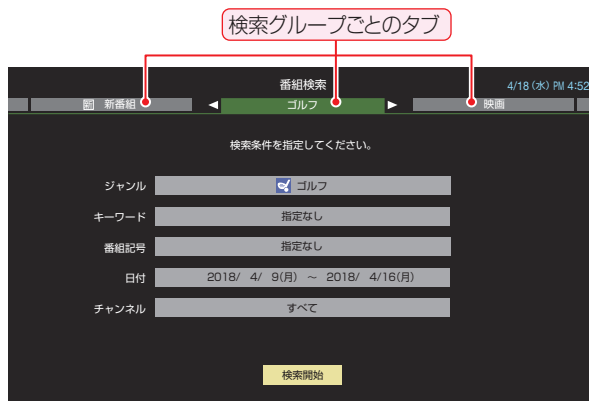
- タイムシフトマシン録画番組の保存中にできない操作をすると、画面にメッセージが表示されます。保存が終了するまでお待ちください。

見たいタイムシフトマシン録画番組を探す

- タイムシフトマシン録画された番組の中から、見たい番組を探して視聴したり、保存したりすることができます。
- ※ ざんまいスマートアクセスでも、見たい番組を探して視聴したり、保存したりできます。

「番組検索」で探す

- 1 過去番組表を表示中に、**サブメニュー** を押し、**▲・▼** で「番組検索」を選び、**決定** を押す
- 2 検索するグループのタブを **◀・▶** で選ぶ

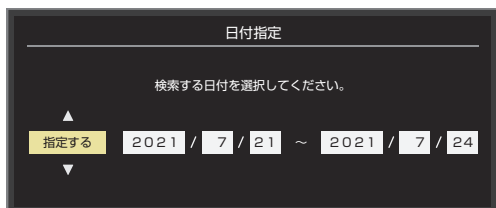


3 検索条件を指定する

- 「日付」と「チャンネル」以外の指定方法は、「条件を絞りこんで番組を探す」の手順4と同じです。

「日付」を指定するとき

- 1 ▲・▼で「日付」を選び、決定を押す



- 2 ◀・▶で左端の欄に移動し、▲・▼で「指定する」を選ぶ
- 3 ◀・▶で欄を移動し、検索範囲の開始～終了の年、月、日を▲・▼で選ぶ
- 4 指定が終わったら、決定を押す

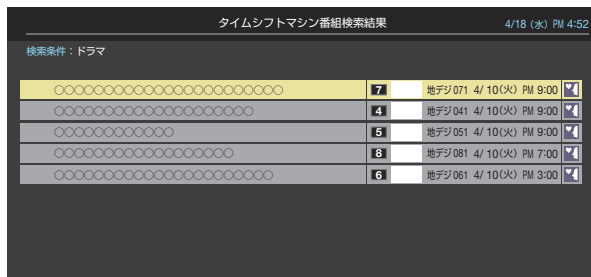
「チャンネル」を指定するとき

- 1 ▲・▼で「チャンネル」を選び、決定を押す
- 2 指定する項目を◀・▶で選び、▲・▼で内容を選ぶ
- タイムシフトマシン録画チャンネルの中から、お好みのチャンネルまたは「すべて」が指定できます。
- 3 指定が終わったら、決定を押す

- 4 ▲・▼・◀・▶で「検索開始」を選び、決定を押す
 - 検索にはしばらく時間がかかることがあります。
 - 検索が終わると、検索結果画面が表示されます。

5 「タイムシフトマシン番組検索結果」画面からお好みの番組を▲・▼で選び、決定を押す

- 再生が始まります。



- **緑**を押して通常録画用USBハードディスクに保存する場合は、をご覧ください。

頭出し再生をする

- 選んだ番組を番組冒頭(録画開始部分)から見るができます。
- ① ▲・▼で頭出し再生をしたい番組を選び、**赤**(頭出し再生)を押す

番組情報を見る

- 選んだ番組の番組説明を見ることができます。
- ① ▲・▼で番組情報を見たい番組を選び、**黄**(番組説明)を押す

連ドラ予約をする

- 表示されている番組を選んで、連ドラ予約をすることができます。
- ① ▲・▼で連ドラ予約にしたい番組を選び、**青**(連ドラ予約)を押す
- ② 「連ドラ予約」画面で内容を確認し、◀▶で「はい」を選んで**決定**を押す
- 番組名や追跡基準の曜日などが正しく表示されているか確認します。
- 設定を変更する場合は、[「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」](#)の操作をします。

録画した番組を再生する

- USBハードディスクに録画した番組を見るには、以下の操作をします。
- ネットワークメディアサーバーの動画再生については「[動画を再生する](#)」をご覧ください。

再生の基本操作とさまざまな再生のしかた

1 録画リストを押す

2 必要に応じて録画リストの表示を変える

- 分類タブとグループタブについては、下の図を参照してください。

録画リスト (例)

1 ≪・≫ で分類タブを切り換える

- ・ **すべて** …… すべての録画番組が表示されます。
- ・ **おまかせ** …… 「おまかせ録画」で録画された録画番組が表示されます。
- ・ **未視聴** …… 未再生の録画番組が表示されます。
- ・ **曜日別** …… 録画した曜日ごとに表示されます。
- ・ **ジャンル別** …… ドラマや映画などのジャンルごとに表示されます。番組情報がない場合は、「その他」に分類されます。
- ・ **連ドラ別** …… 「連ドラ予約」の予約ごとに表示されます。
- ・ **マイフォルダ別** …… 指定した「マイフォルダ」ごとに表示されます。

2 ◀▶でグループタブを切り換える

- 分類が「すべて」「おまかせ」「未視聴」の場合はグループタブはありません。
- 分類が「すべて」以外の場合は、分類タブとグループタブで選ばれた番組だけリストに表示されます。
- 分類が「おまかせ」「未視聴」の状態で、録画リストを表示した場合、分類は「すべて」の状態になります。
- 視聴年齢制限番組は表示されません。表示させるときは、**サブメニュー**を押してから、「視聴制限一時解除」を選んで**決定**を押してから暗証番号を入力してください。

3 見たい番組を▲▼で選び、**決定**を押す

- 選んだ番組の再生が始まります。
- 前回、再生を途中で停止した番組を選んだ場合は、続きから再生されます(レジューム再生)。
- 番組を最後まで再生し終わると、そのまま静止状態になり、しばらくするとテレビ放送になります。
- 再生中にできるリモコン操作については、次ページをご覧ください。

4 番組再生を終了するには、**終了**または**終了**を押す

- 放送画面などに戻ります。

番組の冒頭から再生するー 頭出し再生

- 1 再生する番組を選んでから、**サブメニュー**を押し、▲▼で「頭出し再生」を選んで**決定**を押す

録画中の番組を再生するー 追っかけ再生

- 1 録画中の番組を▲▼で選んで**決定**を押す

CHAPTERの一覧画面から再生する

- CHAPTERが分割されている録画番組でできます。
- ※ BS・110度CSの4K録画番組は、「CHAPTER一覧画面」の操作はできません。

1 再生する番組を▲・▼で選んで **緑** を押す

- CHAPTER一覧画面が表示されます。

2 再生するCHAPTERを▲・▼・◀・▶で選んで **決定** を押す

- 選択したCHAPTERの先頭から再生が始まります。

再生中にタイムサーチで再生位置を指定する

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼で「サーチ」を選んで **決定** を押す

- 画面右上に **サーチ-----** が表示されます。

2 **1** ~ **10** (0) で時間を指定する

例 冒頭から1時間25分5秒後の位置を指定するとき

10 (0) **1** **2** **5** **10** (0) **5** の順に押します。

お知らせ

- 番組冒頭部分の約2秒間を飛ばして再生が始まります(録画は番組開始時刻の約2秒前から開始されるようになっています)。

録画リストについて

- 録画開始直後の番組は、録画リストに表示されるまでに少し時間がかかります。
- 録画リストに表示できる最大数は3000件までです。これを超えた機器では正しく動作しないことがあります。
- 機器に記録されている情報によっては、選択中の録画番組の情報が正しく表示されないことがあります。

録画番組の再生中にできるリモコン操作

ボタン	内 容
	一時停止、早送り/早戻し再生から通常の再生に戻します。 - 再生中に繰り返し押すと、1.5倍の速さの音声付早送り再生「早見早聞」と通常の再生が交互に切り換わります。 - 放送番組の視聴中に押すと、USBハードディスクで前回再生した番組の続きから再生されます。
静止 	再生中に押すと一時停止になり、もう一度押すと再生が再開されます。
	再生を終了し、放送画面などに戻ります。
	早送り再生をします(押すたびに速さが変わります)。 - 一時停止中に押すとコマ送りができます。 - 一時停止中に1秒ほど押し続けるとスロー再生になります。スロー再生中に押すと、押すたびにスロー再生の速さが変わります(3段階)。
	早戻し再生をします(押すたびに速さが変わります)。 - 一時停止中に押すと0.5秒ほど戻って一時停止になります。番組によっては、戻る時間が大きくなることがあります。 - 一時停止中に1秒ほど押し続けると連続コマ戻し再生になります。
	再生中に押すと、20ポイントに分割された番組の前後のポイントへスキップします。 - 録画時間が短い番組では動作しないことがあります。 - シーン検索のように、◀▶を別に使う機能では、この機能は使えません。
	再生中または早見早聞での再生中に押すと、30秒ほど先に進んで再生します(ワンタッチスキップ)。
	再生中または早見早聞での再生中に押すと、10秒ほど戻って再生します(ワンタッチリプレイ)。
	次のチャプターの先頭にスキップして再生します。 チャプターのない録画番組では録画日時が一つ次の番組を再生します。
	現在のチャプターの先頭にスキップして再生します。再生してから4秒以内に押した場合は、一つ前のチャプターの先頭にスキップします。 チャプターのない録画番組では再生中の番組の先頭に戻って再生します。再生してから4秒以内に押した場合は、録画日時が一つ前の番組の先頭にスキップします。

録画リスト

再生中に押すと、録画リストが表示されます。

- 放送番組視聴時などに押した場合も録画リストが表示されます。

- ※ BS・110度CSの4K録画番組は、「早見早聞」「スロー再生」「連続コマ戻し再生」「コマ送り」「コマ戻し(0.5秒戻し)」の操作はできません。
- ※ 録画番組によっては、「早見早聞」が正しく動作しないことがあります。
- ※ 録画中の番組再生での早送り/早戻し再生などの特殊再生機能は、正しく動作しないことがあります。
- ※ 録画番組を特殊再生しているときは、字幕の表示ができません。
- ※ 録画番組によっては、一時停止やワンタッチスキップなどの特殊再生操作をしたときに映像が表示されなくなることがあります。その場合は、▶/朝晩 で通常再生に戻してから再度特殊再生の操作をしてください。

ワンタッチスキップ／ワンタッチリプレイの時間を変更する

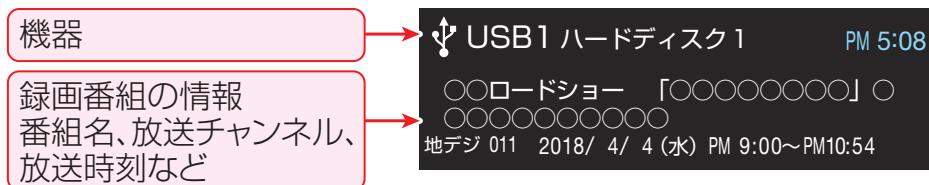
- ワンタッチスキップとワンタッチリプレイの時間を変更することができます。お買い上げ時の設定のように、飛ばす時間よりも戻す時間を短く設定しておく、と、飛ばしすぎて戻すときに便利です。
- ① **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「録画・再生設定」⇒「再生設定」の順に進む
- ② ▲・▼で「ワンタッチスキップ設定」または「ワンタッチリプレイ設定」を選び、**決定** を押す
- ③ ▲・▼で時間を選び、**決定** を押す

録画番組の情報や番組説明を見る

番組の情報を見る

① 再生中に **画面表示** を押す

- 再生中の番組の情報が表示されます。
- しばらくすると番組情報の表示は消えます。



再生タイムバー



② 表示を消すには、もう一度 **画面表示** を押す

番組説明を見る

① 録画リスト表示中または番組の再生中に **サブメニュー** を押し、▲・▼で「番組説明」を選択して **決定** を押す

- 番組説明画面が表示されます。
- #### ② 番組説明画面を消すには、**終了** を押す
- しばらく放置した場合にも消えます。

録画番組を修復する

- 録画中に停電したり、電源プラグを抜いてしまったりすると録画番組が正しく保存されず、そのままでは再生できません。このような場合、「録画番組の修復」をすると、録画された内容を再生できるようになることがあります。
- 1 **設定** を押し、▲▼と **決定** で「録画・再生設定」⇒「通常録画用USBハードディスク設定」の順に進む
- 2 ▲▼で「録画番組の修復」を選び、**決定** を押す
- 3 番組を修復する機器を▲▼で選び、**決定** を押す
- 4 確認画面で、◀▶で「はい」を選び、**決定** を押す
- 修復の処理が始まります。終わるまでそのままお待ちください。
- 5 「録画番組の修復を行いました。」が表示されたら、**決定** を押す
- この操作には、30分程度かかることがあります。
- 録画番組を修復できなかった場合は、「録画番組の修復ができませんでした。」が表示されます。
- ※ 録画番組が修復できた場合でも、通常再生以外の再生機能は正しく動作しないことがあります。

おすすめの番組を見る

- おまかせ録画で録画した番組や通常録画した番組、タイムシフトマシンの番組を、おすすめの番組やジャンルごとにサムネイルで表示し、見たい番組を簡単に探すことができます。
- あらかじめクラウドサービスやネットワークサービスの設定が必要です。 [「ネットワークサービスを利用するための設定をする」](#)

1 を押す

- おすすめ番組が表示されます。おすすめ番組については、クラウドサービスのホームページ(<https://timeon.jp/>)をご覧ください。

お知らせ

- クラウドサービスのご利用については[「クラウドサービスとネットワークサービスについて」](#)をご覧ください。

シーン検索について

-  を押すと、番組をより便利に楽しくお使いいただけるクラウドサービスが利用できます。シーン検索については、クラウドサービスのホームページ(<https://timeon.jp/>)をご覧ください。

シーン検索の利用に必要な準備

- インターネットを利用するための接続(製品同梱の取扱説明書 )と[インターネットを利用するための設定](#)が必要です。
- [「ネットワークサービス利用設定」](#)の設定が必要です。

お知らせ

- クラウドサービスのご利用については[「クラウドサービスとネットワークサービスについて」](#)をご覧ください。

見たい録画番組を探して再生する

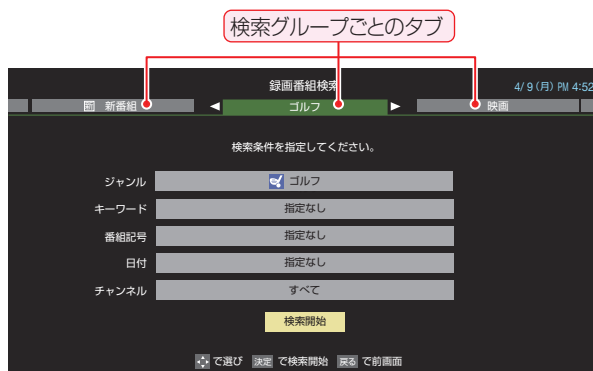
- USBハードディスクに録画した番組の中から、視聴したい番組を探することができます。
- ジャンル、キーワードなどの検索条件を指定して録画番組を検索します。
- 録画番組のグループ(タブ)ごとに検索条件を設定できます。

1 録画リストの表示中に **サブメニュー** を押す

2 ▲・▼で「番組検索」を選び、**決定** を押す

- 録画番組検索画面が表示されます。

3 検索するグループのタブを ◀▶ で選ぶ

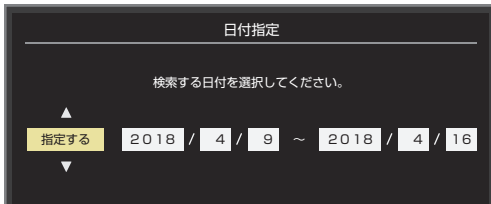


4 検索条件を指定する

- 「ジャンル」、「キーワード」、「番組記号」の指定方法は、[「条件を絞りこんで番組を探す」](#)の手順4と同じです。ほかの項目は以下の手順で指定します。

「日付」を指定するとき

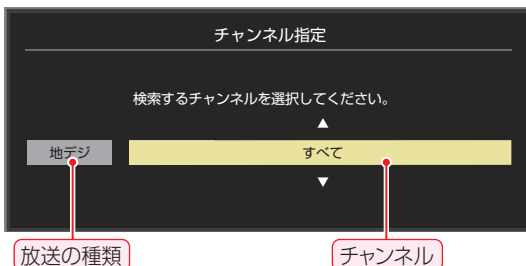
- 1 ▲・▼で「日付」を選び、決定を押す



- 2 ◀▶で左端の欄に移動し、▲・▼で「指定する」を選ぶ
- 3 ◀▶で欄を移動し、検索範囲の開始～終了の年、月、日を▲・▼で選ぶ
- 4 指定が終わったら、決定を押す

「チャンネル」を指定するとき

- 1 ▲・▼で「チャンネル」を選び、決定を押す
- 2 指定する項目を◀▶で選び、▲・▼で内容を選ぶ



- ・ 放送の種類 すべて / BS / CS / 地デジ / BS/CS 4K
 - ・ チャンネル 指定した放送の種類に該当するチャンネル / すべて
- 3 指定が終わったら、決定を押す

5 ▲・▼・◀・▶で「検索開始」を選び、決定を押す

- 検索にはしばらく時間がかかることがあります。
- 検索が終わると、検索結果画面が表示されます。

6 見たい録画番組を▲・▼で選び、決定を押す



- 選んだ番組の再生が始まります。

録画リストのさまざまな機能を使う

- 録画リストの表示中に以下のさまざまな機能を使うことができます。

繰り返し再生の設定を変える

- 録画番組の繰り返し再生(リピート再生)を設定することができます。
- 設定した状態は本機に記憶されます。

1  を押し、▲・▼で「再生設定」を選んで  を押す

2 ▲・▼で以下から選び、 を押す

- **1コンテンツリピート**
選択した一つの番組の再生を繰り返します。
 - **リピート**
すべての番組の連続再生を繰り返します。
 - **オフ**
繰り返し再生をしません。
- リピート再生をしているときは、画面左上にリピート再生アイコンが表示されます(1コンテンツリピート: 、リピート: )。
 - 録画中の番組はリピート再生ができません。

番組を並べ替える

- 録画リストに表示される番組の並び順を変えることができます。

1 サブメニューを押し、▲・▼で「並べ替え」を選んで決定を押す

2 ▲・▼で以下から選び、決定を押す

- 新しい順 …… 日付の新しい順に表示されます。
- 古い順 …… 日付の古い順に表示されます。

ほかの機器を選択する

- 再生する機器を変更するには以下の操作をします。

1 青を押す

- 機器選択画面が表示されます。
- ※ 機器が1台しか接続されていない場合は、メッセージが表示されます。

2 使用する機器を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す

連ドラ予約をする

- 録画リストに表示されている番組を選んで、「連ドラ予約」をすることができます。

1 連ドラ予約にする番組を▲・▼で選び、サブメニューを押す

2 ▲・▼で「連ドラ予約」を選び、決定を押す

3 「連ドラ予約」画面で内容を確認し、◀▶で「はい」を選んで決定を押す

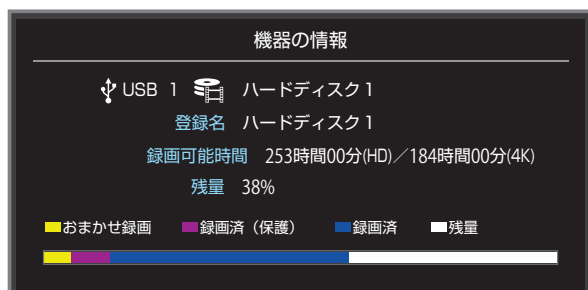
- 番組名や追跡基準の曜日などが正しく表示されているか確認します。
- 設定を変更する場合は、[「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」](#)の操作をします。

機器の情報を確認する

- 使用中の機器の情報を確認します。
- USBハードディスクの残量も画面で確認できます。
 - ※ 残量表示や録画可能時間表示は、目安としてご利用ください。
 - ※ USBハードディスクの残量は、BS・110度CSデジタルハイビジョン放送(24Mbps)とBS・110度CSの4K放送(33Mbps)の録画が可能な時間を基準に算出しています。地上デジタルハイビジョン放送(約17Mbps)の録画番組などを削除した場合、残量の増加分は削除した番組の時間よりも少なくなります。

1 サブメニューを押し、▲・▼で「機器の情報」を選んで 決定 を押す

- 機器の情報画面が表示されます。
例：USBハードディスクの場合



2 情報画面を消すには、決定 を押す

SeeQVault™形式の番組を再生する

- SeeQVault™形式に変換してダビングされた番組や、他の機器で保存されたSeeQVault™形式の番組では、項目が表示されないことがあります。
- SeeQVault™形式の番組が選ばれているときは、**緑**の「チャプター一覧」の操作はできません。
- SeeQVault™対応SDメモリーカードの録画リストでは**黄**の「ダビング」は非表示となります。
- 録画リストに表示できる最大数は、通常番組が3000とSeeQVault™形式の番組が3000で合計6000件までです。これを超えた機器では正しく動作しないことがあります。
- [「録画した番組を再生する」](#)もご覧ください。

再生の基本操作

1 録画リストを押す



2 必要に応じて録画リストの表示を変える

- 1 **◀・▶** で分類タブを切り換える
- 2 **◀▶** でグループタブを切り換える

3 見たい番組を、▲・▼で選び、を押す

- 選んだ番組の再生が始まります。

4 番組再生を終了するには、またはを押す

- 放送画面などに戻ります。

SeeQVault™対応機器を選択する

1 録画リストの表示中にを押す

- 機器選択画面が表示されます。
- ※ 機器が1台しか接続されていない場合は、メッセージが表示されます。

2 SeeQVault™対応機器を▲・▼・◀・▶で選び、を押す

不要な録画番組を消す／ 誤って消さないように保護する

- 見終わった録画番組などを消したり、消さないように保護したりする場合は、録画リストの表示中に以下の操作をします。

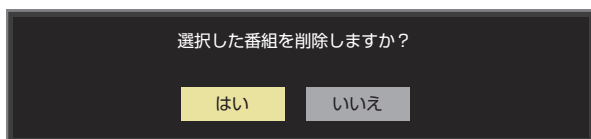
一つの録画番組を消す

1 消す番組を▲・▼で選び、 (削除)を押す

- 保護されている録画番組を消す場合は、保護を解除してから  を押してください。>>「[誤って消さないように保護する](#)」

2 ▲・▼で「1件削除」を選び、 を押す

3 確認画面で、◀▶で「はい」を選んで を押す



4 削除が終了したら、 を押す

複数の録画番組を消す

1 消す番組のどれかを▲・▼で選び、**赤** (削除)を押す

2 ▲・▼で「複数削除」を選び、**決定**を押す

3 消す番組を▲・▼で選び、**決定**を押す

- **決定**を押すたびに、☒と☐が交互に切り換わります。削除する番組に☒をつけます。
- 保護された番組を消す場合は、その番組を選び、**青**を押して保護を解除してから**決定**を押します。

☒をつけた番組が削除されます

青は**青**で解除してから



4 選択が終わったら**赤** (削除実行)を押す

5 確認画面で、◀▶で「はい」を選んで**決定**を押す

6 削除が終了したら、**決定**を押す

グループ内の録画番組をすべて消す

1 まとめて消すグループの録画リストを表示させる

- [「再生の基本操作とさまざまな再生のしかた」](#) » の手順2をご覧ください。

2 (削除) を押し、▲・▼で「グループ内全削除」を選び、 を押す

3 確認画面で、◀▶で「はい」を選んで を押す

4 削除が終了したら、 を押す

自動的に消す(自動削除設定)

- お買い上げ時は、USBハードディスクの容量が足りなくなったときに、保護されていない古い録画番組が自動的に削除されるように設定されています。削除されないようにする場合は「削除しない」に設定してください。

1 を押し、▲・▼で「自動削除設定」を選んで を押す

2 ▲・▼で「削除する」または「削除しない」を選び、 を押す

誤って消さないように保護する

- 自動削除機能で削除されたり、誤って消してしまったりしないように、録画番組を保護することができます。

※録画中にこの操作はできません。

1 保護する番組を▲・▼で選び、サブメニューを押す

2 ▲・▼で「保護」を選び、決定を押す

- 選択した番組が保護されます(🔒がつきます)。
- 保護されている番組を選択してサブメニューを表示させると、「保護解除」ができます。

チャプター編集をする

録画済番組の再生中に編集する

- 録画済番組の再生中にチャプターの分割と結合ができます。

1 録画リストを表示させる(≫「再生の基本操作とさまざまな再生のしかた」1～2)

2 チャプター編集をする録画済番組を▲▼で選び、決定を押す

3 各種の再生操作をして、チャプター分割をしたい場面で静止を押す

- 画面右下に操作ガイドと再生タイムバーが表示されます。



- ◀▶ で、コマ送りやスロー再生ができます。

▶▶	● 一時停止中に押すとコマ送りができます。 ● 一時停止中に1秒ほど押し続けるとスロー再生になります。スロー再生中に押すたびにスロー再生の速さが変わります(3段階)。
◀◀	● 一時停止中に押すと0.5秒ほど戻って一時停止になります。 ● 一時停止中に1秒ほど押し続けると連続コマ戻しになります。

4 青 または 赤 でチャプター編集をする

- 青 を押すと、一時停止した場面でチャプターが分割されます。
- 赤 を押すと、一時停止したチャプターとその前のチャプターが結合されます。
- 必要に応じて、手順3と4を繰り返します。

グループ名を変更する

- 「マイフォルダ別」の録画リストで表示されるグループのタブ名を変更することができます。
- 「連ドラ別」の場合にも同様の操作ができます。その場合は、グループ名を変更すると予約リストの予約番組名も同じ名前に変更されます。
- ハードディスクが複数接続されている場合、機器ごとにグループ名を変更することはできません。
- 番組の録画中にこの操作をすることはできません。

1 「マイフォルダ別」の録画リストを表示させる(≫「再生の基本操作とさまざまな再生のしかた」1～2)

- 連ドラグループ名を変更する場合は、「連ドラ別」の録画リストを表示させます。

2 名前を変更するグループのタブを◀▶で選ぶ

例 「わたし」のグループを選択



3 サブメニューを押し、▲▼と決定で「編集・管理」⇒「マイフォルダ管理」⇒「マイフォルダ名の変更」の順に進む

- 「連ドラ別」のグループ名を変更する場合は、「編集・管理」⇒「連ドラグループ名の変更」の順に進みます。

4 文字入力画面でグループ名を入力する

- お好みの分類名にすることができます。
- 文字入力の方法は、「[文字を入力する](#)」をご覧ください。
- 全角文字で10文字まで入力できます。
- 文字入力の操作が終わると、録画リストのグループタブ名が変更されます。

例 「 わたし」⇒「 まさみのお気に入り」に変更



他のグループに移動する

- 録画番組をほかのグループに移動することができます。
たとえば、録画時の設定で「 わたし」に分類した番組を、録画後に「お気に入り2」に移すことができます。
- ※ USBハードディスクでの録画中は、この操作はできません。
- ※ 保護された録画番組は、移動することはできません。

1 「マイフォルダ別」の録画リストを表示させる(≫「[再生の基本操作とさまざまな再生のしかた](#)」1～2)

2 移動する番組が保存されているグループのタブを◀▶で選ぶ

3 移動する番組を▲▼で選ぶ

4  を押し、▲▼と  で「編集・管理」⇒「マイフォルダ管理」⇒「マイフォルダの変更」の順に進む

5 ▲▼で以下から選び、 を押す

- 1件変更
選択中の番組を別のグループに移動します。
- 複数変更
複数の番組を選択して、まとめて別のグループに移動します。
- グループ内全変更
選択中のグループの全番組を別のグループに移動します。

6 移動先のグループを▲・▼で選び、決定を押す

- グループアイコンとグループ一覧(お買い上げ時の設定)

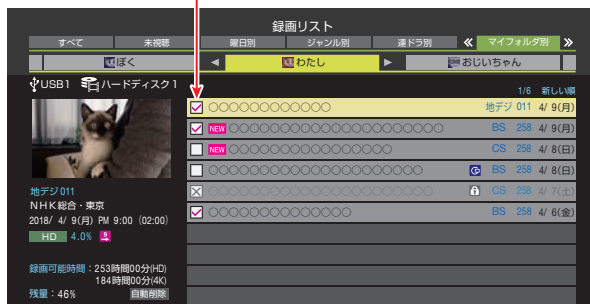
	みんな		お気に入り1
	おとうさん		お気に入り2
	おかあさん		お気に入り3
	ぼく		お気に入り4
	わたし		お気に入り5
	おじいちゃん		お気に入り6
	おばあちゃん		指定しない

7 「複数変更」の場合は以下の操作をする

- ① 移動する番組を▲・▼で選び、決定を押す

- 決定を押すたびに、☒と☐が交互に切り換わります。移動する番組に☒をつけます。
- 保護されている番組は移動できません。

移動する番組に☒をつけます



- ② 移動する番組をすべて選んだら 開始を押す

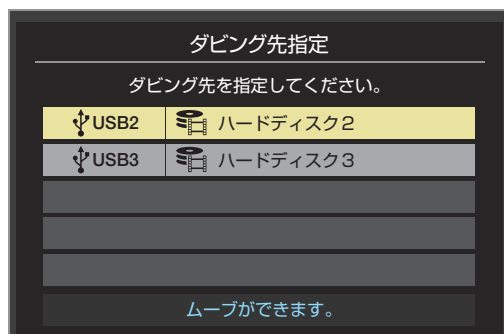
8 確認画面で、◀▶で「はい」を選んで決定を押す

録画番組をダビング(ムーブ)する

- 本機でUSBハードディスクに録画した番組を他の機器にダビングすることができます。
 - ・ 機器の接続や設定については、[「レグザリンクダビングの接続・設定をする」](#)をご覧ください。
 - ・ USBハードディスク間のダビングは、ムーブ(移動)だけできます。
 - ・ レグザリンクダビングに対応しているDTCP-IP対応サーバーには、番組のコピー制御情報(コピーワンスやダビング10など)に従ってダビングすることができます。
- ※ USBハードディスクからDTCP-IP対応サーバーへダビングをした番組をUSBハードディスクに戻すことはできません。
- ※ USBハードディスクへの2番組同時録画(W録)中は、ダビングできません。
- ※ ダビング中に機器の接続を変更したり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。
- ※ DTCP-IP対応サーバーへのダビング時には、有線LANでの接続をおすすめします。また、無線LANをご使用の場合、暗号設定が「暗号なし」のときは、ダビングできません。
- ※ ダビング中の番組は再生できません。
- ※ 4K放送の録画番組はDTCP-IP対応サーバーへダビングできません。

USBハードディスク間でムーブする

- 1 録画リストを表示させる(≫「[再生の基本操作とさまざまな再生のしかた](#)」1～2)
- 2 ダビングする番組を▲・▼で選び、を押す
- 3 ▲・▼で「1件ダビング」または「複数ダビング」を選び、を押す
- 4 ダビング先を▲・▼で選び、を押す
 - ダビング先に指定できる機器が1台の場合、この手順はありません。



5 「複数ダビング」の場合は以下の操作をする

① ダビングする番組を▲・▼で選び、決定を押す

- 決定を押すたびに、☒と☐が交互に切り換わり、☒をつけた番組がダビングされます。
- 保護された番組をダビングする場合は、その番組を選び、青を押して保護を解除してから決定を押します。

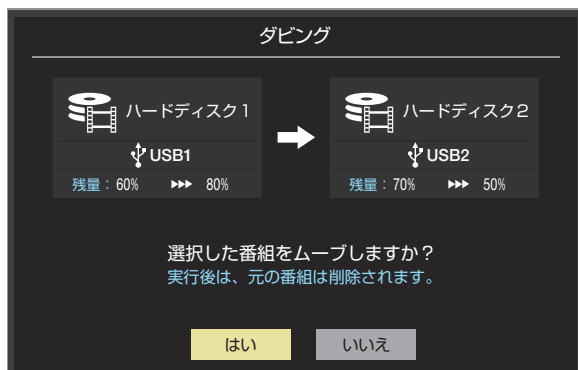
☒をつけた番組がダビングされます ☐は青で解除してから



② ダビングする番組をすべて選んだら黄を押す

- 一度にダビングできるのは64番組までです。

6 「ダビング」画面で、◀▶で「はい」を選んで決定を押す



東芝レコーダーにダビングしてディスクに保存する

ネットワーク接続でダビングする

- DTCP-IP対応の東芝レコーダーにネットワーク経由でダビングをすることができます。
- ※ ダビングは有線LANでの接続をおすすめします。また、無線LANをご使用の場合、暗号設定が「暗号なし」のときは、ダビングできません。
- ※ 4K放送の録画番組はダビングできません。
- 番組のコピー制御情報に従ったダビングとなります。

準備

1 本機と東芝レコーダーをLANで接続する

- [「レグザリンクダビングの接続・設定をする」](#) 》と同じです。

2 ネットワークの設定を確認する

- [「レグザリンクダビングの接続・設定をする」](#) 》と同じです。

ダビングの操作

- **「USBハードディスク間でムーブする」**の操作手順と同じです。

手順**4**で、LAN接続したDTCP-IP対応の東芝レコーダーをダビング先に指定します。



- ※ 使用する機器が「ダビング先指定」の画面(1台だけの場合は「ダビング」の画面)に表示されない場合は、接続や設定を確認します。

- 手順**6**の「ダビング」画面で、必要に応じて▲▼◀▶で「ダビング終了時電源オフ」を選び、**決定**を押して✓をつけます(この機能に対応しているレコーダーだけ)。



ダビング終了後にレコーダーの電源を切るには、☒をつける

ブルーレイディスクに手間なくダビングする

- 本機でUSBハードディスクに録画した番組を、東芝レコーダーのブルーレイディスクに直接ダビングする操作感覚でダビングすることができます。
- ※ ダビングは有線LANでの接続をおすすめします。また、無線LANをご使用の場合、暗号設定が「暗号なし」のときは、ダビングできません。
 - 東芝レコーダー対応機種 形名（2020年4月現在）
DBR-M4008、DBR-W2009
他の対応機種については、下記URLをご覧ください。
<https://www.toshiba.co.jp/regza/>
- 番組のコピー制御情報に従ったダビングとなります。

準備

- [「ネットワーク接続でダビングする」](#)の「準備」を参照してください。

ダビングの操作

- 1 録画リストを表示させる([「再生の基本操作とさまざまな再生のしかた」](#) 1～2)
- 2 ダビングする番組を▲・▼で選び、  を押す
- 3 ▲・▼で「1件ダビング」または「複数ダビング」を選び、  を押す

4 ダビング先を▲・▼で選び、決定を押す

- 対象の東芝レコーダーをダビング先に指定します。



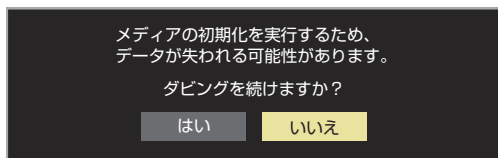
5 ブルーレイディスクが挿入されているドライブを▲・▼で選び、決定を押す



メッセージが表示されたとき

- レコーダーがメディアの自動初期化に対応している場合、レコーダーが未初期化状態として認識するブルーレイディスクが挿入されていると以下のメッセージが表示されます。

「はい」を選択して続行した場合、ブルーレイディスクに記録されたデータはすべて消去されます(レコーダー以外の機器で記録したデータなどがある場合はご注意ください)。



- レコーダーのハードディスク残量が不足している場合や、ハードディスクに録画できる残りの番組数が不足していると、以下のメッセージが表示されます。

メディアの残量が不足しているため、ダビングできません。

決定 を押す

- レコーダーが「ぴったりダビング」に対応している場合は、以下のメッセージが表示されます。
「はい」を選択した場合、圧縮ダビングによって画質が低下することがあります

ぴったりダビング

1 枚のディスクにおさまるように圧縮してダビングします。
よろしいですか？

はい

いいえ

6 「複数ダビング」の場合は「USBハードディスク間でムーブする」の手順5の操作をする

- この場合は選択した順番でダビングされます(☑の右側に順番を表す番号が表示されます)。

7 「ダビング」画面で、◀▶で「はい」を選んで 決定 を押す

- ダビング終了時にレコーダーの電源を切る場合は、▲▼◀▶で「ダビング終了時電源オフ」を選び、決定 を押して✔をつけてから「はい」を選びます。
- レコーダーのハードディスクや挿入されたブルーレイディスクの状態によっては、手順5のメッセージが表示されます。
- ダビングが始まってしばらくすると、画面の右下に進行状況が表示されます。
- 本機からレコーダーへのダビングが完了すると、レコーダー側でブルーレイディスクへの書込みが開始されます。

録画番組をSeeQVault™形式にする

- 次の手順によって本機で録画した番組をSeeQVault™形式に変換することができます。
- ※ SeeQVault™形式で直接録画はできません。ダビング処理でSeeQVault™形式に変換してください。
- ※ 4K放送の録画番組はSeeQVault™形式に変換できません。

SeeQVault™形式に変換してUSBハードディスクにダビングする

- 録画した番組を、SeeQVault™形式に変換してダビングすると、他の東芝のSeeQVault™対応のレグザやレコーダーで再生できます。

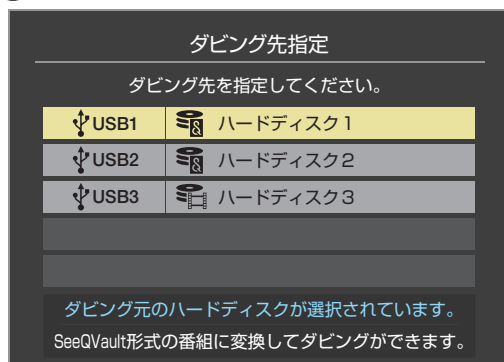
1 を押し、録画リストを表示させる

- [「再生の基本操作とさまざまな再生のしかた」](#) をご覧ください。

2 ダビングする番組を▲・▼で選び、 を押す

3 ▲・▼で「1件ダビング」または「複数ダビング」を選び、 を押す

4 SeeQVault™対応のUSBハードディスクを▲・▼で選び、 を押す

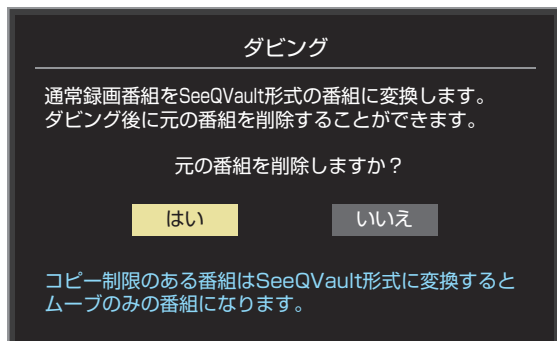


- ダビング元がSeeQVault™対応USBハードディスクの場合は、ダビング先をダビング元と同一にすることもできます。

5 ◀▶で「はい」または「いいえ」を選び、決定を押す

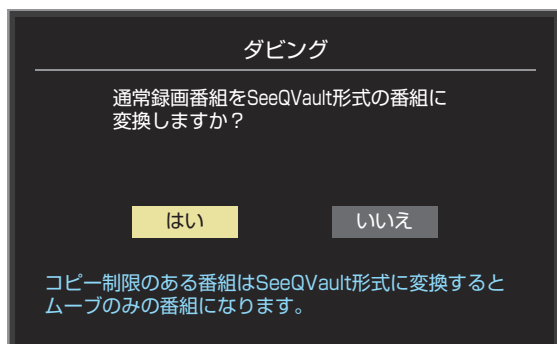
ダビング先がダビング元と同一のとき

- 番組はSeeQVault™形式に変換されます。ダビング後に元の番組を削除するかどうか選択します。



ダビング先がダビング元と異なるUSBハードディスクのとき

1 ◀▶で「はい」を選び、決定を押す



6 「複数ダビング」の場合は以下の操作をする

① ダビングする番組を▲・▼で選び、決定を押す

- 決定を押すたびに、☒と☐が交互に切り換わり、☒の番組がダビングされます。
- 保護された番組をダビングする場合は、その番組を選び、青を押して保護を解除してから決定を押します。

☒をつけた番組がダビングされます

🔒は 青 で解除してから



② ダビングする番組を▲・▼で選んだら 青を押す

- 一度にダビングできるのは64番組までです。

7 「ダビング」画面で、◀▶で「はい」を選んで決定を押す

SeeQVault™形式に変換してSDメモリーカードにダビングする

1 「SeeQVault™形式に変換してUSBハードディスクにダビングする」の手順1 ~ 3の操作をする

2 ダビング先に「SDカードリーダー」を▲・▼で選んで  を押す



3 ◀▶で「はい」を選び、  を押す

タイムシフトマシン録画番組をSeeQVault™形式に直接変換して保存する

- タイムシフトマシン録画番組をSeeQVault™形式に変換して、SeeQVault™対応USBハードディスクに保存することができます。
- SeeQVault™形式に変換して保存した番組は、ダビング10非対応の番組となり、ムーブのみ可能となります。
- SeeQVault™形式に直接変換せず保存してから、前ページの方法でSeeQVault™形式に変換もできます。 [»\[タイムシフトマシン録画番組を保存する\]](#)

1 過去番組表で、保存する番組を▲・▼・◀・▶で選び、**緑**を押す

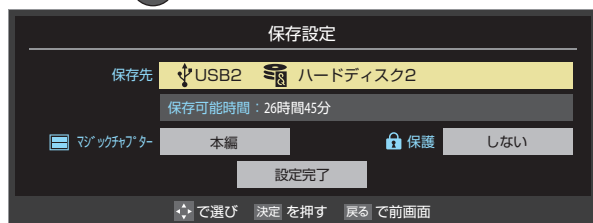
- 保存の確認画面が表示されます。

2 ▲・▼・◀・▶で「保存設定」を選び、**決定**を押す

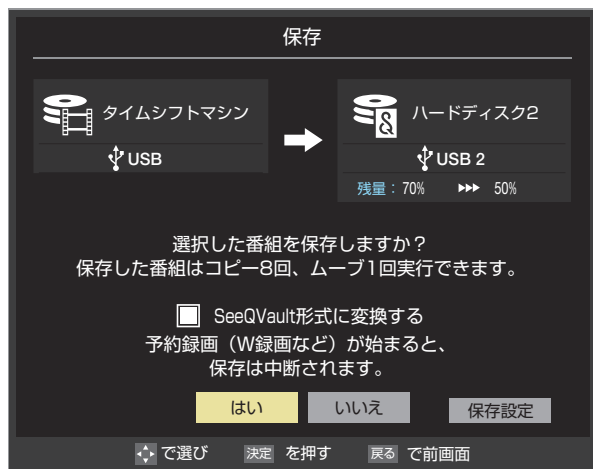
3 ▲・▼で「保存先」を選び、**決定**を押す

- 保存先機器の選択画面が表示されます。

4 ▲・▼でSeeQVault™対応USBハードディスクを保存先に選び、**決定**を押す



5 ▲・▼で「SeeQVault形式に変換する」を選び、決定を押す



- 決定を押すたびに、☒と☐が交互に切り換わり、☒にしたときは、SeeQVault™形式に変換し保存します。

6 ▲・▼・◀・▶で「はい」を選び、決定を押す

お知らせ

- SeeQVault™形式に変換した番組の番組総時間と、変換前番組の番組総時間表示は同じになりませんが、番組自体の長さは変わりません。

外部入力画面に切り換える

- 本機の外部入力端子(HDMI入力1～4、ビデオ入力)に接続したビデオやDVD・ブルーレイディスクプレーヤー/レコーダーなどの再生番組を見たり、ゲーム機を接続して楽しんだりする場合は、以下の操作をします。
- 機器の接続や設定については、製品同梱の取扱説明書の「外部機器を接続する」**[15]**をご覧ください。

1 使用する機器の電源を入れる

2 **入力切換** を押す

- **入力切換** を押すと次の入力を選択された状態で画面左上に入力一覧画面が表示され、少し待つとその入力に切り換わります。希望の入力を選ぶには、入力が切り換わる前に次の手順**3**の操作をします。
 - ・ **「外部入力スキップ設定」**が「する」になっている入力は薄くなって表示され、入力切換時にスキップされるようになっています。

3 **入力切換** を繰り返し押すか、または▲・▼を押して入力を選ぶ

- **入力切換** を押すたびに以下のように切り換わります。

放送 → HDMI 1 → HDMI 2 → HDMI 3 → HDMI 4 → ビデオ

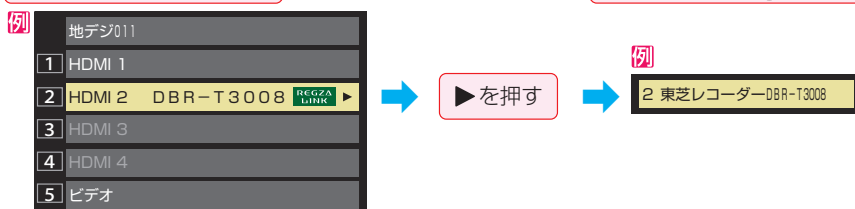
 - ・ ▲・▼では順方向・逆方向の選択ができます。
- 少し待つと選択した入力に切り換わります。
- 入力一覧画面の左側に表示された番号のリモコンボタンを押して、入力を切り換えることもできます。

HDMI連動機器を選ぶとき

- HDMI連動機器は、入力一覧画面に **REGZA LINK ▶** が表示されます。
 - **REGZA LINK ▶** が表示された機器を選んで▶を押すと、機器の形名などが確認できます。
 - HDMI連動対応のオーディオ機器などにHDMI連動機器が接続されている場合は、機器の一覧が表示されます。使用する機器を以下の手順で選択できます。

入力切換 または ▲・▼ で選ぶ

▲・▼ で選んで 決定 を押す



4 選択した機器を操作する

- 機器のリモコンで再生などの操作をしてください。
- ゲーム機を接続した入力では、**映像メニュー**を「ゲーム」にしてください。ゲームのレスポンスを重視した、ゲームに適した画質設定になります。

HDMI連動機器を選んだとき

- 機器操作メニューや本機のリモコンで機器を操作することができます。
- 機器操作メニューの使い方
 - 1 サブメニューを押す
 - 2 ▲・▼で「機器操作」を選び、決定を押す
 - 機器操作メニューが表示されます。機器操作メニューや本機のリモコンで操作できる機能については、**本機のリモコンで対応機器を操作する**》をご覧ください。

お知らせ

- 本体ボタンでも、「入力切換」ができます。 [»「本体ボタンによる「機能切換」について」](#)
- 入力切換時に画面に表示される「ブルーレイ」などの機器名を変えることができます。[「外部入力表示設定」](#)をご覧ください。

外部入力機能を設定する

- 外部入力のさまざまな機能を設定することができます。必要に応じて設定してください。
- 「[HDMIモードを変更する](#)」≫、および「[自動で低遅延モードを切り換える設定にする](#)」≫の操作をするときは、事前に **入力切換** を押して、HDMIモードを変更する外部入力を選びます。



入力切換 を押すたびに以下のように切り換わります。

放送 → HDMI 1 → HDMI 2 → HDMI 3 → HDMI 4 → ビデオ

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「その他の設定」⇒「外部入力・HDMI連動設定」⇒「外部入力設定」の順に進む

2 以降の手順で設定する

外部入力表示設定	>
外部入力スキップ設定	>
HDMI 自動画質モード設定	>
RGBレンジ設定	>
HDMI 1 モード選択	通常モード
HDMI 1 ALLM設定	有効
Dolby Digital Plus入力設定	連動する
ビデオ音声入力設定	ビデオ音声

入力切替時に画面に表示される機器名を設定する

- 入力切替をしたときに表示される機器の名称(ブルーレイ、DVDなど)を変更することができます。

① ▲・▼で「外部入力表示設定」を選び、**決定**を押す

② 設定する外部入力を▲・▼で選び、**決定**を押す

HDMI 1	ブルーレイ
HDMI 2	ブルーレイ
HDMI 3	ブルーレイ
HDMI 4	ブルーレイ
ビデオ	ブルーレイ

③ 表示させる機器名を▲・▼・◀・▶で選び、**決定**を押す

HDMI 1	
ブルーレイ	DVD
VTR	CATV
ゲーム	チューナー
PC	ムービーカメラ
表示しない	

- 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

使用しない外部入力をスキップする

- 入力切替をするときに、使っていない入力を自動でスキップする(飛び越す)ことができます。

① ▲・▼で「外部入力スキップ設定」を選び、**決定**を押す

② 設定する外部入力を▲・▼で選び、**決定**を押す

HDMI 1	しない
HDMI 2	しない
HDMI 3	しない
HDMI 4	しない
ビデオ	しない

③ ▲・▼で「する」または「しない」を選び、**決定**を押す

- **する** …… 入力切替時に入力をスキップします。
- **しない** …… 入力切替時にスキップしません。
- 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

HDMIモードを変更する

- **高速信号モード**は4K映像に対応している機器からの4K映像をより高精細に再生するときに選びます。
 - **通常モード**は「高速信号モード」で映像や音声为正しく出力されないときに選びます。
 - **互換性優先モード**は「通常モード」で映像や音声为正しく出力されないときに選びます。
- ※ 4K映像信号には対応していません。

ご注意

- 「HDMI モード選択」は、HDMI入力毎に設定が必要です。先にHDMI1 ～ 4の入力を選んでから設定してください。

① ▲・▼で「HDMI * モード選択」を選び、決定を押す

- 「*」は現在選ばれているHDMI入力の番号になります。
HDMI入力1を選んでいるときは、「HDMI 1 モード選択」と表示されます。

② ▲・▼を押してモードを選び、決定を押す

- 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

自動で低遅延モードを切り換える設定にする

- A L L M (Auto Low Latency Mode) 設定を切り換える事で、選択している入力機器からの情報に連動して、自動的に「[低遅延モード](#)」の設定を切り換えることができます。

ご注意

- 「A L L M 設定」は、HDMI 入力毎に設定が必要です。先に HDMI 1 ～ 4 の入力を選んでから設定してください。

- 1 ▲・▼で「HDMI * ALLM 設定」を選び、を押す

- 「*」は現在選ばれている HDMI 入力の番号になります。
HDMI 入力 1 を選んでいるときは、「HDMI 1 A L L M 設定」と表示されます。

- 2 ▲・▼で以下の設定から選び、を押す

- 有効：
入力機器からの情報に連動して、低遅延モードのオン/オフが自動的に切り換わります。
- 無効：
この機能は働きません。
- 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

Dolby Digital Plusの入力を設定する

- HDMI端子の入力設定をDolby Digital Plus対応サウンドシステムと連動するかどうかを設定します。

① ▲▼で「Dolby Digital Plus入力設定」を選び、**決定**を押す

② ▲▼で以下の設定から選び、**決定**を押す

- **連動する：**

本機のHDMI入力1(ARC)端子に接続したDolby Digital Plus対応サウンドシステムに適した音声設定を、本機のHDMI端子に設定します。

- **連動しない：**

本機のDolby Digital Plus設定で動作します。

- 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

HDMI入力の画質が自動設定されるようにする

- HDMI入力端子に入力される映像に適した画質になるように設定することができます。

① ▲▼で「HDMI自動画質モード設定」を選び、**決定**を押す

② 設定するHDMI入力を▲▼で選び、**決定**を押す

HDMI 1	コンテンツ連動オン
HDMI 2	コンテンツ連動オン
HDMI 3	コンテンツ連動オン
HDMI 4	コンテンツ連動オン

③ ▲▼で以下の設定から選び、**決定**を押す

- **コンテンツ連動オン**…… 入力映像に「映画」などのコンテンツタイプを識別する情報がある場合に、そのタイプに適した画質に自動調整されます。
- **自動ゲームモード**…… 入力映像がRGB信号の場合に、「映像メニュー」が自動的に「ゲーム」になります。
- **オフ** …………… この機能は働きません。

- 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

HDMI入力のRGBレンジを設定する

- 本機がRGBレンジを自動識別できない機器を接続している場合は、機器の仕様に合わせて設定します。

- 1 ▲・▼で「RGBレンジ設定」を選び、を押す
- 2 設定するHDMI入力を▲・▼で選び、を押す

HDMI 1	オート
HDMI 2	オート
HDMI 3	オート
HDMI 4	オート

- 3 ▲・▼で以下の設定から選び、を押す

- オート …………… 自動切換になります。
- フルレンジ …… RGBレンジが0～255の機器の場合に選びます。
- リミテッドレンジ… RGBレンジが16～235の機器の場合に選びます。

- 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

ビデオ入力の音声入力を設定する

- HDMI入力2端子に接続した機器からの音声を本機から出したときに、ビデオ入力の音声入力端子をHDMI入力2のアナログ音声入力端子として使用するように設定できます。

- 1 ▲・▼で「ビデオ音声入力設定」を選び、を押す
- 2 ▲・▼で以下の設定から選び、を押す

ビデオ音声入力設定
ビデオ音声
HDMI 2アナログ音声

- ビデオ音声
ビデオ入力の音声入力端子として使用します(お買い上げ時の設定)。
- HDMI 2アナログ音声
HDMI入力2のアナログ音声入力端子として使用します。
- 設定が切り換わるまで、しばらくお待ちください。

本機のリモコンでHDMI連動機器を操作するための設定をする

- 本機のリモコンでHDMI連動機器の基本操作をしたり、各種の連動動作をさせたりするための設定をします。
- お買い上げ時、本機はHDMI連動機能を使用するように設定されています。接続機器側の設定も必要です。ご確認ください。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「その他の設定」⇒「外部入力・HDMI連動設定」⇒「HDMI連動設定」の順に進む

2 設定する項目を▲・▼で選び、**決定** を押す

HDMI連動機能	使用する
リモコン動作モード	テレビ優先
連動機器→テレビ入力切換	連動する
連動機器→テレビ電源	連動する
テレビ→連動機器電源オフ	連動する
サウンドシステム連動	スピーカー・音質連動
電源オン時優先スピーカー	テレビスピーカー
サウンドシステム音声入力	>
東芝レコーダー連携機能	使用する
機器操作メニュー自動表示	使用しない

3 設定したい項目を▲・▼で選び、**決定** を押す

HDMI連動機能

- 本機のリモコンでのHDMI連動機器操作、東芝レコーダーの録画・予約、および以下の各種連動機能を使用するかどうかを設定します。

リモコン動作モード

- 本機からの操作に対応したHDMI連動対応機器を接続している場合、「連動機器優先」に設定すると、本機のリモコンで操作できる機能が増えます。

連動機器→テレビ入力切換

- 連動機器の再生操作をしたときに、本機が自動的に入力切換をして、その機器を選択する機能です。本機の電源が「入」の場合に動作します。

連動機器→テレビ電源

- 連動機器の再生操作をしたときに本機の電源が「入」になり、連動機器の電源を「待機」にしたときに本機の電源も「待機」になる機能です。
- ※ この機能と、「連動機器→テレビ入力切換」を「連動する」に設定しておく、と、本機の電源が「入」になったあとに自動的に入力が切り換わります。
- ※ 本体の電源ボタンで電源を切った場合、この機能は働きません。リモコンの電源ボタンで電源を「待機」にしてください。

テレビ→連動機器電源オフ

- 本機の電源を「待機」にしたときに、連動機器の電源も「待機」になる機能です(録画中の機器など、動作状態によっては「待機」にならないことがあります)。
- ※ 本機の[「省エネ設定」](#)や[「オフタイマー」](#)とも連動します。

サウンドシステム連動

- テレビのリモコンでサウンドシステムのスピーカーを操作する機能の設定をします。
 - **スピーカー・音質連動**
サウンドシステムのスピーカー切換と音量調整、音質調整を使用するときに選びます。
 - **スピーカー連動**
サウンドシステムのスピーカー切換と音量調整を使用するときに選びます。
 - **連動しない**
サウンドシステムのスピーカー切換や音量調整を使用しないときに選びます。

電源オン時優先スピーカー

- 本機の電源オン時に優先するスピーカーを選択します。
- ※「サウンドシステム連動」を「スピーカー・音質連動」、または「スピーカー連動」に設定した場合に設定できます。
 - **テレビスピーカー**
本機のスピーカーから音声が出ます。
 - **サウンドシステム**
オーディオ機器の電源が「入」のときは、オーディオ機器のスピーカーから音声が出ます。
 - **シンクロドライブ**
(レグザサウンドシステムのシンクロドライブ対応機器接続時だけ)
本機のスピーカーの高音域とレグザサウンドシステムから同時に音声を出します。
- サブメニューでスピーカーを一時的に切り換えることもできます。
[▶「オーディオ機器\(サウンドシステム\)で聴く」](#)
- ※ サブメニューでスピーカーを切替えた場合は本機の電源操作で、電源オン時優先スピーカー設定で選択した状態に戻ります。

オーディオシステム音声入力

- 連動機器を接続したHDMI入力端子ごとに、オーディオ機器の音声入力を設定することができます。
- 例** HDMI 2入力端子に接続しているレコーダーの音声を、オーディオ機器の「入力3」に接続している音声信号を使って聴きたいときは、「HDMI 2」を選んで **決定** を押してから、「入力3固定」を選んで **決定** を押します。

東芝レコーダー連携機能

- 「使用する」に設定すると、東芝のレコーダーと連携した高画質化機能が利用できます。
- ※ 映像が不自然に見えるときは、「使用しない」を選んでください。

機器操作メニュー自動表示

- 「使用する」に設定すると、本機に接続したレグザリンク対応機器に入力を切り換えたときに、機器操作メニューを自動的に表示します。

お知らせ

- 連動機器の機能、設定によっては、HDMI連動設定をしても、一部もしくはすべての機能が働かないことがあります。
- 本機が認識できるHDMI連動対応機器の台数は、HDMI CEC規格に従って、オーディオ機器：1台、録画機器(レグザリンク対応レコーダーなど)：3台、再生機器(東芝のプレーヤー/PCなど)：3台までに制限されます。
- 「サウンドシステム音声連動」の対応機器については、ホームページ(<https://www.toshiba.co.jp/regza/>)をご覧ください。
- 「連動機器→テレビ入力切換」を「連動する」に設定しても、本機の状態によっては自動的に入力が切り換わらないことがあります。

本機のリモコンで対応機器を操作する

機器を操作する

- **入力切換** の操作でレグザリンク(HDMI連動)対応機器が接続された入力(HDMI1 ~ 4)を選んだあと、「サブメニュー」の「機器操作」を選ぶと、操作メニューが表示されます。
- 機器によって表示される操作メニューの内容や、操作できる内容が異なります。
- 「その他の操作」を選ぶとサブメニューが表示されます。
- **1** **サブメニュー** を押し、**▲・▼**で「機器操作」を選んで **決定** を押す

例



- 本機のリモコンで、レグザリンク対応のレコーダーやプレーヤーなどの基本操作をすることができます。
- 以降は一例です。ほかのHDMI連動機器でも、本機のリモコンで操作できる場合があります。
- 本機のリモコンでできる操作については、[「本機のリモコンでできるおもな操作」](#)をご覧ください。
- 機器を操作すると機器操作メニューが消えます(機器操作メニューを再表示させるには、手順①の操作をします)。

タイムシフトマシン

- 東芝レコーダーのタイムシフト過去番組表が表示されます。

始めにジャンプ

- 東芝レコーダーのタイムシフト過去番組表の番組を、簡単に番組の冒頭から見ることができます。

レグザメニュー（スタートメニュー）

- 東芝レコーダーのレグザメニューが表示されます（スタートメニューがある東芝レコーダーの場合は、スタートメニューが表示されます）。

番組表

- 東芝レコーダーの番組表が表示されます。

録画番組一覧（見るナビ）

- 東芝レコーダーの録画番組一覧が表示されます（「見るナビ」または「見ながら選択」がある東芝レコーダーの場合は、「見るナビ」または「見ながら選択」画面が表示されます）。

録画予約一覧

- 東芝レコーダーの「録画予約一覧」画面が表示されます。

ブロードバンドメニュー

- 東芝レコーダーのブロードバンドメニューが表示されます。

クイックメニュー

- 東芝レコーダーのクイックメニューが表示されます。

画面表示

- 状態表示の表示／非表示を切り換えます。

ドライブ切換

- ハードディスクとブルーレイ（またはDVD）を切り換えます。

入力切換

- 東芝レコーダーの入力を切り換えます。

電源

-  で電源の「入」、「待機」ができます。

その他の操作メニュー

トップメニュー

- ディスク再生時に選ぶとディスクのトップメニューが表示されます。

ポップアップメニュー

- ディスク再生時に選ぶとディスクのポップアップメニューが表示されます。

W録切換

- W録選択を切り換えます。

タイムシフトマシン対応機器の過去番組表を表示する

- タイムシフトマシン対応機器の過去番組表を、本機のリモコンを使って表示させることができます。
 - ・ タイムシフトマシン対応東芝レコーダー については、ホームページ(<https://www.toshiba.co.jp/regza/>)をご覧ください。

- 1 サブメニュー を押し、▲・▼で「タイムシフトマシン機器」を選んで 決定 を押す

- 機器の過去番組表が表示されます。

- 2 ▲・▼・◀・▶で再生したい番組を選び、 決定 を押す

- 「番組指定再生」画面が表示されます。

- 3 ◀・▶で「見る」を選び、 決定 を押す

- 選択した番組の再生(タイムシフトマシン再生)が始まります。

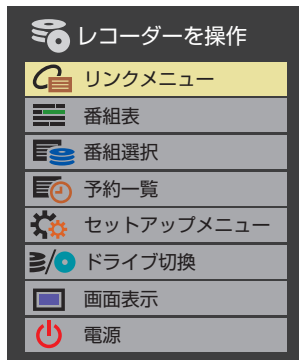
- 4 タイムシフトマシン再生を終了するには、 終了 を押す

- ほかの操作によってもタイムシフトマシン再生が終了する場合があります。

- 番組を選び直すには、上記手順①～③をします。

HDMI-CEC対応の機器

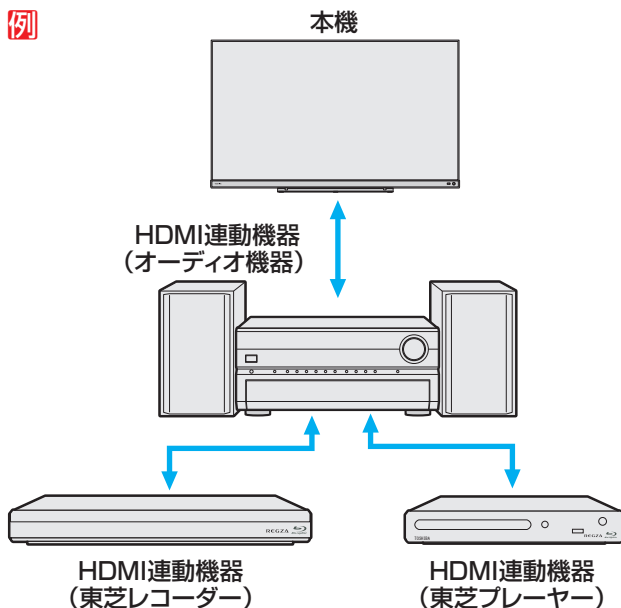
- HDMI CEC対応の機器を操作します。
- すべての製品でメニューに表示されたすべての機能の操作ができることを保証するものではありません。



HDMI連動機器に接続された機器

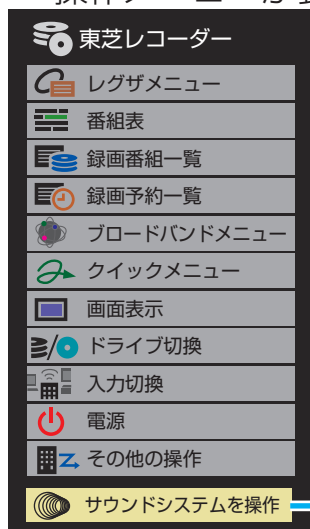
- HDMI連動対応のオーディオ機器などにHDMI連動機器が接続されている場合は、以下のようになります。

例



東芝レコーダーなどを選択したとき

- 「サウンドシステムを操作」を選ぶと、オーディオ機器の機器操作メニューが表示されます。



本機のリモコンでできるおもな操作

- HDMI連動機器を接続した場合、本機のリモコンで以下の操作をすることができます。
- ※ 以下は代表的な動作です。操作する機器によっては、動作が異なる場合があります。



本機のリモコンボタン	動作の内容
	番組を再生します。
	再生中に押すと一時停止になります。もう一度押すと、再生が再開されます。
	録画や再生を停止します。
	一つ先に進んで頭出し再生をします。
	前に戻って頭出し再生をします。
	再生中に押すと早送り再生になります。
	再生中に押すと早戻し再生になります。
	再生中に押すと少し先に進んで再生します。
	再生中に押すと少し戻って再生します。
	メニューなどで項目を選択します。
	選択した内容を決定したり、選択した操作を実行したりします。
	一つ前の操作に戻ります。
	操作を終了します。



本機の リモコンボタン	動作の内容
	各機器でカラーボタンに割り当てられた機能を実行します。
	オーディオ機器の音量を調節します。
	オーディオ機器の音を消します。

レグザサウンドシステムで聴く

- 東芝のレグザサウンドシステムをHDMIケーブルで接続すると、レグザサウンドシステムで音声を聴くことができます。

ご注意

- レグザサウンドシステムはHDMI入力1 (ARC)端子に接続してください。
- 光デジタルケーブルだけで接続した場合は、操作できません。
- 使用できる機能は機器によって異なります。

お知らせ

- 音量表示が「サウンドシステム音量」に変わっているとき、本機のスピーカーおよび「通常モード」選択時はヘッドホン端子から音声は出ません。
- レグザサウンドシステム対応機器については、ホームページ (<https://www.toshiba.co.jp/regza/>) をご覧ください。

1 サブメニュー を押し、▲・▼で「スピーカー切替」を選んで  を押す

2 ▲・▼でお好みのスピーカーを選ぶ



- **テレビスピーカー**
本機のスピーカーから音声を出します。
- **サウンドシステムスピーカー**
レグザサウンドシステムから音声を出します。
- **シンクロドライブ**
本機のスピーカーの高音域とレグザサウンドシステムから同時に音声を出します。

- レグザサウンドシステムの電源を入れて本機とHDMIケーブルで接続し、[「HDMI連動設定」](#)を以下のように設定します。
 - ・ HDMI連動機能…………… 使用する
 - ・ サウンドシステム連動…………… スピーカー・音質連動
 - 「サウンドシステムスピーカー」または「シンクロドライブ」を選択中に **青** を押すと、レグザサウンドシステムの音声を設定することができます。
-

3 音量を調節する

- 本機のリモコンで音量調節と消音の操作ができます。

レグザサウンドシステムの音声を設定する

- 1 **サブメニュー** を押し、▲・▼で「サウンドシステム設定」を選んで
決定 を押す



- サウンドシステム設定メニューが表示されます。
- 「スピーカー切替」で「サウンドシステムスピーカー」または「シンクロドライブ」を選択中に **青** を押しても、サウンドシステム設定メニューが表示されます。

- 2 ◀▶で設定する項目を選び、**決定** を押す

- 3 お好みの音声に調整する

サウンドモード

- 見る番組の種類に応じて、お好みのサウンドモードを選ぶことができます。
 - 「オート」に設定すると、ジャンルに適した音声を聴くことができます。
- ※表示されるメニューは機器によって異なります。

イコライザー

- 音質を詳細に調整できます。詳しくは[「イコライザー」](#)を参照してください。

低音強調

- 低音強調のレベルを「オフ」「弱」「強」から選びます。

オーディオ機器(サウンドシステム)で聴く

オーディオ機器のスピーカーで聴く

- オーディオ機器に接続されているスピーカーで聴いたり、本機のリモコンでオーディオ機器の音量を調節したりすることができます。
- 本機とオーディオ機器をHDMIケーブルおよび光デジタルケーブルで接続します。ARC対応のオーディオ機器はARC対応のHDMIケーブルでHDMI入力1 (ARC)端子に接続し、光デジタルケーブルの接続は不要です。
- 光デジタルケーブルの代わりに音声用コードで接続することもできます。その場合は、**「ヘッドホン／音声出力設定」**で「音声出力」を選び、「音声出力設定」を「固定」に設定します。
- HDMI連動(レグザリンク)に非対応のオーディオ機器の場合、本機のスピーカーから音声を出さないときは、以下の操作をするか、または本機の音量を最小に調節してください。

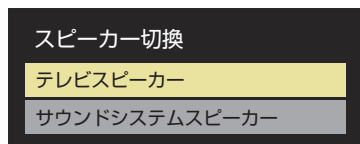
お知らせ

- 音量表示が「サウンドシステム音量」に変わっているとき、本機のスピーカーおよび「通常モード」選択時はヘッドホン端子から音声は出ません。
- レグザリンク対応のオーディオ機器については、ホームページ (<https://www.toshiba.co.jp/regza/>) をご覧ください。
- サウンドシステム音声連動対応のオーディオ機器については、ホームページ (<https://www.toshiba.co.jp/regza/>) をご覧ください。

1 サブメニュー を押し、▲・▼で「スピーカー切換」を選んで 決定 を押す

2 ▲・▼で「サウンドシステムスピーカー」または「音声出力」を選び、 決定 を押す

- 以下の場合に「サウンドシステムスピーカー」が表示されます。
 - 本機と音声連携が可能なオーディオ機器がHDMIケーブルで接続されていて、動作状態になっている（オーディオ機器のスピーカーから音声が出るようになっている）。
 - [「HDMI連動設定」](#)が以下のように設定されている。
 - HDMI連動機能.....使用する
 - サウンドシステム連動 スピーカー・音質連動
- 本機のスピーカーで聴くときは、「テレビスピーカー」を選びます。



3 音量を調節する

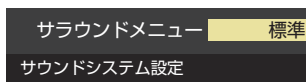
- レグザリンク対応のオーディオ機器では、本機のリモコンで音量調節と消音の操作ができます。
- ※ レグザリンク非対応のオーディオ機器を音声用コードで接続している場合は、「ヘッドホン／音声出力設定」>>>の「音声出力設定」に従った方法で音量を調節してください。
 - 固定…… オーディオ機器で音量を調節します。
 - 可変…… 本機のリモコンで音量を調節します。

ヤマハオーディオ機器の音声を調整する

- 音声連動対応のヤマハオーディオ機器が接続されている場合、サラウンドメニューでお好みの音声に調整することができます。
- ※ 接続する機器によっては、一部の機能を使用できない場合があります。
- 音声連携対応のヤマハオーディオ機器に電源を入れて本機とHDMIケーブルで接続し、「[HDMI連動設定](#)」を以下のように設定します。
 - ・ HDMI連動機能 ……………使用する
 - ・ サウンドシステム連動……スピーカー・音質連動

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼で「サウンドシステム設定」を選んで **決定** を押す

2 ▲・▼で「サラウンドメニュー」を選び、**決定** を押す



3 お好みの音声に調整する

サラウンドメニュー

- 視聴中の番組に適した音声を選ぶことができます。
- ※ 画面に表示されるサラウンドメニューは、ヤマハオーディオ機器側のサラウンドメニューの内容と一致しないことがあります。
- 「おまかせ」に設定すると、ヤマハオーディオ機器のスピーカーから番組のジャンルに適した音声が出るようになります。

タイムシフトリンク機能を使う

- タイムシフトリンク機能は、同一ネットワーク上に接続した、ホームサーバー機能が搭載されている他のタイムシフトマシン対応の東芝レコーダーや東芝レグザのタイムシフトマシン録画の番組を、本機で再生したり操作したりできる機能です。
- ※ タイムシフトリンク機能を利用するには、ホームネットワークでの接続と設定(製品同梱の取扱説明書 **32**)、およびタイムシフトリンク機能の設定(製品同梱の取扱説明書 **39**)が必要です。

タイムシフトリンク機能でできること

- タイムシフトリンク設定の機器の登録で選んだ機器のタイムシフトマシン録画番組を、過去番組表に表示したり、ざんまいスマートアクセスで楽しんだりできます。
- ※「タイムシフトリンク機能を使う設定をする」(上記)の操作をした直後は、タイムシフトリンク設定の機器の登録で選んだ機器からの過去番組表の表示には時間がかかります。

[illegible]

本機のタイムシフトマシン録画番組

タイムシフトリンク機能で選んだタイムシフトマ
シン録画番組(放送中の番組は表示されません)

- 以下を除き、本機のタイムシフトマシン録画で録画した番組と同様の操作ができます。
 - 番組の情報を表すアイコン表示
 - 連ドラ予約
 - 保存
 - 放送中の番組表示
 - 始めにジャンプ
- ※ タイムシフトリンク設定の機器の登録で選んだ機器のざんまいスマートアクセスのサムネイルは、番組種別の画像で表示されます。
- ※ タイムシフトリンク機能を使うための接続(製品同梱の取扱説明書[39])以外にHDMIでも接続されている場合は、「始めにジャンプ」ができます。
- ※ 本機およびタイムシフトリンク設定の機器の登録で選んだ機器の状態によっては、上記以外の操作でも本機と同様の操作ができない場合があります。
- 本機およびタイムシフトリンク設定の機器の登録で選んだ機器のリモート電源の設定によって、再生時に自動的に電源を入れることもできます。

過去番組表を更新する

- タイムシフトリンク設定の機器の登録で選んだ機器の過去番組表を更新します。

1 過去番組表を表示中に **サブメニュー** を押す

2 ▲・▼で「番組情報の取得」を選んで **決定** を押す

- 番組情報の取得中にほかの操作をすると、情報の取得が中止されることがあります。
- 番組情報の取得を中止するときは、番組情報取得中に **サブメニュー** を押し、サブメニューから「番組情報の取得中止」を選択します。

タイムシフトリンク省エネ設定をする

- タイムシフトリンクを使用しているときの、省エネ設定をします。

1 **設定**を押して、▲・▼と**決定**で「タイムシフトマシン設定」
⇒「タイムシフトリンク設定」⇒「省エネ設定」の順に進む

2 ▲・▼を押して、「オン」または「オフ」を選び、**決定**を押す

- ・ **オン**…省エネ設定が働き、電源が「入」のときだけタイムシフトリンク機器から番組情報を取得します。電源を「入」にした直後は、タイムシフトリンク機器からの番組情報が表示されないことがあります。
- ・ **オフ**…省エネ設定を解除し、電源が「待機」や「切」のときでもタイムシフトリンク機器から番組情報を取得します。

動画を再生する

- USB機器、ネットワークメディアサーバー、DTCP-IP対応サーバー、LANハードディスクに保存されている動画を本機で視聴できます。
- 機器の接続や設定などの準備については、製品同梱の取扱説明書「USB機器を接続する」[\[18\]](#)、「ホームネットワークについて」[\[31\]](#)をご覧ください。
- 本機で再生できる動画のフォーマットについては、[「本機で再生できる動画のフォーマット」](#)をご覧ください。

ご注意

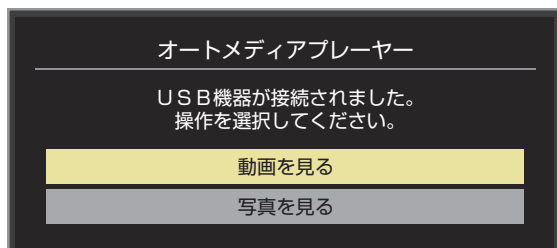
- 再生中は、機器を取りはずしたり、機器や本機の電源を切ったりしないでください。記録されているコンテンツが損なわれることがあります。
- 無線LANをご使用の場合、暗号設定が「暗号なし」のときにはデジタル放送などの著作権保護付コンテンツをホームネットワーク上で視聴することができません。著作権保護無しのコンテンツを取り扱う場合も無線LANのセキュリティ設定を行うことを強く推奨します。

お知らせ

- ホームネットワーク機器の場合、ほかのネットワーク機器の動作状態によっては再生できないことがあります。
- レジュームポイントが記憶されている場合は、続きから再生されます。
- USB機器で記録されたコンテンツの場合、手順[5](#)で選択した動画を先頭にリスト内の動画の連続再生になります。
- みるコレについては[「クラウドサービスとネットワークサービスについて」](#)をご覧ください。

動画再生の操作

- オートメディアプレーヤーの画面が表示された場合は、▲・▼で「動画を見る」を選んで **決定** を押し、手順**3**から操作します。



- 1** **みるコレ** を押し、▲・▼・◀・▶と **決定** でみるコレの項目から「メディアプレーヤー 動画」の順に進む

- サブメニューの「メディアプレーヤー」からも「動画」に進むことができます。

- 2** 再生機器を▲・▼・◀・▶で選び、**決定** を押す

- **青** を押すと、再生機器を検索することができます。
- ※ リモート電源オン機能で登録した機器で起動していない機器（薄くなって表示されている機器）を選んで **決定** を押すと、Wake on LAN画面から起動できることがあります。

- 3** LANハードディスクのユーザー名とパスワードの入力画面が表示された場合は入力する

- 入力画面は、LANハードディスク側でユーザー名とパスワードを設定している場合に表示されます。

4 フォルダを▲・▼で選び、を押す

- 機器によっては、この操作はありません。
- 複数のUSBハードディスクが接続されたホームサーバー機能対応レグザなどの場合は、それぞれのUSBハードディスクがフォルダとして表示されます。

例



5 動画を▲・▼で選び、を押す

例



- 再生中に次ページのリモコン操作ができます。

表示モード切換ができるとき

- 操作ガイドに「表示モード切換」が表示される場合、動画再生リストの表示モード切換ができます。
- 「タブ表示」にしたときのリスト画面の表示切換操作については、[「再生の基本操作とさまざまな再生のしかた」](#)の手順2をご覧ください。

6 動画再生を終了するには、またはを押す

- 放送画面などに戻ります。

動画再生時にできるリモコン操作

- 機器によっては再生と停止しかできないなど、機能が制限されることがあります。
- ワンタッチスキップとワンタッチリプレイの時間は、「ワンタッチスキップ／ワンタッチリプレイの時間を変更する」※で変更することができます。

ボタン	内 容
	動画の再生を開始します。 - 再生中に繰り返し押すと、1.5倍の速さの音声付早送り再生「早見早聞」と通常の再生が交互に切り換わります。 ※動画や機器によっては、「早見早聞」が正しく動作しないことがあります。
	再生中に押すと一時停止になります。 一時停止中にもう一度押すと、再生が再開されます。
	動画の再生を終了し、放送画面などに戻ります。
	早送り再生をします(押すたびに速さが変わります)。 一時停止中に1秒ほど押し続けるとスロー再生、または連続コマ送りになります。スロー再生または連続コマ送り中に押すと、押すたびに速さが変わります(2段階または3段階(再生する動画のある機器によって異なります))。
	早戻し再生をします(押すたびに速さが変わります)。 一時停止中に1秒ほど押し続けると連続コマ戻しになります。
	再生中に押すと、20ポイントに分割された動画の前後のポイントへスキップします。 再生時間が短い動画では動作しないことがあります。
	再生中に押すと、30秒ほど先に進んで再生します(ワンタッチスキップ)。
	再生中に押すと、10秒ほど戻って再生します(ワンタッチリプレイ)。
	次の動画の先頭にスキップして再生します。
	現在の動画の先頭にスキップして再生します。再生してから約4秒以内に押した場合は、一つ前の動画の先頭にスキップします。
	再生中に押すと、動画再生のリスト画面が表示されます。

※ 機器によってはスキップの対象がチャプターになります。

動画の再生方法を設定する

- 動画を繰り返して再生することができます。
- 設定した状態は本機に記憶されます。

1 動画再生リストの表示中に **サブメニュー** を押す

2 ▲・▼で「再生設定」を選び、**決定**を押す

3 ▲・▼で以下から選び、**決定**を押す

- 1コンテンツリピート

選択した一つの動画の再生を繰り返します(↺)。

- リピート

フォルダ内にあるすべての動画の連続再生を繰り返します(↺)。

- オフ

繰り返し再生をしません。

時間を指定して再生する(タイムサーチ)

1 再生中に **サブメニュー** を押し、▲・▼で「サーチ」を選んで **決定** を押す

- 画面右上に **サーチ-----** が表示されます。

2 **1** ~ **10** (0) で時間を指定する

例 冒頭から1時間25分5秒後の位置を指定するとき

10 (0) **1** **2** **5** **10** (0) **5** の順に押します。

動画を並べ替える

- 機器によっては並べ替えができないことがあります。

1 動画再生リストの表示中に **サブメニュー** を押す

2 ▲・▼で「並べ替え」を選び、**決定** を押す

3 ▲・▼で「新しい順」または「古い順」を選び、**決定** を押す

機器を選び直す

- 使用する機器を選び直すときは、**青** を押します。
動画再生リストのときに **サブメニュー** を押し、▲・▼で「機器の情報」を選んで **決定** を押すと、機器の情報を確認できます。

動画再生リストの操作ガイドについて

- 機器によっては、以下の操作ガイドが表示される場合があります。
 - **赤** 削除
[「一つの録画番組を消す」](#) を参考にしてください。
 - **緑** 表示モード切換
[「表示モード切換ができるとき」](#) をご覧ください。

写真を再生する

- USB機器、ネットワークメディアサーバー、LANハードディスクに保存されている写真を本機で見ることができます。
- 機器の接続や設定などの準備については、製品同梱の取扱説明書「USB機器を接続する」[18](#)、「ホームネットワークについて」[31](#)をご覧ください。
- 本機で再生できる写真のフォーマットについては、[「本機で再生できる写真\(静止画ファイル\)のフォーマット」](#)をご覧ください。

ご注意

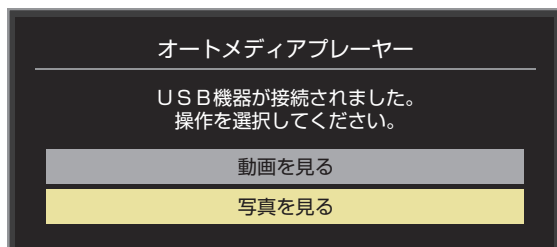
- 再生中は、機器を取りはずしたり、機器や本機の電源を切ったりしないでください。記録されているコンテンツが損なわれることがあります。
- 無線LANをご使用の場合、無線LANのセキュリティ設定を行うことを強く推奨します。

お知らせ

- 写真の表示中は、音声出力(固定/可変)端子から音声信号は出力されません。
- フォルダ内にサイズの大きい写真が複数ある場合や、サーバーからの転送速度が遅い場合、写真リストが表示されないことがあります。
- ホームネットワーク機器の場合、ほかのネットワーク機器の動作状態によっては再生できないことがあります。
- パソコンのアプリケーションソフトを使って加工や編集をした写真は、再生できないことがあります。
- みるコレについては[「クラウドサービスとネットワークサービスについて」](#)をご覧ください。

写真再生の操作

- オートメディアプレーヤーの画面が表示された場合は、▲・▼で「写真を見る」を選んで **決定** を押し、手順3から操作します。



- 「オートメディアプレーヤー」または、以下の手順1または手順2の操作で写真再生が起動すると、「写真再生」のマルチ表示画面になります(図はUSB機器の例です)。



1 **みるコレ**を押し、▲・▼・◀・▶と **決定** でみるコレの項目から「メディアプレーヤー 写真」の順に進む

- サブメニューの「メディアプレーヤー」からも「写真」に進むことができます。

2 再生機器を▲・▼・◀・▶で選び、 **決定** を押す

- 対象機器が1台の場合、この操作はありません。
- ※ リモート電源オン機能で登録した機器で起動していない機器(薄くなって表示されている機器)を選んで **決定** を押すと、Wake on LAN画面から起動できることがあります。

3 以下の操作で写真を見る

1枚だけ拡大して表示する (シングル再生)

- 1 マルチ表示画面から、見たい写真を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す
- 選択した写真が画面に拡大表示されます。



- ◀・▶で前の写真や次の写真に切り換えられます。
- ◀・▶で最初の写真や最後の写真にスキップできます。
- マルチ表示画面に戻るときは戻るを押します。

自動的に順番に表示する (スライドショー再生)

- 1 緑を押す

- 選択中の写真から順番に表示されます。



- スライドショー再生を一時停止するには青を押します。もう一度青を押すと再開されます。
- ◀・▶で前の写真や次の写真に切り換えられます。
- ◀・▶で最初の写真や最後の写真にスキップできます。
- シングル再生に戻るときは緑を押します。
- マルチ表示に戻るときは黄を押します。

写真を回転させるには

- マルチ表示画面、シングル再生画面、スライドショー再生画面で写真を回転させることができます。
- 1 **赤** を押す
- **赤** を押すたびに時計回りに90度ずつ回転させることができます。
- 回転させた状態は記憶されません。

写真だけを表示するには

- シングル再生画面、スライドショー再生画面に表示された写真以外の情報を消すことができます。
- 1 **画面表示** を押す
- もう一度 **画面表示** を押すと情報が表示されます。

4 写真再生を終了するときは、**終了** を押す

マルチ表示画面の表示モードを切り換える

- USB機器の場合に、マルチ表示画面の表示モードを切り換えることができます(ネットワークメディアサーバーは「フォルダ別」の表示だけになります)。

1 マルチ表示画面のときに **黄** を押す

- **黄** を押すごとに以下の「シームレス」または「フォルダ別」に切り換わります。
 - **シームレス** 第1階層にある**DCIMフォルダ**や、その中にある第6階層までのフォルダに保存されている写真だけが最大1000枚まで表示されます(シームレス表示で写真が見つからないときは、自動でフォルダ別表示に切り換えます)。
 - **フォルダ別** 写真および、同じ階層にあるフォルダが合計1000まで表示されます。



フォルダを開くには

- 「フォルダ別」の表示モードのときに、フォルダを開くには以下の操作をします。
 - ① **▲・▼・◀・▶** でフォルダを選び、**決定** を押す
 - 上の階層に戻るときは **戻る** を押します。

再生を繰り返す

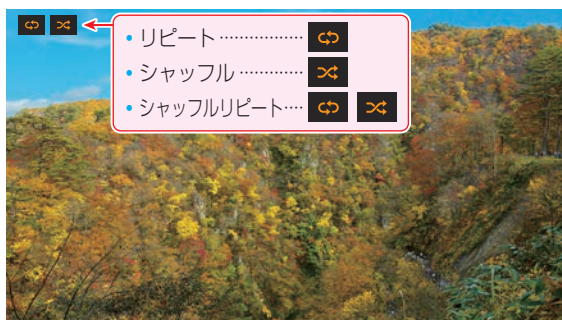
- シングル再生やスライドショー再生を繰り返すことができます。
- 設定した状態は本機に記憶されます。

1 マルチ表示、シングル再生、またはスライドショー再生画面のときに **サブメニュー** を押す

2 ▲・▼で「再生設定」を選び、**決定** を押す

3 ▲・▼で以下から選び、**決定** を押す

- リピート……………フォルダ内にあるすべての写真の連続再生を繰り返します。
- シャッフル……………フォルダ内のすべての写真をランダム順に再生します。
- シャッフルリピート…ランダム再生を繰り返します。
- オフ……………繰り返し再生やランダム順再生をしません。
- 設定に従って、再生画面やマルチ画面にアイコンが表示されます。



スライドショーの表示間隔の設定をする

- 写真の表示が完了してから次の写真の表示が始まるまでの時間を設定します。表示が完了するまでの時間は、写真のファイルサイズによって異なります。
- 設定した状態は本機に記憶されます。

1 マルチ表示画面またはスライドショー再生画面のときにサブメニューを押す

2 ▲・▼で「間隔設定」を選び、決定を押す

マルチ表示画面の写真の並び順を変える

- 表示モードが「フォルダ別」のマルチ表示画面で、写真の並べ替えができます。
- 機器によっては、並べ替えができないことがあります。

1 マルチ表示画面のときに青を押す

- 青を押すたびに、「古い順」と「新しい順」が交互に切り換わります。
- フォルダが先に並び、次に写真が並びます。

機器を選び直す

- 使用する機器を選び直すには、マルチ表示のときにサブメニューを押し、▲・▼で「機器選択」を選んで決定を押します。
 - マルチ表示のときにサブメニューを押し、▲・▼で「機器の情報」を選んで決定を押すと、機器の情報を確認できます。
- ※ 機器によっては、「機器選択」の選択画面に表示されないことがあります。

スカパー！ プレミアムサービス Link (録画)の番組を再生する

- 「スカパー！プレミアムサービスLink」(録画)と配信に対応したサーバーで録画したスカパー！の番組を、ホームネットワーク経由で本機に配信して視聴することができます。ただし、4K放送の番組とラジオ番組は視聴できません。
- 機器の接続・設定については、製品同梱の取扱説明書「ホームネットワークについて」**31**をご覧ください。
- ※ 無線LANをご使用の場合、暗号設定が「暗号なし」のときには「スカパー！プレミアムサービスLink」(録画)の録画番組をネットワーク経由で視聴することができません。無線LANのセキュリティ設定を正しく実施してください。

基本操作

1 を押す

2 を押す

3 ▲・▼・◀・▶で機器を選び、を押す

- 対象機器が1台の場合、この操作はありません。
- ※ 「スカパー！プレミアムサービスLink」(録画)と配信に対応したサーバーを選択してください。
- ※ 起動していないWake on LAN対応機器(薄くなって表示されている機器)を選んでを押すと、Wake on LAN画面から起動することができます。
- 選択したサーバーの番組リストが表示されます。

4 見たい番組を▲・▼で選び、を押す

- 選んだ番組の再生が始まります。

5 番組再生を終了するときは、を押す

- 放送画面などに戻ります。

視聴制限について

- 本機の[視聴制限機能](#)を使用していない場合、視聴年齢が制限されたスカパー！の録画番組は本機の番組リストに表示されません。
- 番組の視聴年齢制限が番組冒頭または途中で変化する場合には、本機の放送・インターネット制限設定によっては再生できないか、または再生が停止することがあります。
- 視聴年齢が制限された番組を表示・再生する場合は、以下の手順に従って適切な視聴制限設定をしてください。

本機の視聴制限設定をするには

① 暗証番号を設定する

- 設定の手順については[「制限するために暗証番号を設定する」](#)をご覧ください。

② 視聴制限を設定する

- 設定の手順については[「番組の視聴を制限する」](#)をご覧ください。
- 設定した年齢よりも制限年齢が上の番組は番組リストに表示されません。
- 視聴制限をしない場合は、「20歳(制限しない)」に設定します。

視聴制限を一時解除するには

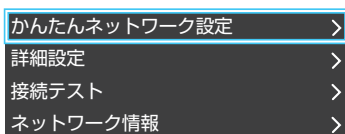
- 1 サブメニューを押し、▲・▼で「視聴制限一時解除」を選び決定を押す
- 暗証番号入力画面が表示されます。
- 2 1 ～ 10 (0)で暗証番号を入力する
- 入力した暗証番号が正しい場合は視聴制限が解除され、すべての番組が番組リストに表示されます。
- 本機の電源を「待機」または「切」にした場合や、録画リストを終了した場合、番組再生を中止・終了して放送画面に切り換えたり、他の番組再生にしたりする場合などに、視聴制限の一時解除は無効になります。

インターネットに接続するための設定をする

- お買い上げ時の設定でインターネットが利用できない場合やネットワークの設定をやり直す場合などに、必要に応じて設定します。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「ネットワーク・サービス設定」
⇒「ネットワーク接続設定」の順に進む

2 設定する項目を▲・▼で選んで、**決定** を押す



3 以降の手順で設定する

かんたんネットワーク設定

- はじめてネットワークの設定をするときや、ネットワークの設定をし直すときなどに、設定します。

有線LANの設定をする

- 有線LANの接続については、製品同梱の取扱説明書の「接続のしかた(有線LANの場合)」をご覧ください。

1 ◀▶で「有線LAN」を選んで、決定を押す

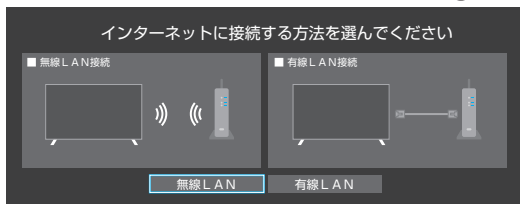


2 接続テストをする場合は◀▶で「はい」を選んで、決定を押す

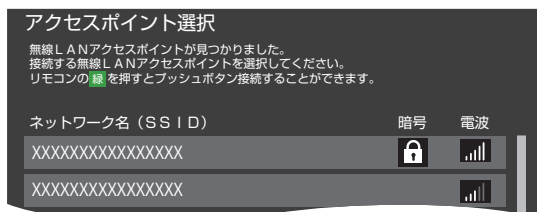
- 「接続テスト」をしない場合は、「いいえ」を選びます。あとから接続テストをする場合は、[「接続テスト」](#)をご覧ください。
 - 「接続できませんでした。」と表示された場合は、LANケーブルの接続を確認してから、再度接続テストを行ってください。
- #### 3 「インターネットに接続できました。」と表示されたら、決定を押す
- 有線LANの設定は終了です。

無線LANの設定をする

- 1 ◀▶で「無線LAN」を選んで、決定を押す



- 2 アクセスポイント選択画面が表示されます。



- 3 設定方法には、
[「アクセスポイント選択」](#)》、
[「プッシュボタン接続」](#)》、
[「PINコード接続」](#)》

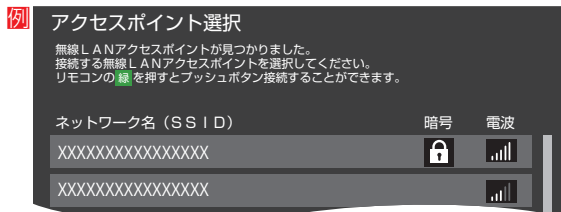
があります。接続する無線LANアクセスポイントに合わせて、設定方法を選びます。

- 4 お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書も、お読みください。

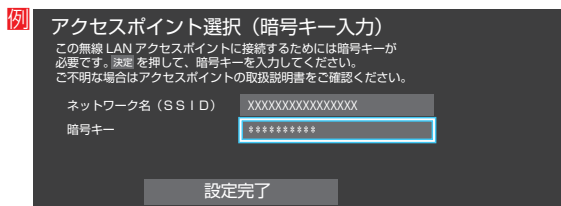
アクセスポイント選択

- 本機が使用可能な無線LANアクセスポイントを検出し、接続します。

- ① 表示された接続可能なアクセスポイントから、本機の接続先を▲・▼で選び、**決定**を押す



- ② ①で選択した無線LANアクセスポイントの暗号キーを入力する



- 選択先によっては下記の表示になることがあります。

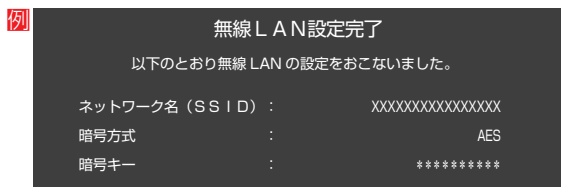


- 暗号キーについては、お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

- 文字入力の方法は、[「文字を入力する」](#)をご覧ください。

- ③ ▲・▼で「設定完了」を選び、**決定**を押す

- ④ 設定内容を確認し、**決定**を押す



プッシュボタン接続

- 「接続ボタン」が押され使用可能になった無線LANアクセスポイントを本機が検出し、接続します。

① **緑** を押す

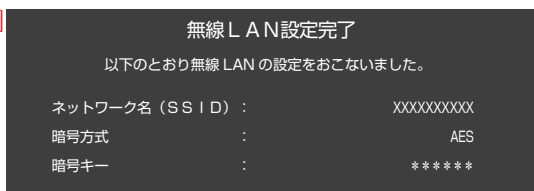
② 無線LANアクセスポイントの接続ボタンを押す

- 本機がアクセスポイントを検出し、接続します。

- 接続に成功すると、設定内容が表示されます。

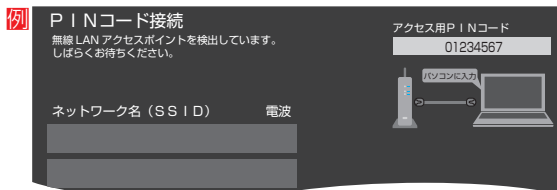
③ 設定内容を確認し、**決定** を押す

例



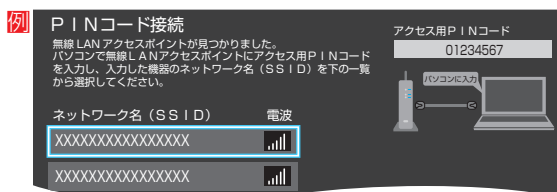
PINコード接続

- ① **黄**を押す
- ② 画面の指示に従い、表示されたPINコードを無線LANアクセスポイントにパソコンで設定する

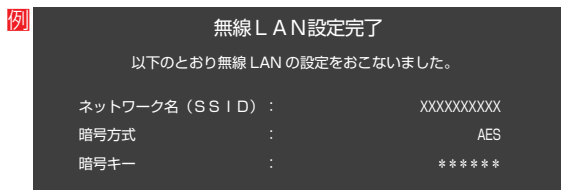


- PINコードの設定方法については、お使いのアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

- ③ 表示された接続可能なアクセスポイントから、本機の接続先を▲▼で選び、**決定**を押す

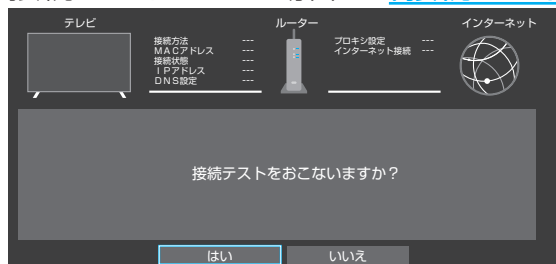


- ④ 設定内容を確認し、**決定**を押す



② 接続テストをする場合は◀▶で「はい」を選び、決定を押す

- 「接続テスト」をしない場合は、「いいえ」を選びます。あとから接続テストをする場合は、[「接続テスト」](#)をご覧ください。



- 「接続できませんでした。」と表示された場合は、無線LANの設定を確認してから、再度接続テストを行ってください。
- ## ③ 「インターネットに接続できました。」と表示されたら、決定を押す
- 無線LANの設定は終了です。

お知らせ

- 無線LANアクセスポイントに本機以外が無線LAN接続されていると、ネットワーク経由で映像を取得しているときに、その映像が止まったりノイズが出たりすることがあります。
- 無線LANアクセスポイントには、主に52以上のチャンネルで、気象レーダーなどとの干渉を検知してチャンネルを自動的に変更する機能が搭載されています。この機能によって、ネットワーク経由での映像再生が中断されたり、「外部機器から電源オン」が機能しない場合があります。
- すべての無線LANアクセスポイントとの接続を保証するものではありません。
- 本機の設置環境によっては、無線LANを使用できないことがあります。
- 無線LANアクセスポイントのソフトウェアは最新バージョンでを使用することをおすすめします。ソフトウェアのバージョンとアップデートについては、お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

お願い

- 無線LANアクセスポイントが複数ある場合、本機と接続する無線LANアクセスポイントのチャンネルは、他の無線LANアクセスポイントと異なるチャンネルに設定してください。
- 5GHz帯に対応している無線LANアクセスポイントに無線LAN接続する場合、その無線LANアクセスポイントと本機は5GHz帯を使用する設定にしてください。
- 52以上のチャンネルでSSIDが公開されていない(ステルス設定された)無線LANアクセスポイントに接続できません。無線LANアクセスポイントの設定を変更してください。
- 同時に複数のチャンネル(デュアルチャンネルあるいはクアッドチャンネル、40MHzあるいは80MHzの使用帯域またはチャンネル幅)で通信できる無線LANアクセスポイントと接続する場合は、事前に無線LANアクセスポイントで有効にすることをお勧めします。
- 無線LANで接続していて、ネットワーク経由で映像を取得しているとき、映像が止まったりノイズが出たりする場合は、無線LANアクセスポイントと本機の設定を見直してから、無線LANアクセスポイントと本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのあと再度電源を入れます。それでも解消されない場合は、有線LANで接続してください。
- 本機の近くに無線LANアクセスポイントが設置されていると、アクセスポイント選択の一覧に表示されない、電波強度が弱く表示される、あるいは接続に失敗することがあります。このような現象が発生した場合、本機と無線LANアクセスポイントを離してお試しください。また、無線LANアクセスポイントの送信強度を下げることで改善できる場合もあります。

接続方法

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「ネットワーク・サービス設定」⇒「ネットワーク接続設定」⇒「詳細設定」⇒「接続方法」の順に進む

2 ▲・▼で「有線LAN」または「無線LAN」を選んで、**決定** を押す

接続方法	無線LAN	有線LAN
無線LAN設定	>	無線LAN
アドレス設定 (IPv4)	>	
IPv6接続	利用する	
アドレス設定 (IPv6)	>	

● 「有線LAN」から「無線LAN」に変更した場合、切換に数秒間かかります。

無線LAN設定

● 無線LANを使用する場合に、設定してください。

● **設定** を押し、▲・▼で「ネットワーク・サービス設定」⇒「ネットワーク接続設定」⇒「詳細設定」に進め、「接続方法」が「無線LAN」になっていることを確認してください。

「有線LAN」になっている場合

● 以下の操作で「無線LAN」に設定します。

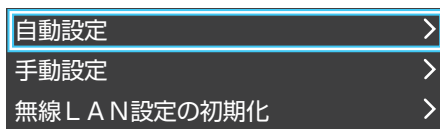
① ▲・▼と **決定** で「詳細設定」⇒「接続方法」の順に進む

② ▲・▼で「無線LAN」を選び、**決定** を押す

● 「詳細設定」の画面に戻り、「接続方法」が「無線LAN」になります。

1 **設定** を押し、▲・▼で「ネットワーク・サービス設定」⇒「ネットワーク接続設定」⇒「詳細設定」⇒「無線LAN設定」の順に進む

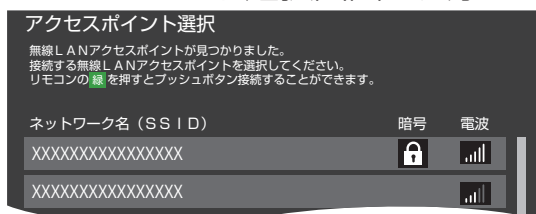
2 設定する項目を▲▼で選んで を押す



3 以降の手順で設定する

自動設定

- アクセスポイント選択画面が表示されます。



- 各接続方法と設定については、
[「アクセスポイント選択」](#)、
[「PushButton接続」](#)、
[「PINコード接続」](#)

をご覧ください。

- お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書も、お読みください。

手動設定

- 接続に必要な設定を、一つ一つ手動で設定する場合に選びます。
- お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

① 各項目を、以降の手順で設定する

The screenshot shows a dark-themed manual setup interface. At the top, it says '手動設定' (Manual Setup). Below are three input fields: 'ネットワーク名 (SSID)' with 'XXXXXXXXXXXXXXXX' entered, '暗号方式' (Encryption Method) with 'AES' selected, and '暗号キー' (Encryption Key) with '*****' entered. A blue border highlights the '暗号キー' field. At the bottom is a button labeled '設定完了' (Setup Complete).

- ▲▼で「ネットワーク名(SSID)」を選び、●決定を押します。
接続したいアクセスポイントのSSID(ネットワーク名)を入力してください。
- ▲▼で「暗号方式」を選び、●決定を押します。
▲▼で「AES」、「AES/TKIP」、「WEP-Open」、「WEP-Shared」または「暗号なし」から選び、●決定を押します。

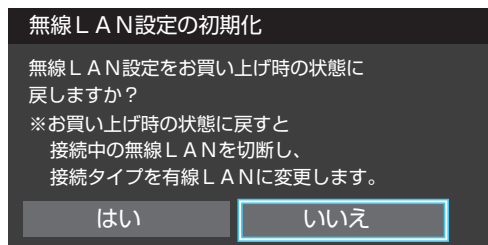
「暗号なし」に設定すると、無線LAN経由で本機から送信する情報のセキュリティが無防備になるため、悪意ある第三者に情報を盗み見られるおそれがあります。

暗号方式は「AES」などに設定することをおすすめします。

- ▲▼で「暗号キー」を選び、●決定を押します。
接続したいアクセスポイントが指定する、「暗号キー」を入力します。
 - 「WEP-Open」、「WEP-Shared」を選んだ場合は、▲▼で「キーインデックス」を選び、●決定を押します。
▲▼で「キーインデックス1～4」から選び、●決定を押します。
- ② ▲▼で「設定完了」を選び、●決定を押す
- ③ 設定内容を確認し、●決定を押す

無線LAN設定の初期化

1 ◀▶ で「はい」または「いいえ」を選び、決定を押す



アドレス設定(IPv4)

- インターネットに接続するために、本機に割り当てられる固有の番号を設定します。

IPアドレス

- ※ 「IPアドレス」を「手動設定」に設定した場合は、「DNSアドレス」は、自動的に「手動設定」に設定されます。その場合は、DNSアドレスを手動で設定します。

- ① IPアドレスを自動取得できる場合は、▲▼で「自動取得」を選び、決定を押す

アドレス設定 (IPv4)

IPアドレス

自動取得

アドレス

サブネットマスク

デフォルトゲートウェイ

DNSアドレス

自動取得

プライマリアドレス

セカンダリアドレス

プロキシサーバー

使用しない

サーバー名

ポート番号

設定完了

自動取得できないネットワーク環境の場合

- ① ▲▼で「手動設定」を選び、決定を押す
 - ② ▲▼で「アドレス」を選び、1～10⁰で入力する
 - ③ ▲▼で「サブネットマスク」を選び、1～10⁰で入力する
 - ④ ▲▼で「デフォルトゲートウェイ」を選び、1～10⁰で入力する
- ②～④では0～255の範囲の数字(左端の欄は0以外)を四箇所の欄に入力します。
 - 欄を移動するには、◀▶を押します。
- ② ▲▼で「設定完了」を選び、決定を押す

DNSアドレス

- ドメイン名をIPアドレスに置き換える機能を持ち、IPアドレスで特定されているDNSサーバーを設定します。

※「IPアドレス」を「手動設定」に設定した場合は、「DNSアドレス」は自動的に「手動設定」に設定され、「自動取得」にはできません。その場合は、DNSアドレスを手動で設定します。

- ① DNSアドレスを自動取得できる場合は、▲▼で「自動取得」を選び、決定を押す

自動取得できないネットワーク環境の場合

- ① ▲▼で「手動設定」を選び、決定を押す
 - ② ▲▼で「プライマリアドレス」を選び、⁰1 ~ ⁰10⁽⁰⁾で入力する
 - ③ ▲▼で「セカンダリアドレス」を選び、⁰1 ~ ⁰10⁽⁰⁾で入力する
- ②と③では0～255の範囲の数字(左端の欄は0以外)を四箇所の欄に入力します。
 - 欄を移動するには、◀▶を押します。
- ② ▲▼で「設定完了」を選び、決定を押す

プロキシサーバー

- インターネットとの接続時にプロキシ(代理)サーバーを経由する場合に設定します。
 - ご契約のプロバイダーから指定がある場合にだけ設定します。
 - ここでのプロキシ設定はHTTPに関するものです。
- ① ▲▼で「使用する」を選び、を押す
 - ② ▲▼で「サーバー名」を選び、を押す
 - ③ サーバー名を入力する
 - ・ 文字入力の方法は、[「文字を入力する」](#)をご覧ください。
 - ・ 入力できる文字は半角英字／半角数字で、記号は半角の！"#%&()*+,-.;<=>@[¥]^_`?~/です。
 - ④ ▲▼で「ポート番号」を選び、**1**～**10**[※]₍₀₎でポート番号を入力する
 - ⑤ ▲▼で「設定完了」を選び、を押す

IPv6接続

- IPv6アドレスを用いてネットワークに接続する場合に設定します。
- ※ NetflixはIPv6にも対応しています。
- ※ ルーターのIPv6パススルー (IPv6ブリッジ)を有効にした場合は、外部からのアクセスが可能になり、セキュリティが低下します。同じルーターにつなぐパソコンは、正しくアクセス制限の設定を行い、セキュリティ対策ソフトなどをお使いになることをお勧めします。
- ① ▲▼で「利用する」または「利用しない」を選んで、を押す

アドレス設定(IPv6)

- IPv6で接続するときに、本機に割り当てられる固有の番号を設定します。

IPアドレス

- ※ 「IPアドレス」を「自動取得」に設定した場合は、IPv6ステートレスアドレス自動設定方式によりIPアドレスを取得したあと、DHCPv6によりDNSアドレスを取得します。
- ※ 「IPアドレス」を「手動設定」に設定した場合は、「DNSアドレス」は、自動的に「手動設定」に設定されます。その場合は、DNSアドレスを手動で設定します。

- ① IPアドレスを自動取得できる場合は、▲▼で「自動取得」を選び、決定を押す

アドレス設定 (IPv6)

IPアドレス
アドレス
デフォルトゲートウェイ
プレフィックス長

DNSアドレス
プライマリアドレス
セカンダリアドレス

自動取得

自動取得

設定完了

自動取得できないネットワーク環境の場合

- ① ▲▼で「手動設定」を選び、決定を押す
 - ② ▲▼で「アドレス」を選び、1 ~ 10 (0)、11 (a ~ c)、12 (d ~ f) で入力する
 - ③ ▲▼で「デフォルトゲートウェイ」を選び、1 ~ 10 (0)、11 (a ~ c)、12 (d ~ f) で入力する
 - ④ ▲▼で「プレフィックス長」を選び、1 ~ 10 (0) で入力する
- ②、③では0~9、a~fの英数字(左端の欄は0以外)を八箇所の欄に入力します。
 - ④では1~127の範囲の数字を入力します。
 - 欄を移動するには、◀▶を押します。

- ② ▲▼で「設定完了」を選び、決定を押す

DNSアドレス

※「IPアドレス」を「手動設定」に設定した場合は、「DNSアドレス」は自動的に「手動設定」に設定され、「自動取得」にはできません。その場合は、DNSアドレスを手動で設定します。

① DNSアドレスを自動取得できる場合は、▲・▼で「自動取得」を選び、決定を押す

自動取得できないネットワーク環境の場合

① ▲・▼で「手動設定」を選び、決定を押す

② ▲・▼で「プライマリアドレス」を選び、⁰1 ~ ^{0 0 0 0}10 (0)、^{0 a b c d}11 (a ~ c)、^{0 d e f}12 (d ~ f) で入力する

③ ▲・▼で「セカンダリアドレス」を選び、⁰1 ~ ^{0 0 0 0}10 (0)、^{0 a b c d}11 (a ~ c)、^{0 d e f}12 (d ~ f) で入力する

- ②と③では0~9、a~fの英数字(左端の欄は0以外)を八箇所の欄に入力します。
- 欄を移動するには、◀▶を押します。

② ▲・▼で「設定完了」を選び、決定を押す

ネットワーク情報

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「ネットワーク・サービス設定」
⇒「ネットワーク接続設定」の順に進む

2 ▲・▼で「ネットワーク情報」を選び、**決定** を押す

- 現在利用しているネットワーク情報が表示されます。
- ネットワーク接続の設定によっては、表示されない項目もあります。

接続テスト

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「ネットワーク・サービス設定」
⇒「ネットワーク接続設定」の順に進む

2 ▲・▼で「接続テスト」を選び、**決定** を押す

- 「ネットワーク設定」が正しいかテストします。テストが終わると「接続テスト結果」画面が表示されます。「インターネットに接続できました。」と表示された場合は、「終了」を押します。
- 正しく接続できなかった場合は、「再テスト」を選んで **決定** を押します。再度接続テストを行い、接続テスト結果画面が表示されます。再テストを行っても接続できない場合は、「設定をやりなおす」を選んで **決定** を押し、設定をやり直してください。

ネットワーク設定の接続テスト結果について

- 接続テストの結果、正しく通信できなかった場合は、以下を確認します。

① LAN端子の接続状態と「ネットワーク設定」を確認する

- ・ 正しく接続・設定されているかご確認ください。設定内容については、ルーターの設定内容に関係することがありますのでご注意ください(ルーターの設定については、ルーターの取扱説明書をご覧ください)。

② ネットワーク環境の接続確認

- ・ 以下の手順で本機と同一ネットワーク上に接続されたパソコンからインターネットに接続できるか確認します。

① パソコンのインターネット・ブラウザ(Internet Explorer など)を起動する

② URL欄に「www.toshiba.co.jp/regza/」を入力し、ページが表示されることを確認する

- ・ ページが正しく表示されない場合は、接続されているパソコンやルーターの設定が正しいか確認します(詳しくは、パソコン、ルーターの取扱説明書をご覧ください)。この場合、本機の問題ではない可能性があります。

- 接続テストの結果で「IPv6接続のご利用について」が表示された場合

- ・ 「アドレス設定(IPv6)」の設定内容が、ご使用のネットワーク環境に合っているかをご確認ください。
- ・ ルーターのIPv6設定が有効かご確認ください。

上記を確認してもIPv6の接続ができない場合は、IPv6をご利用いただける契約か、プロバイダーにご確認ください。

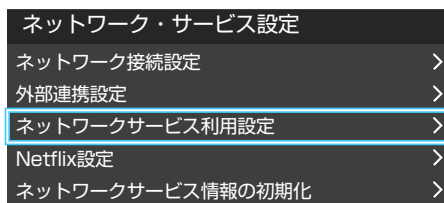
- ※ IPv6接続でネットワーク接続をご利用にならない場合は、「IPv6接続」を「利用しない」に変更してください。

ネットワークサービスを利用するための設定をする

- インターネットに接続して、クラウドサービスなどのネットワークサービスを利用するには、「ネットワークサービス利用設定」を「利用する」に設定します。

※「クラウドサービス」の使用には、ソフトウェアの更新が必要な場合があります。

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「ネットワーク・サービス設定」
⇒「ネットワークサービス利用設定」の順に進む



- 2 内容を最後まで読む

- 3 ◀▶ で「利用する」または「利用しない」を選び、**決定** を押す



- 「TimeOn利用規約を表示」を選んで **決定** を押すと、TimeOnの利用規約を確認することができます。

もう一度 **決定** を押すか、**戻る** を押すと元の画面に戻ります。

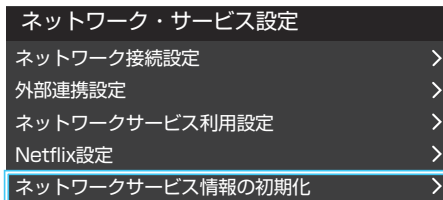
- 4 ◀▶ で「設定完了」を選び、**決定** を押す

ネットワークサービスの情報を初期化する

- クラウドサービスの設定内容や、動画配信サービスのログイン情報※などを削除します。

※ Netflixなど、一部初期化されない動画配信サービスがあります。

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「ネットワーク・サービス設定」
⇒「ネットワークサービス情報の初期化」の順に進む



- 2 ◀▶ で「はい」を選び、**決定** を押す

- ネットワークサービスの情報が初期化され、テレビの電源が「待機」になったあと、ふたたび「入」になります。

お知らせ

■ ネットワークサービス利用設定について

- ネットワークサービス利用設定を「利用する」に設定すると、本機の操作情報(チャンネル切替、入力切替、録画予約、視聴予約、再生履歴、番組複製履歴、番組編集履歴など)、動作状態の履歴情報、本機に接続されたUSBハードディスク等の識別情報や動作状態の履歴情報などや、ご登録いただいた都道府県、性別等の情報が当社または当社の委託先のサーバーで記録されますが、これらの情報から当社が利用者個人を特定することはありません。
- クラウドサービスなどのネットワークサービス(以下「本サービス」と表します)のご利用には、住所・氏名・連絡先等の個人情報の入力には不要です(ただし、動画配信サービスによっては、契約が必要な場合があります。ご利用の動画配信サービスなどにご相談ください)。
- サーバーが収集した情報は、本サービスの提供以外に、品質改善や統計情報としてマーケティングなどの目的で利用することがあり、この目的の範囲内で第三者に提供する場合があります。ただし、お客様が特定のキャンペーン提供会社に対して、本機の利用履歴やお客様のプロフィール情報(ご登録いただいた都道府県、性別等の情報)を提供することに同意された場合は、当社はその情報をお客様が同意したキャンペーン提供会社へ提供する場合があります。
- 本サービスは、予告なく休止、終了、または内容を変更する場合があります。
- 本サービス中で、本サービス以外の第三者によって提供されるサービスをご利用いただく場合、各サービス提供者の利用規約およびその他規約が適用されます。本サービス以外の第三者によって提供されるサービスおよびこれに関連する事項について、当社は一切関与いたしません。

- ネットワークサービス利用設定を「利用しない」に設定を変更した場合、それまでにサーバーが収集した本機や本機に接続された機器に関する情報は、サーバーから消去されます。なお、お客様のプロフィール情報(ご登録いただいた都道府県、性別等の情報)は、本機の「すべての初期化」を行って次にネットワークにつないだときに、サーバーから消去されます。また、お客様が個別に作成した本サービスのユーザーアカウント情報は、ユーザーアカウントを削除したときに、サーバーから消去されます。
- クラウドサービスの内容やサーバーが収集した情報の削除方法については、ホームページ(<http://timeon.jp/>)をご覧ください。

ネットワークに関するお知らせ・用語

お知らせ

■ アドレス情報(IPv4)のIPアドレスについて

- 本機に接続されたルーターのDHCP機能(IPアドレスを自動的に割り当てる機能)がONのときは、アドレス設定(IPv4)のIPアドレスを「自動取得」、「手動設定」のどちらでも設定できます(通常は、「自動取得」に設定します。「手動設定」の方法は[「アドレス設定\(IPv4\)」](#)をご覧ください)。
- ルーターのDHCP機能がOFFのときは、「手動設定」にして、プロバイダーから指定されたアドレスを手動で設定します。
- 手動で設定する際は、他の接続機器とIPアドレスが重複しないように設定します。設定する固定IPアドレスはプライベートアドレスでなければなりません。
- 設定終了後、本機に設定されたIPアドレスとルーターのローカル側に設定されたIPアドレスのネットワークID部分がそれぞれ同じであることを確認します(詳しくは、ルーターの取扱説明書をご覧ください)。

■ アドレス情報(IPv4)のDNSアドレスについて

- DNSアドレスを指定して設定するには、「IP設定」で「静的」を」選択して、DNSアドレスを含め、ネットワークの設定項目の全てについて画面の指示に従って設定してください。

■ PPPoE設定について

- 本機ではPPPoEの設定はできません。PPPoEはルーター側に設定してください(設定にはパソコンが必要です)。

用語

■ アドレス(IP v 4)

ネットワークに接続する場合に、端末に割り当てられる固有の番号です。最大3ケタの数字4組を点で区切った形式で表現されます(例: 111.112.xxx.xxx)。

■ アドレス(IP v 6)

ネットワークに接続する場合に、端末に割り当てられる固有の番号です。最大4ケタの数字またはa～fまでのアルファベット8組を「:」で区切った形式で表現されます(例: 1111:ABCD:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx)。

■ DNSサーバー

ドメイン名(xxx.co.jpなど)をIPアドレスに置き換える機能を持つサーバーで、本機では自動的に取得されます。自動で取得できない場合は、手動で、プロバイダーからの資料で指定されたDNSサーバーのアドレスを「プライマリアドレス」に入力します。二つある場合は、もう一方を「セカンダリアドレス」に入力します。ご契約のプロバイダーによっては、「ネームサーバー」、「DNS1/DNS2サーバー」、「ドメインサーバー」などと呼ばれることがあります。

■ サブネットマスク

ネットワークを区切るために、端末に割り当てられるIPアドレスの範囲を限定するためのものです(例: 255.255.xxx.xxx)。

■ デフォルトゲートウェイ

ネットワーク外のサーバーにアクセスする際に、使用するルーターなどの機器を指定するためのものです。IPアドレスで特定されています。

■ プロキシ

ご契約のプロバイダーから指定があるときだけ設定してください(例: proxy.xxx.xxx.xxx)。

この設定をすると、HTTPプロキシサーバーからファイアウォール(外部からの不正侵入防護壁)を越えて通信先のサーバーにデータを送ることができます。

■ MACアドレス

ネットワーク上に接続されている機器の識別のために、機器ごとに割り当てられる固有の番号です。

ひかりTVの設定をする

- ネットワークサービスのひかりTVは、NTTの光回線を利用して多チャンネル放送やビデオサービス、ショッピングなどが楽しめる有料サービスです。
- フレッツ回線を利用するには、NTTおよびプロバイダーとの契約が必要です。
- ひかりTVをインターネットに接続するにはIPv6の対応が必要です。インターネットを利用するための設定では、IPv6接続、[「アドレス設定\(IPv6\)」](#)も設定してください。
- ひかりTVを視聴するには、あらかじめ申し込みが必要です。

ひかりTVのお問い合わせ・お申し込みはこちら

お電話で
お問い合わせ

009192-144 (通話無料)

ひかりTVカスタマーセンター 営業時間10:00~19:00 年中無休

ひかり電話など*からおかけの場合

0120-001144 (通話無料・携帯電話不可)

ホームページ

<https://www.hikaritv.net/>

- ※ NTT東日本・NTT西日本のひかり電話、NTT東日本・NTT西日本以外の固定電話、IP電話、PHS、及び公衆電話など

お知らせ

- 集合住宅(マンションなど)でPNA装置を使用している場合は、ひかりTVの視聴はできません。
- 本機ではルーターの設定はできません。ルーターによってはパソコンでの設定が必要な場合があります。
- 以下について詳細は、NTT東日本、またはNTT西日本にお問い合わせください。
 - ・ フレッツ回線を用いて通常のインターネット接続をするには、PPPoEに関する項目をルーターに設定する必要があります。
 - ・ パソコンでIPv6サービスを使用する際の制限事項。
- ひかりTVのサービスを視聴中にパソコンなどでインターネットを使用すると、ひかりTVの映像や音声がかかります。
- テレビサービスが利用できるようになるまでには、かなりの時間がかかることがあります。
- 無線LANをご使用の場合、映像にノイズが出たり、音声途切れたりする場合は、無線LANアクセスポイントおよび本機の設定を見直すか、有線LANで接続してください。

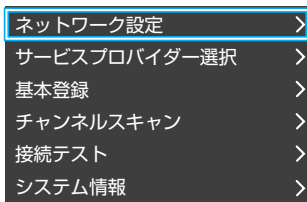
- ネットワークサービスのひかりTVを利用するための設定、確認をします。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「ネットワーク・サービス設定」 ⇒「ひかりTV設定」の順に進む

※ ひかりTVの設定が変更できない場合は、「IPv6接続」を「利用する」に変更してください。

設定 を押し、「ネットワーク・サービス設定」⇒「ネットワーク接続設定」⇒「詳細設定」から変更してください。

2 設定する項目を▲・▼で選んで **決定** を押す



3 以降の手順で設定・確認する

ネットワーク設定

- ご契約の回線を選びます。

1 ◀▶で以下から選び、**決定** を押す

「NTT東日本」 / 「NTT西日本」

2 フレッツ 光ネクストを利用している場合は、◀▶で「はい」を選び、**決定** を押す

サービスプロバイダー選択

- サービスプロバイダーが一覧表示されます。

1 契約しているプロバイダーを▲・▼で選び、**決定** を押す

2 確認画面が表示されたら、**決定** を押す

基本登録

- ひかりTVの場合は、申込後に発行される資料に記載されている内容を入力します。
- 文字入力の方法は、「[文字を入力する](#)」をご覧ください。

チャンネルスキャン

- テレビサービスで視聴できるチャンネルを設定します。
 - テレビサービスが開通していないと、チャンネルスキャンはできません。
 - チャンネルスキャンの設定には数分かかることがあります。
- ① チャンネルスキャンをする場合は、◀▶で「はい」を選び、を押す
 - スキャンが始まります。
 - 中止する場合はを押します。
 - スキャンの完了後、設定の内容が表示されます。
 - ② 内容を確認したら、を押す
 - ページが複数ある場合は、▲▼で切り換えられます。

接続テスト

- 接続と設定が正しいか、テストします。
 - 接続テストが始まります。
 - 中止する場合はを押します。
 - エラーメッセージが表示された場合は、メッセージに従って対処してください。

システム情報

- システム情報が表示されます。
 - DRM番号： ひかりTVサービスで利用される受信機固有の番号です。契約をする場合などの参考情報です。

クラウドサービス・ネットワークサービスを楽しむ

クラウドサービスとネットワークサービスについて

- ネットワークサービスとはネットワーク機能を使ったサービスです。
- クラウドサービスはネットワークサービスの一部で、当社が提供するサービスです。タレントや好みのテーマに関する番組・シーン・動画などを自動で検索する「みるコレ」サービスや、お好みの動画配信サービスなどを楽しめる他社サービスへのリンクも提供します。
- ※「みるコレ」サービスの概要などについては、ホームページ(<http://timeon.jp/>)をご覧ください。

クラウドサービスやネットワークサービスに必要な準備

- クラウドサービスやネットワークサービスを楽しむ前に、以下の接続と設定が必要です。

必要な接続・設定

- ・ インターネットを利用するための接続をする。
製品同梱の取扱説明書の「インターネットを利用するための接続をする」**19**をご覧ください。
- ・ [インターネットを利用するための設定](#)をする。
- ・ [ネットワークサービス利用設定](#)を「利用する」に設定する。
- ・ [インターネットの利用制限](#)を設定する。

クラウドサービスの設定をする

- クラウドサービスやおまかせ録画を使う前に、以下の設定が必要です。

1 みるコレを押す

- クラウドサービスの画面が表示されます。
- **おすすり番組**を押したときは、サービス紹介画面が表示されます。



2 「利用する(無料)」を▲・▼・◀・▶で選び、決定を押す

- 表示される画面にあわせて設定してください。

クラウドサービスの基本操作

1 を押す

- クラウドサービスの画面が表示されます。

2 ▲・▼・◀・▶でお好みのサービスを選んで を押す

暗証番号の入力画面が表示された場合

① ~ (0)を押して暗証番号を入力する

- 暗証番号の入力画面は、「[ネットワークサービス制限設定](#)」を「制限する」に設定している場合に表示されます。

3 見たい項目を▲・▼・◀・▶で選び、を押す

4 サービスを終了するには、を押す

- 確認のメッセージが表示されたら、◀・▶で「はい」を選んで、を押します。

お知らせ

- 画面や文言については変更される場合があります。
- 当社および他社が提供するネットワークサービスの名称およびサービス内容の一部または全部は、予告なく変更・終了する場合があります。
- ネットワークサービスによっては、事前に利用者登録などが必要なサービスがあります。
- ご利用の回線業者やプロバイダーが採用している接続方式・契約約款によっては、サービスを利用できない場合があります。
- 他社が提供するサービスやコンテンツに関して当社は一切関与いたしません。
- ネットワークサービスの内容は録画することはできません。
- **みるコレ**を押してもクラウドサービスの画面が表示されない場合は、を2秒以上押してから、**みるコレ**を押します。
を2秒以上押すと、クラウドサービス終了後再読み込みが行われ、**みるコレ**を押すと再読み込み後の画面が表示されます。

ネットワークサービス機能について

- ネットワークサービスと操作のしかたについては、以下のホームページの「取扱説明書ダウンロード」に掲載される「Z740XS ネットワークサービス編」をご覧ください。

<https://www.toshiba.co.jp/regza>

- ネットワークサービス機能では、以下の機能を使用できます。
- ※ 一部の機能のご利用にはソフトウェアのバージョンアップが必要な場合があります。

動画配信サービスを見る

- 各種動画配信サービスを視聴することができます。

スマートスピーカーで本機を操作する

- 対応するスマートスピーカーと連携して、スマートスピーカーに話しかけることで本機を操作することができます。

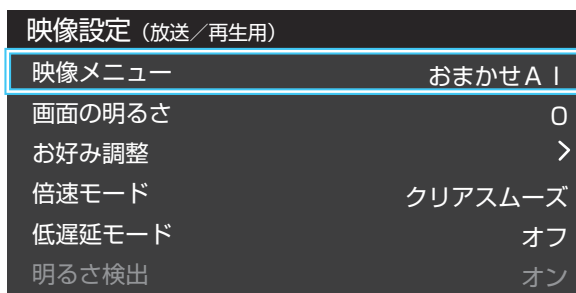
ボイス機能で本機を操作する

- リモコンに話しかけることで番組の検索や文字入力などができます。

お好みの映像メニューを選ぶ

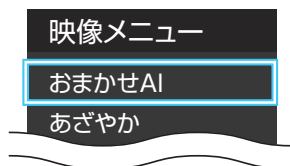
- 見る映像の種類に応じて、お好みの映像メニューを選ぶことができます。
- 映像メニューは、放送/再生の映像や各入力端子・写真再生の映像、信号特性などでそれぞれ記憶させることができます。
- ※ HDR信号を受信しているときは、映像設定はHDR信号にあわせた画質に設定されます。その場合、映像設定に **HDR** のアイコンが表示されます。

1 設定 を押し、▲・▼と 決定 で「映像設定」⇒「映像メニュー」の順に進む



2 お好みの映像メニューを▲・▼で選び、 決定 を押す

- 選択できる映像メニューは、視聴している映像の種類によって異なり、選択できない映像メニューは表示されません。



映像メニュー	内 容
おまかせA I	映像の内容と周囲の明るさに合わせて、常に見やすい画質に自動調整されます。
あざやか	日中の明るいリビングで、迫力ある映像を楽しむときに適した設定です。
標準	室内で落ち着いた雰囲気を楽しむときに適した設定です(日常、ご家庭で使用する際の推奨設定です)。
スポーツ	スポーツ番組などを見るときに適した設定です。
アニメプロ	アニメ番組などを見るときに適した設定です。
放送プロ	テレビ番組やライブ映像を見るのに適しています。
映画プロ	映画を見るときに適した設定です(暖か味のある色合いが再現されます)。
リファレンス	画質補正を抑えた映像チェックに適した設定です(放送/再生入力、HDMI入力のときに選択できます)。
ゲーム	ゲームのレスポンスを重視した、ゲームをするのに適した設定です(HDMI入力、ビデオ入力のときに選択できます)。
モニター	映像製作用モニターに近い設定です。 P C接続にも適したモードです(HDMI入力のときに選択できます)。
写真	写真(JPEG画像)を表示するのに適した設定です(写真再生のときに選択できます)。
リビング	ご家庭の明るい部屋で楽しむときに適した設定です。 (Netflixのときに選択できます)
シアター	ご家庭の暗い部屋で楽しむときに適した設定です。(Netflixのときに選択できます)

お好みの映像に調整する

- 1 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「映像設定」⇒「お好み調整」の順に進む

映像設定（放送／再生用）	
映像メニュー	おまかせ A I
画面の明るさ	0
お好み調整	>
倍速モード	クリアスムーズ
低遅延モード	オフ
明るさ検出	オン

- 「映像メニュー」が「おまかせ A I」以外の場合は、「映像調整」に進みます。

映像設定（放送／再生用）	
映像メニュー	標準
画面の明るさ	0
映像調整	>
倍速モード	クリアスムーズ
低遅延モード	オフ
明るさ検出	オン

- 2 調整する項目を▲・▼で選び、**決定** を押す

黒レベル	0
色の濃さ	0
色あい	0
精細感・ノイズ調整	>
コントラスト感調整	>
色詳細調整	>
ピュアダイレクト	オフ
プロ調整	>
映像分析情報	>
お好み調整を初期値に戻す	>

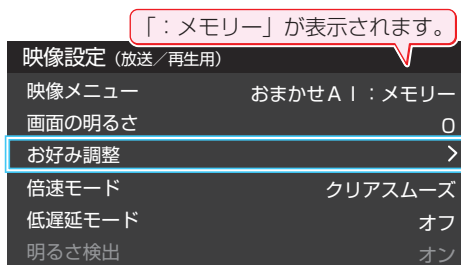
- ※ 映像メニューが「おまかせ A I」以外の場合は、「お好み調整を初期値に戻す」は「映像調整を初期値に戻す」になります。

3 以降の手順でお好みの映像に調整する

- 他の項目を調整するときは、手順2から繰り返します(「黒レベル」、「色の濃さ」、「色あい」の調整時は、▲・▼を押せば調整項目を切り換えることができます)。

「お好み調整」や「映像調整」をした場合

- 映像を調整すると、そのときに選択していた「映像メニュー」に調整状態が記憶され、「映像メニュー」の表示に「：メモリー」が加わります。
- 調整状態は、放送/再生や各入力端子、写真再生などの区分ごとに記憶されます。たとえば、(放送/再生)の「おまかせ：メモリー」と(HDMI1)の「おまかせ：メモリー」は、異なる調整をして記憶させることができます。



黒レベル

- 映像の暗い部分(黒)の再現性(明るさ)を調整します。
 - 1 ◀▶でお好みの明るさに調整し、決定を押す
 - 「-50」(暗)～「+50」(明)の範囲で調整できます。

色の濃さ

- 映像の色の濃さを調整します。
 - 1 ◀▶でお好みの濃さに調整し、決定を押す
 - 「-50」(淡)～「+50」(濃)の範囲で調整できます。

色あい

- 肌の色に注目して、色あいを調整します。
- ① ◀▶でお好みの色あいに調整し、決定を押す
- 「-50」(紫)～「+50」(緑)の範囲で調整できます。

精細感・ノイズ調整

- 「精細感・ノイズ調整」を選択して決定を押すと、精細感・ノイズ調整のメニューが表示されます。
- ① 調整する項目を▲▼で選び、決定を押す
- 視聴する映像の種類および「映像メニュー」の設定によっては調整や設定ができない項目があります。

シャープネス	0
レゾリューションプラス設定	>
カラーテクスチャー設定	>
輝度エッジ補正	オート
階調クリエーション	オート
ダイナミックNR	オート
4Kノイズクリア	オート

②以降の手順で調整する

- 他の項目を調整する場合は、手順①から繰り返します。

シャープネス

- 映像の鮮明さを調整します。
- ① ◀▶でお好みの映像に調整し、決定を押す
- 「-50」～「+50」の範囲で調整できます。

レゾリューションプラス設定

- 緻密で精細感のある映像を表示します。
- 「レゾリューションプラス設定」を選択して決定を押すと、「レゾリューションプラス」、「ゲイン調整」の選択メニューが表示されます。それぞれ以下の要領で設定します。
- ※ 映像によっては、効果がわかりにくい場合があります。

レゾリューションプラス

- レゾリューションプラスの機能を使うかどうかを設定します。「オフ」に設定した場合は、「ゲイン調整」は調整できません。
- ※ レゾリューションプラスと同じ高画質処理機能を持った機器を接続した場合、画面のノイズが目立つことがあります。その場合には、本機のレゾリューションプラス、または、接続した機器の高画質処理機能をオフにしてください。
- ① ▲▼で「レゾリューションプラス」を選び、決定を押す
- ② ▲▼で以下から選び、決定を押す
 - オン……………映像の種類に応じて自動的にレゾリューションプラスの機能が働きます。
 - オフ……………この機能は働きません。

ゲイン調整

- レゾリューションプラスの効果(強さ)を調整します。
- ① ▲▼で「ゲイン調整」を選び、決定を押す
- ② ◀▶で調整し、決定を押す

映像メニュー	調整レベル	数値が大きくなるほど、映像の精細感が強調されます。
おまかせA I	-5 ~ +5	
おまかせA I 以外	0 ~ 10	

カラーテクスチャー設定

- 色鮮やかな花や果物など、色の濃い映像部分の精彩感や質感を復元する機能です。

カラーテクスチャー

- ① ▲・▼で「カラーテクスチャー」を選び、**決定**を押す
- ② ▲・▼で以下から選び、**決定**を押す
 - ・ オン……………この機能が常に働きます。
 - ・ オフ……………この機能は働きません。

ゲイン調整

- レゾリューションプラスの効果(強さ)を調整します。

- ① ▲・▼で「ゲイン調整」を選び、**決定**を押す
- ② ◀▶で調整し、**決定**を押す

映像メニュー	調整レベル	
おまかせA I	-5 ~ +5	数値が大きくなるほど、効果が大きくなります。
おまかせA I 以外	0 ~ 10	

輝度エッジ補正

- 映像の輝度成分(白黒映像成分)の輪郭を際立たせる機能です。アニメなどで輪郭をくっきりさせることができます。

- ① ▲・▼で以下から選び、**決定**を押す
 - ・ オート……………映像の種類に応じて自動的に制御されます。
 - ・ 手動……………手動で調整します。

「手動」にしたとき

- (1) ◀▶で調整し、**決定**を押す

- 「0」で補正がオフになります。「10」で効果が最大になります。

階調クリエーション

- 映像の階調を滑らかにする機能です。

① ▲▼で以下から選び、決定を押す

- オート……映像の種類に応じて自動的に制御されます。
- 手動……手動で調整します。

「手動」にしたとき

(1) ◀▶で調整し、決定を押す

- 「0」で効果がオフになります。「10」で効果が最大になります。

ダイナミックNR

- 映像のざらつきやちらつきを減らす機能です。

※「映像メニュー」が「ゲーム」、「モニター」、「写真」以外で、「ピュアダイレクト」が「オン」以外のときに設定できます。

① ▲▼で以下から選び、決定を押す

- オート……映像の種類に応じて自動的に制御されます。
- 手動……手動で調整します。

「手動」にしたとき

(1) ◀▶で調整し、決定を押す

- 「0」で効果がオフになります。「10」で効果が最大になります。
- ※ 通常は「オート」に設定してください。効果を強くすると残像が目立つ場合があります。

4Kノイズクリア

- 映像の輪郭部周辺に現れるモスキートノイズを減らす機能です。

① ▲・▼で以下から選び、決定を押す

- オート…………映像の種類に応じて自動的に制御されます。
- 手動…………手動で調整します。

「手動」にしたとき

(1) ◀▶で調整し、決定を押す

- 「0」で効果がオフになります。「10」で効果が最大になります。

コントラスト感調整

- 「コントラスト感調整」を選択して^{決定}を押すと、コントラスト感調整のメニューが表示されます。

① 調整する項目を▲▼で選び、^{決定}を押す

- 視聴する映像の種類および「映像メニュー」の設定によっては調整や設定ができない項目があります。

アドバンスドHDR復元	オート
ユニカラー	0
ヒストグラムバックライト制御	オン
ガンマ調整	0
質感リアライザー	オート

② 以降の手順で調整する

- 他の項目を調整する場合は、手順①から繰り返します。

アドバンスドHDR(ハイダイナミックレンジ)復元

- 明るさの領域を復元し、表現領域を拡大する機能です。

※ 映像信号によっては、選択できない場合があります。

① ▲▼でお好みの映像に調整し、^{決定}を押す

・ オート

映像の種類に応じて自動的に制御されます。

・ オン

明るさの領域を復元し、表現領域を拡大します。

・ オフ

この機能は働きません。

HDR調整

- HDR映像の見え方を調整します。

HDRコントラスト

- 中間部の明るさを調整します。

① ▲・▼で以下から選び、決定を押す

- オート …… 映像の種類に応じて自動的に制御されます。
- 手動 …… 手動で調整します。

「手動」にしたとき

(1) ◀▶で調整し、決定を押す

- 「0」～「10」の範囲で調整できます。

HDRブライトネス

- 明部の明るさや階調性を調整します。

① ▲・▼で以下から選び、決定を押す

- オート …… 映像の種類に応じて自動的に制御されます。
- 手動 …… 手動で調整します。

「手動」にしたとき

(1) ◀▶で調整し、決定を押す

- 「-5」～「+5」の範囲で調整できます。

ユニカラー

- 映像のコントラスト、明るさ、色の濃さをバランスよく同時に調整します。

① ◀▶でお好みの映像に調整し、決定を押す

- 「-50」～「+50」の範囲で調整できます(数値が大きくなるほど映像のコントラストが強くなります)。

LEDエリアコントロール

● 映像の明るさに応じてエリアごとにバックライトの明るさを自動調整し、メリハリのある映像にします。

① ▲▼で以下から選び、決定を押す

- ・ オート …… 周囲の明るさに合わせて、LEDエリアコントロールの効果が自動調整されます。
- ・ 手動 …… 手動で調整します。

「手動」にしたとき

① ◀▶で調整し、決定を押す

● 「0」で効果がオフになります。「10」で効果が最大になります。

ガンマ調整

● 映像の暗い部分と明るい部分の階調のバランスを調整することができます。

① ◀▶で調整し、決定を押す

調整範囲	調整値が大きくなるほど画面全体が明るくなります。
-10 ~ +10	

● 青を押すと、「詳細ガンマ調整」に切り換えることができます。

▲▼で「明部調整」、「暗部調整」を選び、◀▶で調整する

項目	調整範囲	調整要領
明部調整	-10 ~ +10	映像の明るい部分の明るさを調整します。
暗部調整		映像の暗い部分の明るさを調整します。

質感リアライザー

- 映像の内容に応じて、暗い部分から明るい部分にかけての階調が自動的に調整されます。

「映像メニュー」が「おまかせA I」のとき

- ① ◀▶で調整し、決定を押す
- 「-5」～「+5」の範囲で調整できます(数値が大きくなるほどメリハリが強調されます)。
- 青を押すと、「詳細質感リアライザー」に切り換えることができます。
- ※ 映像信号によっては、「詳細質感リアライザー」に切り換えることができない場合があります

詳細質感リアライザー

- (1) ▲▼で「明部調整」または「暗部調整」を選び、決定を押す
- (2) ◀▶で調整し、決定を押す

項目	調整範囲	調整要領
明部調整	-5～+5	映像の明るい部分の再現性に注目して調整します。
暗部調整		映像の暗い部分の再現性に注目して調整します。

「映像メニュー」が「おまかせA I」以外のとき

- ① ▲▼で以下から選び、決定を押す
 - オート ……映像の内容に応じて自動的に制御されます。
 - 手動 ……手動で調整します。
 - オフ ……この機能は働きません

「手動」にしたとき

- (1) ▲▼で「明部調整」または「暗部調整」を選び、決定を押す
- (2) ◀▶で調整し、決定を押す

項目	調整範囲	調整要領
明部調整	0～10	映像の明るい部分の再現性に注目して調整します。
暗部調整		映像の暗い部分の再現性に注目して調整します。

※ 映像信号がHDRのときは、明部調整や暗部調整はできません。

色詳細調整

- 「色詳細調整」を選択して **決定** を押すと、色詳細調整のメニューが表示されます。

① 調整する項目を▲・▼で選び、**決定**を押す

- 視聴する映像の種類および「映像メニュー」の設定によっては調整や設定ができない項目があります。

色温度	0
色域設定	オート
カラーイメージコントロールプロ	>
色エッジ補正	オート
色解像度	スタンダード

② 以降の手順で調整する

- 他の項目を調整する場合は、手順①から繰り返します。

色温度

- 画面全体の色味を調整します。

「映像メニュー」が「おまかせA1」のとき

① ◀▶で調整し、**決定**を押す

- 「-5」～「+5」の範囲で調整できます。
調整値が小さくなるほど暖色系、大きくなるほど寒色系になります。
- **青** を押すと、「RGBゲイン調整」に切り換えることができます。

▲・▼で「Rゲイン」(赤)、「Gゲイン」(緑)または「Bゲイン」(青)を選び、◀▶で調整する

調整範囲	調整値が大きくなるほど、選んでいる色の色味が強くなります。
-30 ~ +30	

「映像メニュー」が「おまかせA I」以外するとき

① ▲▼で以下から選び、決定を押す

- ・ オート …………… 映像の内容に応じて自動的に制御されます。
- ・ 手動 …………… 手動で調整します。

「手動」にしたとき

① ▲▼で調整し、決定を押す

- 「0」～「10」の範囲で調整できます。

調整値が小さくなるほど暖色系、大きくなるほど寒色系になります。

- 青を押すと、「RGBゲイン調整」に切り換えることができます。
▲▼で「Rゲイン」(赤)、「Gゲイン」(緑)または「Bゲイン」(青)を選び、◀▶で調整する

調整範囲	調整値が大きくなるほど、選んでいる色の色味が強くなります。
-30 ~ +30	

色域設定

- 鮮やかな色の再現方法について設定します。

映像メニューが「標準」、「アニメプロ」、「放送プロ」、「映画プロ」、「リファレンス」、「モニター」、「リビング」、「シアター」のときに設定できます。

※ 映像信号によっては、選択できないことがあります。

① ▲▼で以下から選び、決定を押す

- ・ オート …………… 映像の種類に応じて自動的に制御されます。
- ・ 色域復元 …………… 鮮やかな色が再現されます。
- ・ デジタルシネマ …… 広色域に対応したコンテンツ視聴時に、適した表示となります。

※ 映像信号によっては、選択できないことがあります。

※ 写真再生時には選択できません。

- ・ 標準 …………… 標準的な色による表示となります。

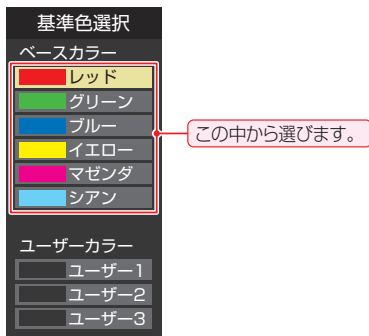
カラーイメージコントロールプロ

- 映像の色調を調整することができます。

ベースカラー

- レッド、グリーン、ブルーなどの色ごとに、色あいや色の濃さや明るさを調整することができます。

- ① 「ベースカラー」の中から調整する色を▲▼で選び、決定を押す



- ② 青を押して静止画にする

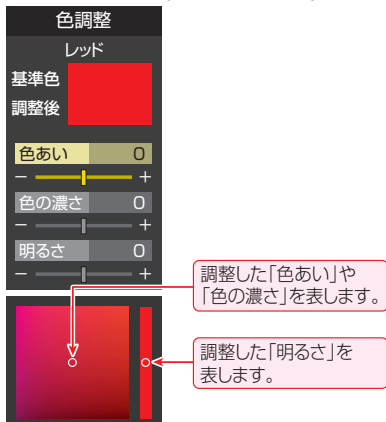
(もう一度 青を押すと静止画が解除されます)

※ HDMI入力の場合、静止できません。

- ③ ▲▼で「色あい」、「色の濃さ」、「明るさ」のどれかを選び、◀▶で調整する

- 調整範囲は-30 ~ +30です。

※ 元の色(初期状態)に戻すには、赤を押します。



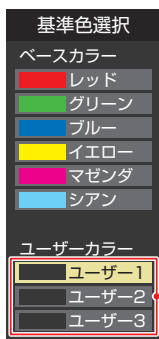
④ 選んだ色の調整が終わったら、を押す

- 他の色を調整する場合は、手順①から繰り返します。

ユーザーカラー

- 画面に表示されている色を指定して、お好みの色あいや色の濃さ、明るさに調整することができます。調整した結果は、指定した色と同じ色すべてに反映されます。

① 「ユーザーカラー」の中から▲・▼でどれかを選び、を押す



選んだパレットに記憶されます。

② を押して静止画にする

(もう一度 を押すと静止画が解除されます)

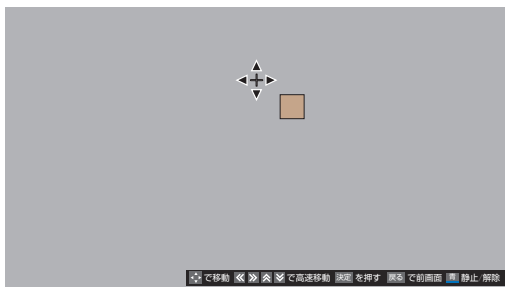
※ HDMI入力映像の場合は、静止できません。

③ ▲・▼で「基準色変更」を選び、を押す

- カーソルが表示されます。

④ 調整したい色の部分まで▲・▼・◀・▶でカーソルを移動し、を押す

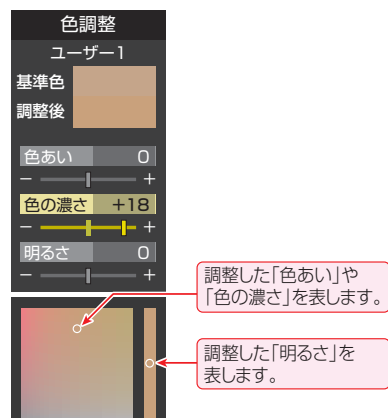
- 画面から選択した色がパレットに登録されます。



⑤ ▲・▼で「色あい」、「色の濃さ」、「明るさ」のどれかを選び、◀▶で調整する

● 調整範囲は－30 ～＋30です。

※ 元の色(初期状態)に戻すには、**赤**を押します。



⑥ 選んだ色の調整が終わったら、**戻る**を押す

● ほかのユーザーカラーを調整する場合は、手順①から繰り返します。

色エッジ補正

● 映像の色の輪郭を際立たせる機能です。アニメなどで色の輪郭をくっきりさせることができます。

① ▲・▼で以下から選び、**決定**を押す

- オート …………… 映像の種類に応じて自動的に制御されます。
- 手動 …………… 手動で調整します。

「手動」にしたとき

(1) ◀▶で調整し、**決定**を押す

● 「0」で補正がオフになります。「10」で効果が最大になります。

色解像度

- 外部入力を選択した場合に設定できます。
- 色の周波数帯域を広げ、色をきめ細かく再現することができます。

① ▲・▼で以下から選び、決定を押す

- **ワイド** ……色の周波数帯域を広げることで、きめ細かな色が再現されます。
- **スタンダード** …色の周波数帯域を抑えます。DVD再生時などに垂直方向の色抜けが目立つ場合に、スタンダードに設定します。

ピュアダイレクト

- HDMI機器から入力されるプログレッシブ映像をALL12ビット4:4:4で映像処理し、素材が本来持っている情報を最大限に引き出す機能です。放送波やインターレース信号は高画質専用エンジンがALL12ビット4:4:4で映像処理します。

① ▲・▼で以下から選び、決定を押す

- **オン** ……入力される映像の情報を最大限に引き出します。
- **オフ** ……入力される映像に適した画質で映し出します。

プロ調整

- 「プロ調整」を選択して **決定** を押すと、プロ調整のメニューが表示されます。

① 調整する項目を▲・▼で選び、**決定**を押す

- 視聴する映像の種類および「映像メニュー」の設定によっては調整や設定ができない項目があります。

バックライトスキャン	オート
レターボックス黒レベル調整	オート
プログレッシブ処理	オート
番組連動倍速処理	オート
プロモニター設定	オフ
EOTFモード	—
色空間モード	—
MaxCLLモード	—

② 以降の手順で調整する

- 他の項目を調整する場合は、手順①から繰り返します。

バックライトスキャン

- バックライトの明滅を制御することで、動きのある映像のぼけを改善します。

① ▲・▼で以下から選び、**決定**を押す

- **オート** …… バックライトスキャンのオン／オフを自動的に制御します。
- **オン** …… この機能をオンにします。
- **オフ** …… この機能をオフにします。

レターボックス黒レベル調整

- 上下が黒い帯になっている映画などの映像(レターボックス「LB」)をそのままの大きさで見るとき、上下の黒い帯部分のバックライトの設定をします。

① ▲▼で以下から選び、決定を押す

- ・ オート …… 映像の種類に合わせて、黒い帯部分のバックライトを自動で制御します。
- ・ オフ …… この機能は働きません。

プログレッシブ処理

- 24p/30pで制作されたインターレース方式の映像を2-3/2-2プルダウン処理する機能です。

① ▲▼で以下から選び、決定を押す

- ・ オート …… プルダウン処理が自動的に行われます。
- ・ 標準 …… 通常のプルダウン処理が行われます。
- ・ ビデオ …… ビデオ処理が行われます。
- ・ 24P …… 24pで制作された映像に適した設定です。
- ・ 30P …… 30pで制作された映像に適した設定です。

番組連動倍速処理

- 番組のジャンルに連動した倍速処理を行います。

① ▲▼で以下から選び、決定を押す

- ・ オート …… 番組のジャンルに連動した倍速処理を自動で行います。
- ・ オフ …… この機能は働きません。

プロモニター設定

- 写真再生、ビデオ入力以外の場合に設定できます。
- 映像信号がHDR10+のときは、「プロモニター設定」は「ー」と表示され、操作できません。

① ▲・▼で以下から選び、決定を押す

● オン

プロモニター設定(EOTFモード、色空間モード、MaxCLLモード)が有効になり、画質の詳細を設定できます。

● オフ

プロモニター設定(EOTFモード、色空間モード、MaxCLLモード)が無効になり、すべてオートになります。

EOTFモード

- 「プロモニター設定」が「オン」の場合に設定できます。
- 入力映像のEOTF(Electro-Optical Transfer Function)を自動的に判別するほかにマニュアルで設定することができます。

① ▲・▼で以下から選び、決定を押す

- オート …… 入力映像信号から自動的に入力映像のEOTFを判別します。
- SDR …… EOTFをSDR(Standard Dynamic Range)に設定します。
- ST 2084 …… EOTFをST 2084に設定します。
- HLG …… HLG(Hybrid Log-gamma) ITU-R BT 2100 HLGの規約に準じた画質設定になります。

色空間モード

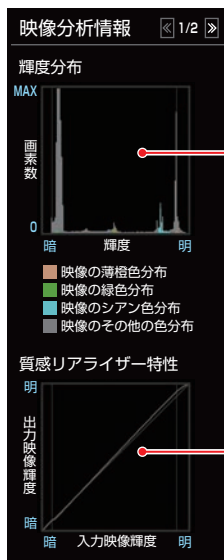
- 「プロモニター設定」が「オン」の場合に設定できます。
- 入力映像の色空間を設定します。
- ① ▲▼で以下から選び、決定を押す
 - ・ オート …… 入力映像信号から自動的に入力映像の色空間を判別します。
 - ・ BT.709 …… 色空間をITU-R BT.709に設定します。
 - ・ BT.2020… 色空間をITU-R BT.2020に設定します。

MaxCLLモード

- 「プロモニター設定」が「オン」の場合に設定できます。
- 入力映像の、コンテンツ内における輝度レベルの最大値を設定します。
- ① ▲▼で以下から選び、決定を押す
 - ・ オート …… 入力映像信号から自動的に入力映像のMaxCLLを判別します。
 - ・ 1000nit …… MaxCLLを1000nitに設定します。
 - ・ 4000nit …… MaxCLLを4000nitに設定します。
 - ・ 10000nit… MaxCLLを10000nitに設定します。

映像分析情報

- 映像の分析情報が表示されます。
- « / » を押すと、表示する情報を切り換えることができます。
- 表示を消すには、 を押します。



表示している映像の明るい部分と暗い部分、また色の分布を示したグラフです。

表示している映像の質感表現力を高めるための補正カーブを示したグラフです。

その他の映像設定

- 「映像設定」のメニューに表示されている「コンテンツモード」、「バックライト」、「画面の明るさ」、「明るさ検出」、「倍速モード」、「低遅延モード」は、項目を選択してから以下の手順で設定します。

映像設定（放送／再生用）	
映像メニュー	おまかせA I
画面の明るさ	0
お好み調整	>
倍速モード	クリアスムーズ
低遅延モード	オフ
明るさ検出	オン

コンテンツモード

- HDMI入力からの映像のときに表示され、設定できます。映像メニューの下に表示されます。
- 選択できる項目は、視聴している映像の種類や解像度によって異なります。

「映像メニュー」が「ゲーム」、「モニター」以外のとき

- 選択できる項目は、視聴している映像の種類や解像度によって異なり、選択できない項目は薄く表示されます。
- ① ▲・▼で以下から選び、決定を押す
 - ・ オート …… 本機が自動的に切り換えます。
 - ・ 4K-BD …… 4K映像をそのままの画質で再生するモードです。
 - ・ 4K放送 …… 4K放送に適したモードです。
 - ・ 高画質BD …… 4K放送に適したモードです。
 - ・ BD …… 通常のブルーレイディスクの再生に適したモードです。
 - ・ 2K放送 …… 2K放送の映像に適したモードです。

「映像メニュー」が「ゲーム」のとき

- 「映像メニュー」が「ゲーム」のときは、以下のモードから選びます。

① ▲・▼で以下から選び、を押す

- オート 本機が自動的に切り換えます。
- HDゲーム 高解像度映像のゲーム機に適したモードです。
- ポータブルゲーム ポータブルタイプのゲーム機に適したモードです。
- SDゲーム 低解像度映像のゲーム機に適したモードです。

「映像メニュー」が「モニター」のとき

- 「映像メニュー」が「モニター」のときは、以下のモードから選びます。

● D93/D65/D50

パソコンの画面を表示するのに適した設定です。お好みに合わせて設定してください。

バックライト

- この調整項目は、「明るさ検出」が「オフ」に設定されているときに表示されます。
- お好みの見やすい画面の明るさに調整できます。
 - 1 ◀▶で好みの明るさに調整し、**決定**を押す
- 「0」～「100」の範囲で調整できます（調整値が大きくなるほど画面が明るくなります）。

画面の明るさ

- この調整項目は、「明るさ検出」が「オン」で、「明るさ詳細設定」を設定していないときに表示されます。
- お好みの見やすい画面の明るさに調整できます。
 - 1 ◀▶で好みの明るさに調整し、**決定**を押す
- 「-15」～「+15」の範囲で調整できます（調整値が大きくなるほど画面が明るくなります）。
- **青**を押すと、「明るさ詳細設定」に切り換えることができます。

お知らせ

■ 「画面の明るさ」と明るさセンサーについて

- 調整中に照明をつけるなど、周囲の明るさを変えた場合は、調整後に画面の明るさが変わらないことがあります。
- 明るさセンサーの近くにものを置いたり、ふさいだりすると、明るさセンサーが正しく動作しなくなることがあります。明るさセンサーの位置は製品同梱の取扱説明書の「各部のなまえ」をご覧ください。

明るさ詳細設定

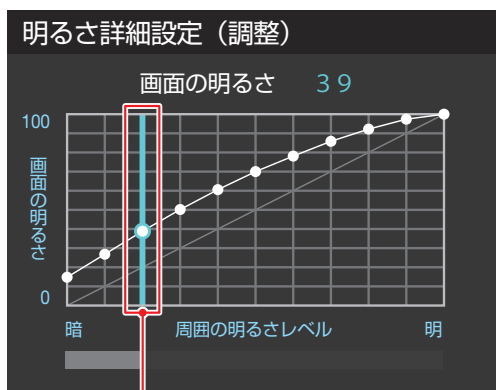
- この調整項目は、「明るさ検出」が「オン」で、「明るさ詳細設定」で明るさを設定しているときに表示されます。
- 明るさ検出機能によって自動調整される画面の明るさを調整することができます。

1 決定を押す

- 青を押すと、「画面の明るさ」に切り換えることができます。

2 明るさを変えたいレベルを◀▶で選び、▲▼で明るさを調整する

- 必要に応じて異なるレベルの調整を繰り返します。
- 青を押すと、調整前のレベルに戻ります。
- 赤を押すと、お買い上げ時の調整に戻ります。



明るさセンサーで感知した明るさレベル部分が選ばれます。

3 調整が終わったら、決定を押す

倍速モード

●「映像メニュー」に合わせて倍速処理をします。

※映像メニューが「写真」のときは、設定できません。

① ▲・▼で以下から選び、決定を押す

「低遅延モード」が「オン」または「ピュアダイレクト」が「オン」のとき

- オリジナル

補間映像の挿入は行わず、元の入力映像をそのまま表示します。

- インパルス

バックライトを抑えて動きのある映像の残像感を軽減します。

※ このモードはバックライトを抑えるため、画面が暗くなり、シーンによってはチラツキを感じる場合があります。

「ピュアダイレクト」が「オフ」のとき

「映像メニュー」が「ゲーム」、「モニター」、「写真」以外の場合

- クリアスムーズ

映画やアニメが最もなめらかな動きで表示されます。

- スムーズ

映画やアニメがなめらかな動きで表示されます。

- フィルム

映画やアニメのオリジナルの動きを忠実に再現します。

- インパルス

バックライトを抑えて動きのある映像の残像感を軽減します。

※ このモードはバックライトを抑えるため、画面が暗くなり、シーンによってはチラツキを感じる場合があります。

- オフ

補間映像の挿入は行わず、元の入力映像をそのまま表示します。

「映像メニュー」が「モニター」の場合

- モニターダイレクト

補間映像の挿入は行わず、元のソース機器の映像をそのまま表示します。

- モニタースムーズ

補間映像を挿入することで倍速処理を行い、ソース機器の映像をなめらかな動きで表示します。

- モニターインパルス

バックライトを抑えて動きのある映像の残像感を軽減します。

※ このモードはバックライトを抑えるため、画面が暗くなり、シーンによってはチラツキを感じる場合があります。

「映像メニュー」が「ゲーム」の場合

- ゲームダイレクト

補間映像の挿入は行わず、元のゲーム映像をそのまま表示します。

- ゲームスムーズ

補間映像を挿入することで倍速処理を行い、ソース機器の映像をなめらかな動きで表示します。

- ゲームインパルス

バックライトを抑えて動きのある映像の残像感を軽減します。

※ このモードはバックライトを抑えるため、画面が暗くなり、シーンによってはチラツキを感じる場合があります。

低遅延モード

● 画像処理による表示の遅延時間を短縮します。

① ▲▼で以下から選び、を押す

- オン…… 低遅延モードが働きます。
- オフ…… この機能は働きません。

明るさ検出

- 明るさセンサーで検出した周囲の明るさに応じて、画面の明るさが自動で調整されます。

※「映像メニュー」が「おまかせA I」に設定されている場合は「オン」になり、設定を変えることはできません。

1 ▲・▼で以下から選び、決定を押す

- オン……明るさ検出機能が働きます。
- オフ……この機能は働きません。

お好み調整を初期値に戻す／映像調整を初期値に戻す

- 「お好み調整」、「映像調整」の内容を、お買い上げ時の設定・調整に戻します。

1 設定を押し、▲・▼と決定で「映像設定」⇒「お好み調整」⇒「お好み調整を初期値に戻す」の順に進む

- 「映像メニュー」が「おまかせA I」以外のときは、「映像調整」⇒「映像調整を初期値に戻す」に進みます。

2 ◀▶で「はい」を選び、決定を押す

テレビの電源ランプを消灯する

- テレビの視聴中に、電源ランプの明かりが気になる場合に設定します。
- ※ テレビの状態を知りたい場合は、「点灯」(お買い上げ時の設定)でを使用することをおすすめします。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「その他の設定」⇒「詳細機能設定」⇒「電源LED表示設定」に進む

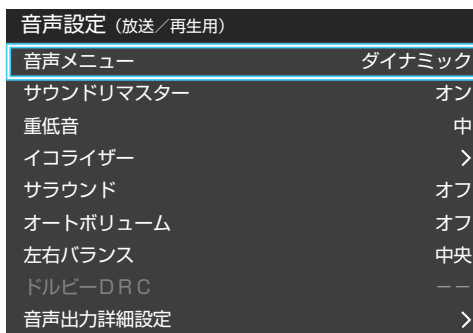
2 ▲・▼を押して「消灯」を選び、**決定** を押す

- 「消灯」に設定すると、本機の電源ランプが消灯します。次回電源を入れたときは、電源ランプが点灯し、そのあと消灯します。

お好みの音声メニューを選ぶ

- 見る番組の種類に応じて、お好みの音声メニューを選ぶことができます。
- 音声メニューは、放送/再生の音声、各外部入力端子の音声、音楽再生の音声でそれぞれ記憶させることができます。
- サブメニューの「スピーカー切替」が「テレビスピーカー」、「音声出力」以外のときは、「音声メニュー」は「ー」と表示され、操作できません。

1 設定 を押し、▲・▼と 決定 で「音声設定」⇒「音声メニュー」の順に進む



2 お好みの音声メニューを◀▶で選ぶ



音声メニュー	内 容
おまかせ	番組のジャンルに合わせて本機が音質を自動調整します。 放送を視聴するときに選択できます。
ダイナミック	音楽やドラマなどを楽しむときに適した設定です。
標準	ニュースや情報番組などを楽しむときに適した設定です。
クリア音声	人の声を強調して、声を聴きやすくします。
映画	映画を鑑賞するときに適した設定です。

- 外部入力を選んでいるときは、「おまかせ」を選択できません。
- ▲・▼で、サウンドリマスター画面や重低音画面、イコライザー画面に移行できます。

お好みの音声に調整する

1 **設定** を押し、▲・▼で「音声設定」を選んで **決定** を押す

2 ▲・▼で調整したい項目を選んで **決定** を押す

3 以下の手順でお好みの音声に調整する

音声を調整した場合

- 調整や設定をすると、そのときに選択していた「音声メニュー」に調整・設定状態が記憶され、「音声メニュー」の表示に「：メモリー」が加わります。
- 調整・設定状態は、入力端子などの区分ごとに記憶されます。たとえば、(放送/再生)の「ダイナミック：メモリー」と(HDMI1)の「ダイナミック：メモリー」は、異なる調整をして記憶させることができます。

サウンドリマスター

- 微小信号を再現し、より高精細な音質にします。
- サブメニューの「スピーカー切替」が「テレビスピーカー」、「音声出力」以外のときは、「サウンドリマスター」は「ー」と表示され、操作できません。

1 ◀▶でお好みの設定を選ぶ



- **オート**……音声信号に合わせてオン/オフを切り換えます。
- **オン**……高精細な音質になります。
- **オフ**……この機能は働きません。

重低音

- 重低音の強さを調整します。
- サブメニューの「スピーカー切替」が「テレビスピーカー」、「音声出力」以外のときは、「重低音」は「ー」と表示され、操作できません。



1 ◀▶で好みの設定を選ぶ

「音声メニュー」が「おまかせ」のとき

- おまかせ……番組のジャンルに合わせて重低音を自動調整します。
- オフ……………この機能は働きません。

「音声メニュー」が「おまかせ」以外のとき

- 強／中／弱…重低音をお好みの強さに調整します。
- オフ……………この機能は働きません。

イコライザー

- イコライザーで音質をより詳細に調整できます。
- サブメニューの「スピーカー切替」が「テレビスピーカー」、「音声出力」以外のときは、「イコライザー」は「ー」と表示され、操作できません。

1 調整する音域を◀▶で選び、▲▼でレベルを変える



- 調整前の音に戻すには、青を押します。
- お買い上げ時の調整に戻すには、赤を押します。

サラウンド

- ステレオ音声に、広がりを持たせます。
 - サブメニューの「スピーカー切替」が「テレビスピーカー」、「音声出力」以外のときは、「サラウンド」は「ー」と表示され、操作できません。
 - クリア音声選択時は、「サラウンド」は「ー」と表示され操作できません。
- ※ 音声多重放送の視聴時に、「主」または「副」を選んでいる場合は、効果が得られません。

「音声メニュー」が「おまかせ」のとき

① ▲・▼でお好みの設定を選び、を押す

- おまかせ …… ステレオ放送や、接続機器からのステレオ信号で、左右への広がりが出ます。
- オフ …… この機能は働きません。

「音声メニュー」が「おまかせ」以外のとき

① ▲・▼でお好みの設定を選び、を押す

- ライブ …… ステレオ放送や、接続機器からのステレオ信号で、左右への広がりが出ます。
- シネマ …… ステレオ放送や、接続機器からのステレオ信号で、左右への広がりに合わせて、奥行き感も加わります。
- オフ …… この機能は働きません。

オートボリューム

- コンテンツの違いなどで生じる音量差を調整して、音声を聴きやすくします。
- サブメニューの「スピーカー切替」が「テレビスピーカー」、「音声出力」以外のときは、「オートボリューム」は「ー」并表示され、操作できません。

1 ◀▶で以下から選び、決定を押す

- オン…… オートボリュームの機能が働きます。
- オフ…… この機能は働きません。

左右バランス

- スピーカー、ヘッドホンの左右の音量バランスを調整します。
- サブメニューの「スピーカー切替」が「テレビスピーカー」、「音声出力」以外のときは、「左右バランス」は「ー」并表示され、操作できません。

1 ◀▶でお好みのバランスに調整し、決定を押す

ドルビー DRC

- コンテンツの違いなどで生じる音量差を調整して、音声を聴きやすくします。
- HDMI入力端子やホームネットワークに接続した機器から、ドルビーデジタルやドルビーデジタルプラスで記録されたコンテンツが入力された場合にだけ機能します(機器からドルビーデジタルやドルビーデジタルプラスの音声信号が出力されるよう接続機器側で設定してください)。

1 ▲▼で以下から選び、決定を押す

- 強… 音声レベルの補正効果が強く働きます。
- 弱… 音声レベルの補正効果が弱く働きます。

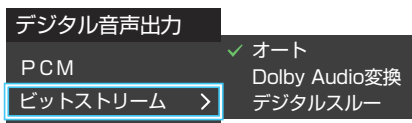
音声出力詳細設定

- スピーカーや音声出力端子から出力する音声の詳細を設定できます。
- ① 調整する項目を▲・▼で選び、**決定**を押す
- ② 以降の手順で調整する
- 他の項目を調整する場合は、手順①から繰り返します。

デジタル音声出力

- 光デジタル音声出力端子またはHDMI入力1 (ARC)端子から出力する音声信号の設定です。
- オーディオ機器が対応している音声信号については、オーディオ機器の取扱説明書でご確認ください。
- オーディオ機器から音声が出ない、または正常に再生できない場合は、「PCM」に設定してください。
- ※ サブメニューの「スピーカー切替」が「シンクロドライブ」に設定されている場合は「PCM」になり、設定を変えることはできません。

① ▲・▼で信号を選び、**決定**を押す



- **PCM**
常にリニアPCM信号が出力されます。
オーディオ機器がリニアPCM信号だけに対応している場合は、この設定にします。
- **オート**
最適なフォーマットで出力します。
- **Dolby Audio変換**
Dolby信号に変換して出力します。
- **デジタルスルー**
AACやDolby信号がそのまま出力されます。

ご注意

- 非対応の音声フォーマットを対応と通知してくるARC対応機器もあります。その場合、非対応音声フォーマットの再生中は音が出なくなります。
- 本機から出力されるデジタル音声は、「デジタル音声出力」を「PCM」以外に設定するとコンテンツによってはオーディオ機器(AVアンプなど)で正常に再生できない形式があります。

お知らせ

- デジタル音声出力設定が「PCM」以外に設定されている場合で、MPEG-2 AAC音声の場合には、データ放送の一部の音声(効果音など)が光デジタル音声出力端子またはHDMI入力1(ARC)端子から出力されないことがあります。
- 外部入力としてビデオ入力を選択しているときは、光デジタル音声出力端子およびHDMI入力1(ARC)端子からは設定にかかわらずニアPCM信号が出力されます。
- HDMI入力の選択時に、HDMI入力端子が対応していない音声信号が入力された場合は、設定にかかわらず光デジタル音声出力端子またはHDMI入力1(ARC)端子から信号は出力されません((HDMI入力端子が対応している音声信号については、製品同梱の取扱説明書の「本機の入出力対応信号」をご覧ください)。

デジタル音声出力タイミング

- 光デジタル音声出力端子とHDMI入力1(ARC)端子から出力するデジタル音声信号のタイミングを設定することができます。
- ① ◀▶でお好みのタイミングに調整し、決定を押す
- 数値が小さくなるほど、音声を出力するタイミングが早くなります。

お知らせ

- 映像の遅延が小さい場合、設定を変えても音声のタイミングは変わりません。

ヘッドホン／音声出力設定

- ヘッドホン／音声出力端子の設定をします。
- ① ▲・▼で「ヘッドホン／音声出力設定」を選び、**決定**を押す
- 以下、「出力設定」、「ヘッドホン出力設定」、「音声出力設定」を設定します。

出力設定

- ヘッドホン／音声出力端子に接続する機器にあわせて設定します。
- ※ ヘッドホンで聴くときは、必ず「ヘッドホン」に設定してください。
- ① ▲・▼で以下から選び、**決定**を押す
 - **ヘッドホン**
ヘッドホン／音声出力端子にヘッドホンを接続する場合に選択します。
 - **音声出力**
ヘッドホン／音声出力端子にAVアンプやミニコンポなどを接続する場合に選択します。

ヘッドホン出力設定

- 「出力設定」で「ヘッドホン」を選んだときに設定します。
- ① ▲・▼で以下から選び、**決定**を押す
 - **通常モード**
ヘッドホン／音声出力端子にヘッドホンを接続すると、本機のスピーカーからの音が消え、ヘッドホンから音が聞こえます。
 - **親切モード**
ヘッドホン／音声出力端子にヘッドホンを接続すると、本機のスピーカーとヘッドホンの両方から音が聞こえます。

音声出力設定

- 「出力設定」で「音声出力」を選んだときに設定します。

① ▲・▼で以下から選び、決定を押す

- **固定**

ヘッドホン／音声出力端子から一定の音量レベルで音声が出力されます。外部接続機器で音量を調節してください。

- **可変**

ヘッドホン／音声出力端子からの音量を本機のリモコンで調節することができます。

テレビ設置設定

- 本機の設置状況に合わせた音質に設定します。
- サブメニューの「スピーカー切替」が「テレビスピーカー」、「音声出力」以外のときは、「テレビ設置設定」は「ー」と表示され、操作できません。

① ▲・▼で「スタンド」または「壁掛け」を選ぶ

アンテナを調整する

電波の強さ(信号強度)を確認する

- テレビが全く映らない、または映像が乱れるなどの場合は、以下の手順でアンテナレベルを確認します。

お知らせ

- アンテナレベルの信号強度の数値は、受信入力電力を換算したものです。
- アンテナレベルの信号品質の数値は、受信C/Nを換算したものです(「受信C/N」とは放送電波と雑音電波の比を表すもので、電波の品質を知るときの目安となります)。

地上デジタル用アンテナの場合

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「地上デジタル設定」⇒「地上デジタルアンテナ設定」の順に進む

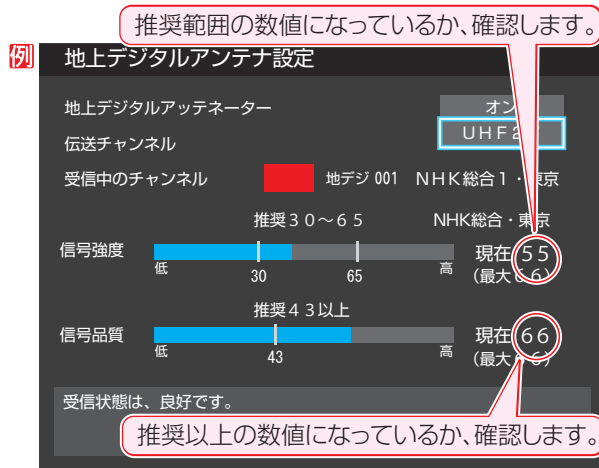
地上デジタルアンテナ設定 >

地上デジタルスキャン設定 >

- 2 ▲・▼で「伝送チャンネル」を選び、**決定** を押す

3 ▲・▼でチャンネルを選び、決定を押す

- お住まいの地域の地上デジタル放送に使用されている伝送チャンネルを選びます(お買い上げの販売店などにお聞きください)。
- 信号強度(○印の数値)が推奨範囲内になっているか、信号品質(○印の数値)が推奨の数値以上になっているかを確認します。



BS・110度CS用アンテナの場合

1 設定を押し、▲・▼と決定で「放送受信設定」⇒「BS・110度CSアンテナ設定」の順に進む

2 BS または CS で放送の種類を選ぶ

3 無料/契約でチャンネルを選ぶ

- 無料チャンネルまたは契約済チャンネルを選びます。
- 信号強度が推奨範囲内になっているか、信号品質が推奨数値以上になっているかを確認します。

BS・110度CS 4K放送用アンテナの場合

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「BS/CS 4K設定」⇒「BS/CS 4Kアンテナ設定」の順に進む

- 2  でチャンネルを選ぶ

- 無料チャンネルまたは契約済チャンネルを選びます。
- 信号強度が推奨範囲内になっているか、信号品質が推奨数値以上になっているかを確認します。

BS・110度CS 4K放送の受信環境を確認したいとき

- 現在の受信環境でBS/CS 4K放送が視聴できるか確認できません。

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「BS/CS 4K設定」⇒「BS/CS 4K受信環境確認」の順に進む

アンテナを調整する

- 衛星を使用していて、アンテナレベルが不足している場合は、「アンテナレベル」の画面を確認しながらアンテナの調整をします。

※ 高所での作業は危険です。アンテナの調整については、販売店にご相談ください。

- 1 アンテナをゆっくり動かして、アンテナレベルの数値が最大となるように調整する

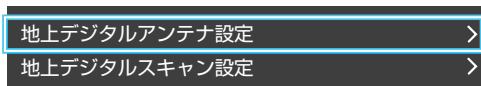
- 画面のアンテナレベルの最大値を参考に、アンテナを固定したあとにレベル値が下がっていないことを確認します。

- 2 アンテナを固定して、**決定** を押す

地上デジタルアッテネーター設定を変更する

- 信号強度が高すぎて受信障害が発生している場合は、「地上デジタルアッテネーター設定」を「オン」にします。
- お買い上げ時は、「オフ」に設定されています。

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「地上デジタル設定」⇒「地上デジタルアンテナ設定」の順に進む



- 2 ▲・▼で「地上デジタルアッテネーター」を選び、**決定** を押す

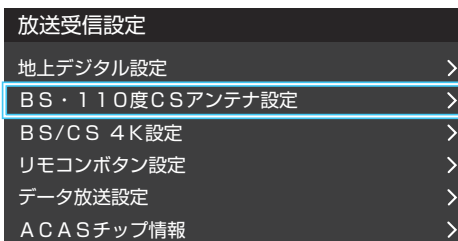
- 3 ▲・▼で「オン」または「オフ」を選び、**決定** を押す

※ 「オン」または「オフ」に切り換えたとき、画面にブロックノイズなどの映像乱れや音声ノイズが発生することがあります。

BS・110度CS用アンテナの電源供給の設定を変更する

- BS・110度CS用アンテナは電源を必要とします。
- お買い上げ時は、「オート」に設定されています。
マンションなどで、他の機器からアンテナに電源が供給されているときは、「しない」に設定します。

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「BS・110度CSアンテナ設定」の順に進む



2 ▲・▼で「衛星アンテナ電源供給」を選び、決定を押す

3 ▲・▼で「する」、「しない」または「オート」を選び、決定を押す

- **する：**
本機の状態に関わらず、アンテナに電源を供給します。
- **しない：**
アンテナに電源を供給しません。
- **オート：**
必要に応じて、本機が自動的にアンテナに電源を供給します。

お知らせ

- 「衛星アンテナ電源供給」を「オート」に設定している場合、本機の電源が「切」または「待機」のときは、番組情報の取得中や予約した番組の録画中、およびダウンロード中などの場合以外はアンテナ電源が供給されません(BS・110度CSデジタル放送録画機器単独で録画するときなどは、録画機器からアンテナ電源を供給する必要があります)。

アンテナ線がショートしたとき

- BS・110度CS用アンテナのレベル表示画面に「アンテナ線がショートしています。」のメッセージが表示された場合は、電源を切ってから電源プラグを抜き、ショートの原因を取り除いてからもう一度電源を入れてアンテナレベル表示の操作をしてください。
- マンションなどの共聴アンテナを使用しているときは、以下のエラーメッセージは表示されず、「衛星アンテナ電源供給」の設定が「しない」に切り換わります。

① アンテナ線がショートしています。
アンテナ線の接続を確認してください。
コード：E209

チャンネルを追加したり設定を変更したりするとき

地上デジタルチャンネルを自動で設定する

- 地上デジタル放送には以下の3種類のチャンネル自動設定機能があります。
 - 初期スキャン
「はじめての設定」の「① 地上デジタルチャンネル設定」で行われる「初期スキャン」だけをやり直すことができます。
 - 再スキャン
放送局が増えたなど、放送チャンネルに変更があったときに、ワンタッチ選局ボタンに設定できます。
 - 自動スキャン
本機の電源が「切」や「待機」のときに自動的に探し、変更されたチャンネルがあればワンタッチ選局ボタンに自動で設定されます。
- ※ 初期スキャンをしていないと、再スキャンや自動スキャンはできません。

初期スキャンをするとき

- 受信可能なチャンネルを本機が探し、ワンタッチ選局ボタン（**1**～**12**）に放送の運用規定に基づいて設定します。
- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「地上デジタル設定」⇒「地上デジタルスキャン設定」⇒「初期スキャン」の順に進む
 - 2 お住まいの地方を▲・▼・◀・▶で選び、**決定** を押す
 - 3 お住まいの都道府県または地域を▲・▼・◀・▶で選び、**決定** を押す

再スキャンをするとき

- 新たに放送局が開局してチャンネルが増えた場合など、放送に変更があった場合は、「再スキャン」をすればチャンネルを追加設定することができます。

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「地上デジタル設定」⇒「地上デジタルスキャン設定」⇒「再スキャン」の順に進む

自動スキャンの設定を変えるとき

- お買い上げ時は自動スキャンは「する」に設定されています。チャンネル設定の内容が自動変更されないようにする場合は、自動スキャンを「しない」に設定してください。

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「地上デジタル設定」⇒「地上デジタルスキャン設定」⇒「自動スキャン」の順に進む

- 2 ▲・▼で「する」または「しない」を選び、**決定** を押す

チャンネルをお好みに手動で設定する

- お好みに、リモコンのワンタッチ選局ボタン(**1** ~ **12**)で選局するチャンネルを変更したり、空いているワンタッチ選局ボタンに設定を追加したりすることができます。
- はじめて地上デジタル放送の「チャンネルボタン設定」をする場合は、「初期スキャン」をしてください。「初期スキャン」をしていない状態では「チャンネルボタン設定」はできません。

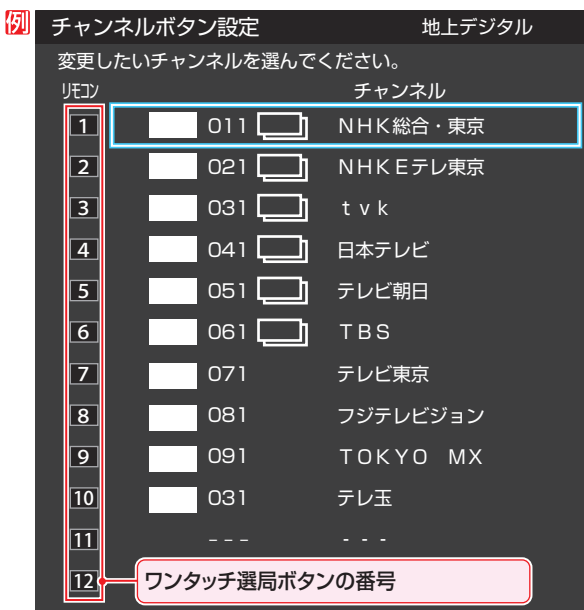
1 **設定** を押し、**▲・▼**と **決定** で「放送受信設定」⇒「リモコンボタン設定」⇒「チャンネルボタン設定」の順に進む

- 放送の種類を選択する画面が表示されます。

2 設定するデジタル放送の種類を **▲・▼** で選び、 **決定** を押す

3 設定するボタン(**1** ~ **12**)の番号を **▲・▼** で選び、 **決定** を押す

- 図は手順2で「地上デジタル」を選んだ場合の例です。



- 地上デジタル以外の放送の場合は、リモコン列の左にグループ列が表示されます。
グループのA、B (BSデジタル放送、BS・110度CS 4K放送)、A～F (110度CSデジタル放送)は選局ガイドのグループになります。
グループAはワンタッチ選局ボタンになります。

4 ▲▼で受信チャンネルを選び、決定を押す

110度CSデジタル放送のチャンネルを簡単に設定する

- 手順2、3で以下の操作をすると、簡単にチャンネルを設定することができます。
 - ① 手順2で、「110度CS」を選び、決定を押す
 - ② チャンネルボタン設定画面(手順3)で緑を押す
 - ③ ▲▼で登録したいチャンネルを選び、決定を押す
- 選んだチャンネルは、登録されていないボタンで数字が小さいボタンに登録されます。
- ボタンが登録されているチャンネルを選んだときは、登録が解除されます。

お知らせ

- チャンネルボタン設定をしたあとで、「初期スキャン」や「はじめての設定」をすると、チャンネルボタン設定をした内容が消えますので再度設定をしてください。
- BS・110度CS 4K放送のAグループの「チャンネルボタン設定」をユーザーが変更していない場合、放送局からの情報に従って、チャンネルボタン設定の内容が更新される場合があります（「チャンネルボタン設定」の設定内容をユーザーが変更した場合は、放送局からの情報が更新されても、チャンネルボタンの設定内容は更新されません。）。

視聴しないチャンネルをスキップする

-  で選局するときに、視聴しないチャンネルを飛ばすことができます。
- 「スキップ」に設定したチャンネルは**番組表**に表示されません。また、**番組検索**の対象になりません。

1 を押し、▲・▼と で「放送受信設定」⇒「リモコンボタン設定」⇒「チャンネルスキップ設定」の順に進む

- 放送の種類を選択する画面が表示されます。

2 設定する放送の種類を▲・▼で選び、 を押す

3 スキップ設定を変更したいチャンネルを▲・▼で選び、 を押す

 チャンネルスキップ設定 地上デジタル

チャンネル	スキップ
 011 NHK総合1・東京	しない
 012 NHK総合2・東京	しない
 021 NHKEテレ1東京	しない
 022 NHKEテレ2東京	しない
 023 NHKEテレ3東京	しない
 031 t v k 1	しない
 032 t v k 2	しない
 033 t v k 3	しない
 041 日テレ1	する
 042 日テレ2	する
 051 テレビ朝日	する
 052 テレビ朝日	しない

手順2で「地上デジタル」を選んだ場合

-  を押すたびに「する」⇔「しない」と交互に切り換わります。
- 他のチャンネルの設定をする場合は、手順3の操作を繰り返します(違う放送のチャンネルを設定する場合は  を押し、手順2からの操作を繰り返します)。

お知らせ

■ チャンネルスキップ設定について

- 放送局の代表チャンネルを「する」に設定すると、その放送局の代表チャンネル以外のチャンネルもスキップされます。代表チャンネル以外のチャンネルを「する」に設定した場合は、代表チャンネルは選局できます。
- お買い上げ時には、BS/CS 4K放送の102チャンネルはスキップ「する」に設定されています。

データ放送の設定をする

地域と郵便番号を設定する

- お住まいの地域に応じたデータ放送や緊急警報放送などを視聴するための設定です。
- 「かんたん初期設定」で設定した状態から変更したいときに以下の操作をします。

地域を設定する

- 1** **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「データ放送設定」⇒「地域設定」の順に進む
- 2** 該当する地方を▲・▼・◀・▶で選び、**決定** を押す
 - 「設定しない」を選んだ場合は、これで終わりです。
- 3** 該当する地域を▲・▼・◀・▶で選び、**決定** を押す
 - 伊豆、小笠原諸島地域の方は「東京都島部」を選んでください。
 - 南西諸島の鹿児島県地域の方は「鹿児島県島部」を選んでください。

郵便番号を設定する

- 1** **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「データ放送設定」⇒「郵便番号」の順に進む
 - 郵便番号の入力画面が表示されます。
- 2** お住まいの地域の郵便番号を **1** ~ **10** (0) で入力し、**決定** を押す
 - 上3ケタを入力して **決定** を押すと、残り4ケタは自動的に「0」が入力されます。

例

郵便番号

お住まいの地域の郵便番号を入力してください。

1	0	5	-	0	0	2	3

お知らせ

■ 郵便番号と地域の設定について

- データ放送を視聴している状態で設定を変更した場合、放送によっては、設定終了後そのままの状態では設定内容は反映されません。設定終了後に再度データ放送を選局してください。

災害発生時に文字情報を表示させる

- デジタル放送には文字スーパー表示機能があり、災害時の速報などに使用されます。複数言語の文字スーパーに対応した番組の場合には、表示する言語を選択することができます。
- お買い上げ時は、文字スーパーが日本語優先で表示されるように設定されています。

1 設定 を押し、▲・▼と決定 で「放送受信設定」⇒「データ放送設定」⇒「文字スーパー表示」の順に進む

- 「文字スーパー表示」の画面が表示されます。

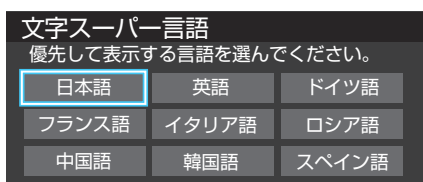
2 ▲・▼で「する」を選び、決定 を押す

文字スーパーの言語を切り換える

1 設定 を押し、▲・▼と決定 で「放送受信設定」⇒「データ放送設定」⇒「文字スーパー言語」の順に進む

- 「文字スーパー言語」の画面が表示されます。

2 優先する言語を▲・▼・◀・▶で選び、決定 を押す



おしらせ

■ 文字スーパー表示の設定について

- 設定した言語の文字スーパーがあるときは、その言語で表示されます。設定した言語が視聴している放送にない場合は、その放送に従って表示されます。
- 「しない」を選択した場合でも、災害時などの速報は、放送局指定によって放送受信時に強制表示することがあります。

ルート証明書番号を確認する

- 地上デジタル放送/BSデジタル放送/110度CSデジタル放送の双方向サービスで、本機と接続するサーバーの認証をする際に使用されるルート証明書番号を確認することができます。
- このルート証明書は放送電波で送られます。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「放送受信設定」⇒「データ放送設定」⇒「ルート証明書番号」の順に進む

- ルート証明書番号のリストが表示されます。

2 ルート証明書番号を確認し、**決定** を押す

用語

■ ルート証明書

サーバーを認証する第三者機関(認証局)を証明するものです。この証明書を基にして、「サーバ証明書」のデジタル署名を検証し、「サーバ証明書」が信頼できることを確認します。

視聴できる番組を制限する

制限するために暗証番号を設定する

- 暗証番号は、視聴年齢制限のある番組を見たり、ネットワークサービスの利用を制限したりするときに必要です。
- 暗証番号を設定した場合には、暗証番号の変更・削除および[すべての初期化](#)をするときにも暗証番号の入力が必要になります。

ご注意

- 暗証番号を忘れないようにご注意ください。暗証番号を忘れた場合は、製品同梱の取扱説明書裏表紙に記載の「東芝テレビご相談センター」にご連絡ください。
- ※ 必要としない場合は、登録しないことをおすすめします。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「その他の設定」⇒「視聴制限設定」⇒「暗証番号設定」の順に進む

- 暗証番号の入力画面が表示されます。

2 暗証番号を変更する場合は、変更前の暗証番号を **1** ～ **10** (0) で入力する

- 新規設定の場合、この手順はありません。

3 登録したい暗証番号を **1** ～ **10** (0) で入力する

- 間違えて入力した場合は、◀を押し、もう一度入力します。
- 入力した数字は画面には「*」で表示されます。

暗証番号設定

新たに登録する暗証番号を入力してください。

* * *

⚠ 暗証番号は視聴を制限する機能の設定や、視聴制限の解除に必要です。暗証番号を忘れないようご注意ください。

重要

登録した暗証番号はメモするなどして、忘れないようにしてください。

4 あ 1 ～ ＊ 〇 小文字 10 (O) でもう一度同じ暗証番号を入力する

5 確認画面で  を押す

暗証番号を削除するとき

1  を押し、▲・▼と  で「その他の設定」⇒「視聴制限設定」⇒「暗証番号削除」の順に進む

● 暗証番号の入力画面になります。

2 あ 1 ～ ＊ 〇 小文字 10 (O) で暗証番号を入力する

3 確認画面で、◀▶で「はい」を選び、 を押す

番組の視聴を制限する

- デジタル放送では番組ごとに視聴年齢が設定されている場合があります。視聴年齢制限のある番組を見るには設定が必要です。
- お買い上げ時には、番組の視聴制限は設定されていません。
- 暗証番号を設定していない場合は、先に暗証番号を設定します。

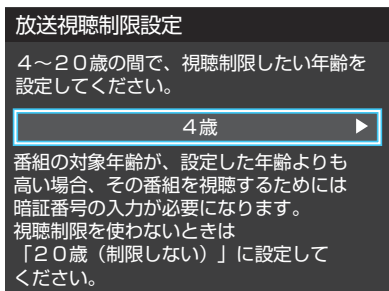
1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「その他の設定」⇒「視聴制限設定」⇒「放送視聴制限設定」の順に進む

- 暗証番号の入力画面になります。

2 **1** ～ **10** (0) で暗証番号を入力する

3 ◀▶ で年齢を設定し、**決定** を押す

- 設定できる年齢は、4歳から20歳までです。
- 視聴年齢制限機能を使わない場合は、「20歳(制限しない)」に設定します。



- 視聴時の動作および必要な操作は以下のとおりです。

番組の制限年齢が設定した年齢よりも上の場合

- メッセージが表示されます。
- **決定** を押し、**1** ～ **10** (0) で暗証番号を入力します。

視聴年齢制限が設定されていない場合

- 視聴年齢制限のある番組を見ることはできません。
- **決定** を押し、設定が必要な項目を設定します。

インターネットの利用を制限する

- ネットワークサービスを使用する際に、パスワードで利用を制限することができます。
- 暗証番号を設定していない場合は、先に暗証番号を設定します。

ネットワークサービス制限設定(パスワードロック機能)

- ネットワークサービスを使用する際に、暗証番号の入力が必要となるように設定することができます。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「その他の設定」⇒「視聴制限設定」⇒「インターネット制限設定」の順に進む

- 暗証番号の入力画面になります。

2 **1** ～ **10** (0) で暗証番号を入力する

3 ▲・▼で「ネットワークサービス制限設定」を選び、**決定** を押す

4 ▲・▼で「制限する」または「制限しない」を選び、**決定** を押す

- **制限する**
ネットワークサービスを起動したときに、暗証番号の入力が必要です。
- **制限しない**
暗証番号入力は不要です。

リモコンの設定を変更する

2台のレグザをそれぞれのリモコンで操作する

- 同じ室内で東芝テレビを2台使用している場合などに、リモコンを操作すると2台とも反応してしまうことがあります。このような場合、リモコンコードの設定を変えれば1台だけが操作できるようになります。

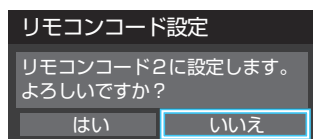
※ 必ず以下の手順で操作してください。手順が異なるとリモコン操作ができなくなります。

- 1 **設定** を押し、**▲・▼**と**決定** で「その他の設定」⇒「詳細機能設定」⇒「リモコン設定」⇒「リモコンコード設定」の順に進む



- 2 **▲・▼**で「リモコンコード1」または「リモコンコード2」を選び、**決定** を押す

- 3 **◀▶**で「はい」を選び、**決定** を押す



- 今までと異なるコードに設定した場合、次の手順4を終えるまでの間リモコン操作ができなくなります。

- 4 **決定** を押したままで、**1** または **2** を約2秒間以上押し続ける

- 手順2～3で「リモコンコード1」に設定した場合は^a**1**を、「リモコンコード2」に設定した場合は^a**2**を押し続けます。

※ この操作ができるのは、付属のリモコンだけです。

5 リモコンでテレビが操作できることを確認する

リモコンの乾電池を取りはずした場合(電池交換などの際)、「リモコンコード1」になることがあります。

お知らせ

- テレビ本体とリモコンのリモコンコードが一致していない場合、電源が「待機」のときにリモコンのを押すと、本体の「電源」表示が赤色に点滅します。その場合は、リモコンまたは本体のリモコンコードを変更してください。

テレビ本体のボタンで設定するとき

- テレビ本体のリモコンコードを、本体の操作ボタンを使って以下の手順で設定することもできます。

1 本体ボタンを下に動かし、そのまま下に押し続ける

- リモコンコード1とリモコンコード2が交互に切り換わります。

使わない放送切換ボタンの操作を無効にする

- リモコンの放送選択ボタン **地デジ**、**BS**、**CS**、**BS/CS 4K** のうち、使用しないボタンの操作を無効にすることができます。

1 **設定** を押し、**▲・▼**と**決定** で「その他の設定」⇒「詳細機能設定」⇒「リモコン設定」⇒「操作無効設定」の順に進む

2 **▲・▼**でボタンを選び、**決定** を押す

地上デジタル	有効	有効
BS	有効	無効
110度CS	有効	
BS/CS 4K	有効	

3 **▲・▼**で「有効」または「無効」を選び、**決定** を押す

お買い上げ時の設定に戻すには (設定内容を初期化するには)

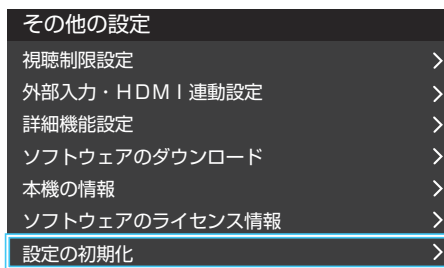
- お買い上げ時の設定(工場出荷設定)に戻す方法は3種類あります。目的に合わせて操作してください。

ご注意

- ※ 初期化をすると初期化前の状態に戻すことはできませんのでご注意ください。

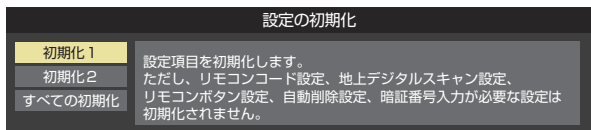
項 目	内 容
初期化1	● 以下の項目以外の設定項目をお買い上げ時の設定に戻します。 ・「チャンネル設定」 ・「視聴制限設定」の「暗証番号設定」、「放送視聴制限設定」 ・「リモコンコード設定」 ・USBハードディスクの「自動削除設定」 ・「みるコレ パック」の登録情報など、クラウドサービスでの設定
初期化2	● 以下の項目以外の設定項目をお買い上げ時の設定に戻します。 ・「視聴制限設定」の「暗証番号設定」、「放送視聴制限設定」 ・「リモコンコード設定」 ・USBハードディスクの「自動削除設定」 ・「みるコレ パック」の登録情報など、クラウドサービスでの設定
すべての初期化	● 本機に設定された「リモコンコード設定」以外のすべての内容をお買い上げ時の状態に戻します。 ※ この初期化は、データ放送の個人情報(住所、氏名、視聴ポイント数など)、ネットワークサービスの登録情報などについてもすべて初期化されますので、本機を廃棄処分する場合や他の人に譲り渡す場合にだけ行ってください。

1 設定 を押し、▲・▼と 決定 で「その他の設定」⇒「設定の初期化」の順に進む



2 ▲・▼で「初期化1」、「初期化2」、または「すべての初期化」を選び、 決定 を押す

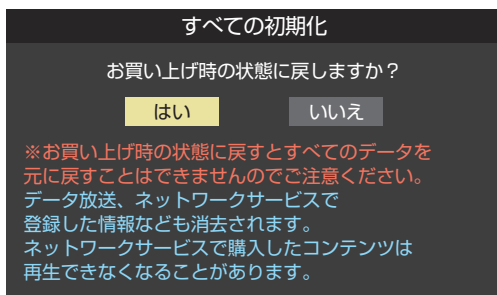
- 初期化される項目の内容は、前ページの表をご覧ください。



すべての初期化をする場合

- 暗証番号を設定している場合は暗証番号入力画面が表示されます。暗証番号を入力します。

3 初期化する場合は◀▶で「はい」を選び、 決定 を押す



4 初期化終了の画面が表示されたら、以下の操作をする

- 「初期化1」、「初期化2」の場合は 決定 を押します。
- 「すべての初期化」の場合は電源を切ります。

設定メニュー 一覧

- 設定メニュー 一覧を以下に示します。
- メニューに表示される項目や項目名、選択できる項目などは、設定状態や接続機器の有無などによって変わり、選択できない項目はメニュー画面で薄くなって表示されます。
- 「映像設定」のメニューは、「映像メニュー」で「おまかせA1」を選んでいる場合の内容です。「コンテンツモード」、「低遅延モード」は、HDMI入力を選んでいるときにだけ表示されます。
- 「音声設定」のメニューは、「音声メニュー」で「おまかせ」を選んでいる場合の内容です。

映像設定

映像メニュー
コンテンツモード
画面の明るさ
お好み調整
黒レベル
色の濃さ
色あい
精細感・ノイズ調整
シャープネス
レゾリューションプラス設定
レゾリューションプラス
ゲイン調整
カラーテクスチャー設定
カラーテクスチャー
ゲイン調整
輝度エッジ補正
階調クリエーション
ダイナミックNR
4Kノイズクリア
コントラスト感調整
アドバンスドHDR復元
HDR調整
HDRコントラスト
HDRブライトネス
ユニカラー
LEDエリアコントロール
ガンマ調整

	質感リアライザー
	色詳細調整
	色温度
	色域設定
	カラーイメージコントロールプロ
	色エッジ補正
	色解像度
	ピュアダイレクト
	プロ調整
	バックライトスキャン
	レターボックス黒レベル調整
	プログレッシブ処理
	番組連動倍速処理
	プロモニター設定
	E O T Fモード
	色空間モード
	M a x C L Lモード
	映像分析情報
	お好み調整を初期値に戻す
	倍速モード
	低遅延モード
	明るさ検出
音声設定	
	音声メニュー
	サウンドリマスター
	重低音
	イコライザー
	サラウンド
	オートボリューム
	左右バランス
	ドルビーDRC
	音声出力詳細設定
	デジタル音声出力
	デジタル音声出力タイミング
	ヘッドホン／音声出力設定
	出力設定
	ヘッドホン出力設定
	音声出力設定
	テレビ設置設定

タイムシフトマシン設定	
	かんたんタイムシフトマシン設定
	タイムシフトマシン録画
	USBハードディスク設定
	機器の登録
	省エネ設定
	機器の取りはずし
	機器の初期化
	録画チャンネル
	録画時間
	システムメンテナンス
	システムメンテナンス時間
	システムメンテナンスの実行
	タイムシフトリンク設定
	機器の登録
	省エネ設定
	おすすめ履歴の初期化
	タイムシフトマシン設定の初期化
録画・再生設定	
	通常録画用USBハードディスク設定
	機器の登録
	省エネ設定
	機器の取りはずし
	動作テスト
	録画番組の修復
	機器の初期化
	録画設定
	録画先機器の設定
	マジックチャプター設定
	再生設定
	ワンタッチスキップ設定
	ワンタッチリプレイ設定
	LANハードディスクの登録
	オートメディアプレーヤー
	SeeQVault対応SDカード設定

ネットワーク・サービス設定	
ネットワーク接続設定	
かんたんネットワーク設定	
詳細設定	
接続方法	
無線LAN設定	
自動設定	
手動設定	
無線LAN設定の初期化	
アドレス設定(I P v 4)	
I P v 6 接続	
アドレス設定(I P v 6)	
接続テスト	
ネットワーク情報	
外部連携設定	
リモート電源オン設定	
外部機器から電源オン	
外部機器を電源オン	
レグザAppsコネクト	
本機の名称	
ネットワークサービス利用設定	
Netflix設定	
ESN表示	
ログイン設定の初期化	
ひかりTV設定	
ネットワーク設定	
サービスプロバイダー選択	
基本登録	
チャンネルスキャン	
接続テスト	
システム情報	
ネットワークサービス情報の初期化	

放送受信設定

地上デジタル設定	
地上デジタルアンテナ設定	
地上デジタルスキャン設定	
初期スキャン	
再スキャン	
自動スキャン	
BS・110度CSアンテナ設定	
BS/CS 4K設定	
BS/CS 4Kアンテナ設定	
BS/CS 4K受信環境確認	
リモコンボタン設定	
チャンネルボタン設定	
地上デジタル	
BS	
110度CS	
BS/CS 4K	
チャンネルスキップ設定	
地上デジタル	
BS	
110度CS	
BS/CS 4K	
データ放送設定	
地域設定	
郵便番号	
文字スーパー表示	
文字スーパー言語	
ルート証明書番号	
ACASチップ情報	
RMP情報	

初期設定

はじめての設定	
かんたんタイムシフトマシン設定	
かんたんネットワーク設定	
ボイス機能設定	
ボイスリモコンの登録	
レグザボイス機能設定	
レグザボイス機能利用許諾	
ボイスガイド	

その他の設定

視聴制限設定

放送視聴制限設定

インターネット制限設定

ネットワークサービス制限設定

暗証番号設定

暗証番号削除

外部入力・HDMI連動設定

外部入力設定

外部入力表示設定

HDMI 1

HDMI 2

HDMI 3

HDMI 4

ビデオ

外部入力スキップ設定

HDMI 1

HDMI 2

HDMI 3

HDMI 4

ビデオ

HDMI 自動画質モード設定

HDMI 1

HDMI 2

HDMI 3

HDMI 4

RGBレンジ設定

HDMI 1

HDMI 2

HDMI 3

HDMI 4

HDMI※モード設定 (※HDMI入力端子番号が表示されます。)

HDMI※ALLM設定 (※HDMI入力端子番号が表示されます。)

Dolby Digital Plus入力設定

ビデオ音声入力設定

HDMI 連動設定

HDMI 連動機能

リモコン動作モード

連動機器→テレビ入力切替

連動機器→テレビ電源

テレビ→連動機器電源オフ

サウンドシステム連動

		電源オン時優先スピーカー
		サウンドシステム音声入力
		HDMI 1
		HDMI 2
		HDMI 3
		HDMI 4
		東芝レコーダー連携機能
		機器操作メニュー自動表示
	詳細機能設定	
	省エネ設定	
		節電モード
		番組情報取得設定
		無操作自動電源オフ
		オンエアー無信号オフ
		外部入力無信号オフ
	信号フォーマット詳細表示設定	
	電源LED表示設定	
	リモコン設定	
		リモコンコード設定
		操作無効設定
	ソフトウェアのダウンロード	
	自動ダウンロード	
	ソフトウェア更新のお知らせ	
	ソフトウェアの更新確認	
	本機の情報	
	ソフトウェアのライセンス情報	
	設定の初期化	
	初期化 1	
	初期化 2	
	すべての初期化	

ソフトウェアを更新する

ソフトウェアの更新機能について

- 本機は、内部に組み込まれたソフトウェア(制御プログラム)で動作するようになっています。
- お買い上げ後、より快適な環境でお使いいただくために、ソフトウェアを更新する場合があります。
- 更新用のソフトウェアはBSデジタルや地上デジタルの放送電波で送られてきます。本機は、放送電波で送られてくる更新用のソフトウェアを自動的にダウンロードし、内部ソフトウェアを自動的に更新する機能を備えています。
ネットワークに接続している場合は、ネットワーク経由でソフトウェアを自動的にダウンロードし、更新することもできます。
- ソフトウェアダウンロード情報をホームページ(<https://www.toshiba.co.jp/regza/support/>)でお知らせしています。
 - 放送電波を利用したソフトウェアのダウンロードは、都度、限られた日時に行われます。
- 電源プラグが抜かれていたなどの事情で自動ダウンロードができなかった場合は、都合のよいときにインターネットを利用して東芝サーバーから更新用のソフトウェアを入手することができます。
- ソフトウェアの更新中は電源プラグを抜かないでください。ソフトウェアの更新が正常に行われず、本機が起動しなくなるおそれがあります。
 - ソフトウェアの更新中は「電源」表示が緑色と赤色に交互に点灯します。

ソフトウェアの自動ダウンロードについて

- 「自動ダウンロード」の設定を「する」(お買い上げ時の設定)にしておき、日常的にデジタル放送を視聴し、視聴しないときにも電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておけば、特別に意識する必要はありません。放送電波やネットワーク経由での更新用のソフトウェアを自動的にダウンロードし、内部ソフトウェアを自動的に更新することができます。

更新用のソフトウェアがある場合は、ダウンロード情報が放送電波で送られます。本機は、地上デジタル放送またはBSデジタル放送を視聴しているときにダウンロード情報を取得します(情報を確認する操作はありません)。

放送を受信していなくても、ネットワークに接続していれば、自動的にソフトウェアの更新を行います。

自動ダウンロードの設定を変更する

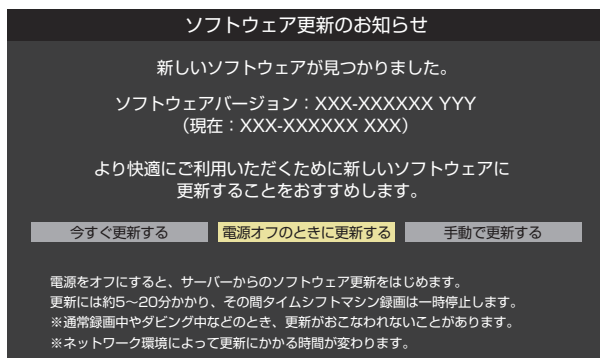
- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「その他の設定」⇒「ソフトウェアのダウンロード」⇒「自動ダウンロード」の順に進む

- 2 ◀▶で「する」または「しない」を選び、**決定** を押す

- **青** を押すと、放送電波でのダウンロード予定を一覧で確認することができます。
- 「しない」を選んだときは、「ソフトウェア更新のお知らせ」の設定が「表示する」に自動的に変更されます。また、手動でソフトウェアの更新をすることもできます。 [▶「東芝サーバーから手動でダウンロードする」](#)

インターネットに接続している場合

- 「自動ダウンロード」を「しない」に設定し、「ソフトウェア更新のお知らせ」が「表示する」に設定されている場合、本機の電源を入れたときに更新用のソフトウェアを検出すると、ソフトウェア更新のお知らせ画面が表示されます。



- ◀▶で以下のどれかを選び、**決定**を押します。
 - **今すぐ更新する**
ソフトウェアの更新を始めます。
 - **電源オフのときに更新する**
本機の電源を待機状態にすると、ソフトウェアの更新を始めます。
 - **手動で更新する**
ソフトウェアの更新は始めません。[「東芝サーバーから手動でダウンロードする」](#)の操作でソフトウェアをダウンロードします。

ソフトウェア更新のお知らせ画面を表示させないようにする

- ソフトウェア更新のお知らせ画面は、以下の操作で表示させないようにすることもできます。
 - ① **設定** ⇨「その他の設定」⇨「ソフトウェアのダウンロード」⇨「ソフトウェア更新のお知らせ」の順に進む
 - ② ▲・▼で「表示しない」を選び、**決定**を押す
- 上記の操作で「表示する」を選ぶと、ソフトウェア更新のお知らせ画面が表示されるようになります。
- 「自動ダウンロード」を「する」に設定している場合、「ソフトウェア更新のお知らせ」は「しない」に設定され、変更することはできません。

お知らせ

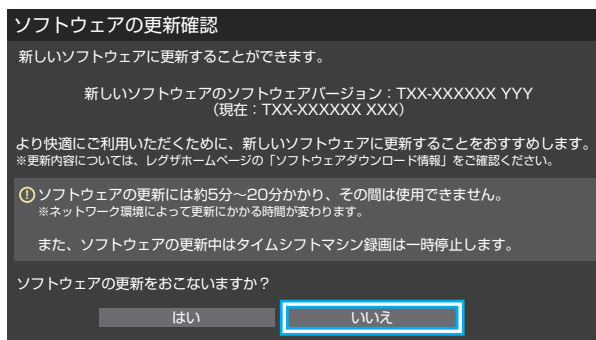
- 電源プラグがコンセントから抜かれていると、自動ダウンロードができないため、ソフトウェアの自動更新は行われません。
 - ダウンロードによって、一部の設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったり、予約やお知らせが削除されたりする場合があります。
 - 悪天候などでダウンロードが取り消された場合は、「本機に関するお知らせ」でお知らせします。
 - テレビの状態によっては、ソフトウェアの更新が行われない場合があります。
- **東芝サーバーからのダウンロードについて**
- 回線の速度が遅いと正しくダウンロードできないことがあります。このとき、「通信エラー」が表示されます。サーバーが一時的に停止していることもありますので、インターネットへの接続や設定を確認し、しばらくたってからもう一度ダウンロードしてみてください。

東芝サーバーから手動でダウンロードする

- インターネットを利用して東芝サーバーからソフトウェアをダウンロードし、本機内部のソフトウェアを更新することができます。
- インターネットを利用するための接続(製品同梱の取扱説明書 19)と[インターネットを利用するための設定](#)が必要です。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「その他の設定」⇒「ソフトウェアのダウンロード」⇒「ソフトウェアの更新確認」の順に進む

- 新しいソフトウェアがある場合、更新の確認画面が表示されます。



2 ◀▶で「はい」を選び、**決定** を押す

- ソフトウェア更新が始まります。
- ソフトウェアの更新中は操作できません。そのまま終了するまでお待ちください。
- 電源が「待機」になってから再び「入」になり、通常の視聴ができるようになります。

ソフトウェアのバージョンを確認するには

- 1 **サブメニュー** を押し、▲・▼と **決定** で「その他の操作」⇒「本機の情報」の順に進む

● **設定** ⇒「その他の設定」⇒「本機の情報」でも確認できます。

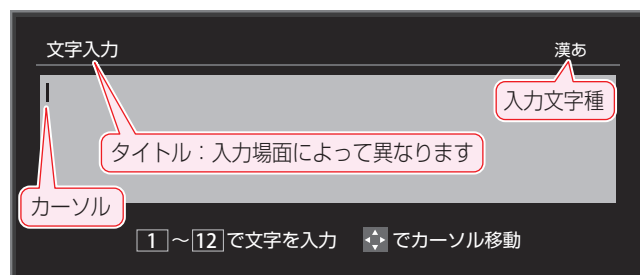
用語

ダウンロード

放送電波やインターネットを使って、ソフトウェアなどを端末(この場合は本機)に転送することです。

文字を入力する

- 番組検索のキーワード指定で、新しいキーワードを登録する場面などで文字入力画面が表示されます。



1 1 ~ 12 で文字を入力する

- 携帯電話と同様の操作で文字を入力します。
入力例：がっこう

→ ^あ2、^い10、^う4 (6回)、^え2 (5回)、^お1 (3回)
 が っ こ う
 「っ」の別の入力方法 → ^あ4 (3回)、^い10 (2回)
 っ

- 文字に続けて^あ10を押せば、濁点(・)や半濁点(゜)の入力および小文字変換ができます。
- 同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力する場合は、次の文字の前に▶を押します。

入力例：あい → ^あ1、▶、^い1 (2回)
 あ い

- 入力文字の種類を変えるときは、青 (文字切換) を押します。
- 文字を挿入するには、挿入する場所を▲▼◀▶で選んで入力します。
◀・▶を押すと、カーソルがその行の先頭または末尾に移動します。
- スペースを入力するときは、緑 を押します。

文字を削除するには

- 1文字を削除するには、**赤** を短く押します。
カーソルの右に文字がない場合は、カーソルの左の1文字が削除されます。カーソルの右に文字がある場合は、カーソルの右の1文字が削除されます。
- 文字をまとめて削除するには、**赤** を押し続けます。
カーソルの右に文字列がない場合は、文字がすべて削除されます。カーソルの右に文字列がある場合は、カーソルより右の文字がすべて削除されます。

2 以下の操作で文字を確定する

- 漢字に変換しないときは、**決定** を押す
- 漢字に変換するときには、▼を繰り返し押し、希望の漢字が見つかったら **決定** を押す
 - 希望する漢字に変換されない場合は、変換する範囲を◀▶で変え、▲▼で再度変換します。

3 すべての入力が終わったら、**決定** を押す

- 文字入力画面が表示される前の操作画面に戻ります。

文字切換(入力文字種の切り換え)

「漢あ」	漢字変換	ひらがなや漢字を入力できます。
「カナ」	全角カナ	カタカナを入力できます。
「a A」	全角英字	全角の英字を入力できます。
「abAB」	半角英字	半角の英字を入力できます。
「1 2」	全角数字	全角の数字を入力できます。
「1234」	半角数字	半角の数字を入力できます。
「全角記号」	全角記号	全角の記号を入力できます。
「半角記号」	半角記号	半角の記号を入力できます。
「定型文」	定型文	定型文を入力できます。

- 文字入力の場合によっては、使用できる入力文字種が少なかったり、切り換えられなかったりすることがあります。
- 入力文字種が「全角記号」、「半角記号」のときには、入力したい記号を文字入力画面から選びます。

入力文字一覧

リモコン	入力文字種			
	漢字変換	全角カナ	英字	数字
1	あ→い→う→え→お →あ→い→う→え→お	ア→イ→ウ→エ→オ →ア→イ→ウ→エ→オ	1→2→3→4→5→ 6→7→8→9→0	1
2	か→き→く→け→こ	カ→キ→ク→ケ→コ →カ→ケ	a→b→c →A→B→C	2
3	さ→し→す→せ→そ	サ→シ→ス→セ→ソ	d→e→f →D→E→F	3
4	た→ち→つ→て→と →つ	タ→チ→ツ→テ→ト ツ	g→h→i →G→H→I	4
5	な→に→ぬ→ね→の	ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ	j→k→l →J→K→L	5
6	は→ひ→ふ→へ→ほ	ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ	m→n→o →M→N→O	6
7	ま→み→む→め→も	マ→ミ→ム→メ→モ	p→q→r→s →P→Q→R→S	7
8	や→ゆ→よ →や→ゆ→よ	ヤ→ユ→ヨ →ヤ→ユ→ヨ	t→u→v →T→U→V	8
9	ら→り→る→れ→ろ	ラ→リ→ル→レ→ロ	w→x→y→z →W→X→Y→Z	9
10	゛→゜→小文字変換	゛→゜→小文字変換	小文字変換	0
11	わ→を→ん→わ→、→。→—	ワ→ヲ→ン→ワ→、→。→—	※1	*
12	※2逆方向へ入力	※2逆方向へ入力	※2逆方向へ入力	#

● 最後の候補まで行くと、次は最初の候補に戻ります。

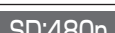
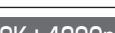
※1 全角英字の場合……。→/→:→→→→→→@

半角英字の場合……。→/→:→→→→→→@

※2 文字入力変換中に文字を通り過ぎたときに、逆方向へ戻します。

アイコン一覧

番組についてのアイコン

アイコン	説明
	ステレオ音声放送
	サラウンドステレオ放送
	二重音声放送
	字幕放送
	放送フォーマットが1080iのデジタルハイビジョン放送
	放送フォーマットが720pのデジタルハイビジョン放送
	放送フォーマットが480iのデジタル標準テレビ放送
	放送フォーマットが480pのデジタル標準テレビ放送
	放送フォーマットが2160pの4K映像放送
	放送フォーマットが4320pの8K映像放送
	複数の映像、または音声またはデータがある番組
	視聴年齢制限が設定されている番組。○○は4～20の数字が入ります。
	有料放送で契約済のチャンネル。
	有料放送で契約していないチャンネル。
	PPV (ペイ・パー・ビュー) 番組。○○は金額が入ります。
	録画回数が制限されている番組
	デジタル録画ができる番組
	有料でデジタル録画ができる番組
	デジタル録画ができない番組
	光デジタル録音ができる番組
	1回だけ光デジタル録音ができる番組
	有料で光デジタル録音ができる番組
	光デジタル録音ができない番組

お知らせ、予約、その他についてのアイコン

アイコン	説明
	録画予約
	連ドラ予約
	視聴予約
	録画中
	録画準備中 録画の約1分前に表示されます。
	録画確認中 前番組の放送延長などで録画番組の放送時間が変更されたときなどに表示されます。
	連ドラ予約番組の追跡結果や放送時間変更で、予約が重なったときなどに表示されます。
	連ドラ予約番組の追跡結果や放送時間変更で、有料番組の予約が重なったときなどに表示されます。
	おまかせ録画予約
	視聴予約が重なったときに表示されます。
	録画番組が「保護」対象
	録画番組が「上書き」対象
	未読の「お知らせ」
	既読の「お知らせ」
	非リンク型サービス(通信番組) »「データ放送やラジオ放送を楽しむ」

- ダビング・コピー関係のアイコンの中には、本機の機能とは無関係に番組の情報として表示されるものがあります。

画面サイズについて

- 選択できる画面サイズは下表のとおりです。
- 画面の見えかたについては、次ページをご覧ください。
- 信号フォーマットについては、[「本機で対応しているHDMI入力信号フォーマット」](#)をご覧ください。

放送番組やビデオ入力端子からの映像や動画の再生を見ているとき

映像の種類	選択できる画面サイズ
デジタル放送の4:3の映像 (480p、480i)、映像入力端子	フル、ノーマル、映画字幕、ズーム、スーパーライブ
デジタル放送の16:9の映像	フル、HDズーム、HDスーパーライブ - 画面サイズを変更した番組の放送中は、選んだ画面サイズが保持されます。番組終了後、選局操作をすると「フル」に戻ります。 - 電源入／切で「フル」に戻ります。
3840×2160p映像	4Kフル、4Kズーム

HDMI入力端子からの映像を見ているとき

映像や信号フォーマットの種類	選択できる画面サイズ
480i、480p	フル、ノーマル、ネイティブ、映画字幕、ズーム、スーパーライブ
VGA、SVGA、XGA、SXGA	フル、ノーマル、ネイティブ、ズーム、スーパーライブ
720p、1080i、1080p、WXGA	フル、ノーマル、ネイティブ、HDズーム、HDスーパーライブ
WQHD	フル、Dot By Dot
3840×2160p	4Kフル、4Kズーム
4096×2160p	4Kフル、4Kノーマル、4Kズーム 「4Kズーム」は入力切替、電源入／切などで「4Kフル」に戻ります。

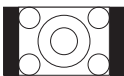
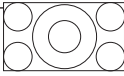
映像メニューを「ゲーム」、「モニター」にしているとき、または低遅延モード、ピュアダイレクトを「オン」にしているとき

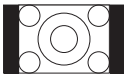
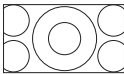
入力端子	信号フォーマットの種類	選択できる画面サイズ
映像入力端子	480i	フル、ノーマル
HDMI入力端子	480p、480i、VGA、SVGA、XGA、WXGA、SXGA	フル、ノーマル、ネイティブ
	1080p、1080i、720p	フル、ネイティブ
	WQHD	フル、Dot By Dot
	3840×2160p	4Kフル
	4096×2160p	4Kフル、4Kノーマル

お知らせ

- 本機は、各種の画面サイズのモード切替機能を備えています。テレビ番組等のソフトの映像比率と異なるモードを選択すると、本来の映像とは見えかたが異なります。
- 視聴する映像のフォーマットと画面サイズの組み合わせによっては、周囲の映像が隠れたり、画面の周囲が黒で表示されたり、左右の端がちらついたりすることがあります。また、放送画面に表示される選択項目を選ぶ際に枠がずれて表示されることがあります。
- 4:3の映像を「スーパーライブ」などを利用して画面いっぱいに表示させると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えたりします。制作者の意図を尊重した本来の映像は、「ネイティブ」、「ノーマル」(16:9映像の場合は「フル」)でご覧になれます。
- テレビを公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等に置いて、画面サイズの切替機能を利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどすると、著作権法上で保護されている権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
- 一部のネットワークサービスの映像などでは、画面サイズの切り換えができないことがあります。

画面の見えかたについて

入力	画面サイズ のモード	画面の見えかた	説明
4:3	スーパーライブ	※1 	4:3の映像をワイド画面で楽しむモードです。画面を上下左右に引き伸ばします。上下方向よりも左右方向をより引き伸ばします。
	ズーム	※1 	上下が黒い帯になっている映画などのワイド映像(レターボックス「LB」)を拡大して楽しむモードです。
	映画字幕	※1 	レターボックスのワイド映像の下に字幕がはいっている場合に、字幕を隠れにくくするモードです。
	フル	※1 	DVDソフトなどのスクイーズ映像(縦に伸びて見える映像)を、ワイド映像で表示するモードです。
	ノーマル		4:3の映像をそのままの横と縦の比で表示するモードです。
16:9	フル		16:9の映像を画面いっぱいに表示するモードです。
	HDスーパーライブ※2	※3 	左右に帯(黒や模様など)のある16:9の映像をワイド画面で楽しむモードです。画面を上下左右に引き伸ばします。上下方向よりも左右方向をより引き伸ばします。
	HDズーム※2	※3 	上下左右に帯(帯も映像として送られています)のある16:9の映像をワイド画面で楽しむモードです。

ゲーム	フル	※4 	ゲーム映像をテレビ画面いっぱいに拡大して表示するモードです。
	ノーマル		ゲーム映像をそのままの横と縦の比で表示するモードです (図は4:3の例です)。
	ネイティブ		入力信号の1ドットを縦・横2ドットずつの4ドットで表示するモードです。映像のない部分は黒く表示されます。
HDMI	ネイティブ		入力信号の1ドットを縦・横2ドットずつの4ドットで表示するモードです。映像のない部分は黒く表示されます。
	Dot by Dot (WQHD)		入力信号の解像度そのまま画面に表示するモードです。映像のない部分は黒く表示されます。
4K 信号	4Kフル (3840×2160p)		4K信号の映像をそのままの横と縦の比で表示します。
	4Kフル (4096×2160p)		4K信号の映像をそのままの横と縦の比で表示するモードです(左右が128画素ずつ切れた状態が表示されます)。
	4Kノーマル (4096×2160p)		4K信号の映像を画面に合わせて縮小して表示するモードです(上下の映像がない部分は黒く表示されます)。

4K 信号	4Kズーム (3840× 2160p)	※5 	上下左右に帯(帯も映像として送られています)のある映像を、ワイド画面で楽しむモードです。
	4Kズーム (4096× 2160p)	※5 	上下左右に帯(帯も映像として送られています)のある映像を、ワイド画面で楽しむモードです。

- ※1 左側の図は画面サイズのモードを「ノーマル」にした場合の見えかたです。
- ※2 デジタル放送のハイビジョン放送と標準画質放送の16:9の映像で切り換えることができます。
- ※3 左側の図は画面サイズのモードを「フル」にした場合の見えかたです。
- ※4 左側の図は画面サイズのモードを「ノーマル」にした場合の見えかたです。
- ※5 左側の図は画面サイズのモードを「4Kフル」にした場合の見えかたです。

対応フォーマット

本機で対応しているHDMI入力信号フォーマット

- 「VESA規格」の欄に「○」が記載されている信号フォーマットは、本機のHDMI入力端子ではVESA規格に準拠する信号フォーマットにだけ対応しています。機器によっては本機の画面に映像が表示されないか、または正しく表示されないことがあります。その場合は下表に示した入力信号のどれかに合うようにパソコンや映像機器の設定を変更してください。一部のパソコンでは有効画面領域を「解像度」と表記する場合があります、その場合は本機が表示する解像度と異なることがあります。
- 下表すべての信号に対応していますが、パソコンを接続する場合はリフレッシュレートが60Hzの信号を推奨します。

フォーマット名	表示解像度	リフレッシュレート	水平周波数	ピクセルクロック	VESA規格
480i	720×480	59.94 / 60Hz	15.734 / 15.750kHz	27.000 / 27.027MHz	
480p	720×480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500kHz	27.000 / 27.027MHz	
1080i	1920×1080	59.94 / 60Hz	33.716 / 33.750kHz	74.176 / 74.250MHz	
720p	1280×720	59.94 / 60Hz	44.955 / 45.000kHz	74.176 / 74.250MHz	
1080p	1920×1080	59.94 / 60Hz	67.433 / 67.500kHz	148.352 / 148.500MHz	
		23.98 / 24Hz	26.973 / 27.000kHz	74.176 / 74.250MHz	
		29.97 / 30Hz	33.716 / 33.750kHz	74.176 / 74.250MHz	
		119.88 / 120.00Hz	134.865 / 135.000kHz	296.703 / 297.000MHz	
2160p	3840×2160	59.94 / 60Hz	134.865 / 135.000kHz	593.407 / 594.000MHz	
		23.98 / 24Hz	53.946 / 54.000kHz	296.703 / 297.000MHz	
		29.97 / 30Hz	67.433 / 67.500kHz	296.703 / 297.000MHz	
2160p (SMPTE)	4096×2160	23.98 / 24Hz	53.946 / 54.000kHz	296.703 / 297.000MHz	
		29.97 / 30Hz	67.433 / 67.500kHz	296.703 / 297.000MHz	
VGA	640×480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500kHz	25.175 / 25.200MHz	○
SVGA	800×600	60Hz	37.879kHz	40.000MHz	○
XGA	1024×768	60Hz	48.363kHz	65.000MHz	○
WXGA	1280×768	60Hz	47.776kHz	79.500MHz	○
	1360×768	60Hz	47.712kHz	85.500MHz	○
SXGA	1280×1024	60Hz	63.981kHz	108.000MHz	○
WQHD	2560×1440	60Hz	88.787kHz	241.500MHz	○

本機で再生できる動画のフォーマット

対応機器	ファイル フォーマット	映像 フォーマット	音声 フォーマット	最大解像度 (フレームレート)
USB機器、 LANハードディスク、 ネットワークメディアサーバー	MPEG2-TS	MPEG2 Video	AAC、 MPEG-1 Layer II	1920×1080 (60i) 1280×720 (60p)
	MPEG2-TS	H.264/ MPEG4-AVC	AAC、 ドルビーデジタル (AC3)	1920×1080 (60i) 1280×720 (60p)
USB機器 LANハードディスク	MPEG2-TS	H.264/ MPEG4-AVC	AAC、 HE-AAC、 ドルビーデジタル (AC3)	3840x2160 (24p) 3840x2160 (25p) 3840x2160 (30p) 1920x1080 (60p)
	MPEG2-TS	HEVC	AAC、 HE-AAC ドルビーデジタル (AC3)	3840x2160 (24p) 3840x2160 (25p) 3840x2160 (30p) 3840x2160 (50p) 3840x2160 (60p)
USB機器 LANハードディスク	MPEG2-PS	MPEG2 Video	リニアPCM、 ドルビーデジタル (AC3)、 MPEG-1,2 Layer II	1920×1080 (60i) 1280×720 (60p)
ネットワークメディアサーバー				720×480 (60i)
USB機器	MP4	MPEG-4 Visual	AAC	1920×1080 (60i) 1280×720 (60p)
		HEVC	AAC、 HE-AAC	3840x2160 (24p) 3840x2160 (25p) 3840x2160 (30p) 3840x2160 (50p) 3840x2160 (60p)
		H.264/ MPEG4-AVC	AAC、 HE-AAC、 リニアPCM	3840x2160 (24p) 3840x2160 (25p) 3840x2160 (30p)
ネットワークメディアサーバー	MP4	H.264/ MPEG4-AVC	AAC	1920×1080 (60i) 1280×720 (60p)

- ※ 一部の動画は再生できないことがあります。特にMP4動画については、対応機器によっては再生できないことがあります。
- ※ 音声がついていない映像だけの動画は再生できません。
- ※ 対応機器の性能によっては、映像が乱れたり、雑音が出たりするなど、正常に再生できないことがあります。
- ※ リストに表示可能なファイルの最大数は1フォルダあたり3000です。
- ※ リストに表示可能なフォルダの最大数は2000です。

本機で再生できる写真(静止画ファイル)のフォーマット

圧縮方式	JPEG準拠
フォーマット	Exif ver2.2準拠、JFIF ver1.02準拠
画素数	16384×16384ピクセル以内(ネットワークメディアサーバーについては4096×4096ピクセル以内)
ファイルサイズ	USB機器についてはファイルサイズ24MB以内

※一部の写真は再生できないことがあります。

症状に合わせて解決法を調べる

- テレビが正しく動作しないなどの症状があるときは、以降の記載内容から解決法をお調べください。
- 解決法の対処をしても症状が改善されない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、「東芝テレビご相談センター」にご相談ください。

操作

電源がはいらない

電源プラグが抜けていませんか。

⇒ 電源プラグをコンセントに差し込みます。

電源コードが本体から抜けていませんか。

⇒ 電源コードのコネクターを本機背面のAC IN端子に接続します。

「電源」表示が消えていませんか。

⇒ 本体の電源ボタンを押して電源を入れます。

※ 「電源」表示が消えているときは、リモコンで電源を入れることはできません。

「電源」表示が赤色に点滅していますか。

⇒ 電源プラグをコンセントから抜き、一分以上たってからもう一度コンセントに差し込みます。

「電源」表示が赤色／緑色に交互に点滅していますか。

⇒ ソフトウェアの更新を行っているため、「電源」表示の点滅が終わるのを待ってから操作してください。

リモコンで操作ができない

リモコンとテレビ本体のリモコン受光部の間に障害物がありますか。

- ⇒ 障害物を取り除きます。
リモコン受光部の位置は、製品同梱の取扱説明書の「各部のなまえ」でご確認ください。

リモコンの乾電池が消耗していませんか。

- ⇒ 新しい乾電池に交換します。

リモコンの乾電池の向き(+、-)が合っていますか。

- ⇒ 向き(+、-)を確認し、正しく入れてください。

リモコンと本体のリモコンコードが合っていますか。

- ⇒ リモコンと本体のリモコンコードが合っていないと、操作できません。リモコンと本体のリモコンコードを正しく合わせてください。 [»「2台のレグザをそれぞれのリモコンで操作する」](#)

他のチャンネルでは、操作ができますか。

- ⇒ データ放送のサービスに、リモコン操作が使用される場合があります。
その場合、サブメニューの「データ放送終了」を選びます。

本体のボタンでは操作ができますか。

- ⇒ 上記の対処をした上で、なおリモコンだけで操作ができない場合は、リモコンの故障が考えられます。

映像

放送の映像が出ない、またはきれいに映らない

アンテナ線がはずれていたり、切れていたり、ショートしたりしていませんか。

- ⇒ アンテナ線を確認して正しく接続します。
- ※ 屋外の接続については、販売店にご相談ください。

アンテナ線プラグの芯線が曲がっていませんか。

- ⇒ 確認して、まっすぐにします(折らないようにご注意ください)。

アンテナ線プラグの芯線が折れたり、短くなっていたりしていませんか。

- ⇒ アンテナ線を交換します。

レコーダーなどを経由してアンテナ線を接続していませんか。

- ⇒ アンテナ線を本機に直接接続して映像が出る場合は、本機の故障ではありません。
- ⇒ アンテナ線を分配して接続します。

電波が弱くありませんか。

- ⇒ アンテナレベルを確認します。 [▶「電波の強さ\(信号強度\)を確認する」](#)
- ⇒ アンテナの向きを調整してみます(販売店にご相談ください)。

アンテナ線の差し込みがゆるんでいたたり、接触不良になっていたたりしていませんか。

- ⇒ 確認して、しっかりと接続します。

アンテナ線(端子)がさびていませんか。

- ⇒ 販売店にご相談ください。

接続した機器の映像が出ない、またはきれいに映らない

機器が正しく接続されていますか。

⇒ 確認して正しく接続します。

機器の電源がはいっていますか。

⇒ 機器の電源を入れます。

接続した機器の入力に切り換えましたか。

⇒ リモコンの **入力切換** で、外部機器を接続した入力端子を選びます。[≫「外部入力」の画面に切り換える](#)

機器を接続したHDMI入力のHDMIモードが接続した機器に合っていますか。

⇒ 接続しているHDMI入力を選び、HDMIモードを変更して適切な設定を選びます。[≫「HDMIモードを変更する」](#)

画面が暗い、または暗くなる時がある

部屋の明るさに合った適切な映像メニューや調整になっていますか。

⇒ 明るい部屋では、「あざやか」や「おまかせ A I」を選択してみます。[≫「お好みの映像メニューを選ぶ」](#)

⇒ 「バックライト」や「画面の明るさ」で適切な明るさに調整します。[≫「その他の映像設定」](#)

映像メニューが「おまかせ A I」の場合、明るさセンサーの前に障害物がありますか。

⇒ 明るさセンサーの前から障害物を取り除きます。

※ 映像メニューが「おまかせ A I」の場合は、明るさセンサーで検出した周囲の明るさに合わせて、画面の明るさが自動調整されます。

一時停止や、静止画になっていませんか。

- ⇒ 動きの少ない映像の場合に、しばらくすると徐々に暗くなることがあります。動きのある映像になると元の明るさに戻ります。

色がおかしい

お好みの映像メニューや映像調整になっていませんか。

- ⇒ 視聴している番組や映像に合わせて、お好みの映像メニューを選択します。 [▶「その他の映像設定」](#)
- ⇒ お好みの映像に調整することもできます。 [▶「お好みの映像に調整する」](#)

映像メニューが一定時間後あざやかに変更される

はじめての設定の「テレビをお使いになる場所(設置場所)」で「店頭」が選択されていませんか。

- ⇒ 「ご家庭」を選んでください。

音声

音が出ない

音量が最小になっていませんか。

⇒  で音量を上げます。

» [「音量を調節する／音を一時的に消す／字幕を表示させる」](#)

画面に  マークが表示されていませんか。

⇒  を押すと消音を解除できます
( でも解除されます)。

» [「音量を調節する／音を一時的に消す／字幕を表示させる」](#)

「音声出力」になっていませんか

⇒ サブメニューの「スピーカー切替」で「テレビスピーカー」に設定します。 » [「外部スピーカーで聴く」](#)

機器を接続したHDMI入力のHDMIモードが接続した機器に合っていますか。

⇒ 接続しているHDMI入力を選び、HDMIモードを変更して適切な設定を選びます。 » [「HDMIモードを変更する」](#)

地上デジタル放送

地上デジタル放送が映らない、または映像が乱れる、または引越しをしたら地上デジタル放送が映らなくなった

アンテナレベルが推奨値以下ではありませんか。

- ⇒ 設定の「地上デジタルアンテナ設定」を選んでアンテナレベルを確認します。 [▶「電波の強さ\(信号強度\)を確認する」](#)
- ※ 推奨値よりも低い場合は、放送を受信できないことがあります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、アンテナの向きを確認・調整してください。

「初期スキャン」をしましたか。

- ⇒ 「初期スキャン」をします。

お住まいの地域は地上デジタル放送の受信可能エリアですか。

- ⇒ 一般社団法人 放送サービス高度化推進協会(A-PAB)ホームページ (<http://www.apab.or.jp/>) で確認することもできます。

共聴システムやCATVをご利用の場合、地上デジタル放送のパススルー方式に対応していますか。

- ⇒ CATVの場合はご契約のCATV会社に、その他の場合は共聴システムの管理者にお問い合わせください(CATVがパススルー方式でない場合はCATV用チューナーが必要な場合があります)。

BS・110度CSデジタル放送**BS・110度CSデジタル放送が映らない、または映像が乱れる**

アンテナ接続に分配器を使用していますか。

⇒ 分配器は「全端子通電型」のものを使用します。

有料放送ではありませんか。

⇒ 有料放送を視聴するには契約が必要です。視聴の申し込みや視聴料金などについては、放送事業者にご相談ください。

マンションなどで、壁のアンテナ端子が一つだけになっていますか。

⇒ 視聴できる放送の種類についてマンションなどの管理会社にご確認ください。

⇒ ご自身で確認する場合は、アンテナ線を本機のBS・110度CSアンテナ入力端子に直接接続してみます(地上デジタル放送を確認する場合は、地上デジタルアンテナ入力端子へ)。

⇒ BS・110度CSデジタル放送と地上デジタル放送の両方が受信できる場合は、分波器を使用してアンテナ線をBS・110度CSアンテナ入力端子と地上デジタルアンテナ入力端子に接続します。

テレビまたはアンテナ線の近くで携帯電話、スマートフォン、コードレス電話、無線LANアクセスポイントなどの無線機器を使用していないですか。

⇒ 上記の機器は、テレビまたはアンテナ線から離れて使用してください。映像・音声が乱れることがあります。

「衛星アンテナ電源供給」設定が「しない」に設定されていませんか。

⇒ BS・110度CS共用アンテナを、ご自身で設置して利用している場合、BS・110度CS共用アンテナへの電源供給が必要となります。

「衛星アンテナ電源供給」設定が「オート」または「する」に設定されていることを確認してください。 [»「BS・110度CS用アンテナの電源供給の設定を変更する」](#)

※ アンテナショートを検出した場合、「衛星アンテナ電源供給」設定を自動的に「しない」に変更する場合があります。

BS・110度CSの4K放送が映らない、または映像が乱れる

アンテナ接続に分配器を使用していますか。

⇒ 分配器は「4K放送対応全端子通電型」のものを使用します。

有料放送ではありませんか。

⇒ 有料放送を視聴するには契約が必要です。視聴の申し込みや視聴料金などについては、放送事業者にご相談ください。

マンションなどで、壁のアンテナ端子が一つだけになっていますか。

⇒ 視聴できる放送の種類についてマンションなどの管理会社にご確認ください。

⇒ ご自身で確認する場合は、アンテナ線を本機のBS・110度CSアンテナ入力端子に直接接続してみます(地上デジタル放送を確認する場合は、地上デジタルアンテナ入力端子へ)。

⇒ BS・110度CSの4K放送と地上デジタル放送の両方が受信できる場合は、分波器を使用してアンテナ線をBS・110度CSアンテナ入力端子と地上デジタルアンテナ入力端子に接続します。

テレビまたはアンテナ線の近くで携帯電話、スマートフォン、コードレス電話、無線LANアクセスポイントなどの無線機器を使用していませんか。

⇒ 上記の機器は、テレビまたはアンテナ線から離れて使用してください。映像・音声が乱れることがあります。

左旋円偏波に対応した機器を使用していますか。

⇒ 左旋円偏波に対応した機器をご使用ください。対応していない場合、一部のBS・110度CSの4K放送はご覧になれません。

「衛星アンテナ電源供給」設定が「しない」に設定されていませんか。

⇒ 4K放送対応のBS・110度CS共用アンテナを、ご自身で設置して利用している場合、4K放送対応のBS・110度CS共用アンテナへの電源供給が必要となります。

「衛星アンテナ電源供給」設定が「オート」または「する」に設定されていることを確認してください。 [»「BS・110度CS用アンテナの電源供給の設定を変更する」](#)

※ アンテナショートを検出した場合、「衛星アンテナ電源供給」設定を自動的に「しない」に変更する場合があります。

番組表

番組表に内容が表示されない

電源プラグを抜いていませんか。

⇒ 電源プラグをコンセントに差し込んでおきます。

⇒ 「番組表を更新する」の操作をします。 [≫「番組表を更新する」](#)

番組表の文字が小さい

⇒ 番組表を表示中に  を押して、文字の大きさを変更することができます。 [≫「文字サイズを大きくする」](#)

放送局のすべてのチャンネルが表示されない

「1チャンネル表示」にいませんか。

⇒ 番組表のサブメニューで「マルチ表示」を選択します。 [≫「1チャンネル表示とマルチ表示を切り換える」](#)

「チャンネルスキップ設定」でチェック(☑)が入っていますか。

⇒ 「チャンネルスキップ設定」でチェック(☑)を入れてください。チェックの入っていないチャンネルは表示されません。
[≫「視聴しないチャンネルをスキップする」](#)

お知らせアイコン が何度も表示される

「お知らせ」の内容を確認しましたか。

⇒ サブメニューの「お知らせ」で内容を確認します。

※ 未読のお知らせが1件でも残っていると、 を押したときにアイコンが表示されます。

録画・再生

USBハードディスクが使用できない(認識されない)

本機で接続確認済のUSBハードディスクですか。

⇒ 本機で接続確認済のUSBハードディスクはホームページ(<https://www.toshiba.co.jp/regza/>)でお知らせしています。でお知らせしています。

※ 本機で接続確認済の機器でない場合は、使用できないことがあります。

機器が正しく接続されていますか。

⇒ 「USBハードディスクの接続をする」に従って、正しく接続します。

機器の電源がはいっていますか。

⇒ USBハードディスクの電源を入れます。

※ USBハードディスクは専用のACアダプターを接続してご使用ください。

機器が本機に登録されていますか。

⇒ USBハードディスクを本機に登録します。>>「[機器の登録](#)」

USBハブを使用している場合、本機で使えるようになっていきますか。

⇒ ホームページ(<https://www.toshiba.co.jp/regza/>)でUSBハブが推奨機器であることを確認します。

※ 推奨機器でない場合は使用できないことがあります。「USBハードディスクの接続をする」の「お知らせ」をご覧ください。

※ USBハードディスクは専用のACアダプターを接続してご使用ください。

タイムシフトマシン録画・再生ができない、録画番組が消えた

接続や設定は正しいですか。

⇒ 確認して、正しく接続・設定をします。

また、認識されていたタイムシフトマシン録画用USBハードディスクが認識されなくなった場合は、一度本機からはずし、再度接続してみてください。

「タイムシフトマシン録画」が「しない」になっていませんか。

⇒ 確認して「する」に設定します。

録画チャンネル数を変更しませんでしたか。

⇒ 録画チャンネル数を変更すると、タイムシフト録画番組は削除されます。

※ 設定を変更しなくても、古い番組は自動的に削除されます。

「お知らせ」のアイコンが表示されていませんか。

⇒ サブメニューの「お知らせ」で内容を確認します。

タイムシフトマシン録画を設定したチャンネルで、コンテンツ権利保護専用方式(RMP方式)に対応していないと表示されませんでしたか。または、「設定の変更ができませんでした。コード：EC22」と表示されませんでしたか。

⇒ 一部ケーブルテレビの自主放送チャンネルなどコンテンツ権利保護専用方式(RMP方式)を採用していない番組は、タイムシフトマシン録画できません。通常の録画予約で録画してください。

※ コンテンツ権利保護専用方式(RMP方式)については、ご契約のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

録画ができない、または録画されなかった

USBハードディスクの残量が足りていますか。

- ⇒ 残量を確認する。 [≫「機器の情報を確認する」](#)
- ⇒ 不要な番組を削除する。 [≫「一つの録画番組を消す」](#)
- ⇒ 「自動削除設定」を「削除する」に変更する。 [≫「自動的に消す（自動削除設定）」](#)

コピー禁止の番組ではありませんか。

- ⇒ 録画はできません。

外部入力からの番組、独立データ放送番組、外部機器からの映像、ネットワークサービスの映像などではありませんか。

- ⇒ 本機は上記の番組や映像の録画には対応していません。

予約した番組の放送時間が繰り上げられませんでしたか。

- ⇒ 本機は放送時間が繰り上げられた番組の録画はできません。
- ※ 「その他の録画設定」の「放送時間」を「連動する」に設定した場合でも、放送時間の繰り上げには対応できません。

連ドラ予約の場合、「追跡基準」、「追跡キーワード」は正しく設定されていますか。

- ⇒ 「その他の録画設定」で「追跡キーワード」を正しく設定します。 [≫「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」](#)
- ※ 1回限りのキーワード（「第〇〇話」や出演者名など）を削除します。

「お知らせ」のアイコンが表示されていませんか。

- ⇒ サブメニューの「お知らせ」で内容を確認します。
- ※ 番組の重複や、放送時間の変更などで録画できなかった場合は、「本機に関するお知らせ」が発行されます。

録画した番組が消えた

「自動削除設定」が「削除する」になっていませんか。

⇒ 「自動削除設定」を「削除しない」に設定する。 [▶「自動的に消す\(自動削除設定\)」](#)

または、消したくない番組を保護する。 [▶「誤って消さないように保護する」](#)

録画中に電源プラグや接続ケーブルを抜きませんでしたか。

⇒ 録画中や録画設定をしたときは電源プラグを抜かない。

※ 上記の場合、録画中の番組は残りません。また、録画したすべての番組が消えることがあります。

⇒ [「録画番組を修復する」](#) ▶ の操作をすれば、録画された内容を再生できるようになることがあります。

録画リストの分類タブが「すべて」以外になっていませんか。

⇒ 録画リストの分類タブを   で「すべて」に変更する。

※ 分類タブが「未視聴」の場合、一度でも再生した録画番組は、リストに表示されません。

ホームネットワークの機器が認識されない、再生できない、映像が止まる、またはノイズが出る

接続は正しいですか。

⇒ ルーターを通して正しく接続します。

⇒ 配信機器と本機を無線LANで接続してるときに、配信機器からの映像が止まったり、ノイズが出たりする場合は、無線LANのアクセスポイントと本機の設定が正しく設定しているか確認します。設定が正しいと確認できたあとも、映像が止まったり、ノイズがでたりする場合は、以下の操作を試みてください。

- ① 本機と無線LANアクセスポイントの電源を「切」にする
- ② 本機と無線LANアクセスポイントの電源プラグ(またはACアダプター)をコンセントから抜く
- ③ 1分間以上待つ
- ④ 本機と無線LANアクセスポイントの電源プラグ(またはACアダプター)をコンセントに差し込む
- ⑤ 本機と無線LANアクセスポイントの電源を「入」にする

映像が止まったり、ノイズが出たりしないか確認します。

それでも解消されない場合は、有線LANで接続してください。

ルーターから機器に対してプライベートアドレスが割り当てられるようになっていませんか。

⇒ ルーターの取扱説明書を参照し、プライベートアドレスが機器と本機に割り当てられるように設定します。

本機のネットワーク設定および接続機器はアドレス情報(IPv4)のIPアドレスを自動取得する設定になっていませんか。

⇒ 「IPアドレス」を「自動取得」に設定します。 [≫「IPアドレス」](#)

※ 機器側については、機器の取扱説明書に従って確認・設定してください。

ネットワークメディアサーバーのアクセス制限は正しく設定されていますか。

⇒ 機器がMACアドレスによるアクセス制限をしている場合は、機器の取扱説明書を参照し、本機のMACアドレスを許可するように設定します。

※ 本機のMACアドレスは、「ネットワーク・サービス設定」の「ネットワーク情報」や「その他の設定」の「本機の情報」で確認することができます。

無線LANをご使用の場合、暗号方式が「暗号なし」になっていませんか。

- ⇒ 無線LANをご使用の場合、暗号方式が「暗号なし」のときにはデジタル放送などの著作権保護付コンテンツをホームネットワーク上で視聴することができません。著作権保護無しのコンテンツを取り扱う場合も無線LANのセキュリティ設定を行うことを強く推奨します。

本機が再生できる種類のコンテンツですか。

- ⇒ 本機で対応しているフォーマットで機器から出力できるか、機器の取扱説明書で確認します。

ほかのレグザで再生できない

- ⇒ USBハードディスクに録画した番組は、録画したテレビでしか再生できません(同じ形名のほかのテレビでも再生できません)。

HDMI連動機能

機器を接続しても連動動作ができない

接続は正しいですか。

- ⇒ HDMIロゴ表示のついた規格に合ったHDMIケーブルで正しく接続します。
- ※ はじめてレグザリンク対応のHDMI連動機器を接続したときや、接続を変更したときには、すべての機器が連動しているか確認してください。

推奨機器(対応機器)ですか。

- ⇒ ホームページ <https://www.toshiba.co.jp/regza/>でお知らせしています。
- ※ 推奨機器の場合でもすべての操作ができるわけではありません。本機のリモコンで操作できないときは、機器のリモコンで操作してください。

本機と接続機器の設定は正しいですか。

- ⇒ 接続機器側の連動設定を確認します(機器の取扱説明書を参照してください)。
- ⇒ 本機の「その他の設定」にある「HDMI連動機能」を確認します。 [▶「HDMI連動機能」](#)

オーディオ機器(サウンドシステム)に接続されているスピーカーから音が出ない

接続は正しいですか。

- ⇒ HDMIケーブルで接続する場合は、HDMIロゴ表示のついた規格に合ったHDMIケーブルで正しく接続します。接続するオーディオ機器の端子については、オーディオ機器の取扱説明書を参照してください。
- ⇒ レグザサウンドシステムやARC対応のオーディオ機器はHDMI入力1(ARC)端子に接続してください。
- ⇒ ARC対応していないオーディオ機器をHDMIケーブルで接続する場合は、オーディオ用光デジタルケーブルも接続してください。

接続機器側の設定は正しいですか。

- ⇒ オーディオ機器側の連動設定を確認します(機器の取扱説明書を参照してください)。

本機の設定やスピーカーの選択は正しいですか。

- ⇒ 「HDMI連動設定」の「サウンドシステム連動」を「スピーカー・音質連動」、または「スピーカー連動」に設定します。また、「HDMI連動設定」の「電源オン時優先スピーカー」を「サウンドシステムスピーカー」に設定しておくと、オーディオ機器の電源が「入」のときは、オーディオ機器のスピーカーから音声が出ます。 [≫「電源オン時優先スピーカー」](#)
- ⇒ サブメニューの「スピーカー切替」で「サウンドシステムスピーカー」に切り換えます。 [≫「サブメニューについて」](#)

クラウドサービスやネットワークサービスが利用できない

プロバイダーなどとのインターネット利用契約はお済みですか。

- ⇒ 契約、費用などについては、プロバイダーまたはお買い上げの販売店にご相談ください。
- ⇒ ネットワークサービスによっては、申し込みが必要な場合があります。

接続や設定は正しいですか。

- ⇒ 確認して、正しく接続・設定します。

ルーターから機器に対してプライベートアドレスが割り当てられるようになっていますか。

- ⇒ ルーターの取扱説明書を参照し、プライベートアドレスが機器と本機に割り当てられるように設定します。

本機のネットワーク設定はIPアドレスを自動取得する設定になっていますか。

- ⇒ 「IPアドレス」を「自動取得」に設定します。 [»「IPアドレス」](#)

ネットワークサービス利用設定を「利用する」にしていますか。

- ⇒ 「利用する」に設定します。 [»「ネットワークサービスを利用するための設定をする」](#)

本機のソフトウェアバージョンが該当のクラウドサービス(機器側の機能へのリンクや、他社サービスを除く)を利用できるソフトウェアバージョンですか。

⇒ ソフトウェアのバージョンによっては、ご利用いただけないサービスがあります。

クラウドサービスについて、詳しくは、ホームページ(<http://timeon.jp/>)をご覧ください。

※ インターネットを利用しているときに、本機の電源状態を「切」にしたり、電源プラグを抜いたりしないでください。みるコレが正しく表示されない場合、「ネットワークサービスの情報を初期化する」を行うと、正しく表示されるようになります。

無線LANが使えない

接続や設定は正しいですか。

⇒ 確認して、正しく設定します。

お使いのルーターは、無線LAN対応のブロードバンドルーターですか。

⇒ 無線LANに対応していない場合は、無線LANでの接続はできません。

その場合、無線LANアクセスポイントが必要です。

複数の無線LANアクセスポイントがありませんか。

⇒ 無線LANは、近くに複数の無線LANアクセスポイントがある場合、複数の周波数帯が使われている場合、また近くに電波を出す機器がある場合などは、電波の干渉が起こり接続できないことがあります。

周波数帯を変更するか、電波を出す機器の近くで使わないようにします。市販の無線LANコンバーターをお使いの場合は、お使いの無線LANコンバーターの取扱説明書で確認するか、メーカーにお問い合わせください。

アドレス情報(IPv4)のIPアドレスが取得できない

アドレス情報(IPv4)のIPアドレスが空欄ですか。

⇒「ネットワーク情報」にある「アドレス情報(IPv4)」を確認します。 [▶「ネットワーク情報」](#)

⇒ 上記の確認でIPアドレスが取得できていない場合(すべて空欄になっている場合)は以下を確認します。

- ① 有線の場合、本機とルーターが接続されているか確認する
- ② ルーターのアクセスランプ(ルーターのLANポートにある小さなランプ)が点滅しているか確認する(正常に通信できていればランプが点滅します)
- ③ ルーターに他のネットワーク機器(パソコンなど)があるときは、機器からインターネット接続が可能か確認する

- 有線LANで接続しているときに可能であれば、以下のテストをします

機器に接続されているLANケーブルを本機に接続し、接続テストをする

接続できたとき

最初に本機と接続されていたLANケーブルまたはルーターの不具合の可能性が高いです。

接続できなかったとき

ルーター、LANケーブルに問題がある可能性は低いです。

- ④ インターネット接続可能なその他の機器(パソコンなど)のIPアドレスを確認し、本機のIPアドレスを手動で設定する
 - ⑤ 「クラウドサービス」など、ネットワークを利用する機能が使用できるか確認する
- 上記の確認をしても接続できない場合は、本機をリセットします。リセットのしかたは、製品同梱の取扱説明書の「テレビが操作できなくなったときーテレビをリセットする」をご覧ください。

- リセットをしても接続できない場合は、本機の初期化をします。
- 上記の確認をすべてしても接続できないときは、東芝テレビご相談センター（製品同梱の取扱説明書裏表紙参照）にお問い合わせください。

アドレス情報(IPv4)のIPアドレスが取得できているのに接続できない

アドレス情報(IPv4)の取得しているIPアドレスが「192.168.～」から始まっていますか。

- ⇒ お使いのルーターは、ブロードバンドルーターまたは、無線LAN使用のときは、無線LAN対応のブロードバンドルーターか確認します。
- ⇒ 「ネットワーク情報」にある「アドレス情報(IPv4)」を確認します。 [»「ネットワーク情報」](#)
- ⇒ 取得しているIPアドレスが「192.168.～」から始まっていればルーターから正常にアドレスを取得できています。「クラウドサービス」など、ネットワークを利用する機能が使用できるか確認します。接続できずエラーメッセージで「DNSからの応答がありません」と表示されるときは、ルーターにPPPoE設定が必要なため、ご契約の回線事業者(NTT東日本、NTT西日本など)にご相談ください。
- ⇒ 「169.254.～」から始まっているときは、本機がルーターからのIPアドレスの取得に失敗しています。その場合は、以下の操作を試みてください。
 - ルーターを再起動する。
 - 本機をリセットする
リセットのしかたは、製品同梱の取扱説明書の「テレビが操作できなくなったときーテレビをリセットする」をご覧ください。
 - 本機のIPアドレスを確認する

アドレス情報(IPv6)のIPアドレスが取得できない

アドレス情報(IPv6)のIPアドレスが空欄ですか。

⇒「ネットワーク情報」にある「アドレス情報(IPv6)」を確認します。 [»「ネットワーク情報」](#)

⇒ 上記の確認でIPアドレスが取得できていない場合(すべて空欄になっている場合)は以下を確認します。

- ① 有線の場合、本機とルーターが接続されているか確認する
- ② ルーターのアクセスランプ(ルーターのLANポートにある小さなランプ)が点滅しているか確認する(正常に通信できていればランプが点滅します)
- ③ ルーターに他のネットワーク機器(パソコンなど)があるときは、機器からインターネット接続が可能か確認する

- 有線LANで接続しているときに可能であれば、以下のテストをします

機器に接続されているLANケーブルを本機に接続し、接続テストをする

接続できたとき

最初に本機と接続されていたLANケーブルまたはルーターの不具合の可能性が高いです。

接続できなかったとき

ルーター、LANケーブルに問題がある可能性は低いです。

- ④ インターネット接続可能なその他の機器(パソコンなど)のIPアドレスを確認し、本機のIPアドレスを手動で設定する
- ⑤ 「クラウドサービス」など、ネットワークを利用する機能が使用できるか確認する
 - 上記の確認をしても接続できない場合は、本機をリセットします。リセットのしかたは、製品同梱の取扱説明書の「テレビが操作できなくなったときーテレビをリセットする」をご覧ください。

- リセットをしても接続できない場合は、本機の初期化をします。
- 上記の確認をすべてしても接続できないときは、東芝テレビで相談センター（製品同梱の取扱説明書裏表紙参照）にお問い合わせください。

アドレス情報(IPv6)のIPアドレスが取得できているのに接続できない

アドレス設定(IPv6)において、「自動取得」が選択されていますか。

- ⇒ お使いのルーターは、ブロードバンドルーターまたは、無線LAN使用のときは、無線LAN対応のブロードバンドルーターか確認します。
- ⇒ 「ネットワーク・サービス設定」にある「アドレス設定(IPv6)」を確認します。 [⇒「ネットワーク情報」](#)
- ⇒ アドレス、デフォルトゲートウェイ、プレフィックス長、プライマリアドレスに何らかの値が設定されていればルーターから正常にアドレスを取得できています。「クラウドサービス」など、ネットワークを利用する機能が利用できるか確認します。接続できずエラーメッセージで「DNSからの応答がありません」と表示されるときは、ルーターにPPPoE設定が必要なため、ご契約の回線事業者(NTT東日本、NTT西日本など)にご相談ください。

PPPoE設定ができない

- ⇒ 本機ではPPPoEの設定はできません。PPPoEはルーター側に設定してください(設定にはパソコンが必要です)。

エラーメッセージが表示されたとき

● 代表的なエラーメッセージについて説明しています。

全般

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
「電波の受信状態が良くありません。[サブメニュー]から「降雨対応放送」に切り換えられます。コード：E201」	気象条件などによって信号レベルが下がり、降雨対応放送切換が可能な状態になった。 ⇒ 降雨対応放送に切り換えることができます。 ▶「降雨対応放送について」
「放送が受信できません。」 1. テレビと壁のアンテナ線の接続を確認してください アンテナ線を接続しなおしてみてください。 地デジとBS・110度CSのアンテナ端子を間違えないようにご注意ください。 2. リモコンで見たい放送(【地デジ】【BS】【CS】)ボタンを押してください 3. 設定の「アンテナ設定」でアンテナレベルを確認してください 詳細は取扱説明書のエラーメッセージの項目をご確認ください。 お問い合わせ先を確認する場合は、赤ボタンを押してください。 コード：E202」	・ アンテナが放送に適合していない。 ・ アンテナ線がはずれたり、切れたりしている。 ・ BS・110度CSアンテナの場合、アンテナ電源が供給されていない。 ・ アンテナの方向ずれや故障。 ・ 電波が弱くて視聴できない。 ・ 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない。 ※ 放送が休止中の場合も表示されることがあります。 ⇒ 放送に適合したデジタル放送用アンテナであることを確認します。 ⇒ アンテナとアンテナ線の状態や接続を確認します(販売店にご相談ください)。 ▶「電波の強さ(信号強度)を確認する」 ⇒ BS・110度CSアンテナに電源が供給されるようにします。

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
「現在放送されていません。 コード：E203」	選局したチャンネルでの放送が休止中、または放送が終了している。 ※雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない場合も表示されることがあります。 ⇒番組表などで放送時間を確認します。
「該当するチャンネルはありません。 コード：E204」	放送のないチャンネルを選局した。 ⇒番組表などでチャンネルを確認します。
「ACASチップが認識できません。」	ACASチップが破損してる。 ⇒東芝テレビご相談センター（製品同梱の取扱説明書裏表紙参照）にお問い合わせください。

USBハードディスクに関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
「機器に接続できません。」	接続ケーブルがはずれている。 ⇒ 接続を確認します。
	USBハードディスクの電源が切れている。 ⇒ USBハードディスクの電源を入れます。
	USBハードディスクにエラーが発生した。 ⇒ USBハードディスクの電源を入れ直してみます。
「再生できません。」	録画中になんらかの原因でコピーワンスなどの情報が破損した。 ⇒ 再生できません。
	再生時にテレビとUSBハードディスクと通信に障害があった。または、接続ケーブルがはずれてしまった。 ⇒ テレビとUSBハードディスクの電源を入れ直してみます。また、接続を確認します。
「録画機器のエラーにより録画を中止しました。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」	テレビとUSBハードディスクと通信に障害があった。 ⇒ テレビとUSBハードディスクの電源を入れ直してみます。
「コンテンツ情報取得中にエラーが発生しました。」	録画した番組が正常に保存されなかった。 ⇒ 「録画番組を修復する」 の操作をしてみます。

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
「USB端子の電源容量を超えました。 接続機器をはずし、本体の電源ボタンで電源を切り、もう一度電源を入れてください。」	USBバスパワーで動作するUSBハードディスクを本機に接続し、使用電力が本機の供給限界を超えた。 ⇒ 以下の手順で復帰させます。 ① 本体底面にある本体ボタンの中央部を押して電源を待機にする ② USBハードディスクの接続ケーブルを抜く ③ 本機の電源プラグをコンセントから抜き、約10秒後に差し込む ④ 本機の電源を入れる ⑤ USBハードディスクを接続する ※ 再び同じエラーメッセージが表示される場合は、USBハードディスクにACアダプターを接続してください。

東芝レコーダーに録画・予約をするときのエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
「録画機器の動作により設定できませんでした。しばらく待ってからもう一度操作してください。」	レコーダーの動作との競合(なんらかの操作、動作、表示をしている)がある。 ⇒しばらくしてからやり直すか、または、レコーダーの操作などを中止します。
「録画機器の予約数がいっぱいです。」	レコーダーの予約数が制限を超えている。 ⇒レコーダーで予約を取り消します。
「指定した時間では予約を設定できません。」	レコーダーが対応していない形式で時刻を設定した。 ⇒指定できる時刻の形式をレコーダーの取扱説明書で確認します。
「録画機器の予約時間と重複するため、設定できません。」	レコーダー側の予約と、本機からの予約時間が重なっている。 ⇒レコーダーで予約している時間帯は、本機からの予約はできない場合があります。
「録画機器の時刻設定が正しくありません。」	レコーダーの時刻設定をしていない。 ⇒レコーダーの時刻設定をします。
「予約を設定できませんでした。」 または 「録画を設定できませんでした。」	レコーダーの電源プラグが抜けている。 ⇒レコーダーの電源プラグをコンセントに差し込みます。 レコーダーが正しく接続されていない。 ⇒本機とレコーダーを正しく接続します。 HDMIケーブルは、規格に合ったケーブルを使用してください。

LAN端子を使った通信に関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
「サーバーと通信できませんでした。しばらく待ってからもう一度操作してください。」	サーバーからのソフトウェア・ダウンロードに失敗した。 ⇒ 接続・設定の状態を確認します。
	回線が混みあっている。 ⇒ しばらくたってから、もう一度操作します。
「本機にルート証明書が設定されていないため、サーバーに接続できません。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	本機にルート証明書が設定されていない。 ⇒ ルート証明書番号を確認し、東芝テレビご相談センター（同梱取扱説明書の裏表紙参照）にお問い合わせください。
「現在設定されているルート証明書ではサーバーの安全性を確認できないため、接続できません。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	ルート証明書は本機内に設定されているが、接続先のサーバー証明書との検証ができない。 ⇒ ルート証明書番号を確認し、正しいルート証明書であるかを東芝テレビご相談センター（同梱取扱説明書の裏表紙参照）にお問い合わせください。
「現在設定されているルート証明書の有効期限が切れているため、サーバーに接続できません。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	ルート証明書の有効期限が切れている。 ⇒ ルート証明書番号を確認し、正しいルート証明書であるかを東芝テレビご相談センター（同梱取扱説明書の裏表紙参照）にお問い合わせください。

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
「サーバーの証明書の有効期限が切れているため、接続できません。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	• 接続先の証明書が有効期限切れになっている。 • サーバー証明書に表示しようとしているページの名前がない。 • 接続先の証明書が改ざんされている。
「サーバーの証明書には表示するページの名前が含まれていないため、接続できません。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	• 認証エラーが発生した。
「サーバーの証明書の不正が検出されたため、接続を中断します。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	⇒ 接続先の安全性に問題があります。本機は、一部の接続先については、安全性の確認ができない場合、接続は行われません（本機の動作は正常です）。
「サーバーの証明書に問題があるため、接続を中断します。詳しくは取扱説明書の「エラーメッセージ」をご覧ください。」	

ホームネットワークに関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
「検索に失敗しました。」	機器が正しく接続されていない。 ⇒ 確認して、ルーターを通して正しく接続します。

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
「機器(メディア)にアクセスできません。」	ネットワークメディアサーバーのアクセス制御が正しく設定されていない。 ⇒ 機器がMACアドレスによるアクセス制限をしている場合は、機器の説明書を参照し、本機のMACアドレスを許可するように設定します。 ※ 本機のMACアドレスは、「ネットワーク・サービス設定」の「ネットワーク情報」や「その他の設定」の「本機の情報」で確認できます。
「再生できません。」	コンテンツが本機で対応しているフォーマットではない。 ⇒ 非対応フォーマットについては本機では再生できません。 無線LANの暗号方式が「暗号なし」になっている。 ⇒ 著作権保護付きコンテンツの場合には無線LANアクセスポイントのセキュリティに関する設定を行った上で本機の暗号方式を「暗号なし」以外で設定して接続してください。
「サーバー側の設定やアクセス状態により現在アクセスできません。しばらくしてからやり直してください。」	● 機器が起動準備中。 ● 機器が他の機器で使用中。 ⇒ しばらくしてからやり直します。
「システム情報にエラーが発生したため、番組を再生できません。」	コンテンツ再生処理に使用する内部情報が壊れている。 ⇒ お買い上げの販売店にエラー表示をご説明のうえ、修理をご相談ください。

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
「機器に接続できません。 LANハードディスクに設定されているユーザー名とパスワードが正しいことをご確認ください。」	LANハードディスクのユーザー名とパスワードの設定が変更された。 ⇒ エラーが表示されたLANハードディスク機器の登録を解除して、変更後のユーザー名とパスワードを指定してLANハードディスク機器を登録し直してください。

BS・110度CSの4K放送に関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
「8K番組は視聴できません。」	本機は8K放送に対応していません。

これらの症状で訪問修理を依頼され、テレビに原因がないと判明した場合は、保証期間中であっても出張料などを申し受けますので、あらかじめご承知おきください。

■ それでも解決しない場合のご確認

下記ホームページをご覧ください。

<https://www.toshiba.co.jp/regza/support/>

※上記アドレスは予告なく変更される場合があります。

電話でのご相談は「東芝テレビご相談センター」：

【一般回線・PHSからのご利用は】

0120-97-9674 （通話料：無料）

【携帯電話からのご利用は】

0570-05-5100 （通話料：有料）